

**令和 6 年度
痴漢被害実態把握調査
報告書**



Ⅰ アンケート調査実施要領

調査実施要項

■ 調査目的

- 痴漢は車両内や駅構内など公共空間での発生が多く、加害者との面識がない割合が高いことから被害の申告をためらう暗数化しやすい犯罪である。
- そこで、若年層を中心に都内の痴漢被害の実態及びその傾向を調査し、その調査結果を踏まえて痴漢被害をなくするための具体的な対策につなげる。
- 令和5年度は、初の大規模調査として被害実態を把握するため生涯経験を中心に調査を実施したが、継続的に経年変化を把握するため、令和6年度はここ1年の被害状況を中心に調査を実施。

■ 痴漢の定義

- 迷惑防止条例で禁止される下記等の行為。

禁止される行為	内容
痴漢行為 (5条1項1号)	衣服その他の身に着ける物の上から又は直接に人の身体に触れること。 ・ 体を触られた ・ ボタン等を外された ・ 体を密着された ・ 髪を触られた
卑わいな言動 (5条1項3号) の一部	社会通念上、性的道義観念に反する下品でみだらな言語又は動作。 ・ 匂いをかがれた ・ 息を吹きかけられた ・ カバン等を押し付けられた ・ AirDrop等で画像を送られた・見せられた

※盗撮行為（5条1項2号）は対象外。

■ 調査方法

- WEBアンケート調査

調査実施要項

■ WEBアンケート調査実施要領

調査依頼対象	一都三県在住の16～69歳の方		
要件	A 最近 1 年間で電車内・駅構内の痴漢被害経験有り 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方 電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方 16～39歳 B 最近 1 年間で電車内・駅構内の痴漢目撃経験有り 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方 電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方 16～69歳 C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方 痴漢被害経験、痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせた経験が生涯で一度もない方 16～69歳		
回答数	A 最近 1 年間で電車内・駅構内の痴漢被害経験有り	16～24歳	250件
		25～39歳	250件
	B 最近 1 年間で電車内・駅構内の痴漢目撃経験有り	16～69歳	250件
	C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し	16～69歳	500件
スケジュール	2024年8月 1 日～ 8 月16日		
備考	C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無しに関しては、性別、年代別に、人口統計に準じた回答比率になるように割付		

調査実施要項

- C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し割付について

- 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無しの方のみ性別、年代別に、人口統計に準じた回答比率となるように割付

割付

年代	男性	女性	合計
～19歳	25	25	50
20-29歳	45	45	90
30-39歳	45	45	90
40-49歳	45	45	90
50-59歳	45	45	90
60-69歳	45	45	90
合計	250	250	500

有効回収数

年代	男性	女性	ノンバイナリー	合計
～19歳	31	31	3	65
20-29歳	48	50	7	105
30-39歳	65	63	4	132
40-49歳	58	50	1	109
50-59歳	54	52	0	106
60-69歳	51	44	1	96
合計	307	290	16	613

- 調査実施機関

- 株式会社イード

調査実施要項

■ 調査項目一覧

1) スクリーニング調査	○性別・性自認	○年齢	○職業・学校
	○住まい、通勤・通学先	○交通機関利用状況	
	(以下、通勤通学時の電車利用の)		
	○乗車頻度	○乗車時間	
	○混雑度	○車内でしていること	
	○痴漢被害の有無（ここ1年／それ以前）	○被害にあった場所（ここ1年／それ以前／直近）	
	○痴漢目撃等の有無（ここ1年／それ以前）	○被害を目撃等した場所（ここ1年／それ以前）	
	○痴漢に遭わないためにしていること	○暮らし、これまでの経験、周りの人との関係	
	○施策の認知度	○施策の認知経路	
	(警視庁防犯アプリ「デジポリス」について)		
	○ダウンロードの有無	○ダウンロードしていない理由	
	(痴漢撲滅キャンペーンについて)		
	○特設サイトに望ましい掲載情報	○効果的なキャンペーン方法	
	(「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方について)		
	○認知の有無	○認知ルート	

調査実施要項

■ 調査項目一覧（つづき）

2) 本調査	
A 被害者調査 (電車内・駅構内)	○都内での痴漢被害回数（直近） （以下、直近の痴漢被害にあった） ○時期（月） ○移動目的 ○被害時にしていたこと ○被害時の対応 ○被害時の気持ち・状態 ○周囲の人が助けてくれた方法 ○届け出・相談等の有無（直後、しばらく後） ○届け出・相談等をしなかった理由（直後、しばらく後） ○連絡した機関名 ○時間帯 ○混雑度 ○被害内容 ○対応により被害が止まったか ○周囲の人は気づいたか ○助けにより被害が止まったか ○当該機関の認知ルート ○車両内の位置* ○被害が止まった理由 ○気づいた周囲の人の反応
B 第三者調査 (電車内・駅構内)	○都内での痴漢目撃等回数（直近） （以下、直近に痴漢被害を目撃等した） ○時期（月） ○混雑度 ○被害に気づいたきっかけ ○目撃等時の行動 ○行動しなかった理由 ○周囲の人の行動により被害が止まったか ○連絡した機関名 ○痴漢被害の帰結 ○時間帯 ○車両内の位置* ○痴漢被害の確信の有無 ○行動により被害が止まったか ○周囲の人の行動 ○届け出・連絡の有無 ○連絡しなかった理由 ○被害内容 ○行動をした理由

※ *印は電車内被害者のみの設問

調査実施要項

■ 調査項目一覧（つづき）

C 共通設問	（相談機関について） ○認知の有無 ○相談しやすい方法 ○援助に対する考え方 ○援助行動に向けて後押しとなる事項 ○被害者の助けとなる事項 ○効果がありそうな取組 ○認知ルート ○痴漢を目撃したら援助行動を取るか ○痴漢撲滅のために重要な事項 ○被害者の助けとしてできそうな事項 ○東京都の痴漢対策等への意見
--------	---

調査実施要項

■ 配信・回答者数

- 本アンケートの配信数・回答者数等の詳細は以下の通り。

①配信数	本アンケートを依頼した人数	236,398 (スクリーニング回答者数 12,589)
②スクリーニング調査回答者数	スクリーニング調査に全問回答した人数 (以下の除外要件に該当する方を除く) ➢ 年齢：15歳以下、70歳以上 ➢ 住まい：東京都以外 かつ 職業：専業主婦・主夫、無職 (東京都に通勤・通学しないと想定できる方) ➢ 通勤・通学に電車を利用しない方 ➢ その他明らかに不誠実な回答	6,315
③本調査回答者数	A 最近1年間で電車内・駅構内の痴漢被害経験有り 16～24歳 25～39歳 B 最近1年間で電車内・駅構内の痴漢目撃経験有り C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し (スクリーニング調査から本調査へ進んだ方のみ)	522 252 270 402 613

II 痴漢被害・目撃等経験

【分析対象】

- スクリーニング調査の配信総数のうち、居住都県別、性別、年代別に、できるだけ人口統計に準じた回答比率になるように配慮して配信して回収したデータ（n=6,315）を分析対象とした。
- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方で、通勤・通学に電車を用いる方のうち、電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方（＝被害者）、もしくは電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方（＝第三者（目撃・居合わせ者））の比率（被害率、目撃・居合わせ率）を算出した。
- その上で、被害者や第三者の特徴を分析した。

調査実施要項

■ 配信割付

- 居住都県別、性別、年代別に、できるだけ人口統計に準じた回答者構成となるように留意。
- 一都三県在住者のうち、16～69歳を対象に、SC回答者が概ね下記の構成になるように配慮。
- 居住都県別、性別、年代別に、人口統計に準じたに比率を設定（40～69歳は30%に設定）。
- 性別・年代別の調査協力率を加味して、配信数を決定し配信した。

居住地	性別	年代						計	
		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～69歳		
東京都	男性	1.8%	2.8%	3.4%	3.1%	3.3%	5.9%	20.3%	40.1%
	女性	1.7%	2.8%	3.3%	3.0%	3.1%	5.7%	19.7%	
埼玉県	男性	1.1%	1.4%	1.4%	1.4%	1.5%	3.0%	9.8%	19.1%
	女性	1.1%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%	2.8%	9.2%	
千葉県	男性	1.0%	1.1%	1.2%	1.2%	1.3%	2.5%	8.3%	16.1%
	女性	0.9%	1.1%	1.1%	1.1%	1.2%	2.4%	7.8%	
神奈川県	男性	1.4%	1.8%	1.9%	1.8%	2.0%	3.9%	12.8%	24.7%
	女性	1.3%	1.7%	1.7%	1.7%	1.8%	3.7%	12.0%	
計		10.4%	14.0%	15.3%	14.6%	15.7%	30.0%	100.0%	

調査実施要項

■ 回答状況

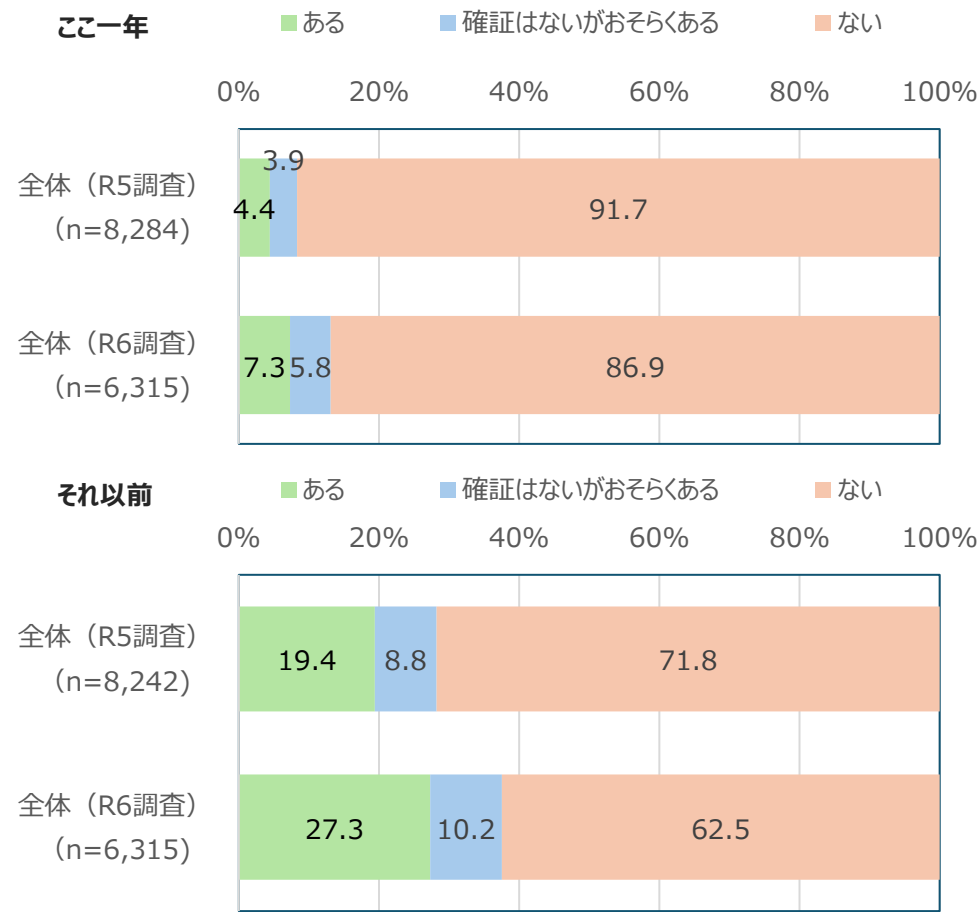
- 回答者の居住都県別、性別、年代別の構成は下表のとおりとなった。
- 目標（前ページ）と比較して、①居住都県別には東京都の比率が高いがそれ以外の三県のバランスはとれている、②性別、年代別にはほぼ目標通りのバランスが得られている、との結果となった（①については「東京都による痴漢被害実態把握調査」であることも影響していると言える）。
- この結果から、回答者構成は、痴漢被害経験率等の統計算出に向けて、一定の信頼度を有するものと判断した。

居住地	性別	年代						計	
		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～69歳		
東京都	男性	2.1%	2.8%	4.2%	4.7%	5.4%	11.4%	30.7%	65.8%
	女性	3.7%	5.2%	6.1%	4.9%	5.9%	8.9%	34.7%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	
	その他	0.0%	-	-	-	-	-	0.0%	
埼玉県	男性	0.3%	0.5%	0.7%	1.0%	1.0%	2.7%	6.0%	11.9%
	女性	0.6%	1.1%	1.1%	0.9%	0.9%	1.2%	5.9%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	-	-	0.0%	-	-	-	0.0%	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	男性	0.2%	0.5%	0.5%	0.7%	1.0%	2.3%	5.2%	9.5%
	女性	0.3%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.0%	4.2%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	-	0.0%	-	0.0%	-	-	0.0%	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	男性	0.3%	0.8%	0.9%	0.8%	1.1%	2.8%	6.6%	12.8%
	女性	0.6%	1.2%	1.2%	1.2%	0.7%	1.4%	6.1%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	-	0.0%	-	-	-	0.0%	0.0%	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	
計		8.2%	12.9%	15.4%	14.9%	16.9%	31.7%	100.0%	

※居住都道府県、性別、年齢のすべてに回答いただいた方から、一都三県以外の在住者を除いた6,302名の構成比。

痴漢被害経験① SC13. 痴漢被害の有無

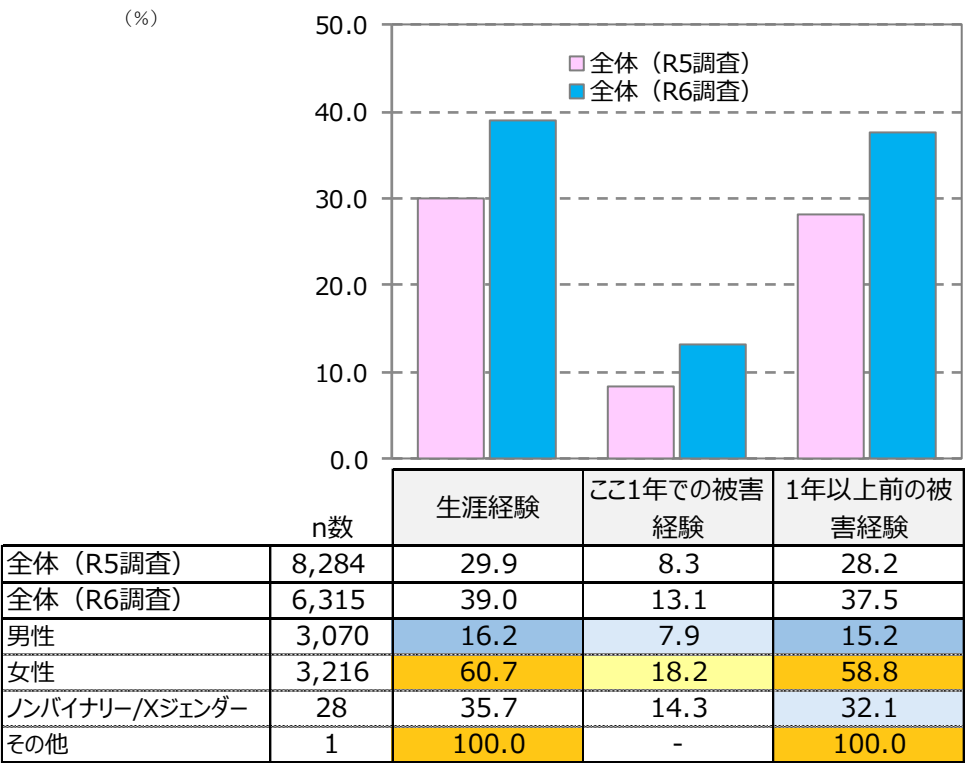
- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方の被害率(「ある」、「確証はないがおそらくある」の合計)は、ここ1年で13.1%(昨年比+4.8ポイント)、それ以前で37.5%(昨年比+9.3ポイント)となり、いずれも昨年度調査より増加している。
- 上記結果から、生涯経験を算出すると、39.0%(昨年比+9.1ポイント)となり、昨年度調査より増加している。



SC13. あなたは、次の期間に、痴漢被害にあったことがありますか。

※ここ1年、1年以上前の双方に被害にあった方がいるため、生涯経験 = ここ1年の被害経験 + 1年以上前の被害経験とはならない。

痴漢被害率（場所を問わず）



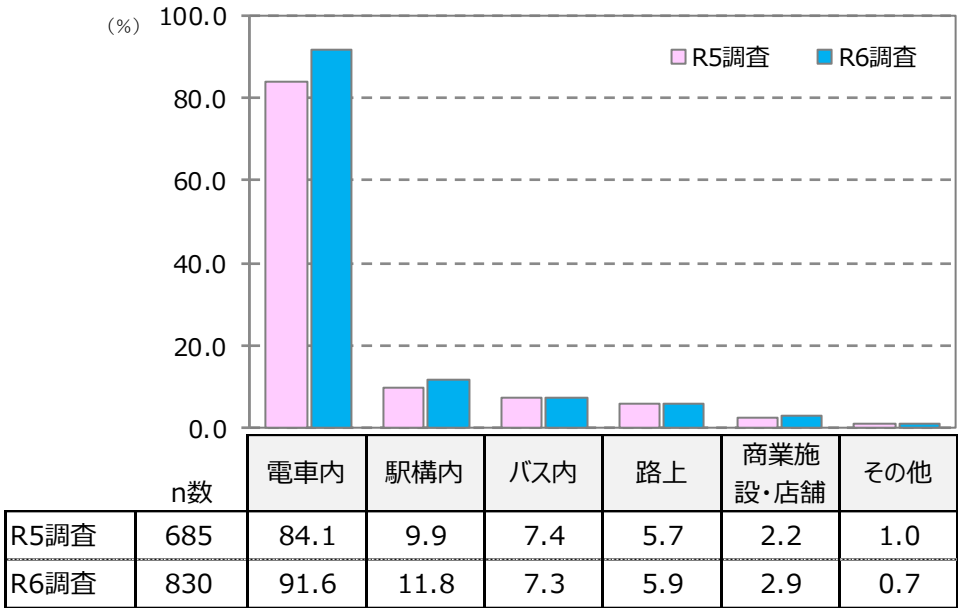
生涯経験はSC13-1.13-2より算出

痴漢被害経験②(場所を問わず) SC14. 痴漢被害にあった場所(MA)

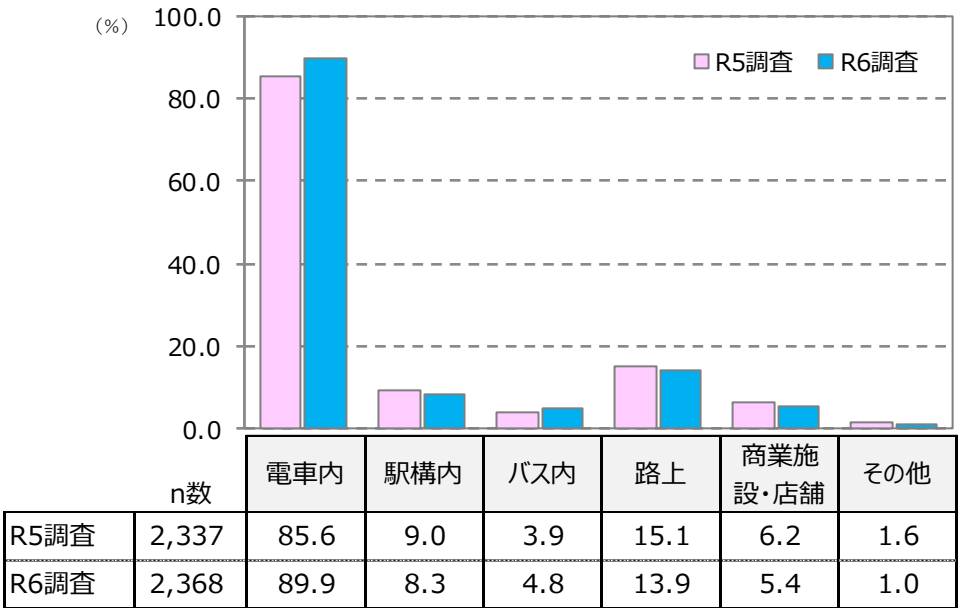
- ここ1年:「電車内」(91.6%)、「駅構内」(11.8%)、「バス内」(7.3%)の順が多い。
- それ以前:「電車内」(89.9%)、「路上」(13.9%)、「駅構内」(8.3%)の順が多い。
- いずれも昨年度調査と同傾向であるが、電車内での被害がほぼ9割を占めている。

n数はSC13で「ここ一年」/「それ以前」に痴漢被害にあったことが「ある」「確証はないがおそらくある」と回答した方のみ

ここ一年



それ以前

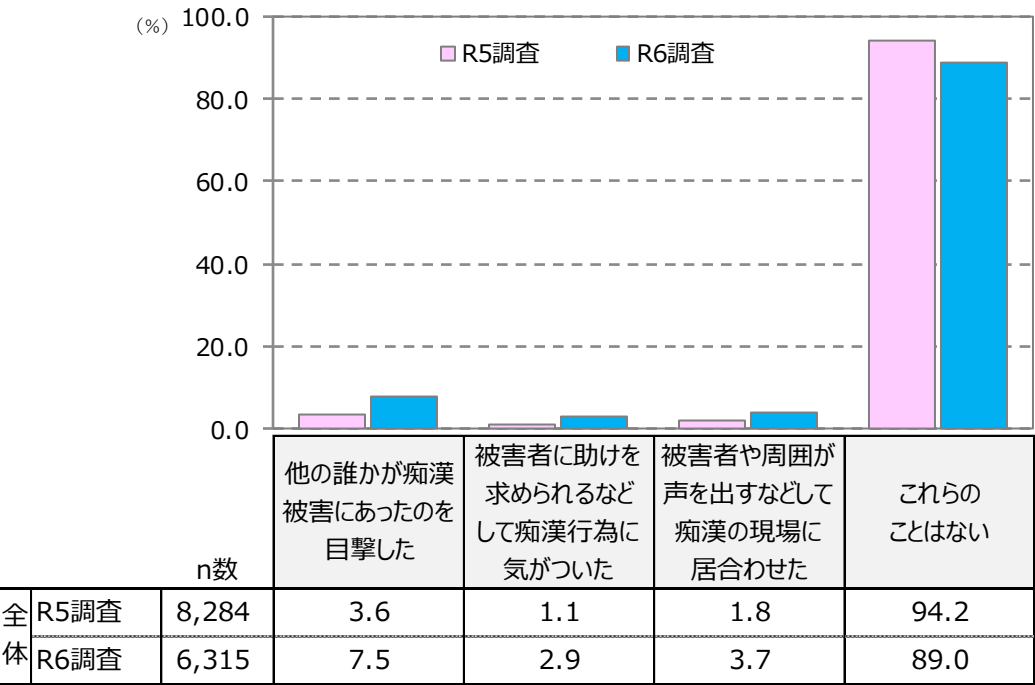


SC14. それぞれの期間で、痴漢被害にあった場所をお答えください。複数ある場合は当てはまるものすべてをお答えください

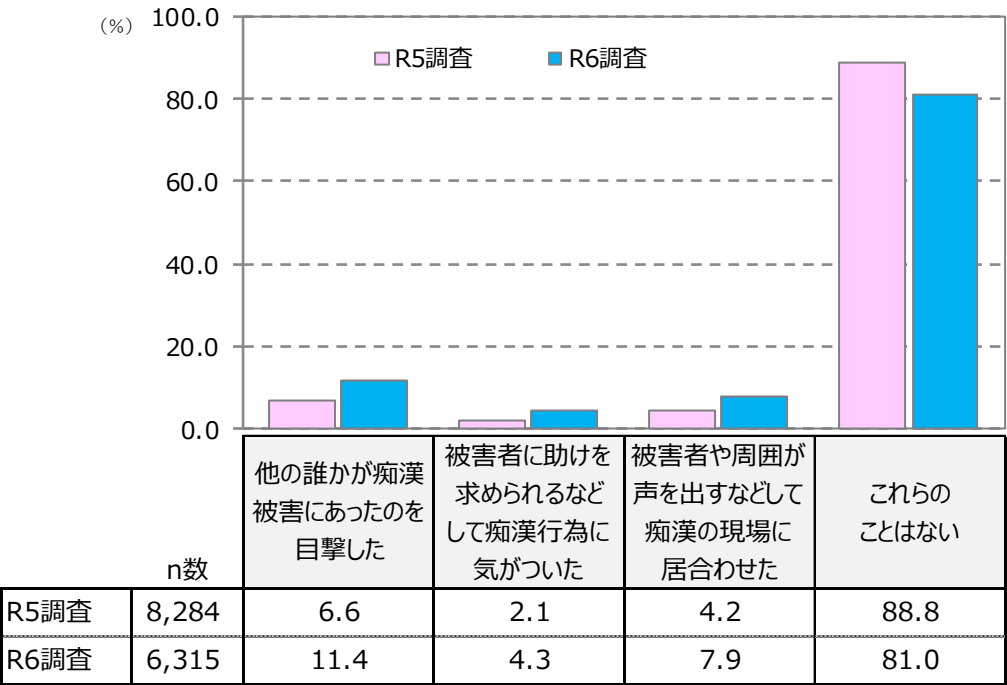
痴漢目撃等経験①(場所を問わず) SC16. 痴漢被害の現場における目撃等の有無(MA)

- ここ1年:「痴漢被害を目撃した」は7.5%(昨年度調査比+3.9ポイント)、「痴漢行為に気がついた」は2.9%(昨年度調査比+1.8ポイント)、「痴漢の現場に居合わせた」は3.7%(昨年度調査比+1.9ポイント)となり、いずれも昨年度調査より増加している(複数回答)。
- それ以前:同様に、「目撃した」は11.4%(昨年度調査比+4.8ポイント)、「気がついた」は4.3%(昨年度調査比+2.2ポイント)、「居合わせた」は7.9%(昨年度調査比+3.7ポイント)と昨年度調査より増加している。

ここ一年



それ以前

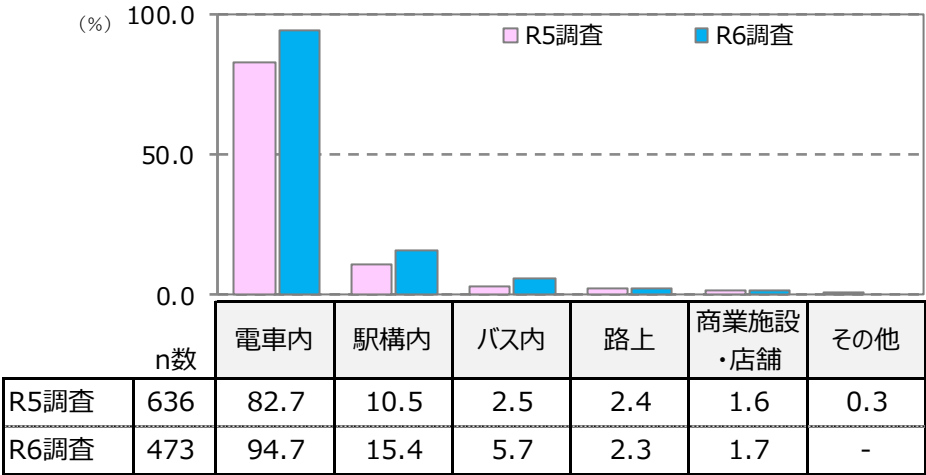


SC16. あなたは、それぞれの期間で、次のようなかたちで痴漢の被害を目撃したり、気が付いたり、痴漢の現場に居合わせたことはありますか。

痴漢目撃等経験②(場所を問わず) SC17-1.痴漢目撃・居合わせ場所 ここ1年 (MA)

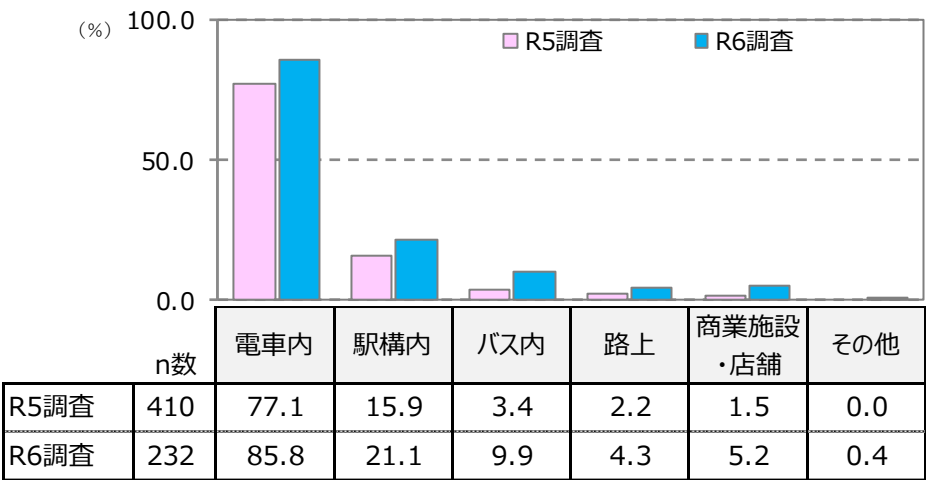
- 目撃した:「電車内」(94.7%)、「駅構内」(15.4%)、「バス内」(5.7%)の順が多い。
- 気がついた:「電車内」(86.3%)、「駅構内」(29.5%)、「バス内」(15.3%)の順が多い。
- 居合わせた:「電車内」(85.8%)、「駅構内」(21.1%)、「バス内」(9.9%)の順が多い。

①他の誰かが痴漢被害にあったのを目撃した

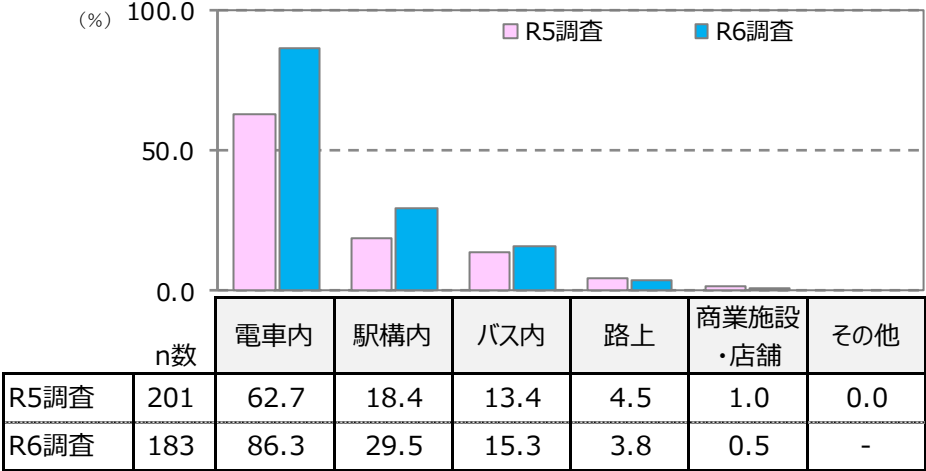


n数はR6調査：SC16で「ここ1年」で該当する項目に「ある」と回答した方のみ
※R5調査：期間の「ここ一年」、「それ以前」の限定はなし。またMAではなくSAでの回答。
※R5調査は、条件が異なるため参考値

③被害者や周囲が声を出すなどして痴漢の現場に居合わせた



②被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気がついた

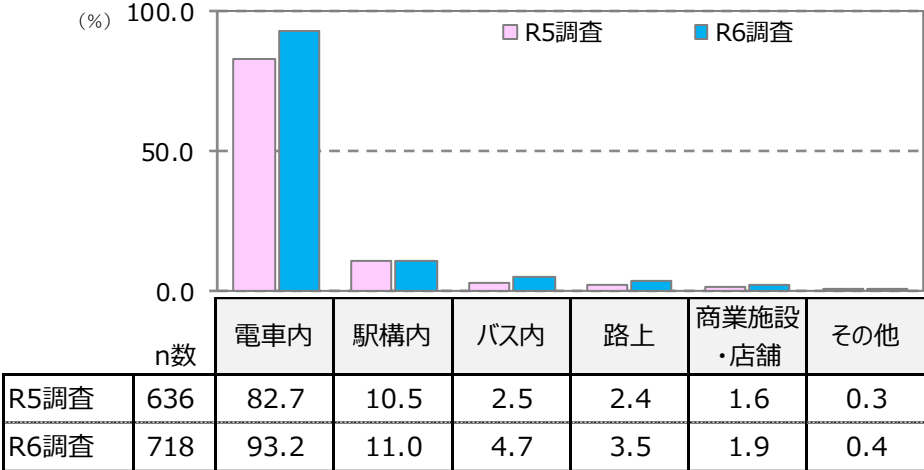


SC17. それはどこで起きましたか。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。(ここ1年)

痴漢目撃等経験③(場所を問わず) SC17-1. 痴漢目撃・居合わせ場所 それ以前(MA)

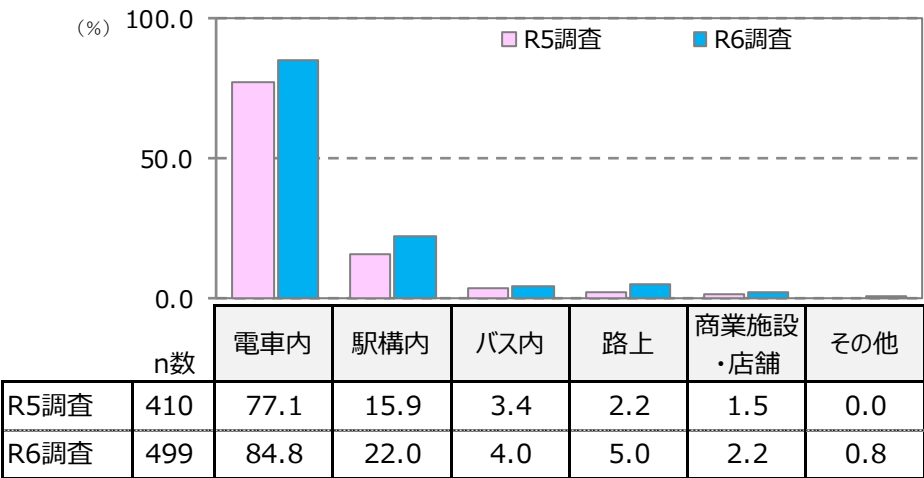
- 目撃した:「電車内」(93.2%)、「駅構内」(11.0%)、「バス内」(4.7%)の順が多い。
- 気がついた:「電車内」(80.7%)、「駅構内」(23.0%)、「バス内」(13.0%)の順が多い。
- 居合わせた:「電車内」(84.8%)、「駅構内」(22.0%)、「路上」(5.0%)の順が多い。

①他の誰かが痴漢被害にあったのを目撃した

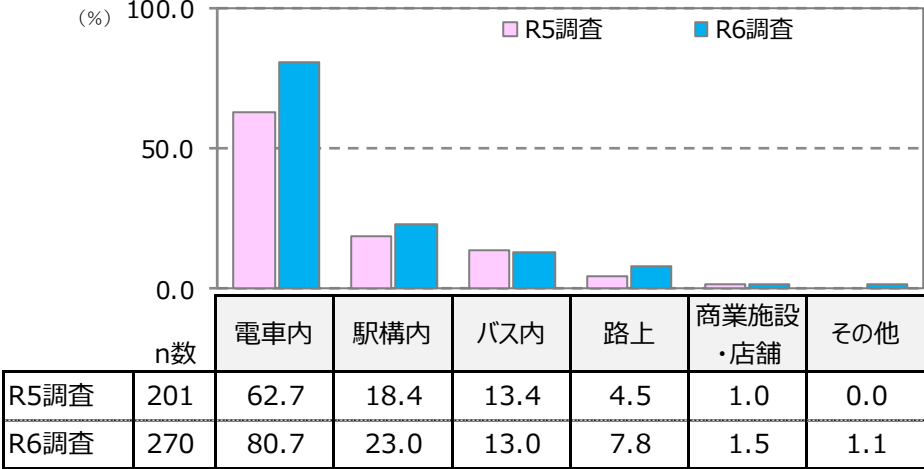


n数はR6調査：SC16で「それ以前」で該当する項目に「ある」と回答した方のみ
※R5調査：期間の「ここ一年」、「それ以前」の限定はなし。またMAではなくSAでの回答。
※R5調査は、条件が異なるため参考値

③被害者や周囲が声を出すなどして痴漢の現場に居合わせた



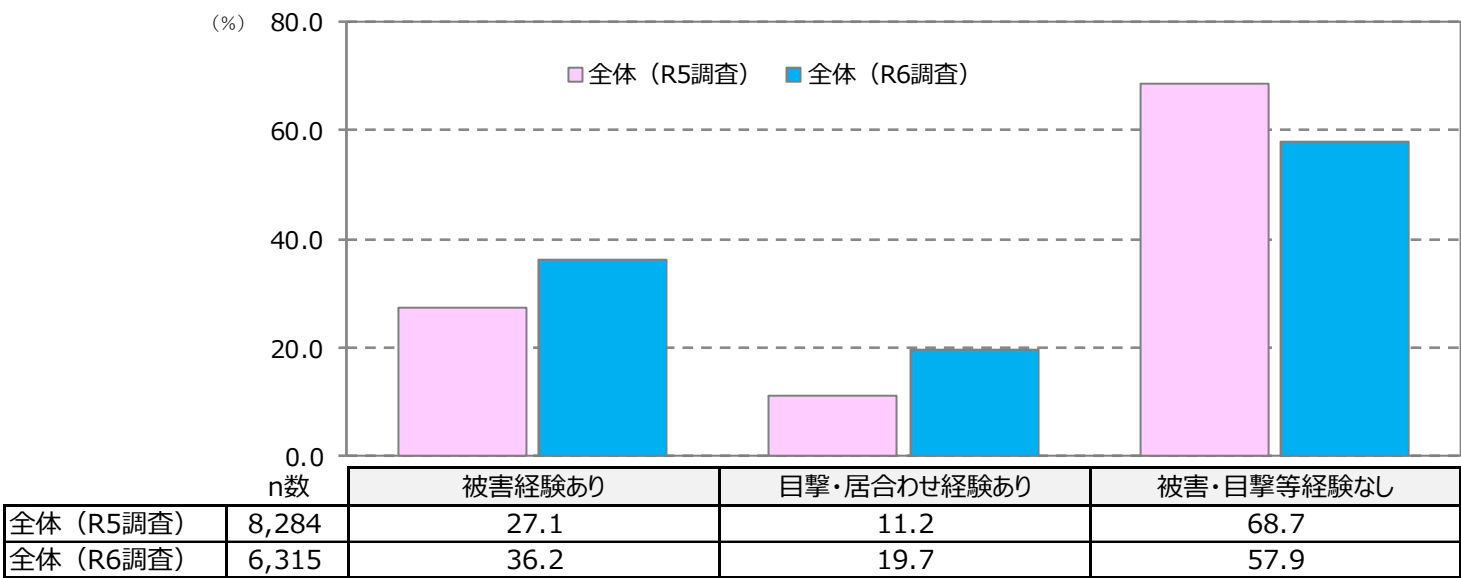
②被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気がついた



SC17. それはどこで起きましたか。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。(それ以前)

痴漢被害・目撃等経験①(電車内・駅構内、生涯経験)(MA)

- 電車内・駅構内での痴漢被害経験(生涯経験)については、「被害経験あり」が36.2%(昨年度調査比+9.1ポイント)となり、昨年度調査より増加している。
- また、同じく目撃・居合わせ経験(生涯経験)についても、「目撃・居合わせ経験あり」が19.7%(昨年度調査比+8.5ポイント)となり、昨年度調査より増加している。

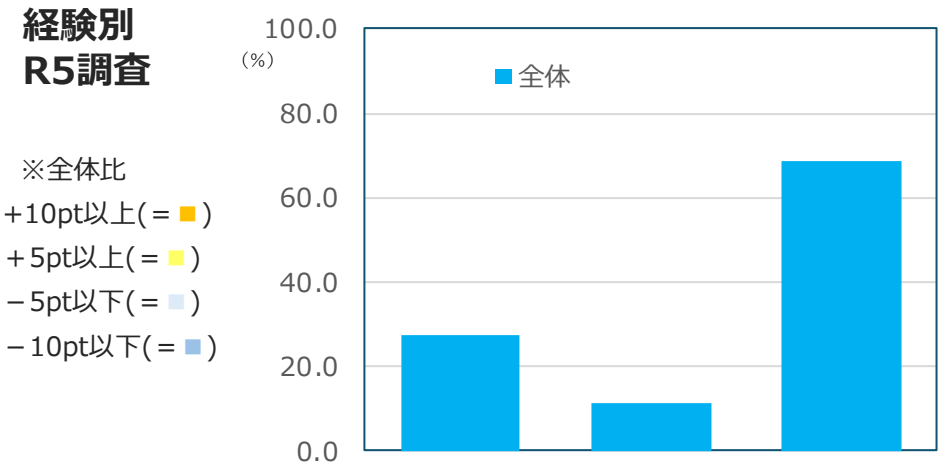
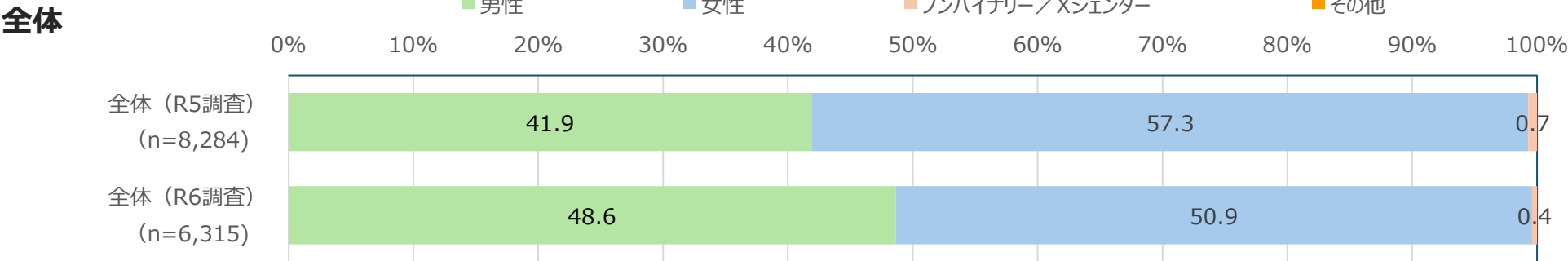


※被害経験、目撃・居合わせ経験の双方にあった方がいるため、全体を足して100%とはならない。

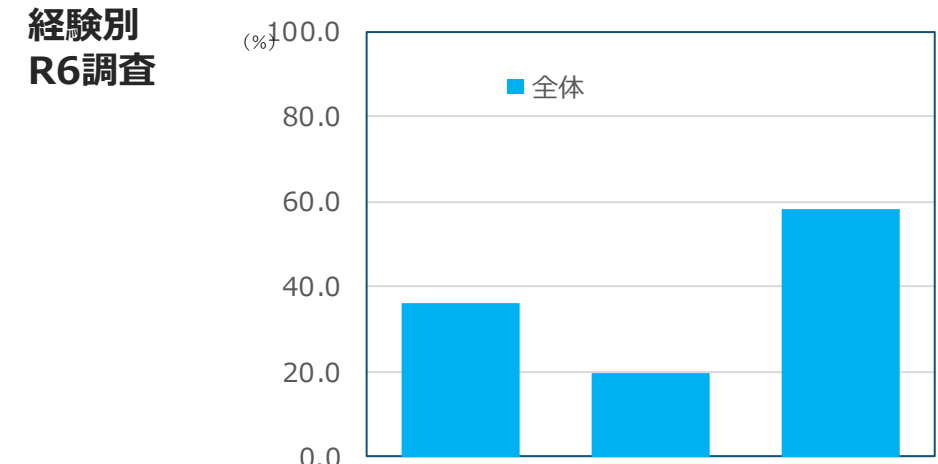
SC14.SC17より算出

痴漢被害・目撃等経験②(電車内・駅構内) SC1. 性別/性自認

- 性別/性自認構成は、全体で「女性」が50.9%、「男性」が48.6%と、ほぼ人口構成となっている。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験ありは、「女性」(56.3%)、男性(15.2%)といずれも昨年度調査(生涯経験)より増加している。
- 目撃・居合わせ経験ありは、「女性」(19.8%)、「男性」(19.6%)、といずれも昨年度調査(生涯経験)より増加。



	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8,284	27.1	11.2	68.7
男性	3,474	7.8	10.5	85.1
女性	4,750	41.1	11.7	56.6
ノンバイナリー/Xジェンダー	56	33.9	16.1	62.5
その他	4	-	-	100.0



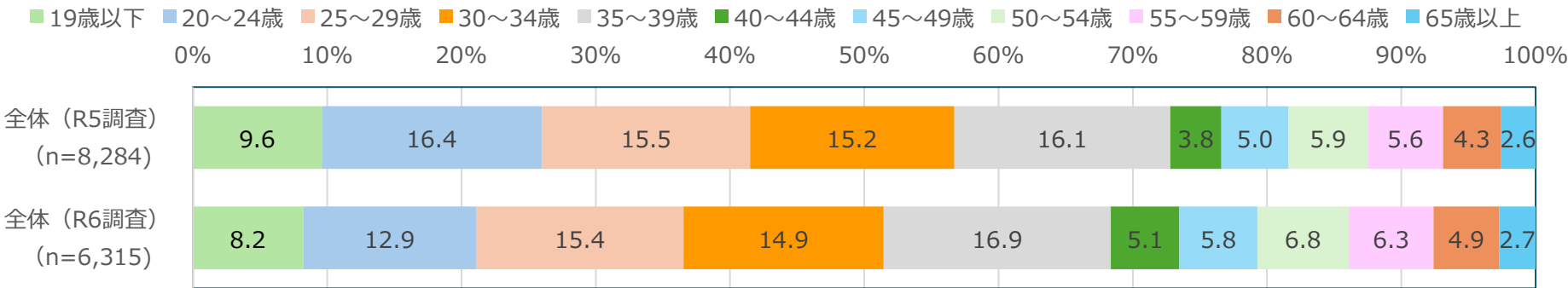
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	6,315	36.2	19.7	57.9
男性	3,070	15.2	19.6	74.5
女性	3,216	56.3	19.8	42.1
ノンバイナリー/Xジェンダー	28	35.7	17.9	57.1
その他	1	100.0	-	-

SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

痴漢被害・目撃等経験③(電車内・駅構内) SC2. 年代

- 年代構成は全体で概ね人口分布(ターゲット割付)通りの回収となっている。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験ありは、「20代～40代」で4割前後と多く、「10代」、「50代以上」で2～3割。
- 目撃・居合わせ経験ありは、多くの年代で2割前後。

全体



経験別R5調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8,284	27.1	11.2	68.7
19歳以下	793	27.0	8.3	70.2
20～24歳	1,361	29.5	11.2	67.3
25～29歳	1,281	25.8	13.0	70.4
30～34歳	1,263	24.3	11.1	71.2
35～39歳	1,335	27.3	10.5	68.2
40～44歳	313	33.5	13.4	62.3
45～49歳	417	33.6	12.9	62.4
50～54歳	487	29.4	9.7	66.3
55～59歳	460	25.0	12.8	68.7
60～64歳	356	21.3	9.8	72.5
65歳以上	218	21.1	13.3	69.3

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	6,315	36.2	19.7	57.9
19歳以下	517	29.4	13.7	66.2
20～24歳	813	42.3	23.7	52.9
25～29歳	973	42.4	23.2	53.5
30～34歳	940	36.6	20.9	58.3
35～39歳	1,068	37.7	20.5	56.0
40～44歳	324	40.4	16.7	54.9
45～49歳	369	40.9	18.2	53.7
50～54歳	431	30.4	15.3	62.2
55～59歳	398	26.1	19.6	63.3
60～64歳	311	25.1	15.4	66.6
65歳以上	171	22.2	15.2	68.4

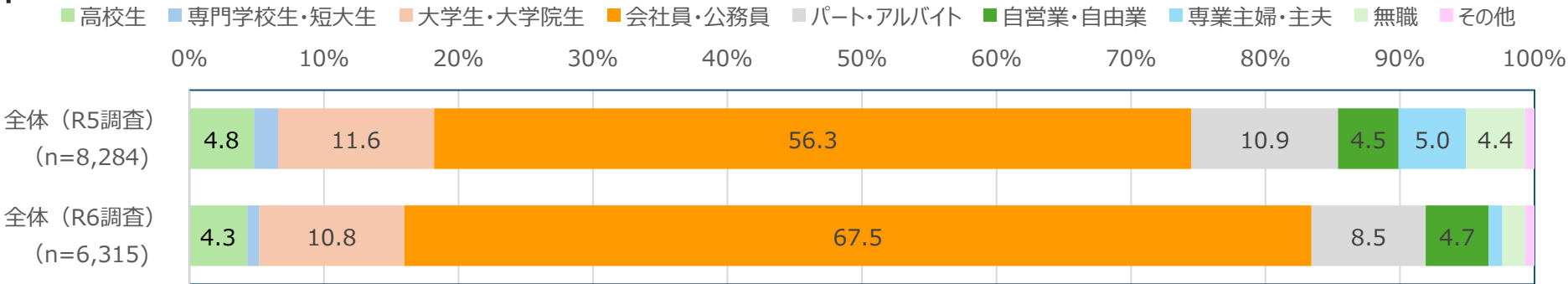
※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC2. あなたの年齢をお答えください。

痴漢被害・目撃等経験④(電車内・駅構内) SC3. 職業/学校:全体

- 職業/学校構成は、全体で「会社員・公務員」(67.5%)、「大学生・大学院生」(10.8%)、「パート・アルバイト」(8.5%)の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、「専業主婦・主夫」、「パート・アルバイト」、「自営業・自由業」などで、痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「大学生・大学院生」、「会社員・公務員」、「自営業・自由業」などで、目撃・居合わせ経験のある回答者は2割を超えている。

全体



※2%未満はデータラベル非表示

経験別R5調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8,284	27.1	11.2	68.7
高校生	396	28.8	9.1	68.7
専門学校生・短大生	148	25.0	8.8	72.3
大学生・大学院生	961	29.3	10.9	66.9
会社員・公務員	4,660	24.9	12.6	69.9
パート・アルバイト	903	32.2	8.4	65.3
自営業・自由業	374	25.4	13.1	69.8
専業主婦・主夫	418	42.1	9.1	56.2
無職	363	18.5	5.2	76.8
その他	61	36.1	9.8	57.4

経験別R6調査(%)

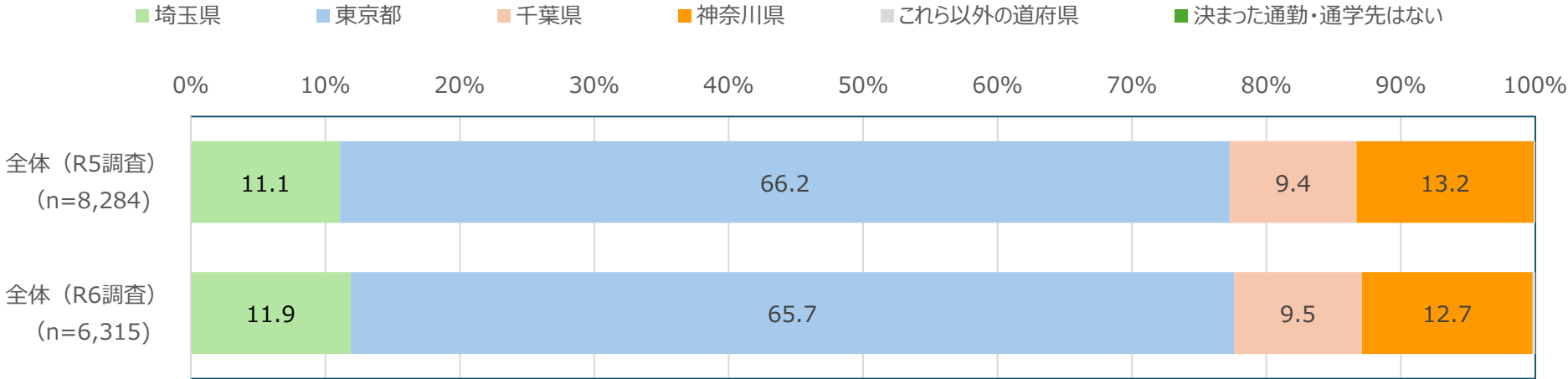
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	6,315	36.2	19.7	57.9
高校生	269	31.2	11.9	63.6
専門学校生・短大生	59	39.0	16.9	59.3
大学生・大学院生	683	36.6	22.0	58.0
会社員・公務員	4,262	35.2	21.2	58.3
パート・アルバイト	534	43.1	12.5	54.3
自営業・自由業	294	41.2	20.4	53.4
専業主婦・主夫	61	65.6	9.8	34.4
無職	109	26.6	4.6	71.6
その他	44	25.0	20.5	63.6

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

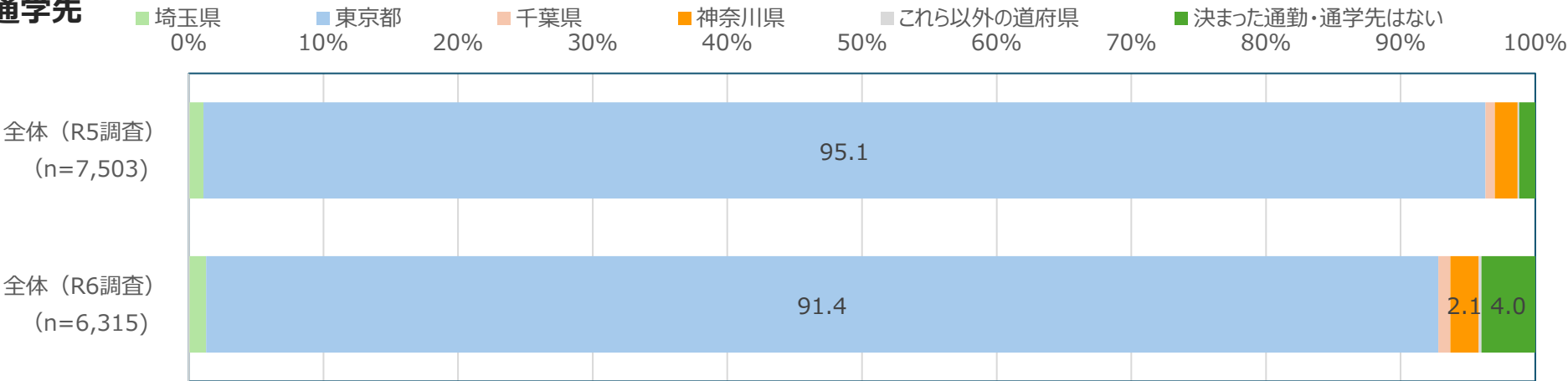
痴漢被害・目撃等経験⑤(電車内・駅構内) SC4. 住まい/通勤・通学先:全体

- 住まい構成は、全体で「東京都」(65.7%)、「神奈川県」(12.7%)、「埼玉県」(11.9%)、「千葉県」(9.5%)となっている。
- 通勤・通学先構成は、「東京都」が9割以上を占める。

住まい



通勤・通学先



※2%未満はデータラベル非表示

SC4. あなたのお住まい、通勤・通学先は以下のどれにあたりますか。

痴漢被害・目撃等経験⑥(電車内・駅構内) SC4. 住まい:経験別

■ 被害・目撃等経験別では、被害経験、目撃・居合わせ経験ともに、住まいの都県による大きな差異は見られない。

経験別R5調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体	8,284	27.1	11.2	68.7
埼玉県	920	28.6	12.9	66.0
東京都	5,488	26.6	10.6	69.5
千葉県	778	25.7	11.7	69.7
神奈川県	1,091	29.4	12.8	66.0
これら以外の道府県	7	-	14.3	85.7
決まった通勤・通学先はない	0	-	-	-

通勤・通学先は90%以上が東京都の為、非掲載とした

経験別R6調査(%)

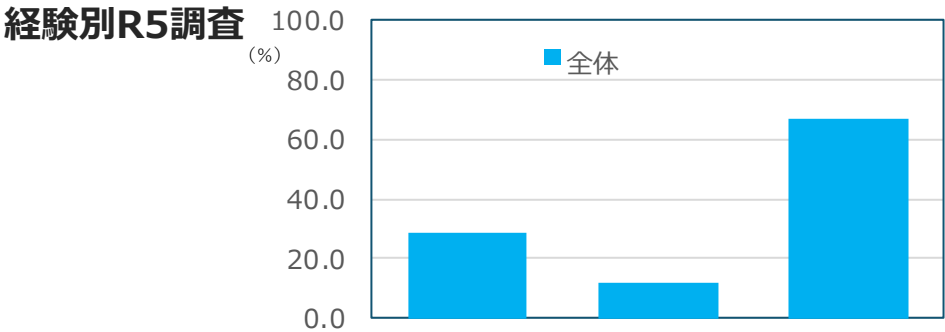
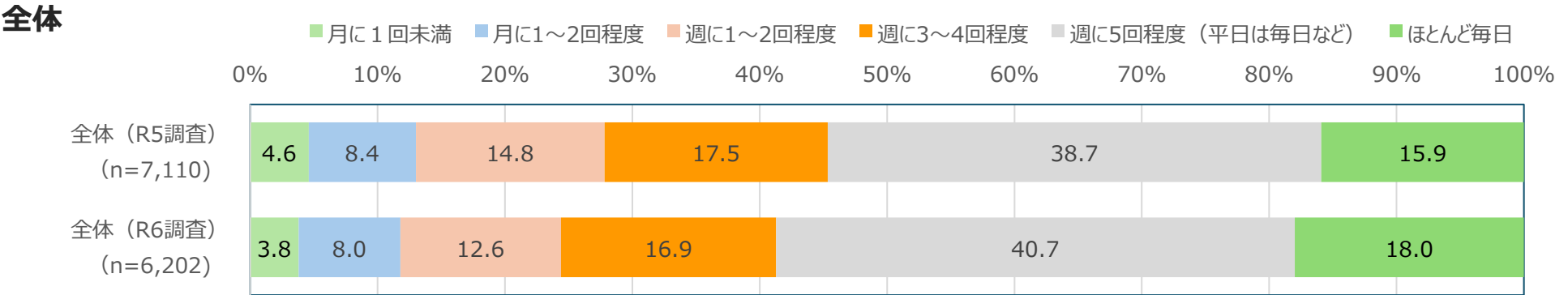
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体	6,315	36.2	19.7	57.9
埼玉県	752	35.0	20.9	58.1
東京都	4,148	37.5	19.6	57.2
千葉県	597	31.3	19.1	62.6
神奈川県	805	34.5	19.4	58.6
これら以外の道府県	13	46.2	38.5	38.5
決まった通勤・通学先はない	0	-	-	-

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

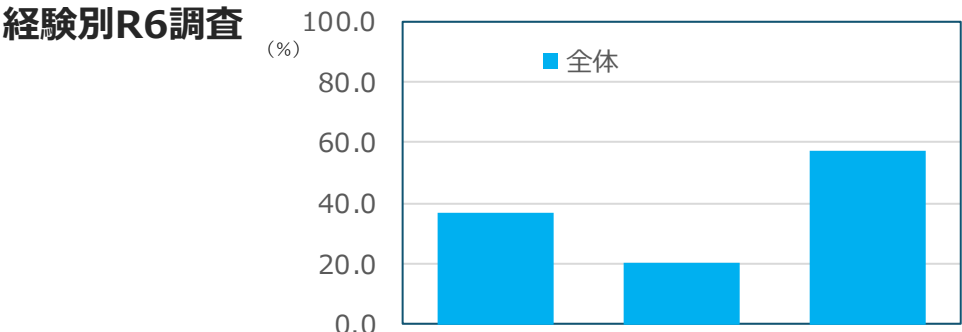
痴漢被害・目撃等経験⑦(電車内・駅構内) SC9. 電車利用頻度

- 電車利用頻度構成は、全体で「週5回程度」(40.7%)、「ほとんど毎日」(18.0%)、「週3～4回程度」(16.9%)の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験、目撃・居合わせ経験ありで、ともに電車利用頻度が高いほど微増する傾向。

n数はSC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ



	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7,110	28.6	12.1	66.8
月に1回未満	330	29.7	8.5	67.3
月に1～2回程度	595	29.9	10.6	66.7
週に1～2回程度	1,054	29.0	11.8	65.5
週に3～4回程度	1,247	30.4	12.0	65.3
週に5回程度 (平日は毎日など)	2,753	27.0	12.4	68.4
ほとんど毎日	1,131	29.2	13.6	65.8



	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	6,202	36.5	20.0	57.5
月に1回未満	234	35.9	15.8	60.7
月に1～2回程度	495	34.5	14.9	60.0
週に1～2回程度	780	33.7	16.0	60.6
週に3～4回程度	1,051	37.1	19.8	56.8
週に5回程度 (平日は毎日など)	2,527	35.1	20.4	58.5
ほとんど毎日	1,115	42.2	25.2	52.2

SC9. あなたは普段、どれくらいの頻度で電車に乗っていますか。

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

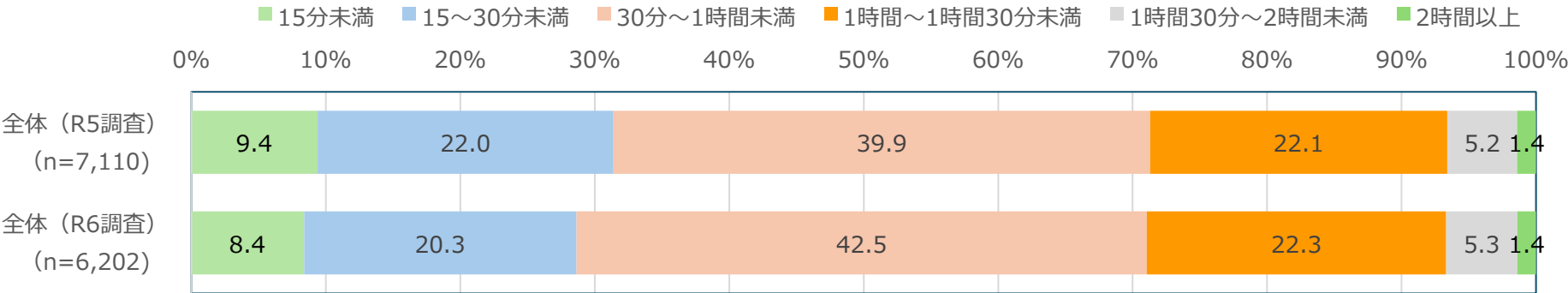
痴漢被害・目撃等経験⑧(電車内・駅構内) SC10. 電車の1回の利用時間

- 電車利用時間は、全体で「30分～1時間未満」(42.5%)、「1時間～1時間30分未満」(22.3%)、「15～30分未満」(20.3%)の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験ありは、多くの区分で4割弱。
- 目撃・居合わせ経験ありは、多くの区分で2割前後。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車の1回の利用時間との相関をみている点に留意。

全体

n数はSC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ



経験別R5調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7,110	28.6	12.1	66.8
15分未満	669	29.1	9.1	68.0
15～30分未満	1,561	28.8	12.3	65.8
30分～1時間未満	2,839	28.8	11.6	66.7
1時間～1時間30分未満	1,569	28.7	13.1	66.7
1時間30分～2時間未満	370	25.9	15.4	69.2
2時間以上	102	24.5	14.7	69.6

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	6,202	36.5	20.0	57.5
15分未満	518	32.2	16.0	61.2
15～30分未満	1,258	38.0	17.9	56.8
30分～1時間未満	2,633	37.8	20.0	56.3
1時間～1時間30分未満	1,380	35.4	23.0	58.3
1時間30分～2時間未満	329	34.3	21.3	59.0
2時間以上	84	28.6	21.4	66.7

※全体比+10pt以上(= ■), +5pt以上(= ■), -5pt以下(= ■), -10pt以下(= ■)

SC10. 電車の1回の移動（片道，乗り換えも含みます）は、どのくらいの時間がかかりますか。

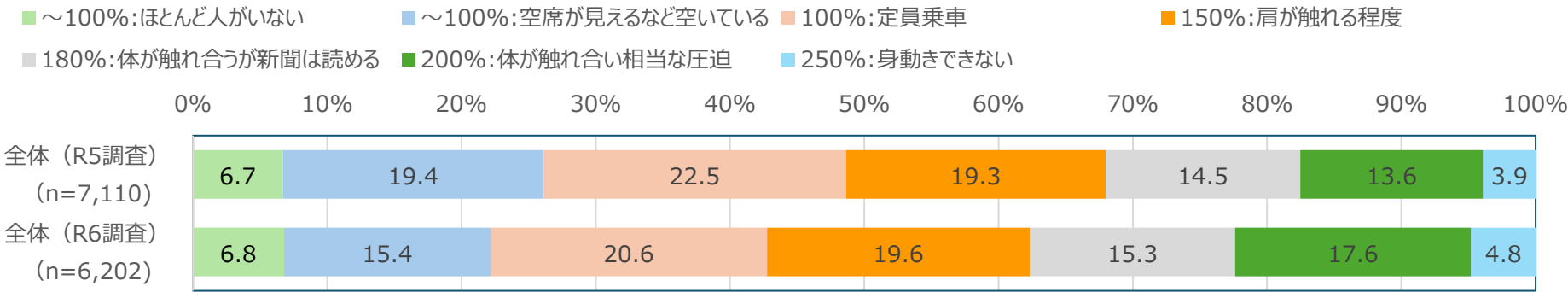
痴漢被害・目撃等経験⑨(電車内・駅構内) SC11. 利用電車の混雑度

- 混雑度は、全体で「100%」(20.6%)、「～150%」(19.6%)、「200%」(17.6%)の順で多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験あり、目撃・居合わせ経験ありともに、混雑度が高いほど増加している。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の利用電車の混雑度との相関をみている点に留意。

全体

n数はSC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ



経験別R5調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7,110	28.6	12.1	66.8
～100%:ほとんど人がいない	477	21.0	6.1	76.9
～100%:空席が見えるなど空いている	1,380	25.7	9.3	70.9
100%:定員乗車	1,601	25.9	11.3	69.3
150%:肩が触れる程度	1,373	29.1	13.7	65.3
180%:体が触れ合うが新聞は読める	1,034	30.0	13.2	64.5
200%:体が触れ合い相当な圧迫	969	36.0	16.5	58.8
250%:身動きできない	276	38.8	13.8	58.3

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	6,202	36.5	20.0	57.5
～100%:ほとんど人がいない	420	33.1	10.0	64.8
～100%:空席が見えるなど空いている	954	28.2	14.2	65.7
100%:定員乗車	1,277	29.0	15.3	65.8
150%:肩が触れる程度	1,213	35.3	20.3	58.5
180%:体が触れ合うが新聞は読める	946	41.1	23.0	52.1
200%:体が触れ合い相当な圧迫	1,094	47.9	29.7	44.9
250%:身動きできない	298	49.3	26.5	46.0

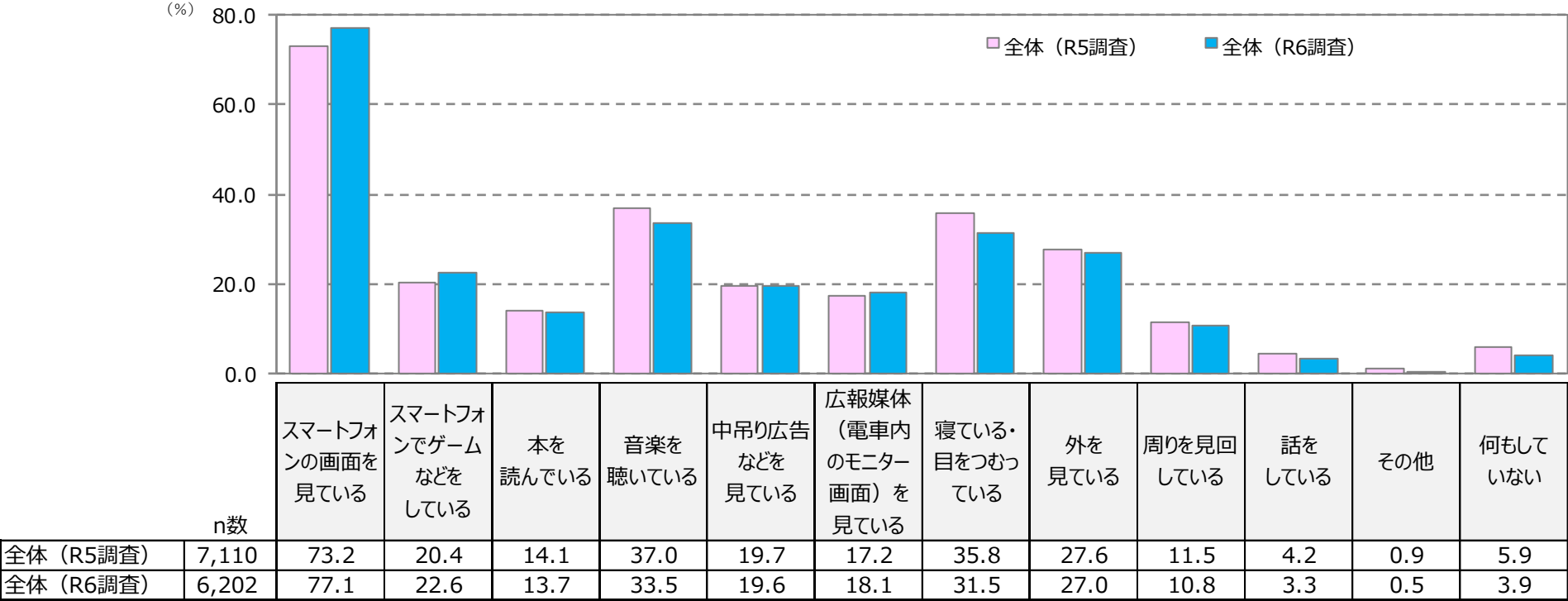
※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC11. あなたが普段乗っている電車の混雑度（最も混雑している区間）についてお答えください。

痴漢被害・目撃等経験⑩(電車内・駅構内) SC12. 電車乗車中の行動 (MA): 全体

- 普段、電車乗車中にしていることは、全体で「スマートフォンの画面を見ている」(77.1%)、「音楽を聴いている」(33.5%)、「寝ている・目をつむっている」(31.5%)、「外を見ている」(27.0%)の順が多い。

n数はSC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ



SC12. あなたは普段、電車に乗車しているときに、どのようなことをしていますか。(いくつでも)

痴漢被害・目撃等経験⑪(電車内・駅構内) SC12. 電車乗車中の行動(MA):経験別

- 被害・目撃等経験別では、「話をしている」(44.0%)、「音楽を聴いている」(43.1%)、「広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている」(41.8%)、「中吊り広告などを見ている」/「周りを見回している」(ともに41.2%)などで痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「周りを見回している」(27.3%)、「本を読んでいる」(25.7%)、「スマートフォンでゲームなどを行っている」/「中吊り広告などを見ている」(ともに25.2%)などで、目撃・居合わせ経験のある回答者の割合が高い。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車乗車中の行動との相関をみている点に留意。

n数はSC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

経験別R5調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体	7,110	28.6	12.1	66.8
スマートフォンの画面を見ている	5,204	29.8	12.2	65.4
スマートフォンでゲームなどをしている	1,448	33.1	15.7	61.7
本を読んでいる	1,002	32.7	16.3	60.4
音楽を聴いている	2,628	32.9	13.5	62.3
中吊り広告などを見ている	1,398	37.0	16.8	56.5
広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている	1,222	38.5	15.1	55.9
寝ている・目をつむっている	2,546	32.9	13.1	61.8
外を見ている	1,963	35.5	13.8	59.3
周りを見回している	818	36.9	18.8	55.9
話をしている	298	38.9	15.4	56.0
その他	63	19.0	4.8	79.4
何もしてない	421	17.1	6.2	81.5

経験別R6調査(%)

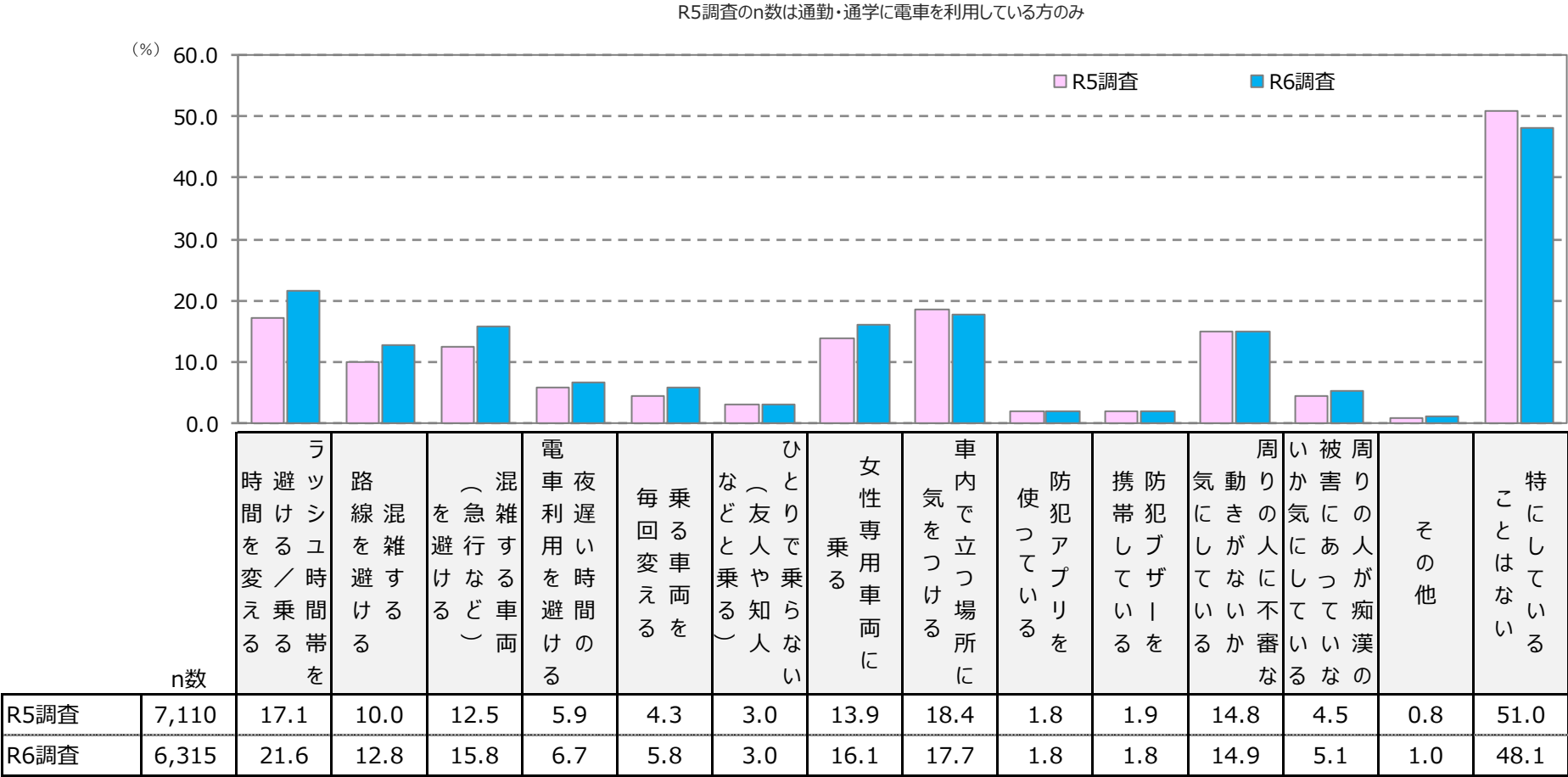
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体	6,202	36.5	20.0	57.5
スマートフォンの画面を見ている	4,784	37.0	19.9	57.0
スマートフォンでゲームなどをしている	1,399	39.9	25.2	52.8
本を読んでいる	852	38.8	25.7	54.0
音楽を聴いている	2,075	43.1	23.2	51.0
中吊り広告などを見ている	1,213	41.2	25.2	51.1
広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている	1,125	41.8	24.1	51.0
寝ている・目をつむっている	1,955	39.6	20.7	54.1
外を見ている	1,677	39.9	22.9	53.5
周りを見回している	670	41.2	27.3	51.9
話をしている	207	44.0	24.6	52.2
その他	34	29.4	5.9	67.6
何もしてない	239	24.3	11.3	71.5

※全体比+10pt以上(= ■), +5pt以上(= ■), -5pt以下(= ■), -10pt以下(= ■)

SC12. あなたは普段、電車に乗車しているときに、どのようなことをしていますか。(いくつでも)

関連行動①(電車内・駅構内) SC18. 電車内で痴漢被害を避けるための行動(MA):全体

■ 電車内で痴漢被害を避けるための行動は、全体で「特にしていることはない」(48.1%)、「ラッシュ時間帯を避ける/乗る時間を変える」(21.6%)、「車内で立つ場所に気をつける」(17.7%)、「女性専用車両に乗る」(16.1%)の順が多い。



SC18. 現在、あなたは、電車内で痴漢の被害にあわないために、次のようなことをしていますか。(いくつでも)

関連行動②(電車内・駅構内) SC18. 電車内で痴漢被害を避けるための行動(MA):経験別

- 被害・目撃等経験別では、「乗る車両を毎回変える」(64.9%)、「女性専用車両に乗る」(62.8%)、「周りの人に不審な動きがないか気にしている」(60.9%)などで、痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「防犯ブザーを携帯している」(52.3%)、「防犯アプリを使っている」(47.4%)などで、目撃・居合わせ経験のある回答者の割合が高い。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車内で痴漢被害を避けるための行動との相関をみている点に留意。 R5調査のn数は通勤・通学に電車を利用している方のみ

経験別R5調査(%)

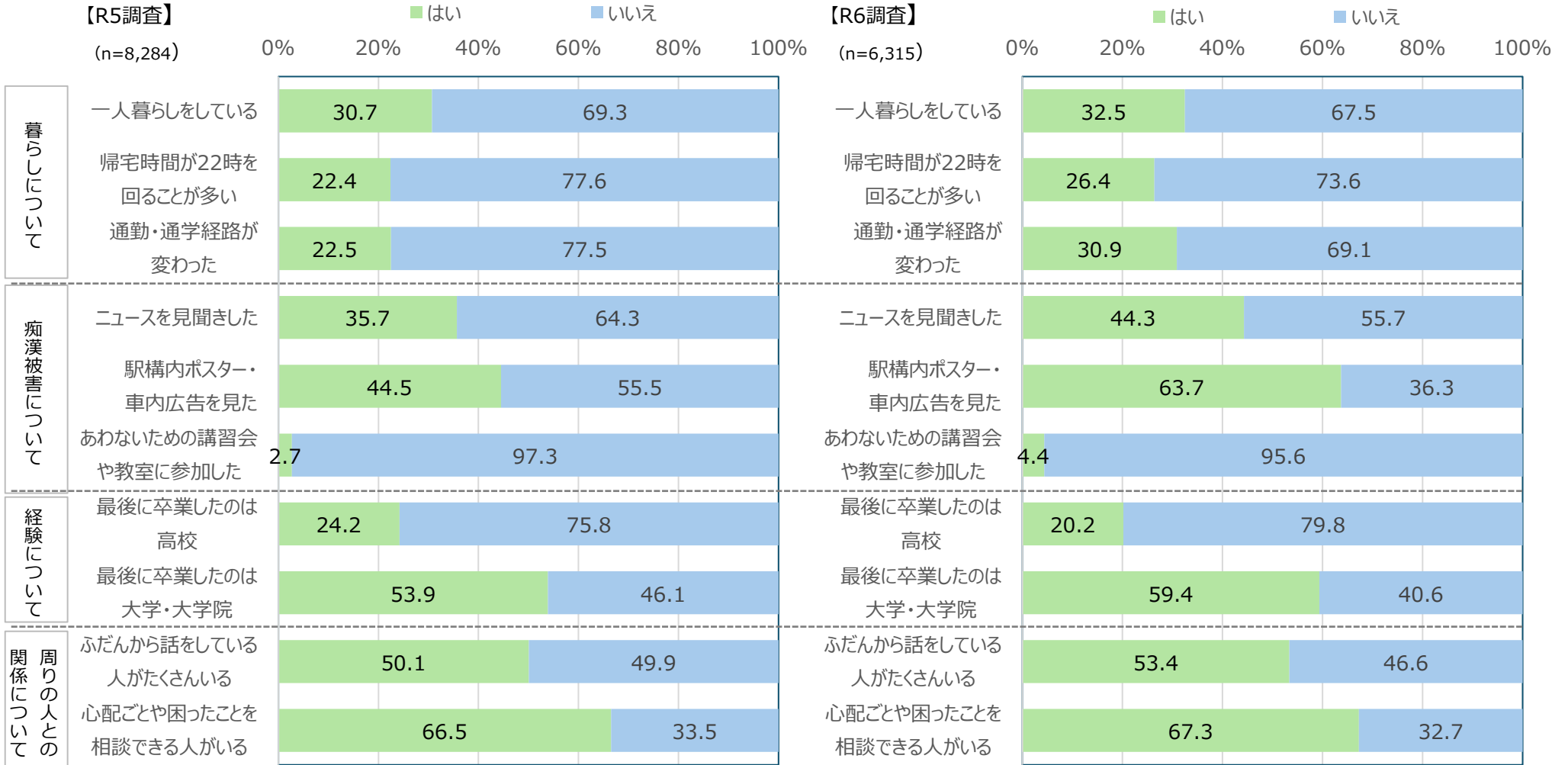
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体	7,110	28.6	12.1	66.8
ラッシュ時間帯を避ける ／乗る時間を変える	1,219	40.6	19.5	53.8
混雑する路線を避ける	714	40.3	20.0	53.9
混雑する車両（急行など） を避ける	888	48.2	23.1	45.5
夜遅い時間の電車利用を 避ける	419	46.3	24.1	48.9
乗る車両を毎回変える	306	54.6	33.7	38.9
ひとりで乗らない （友人や知人	216	46.8	30.1	49.1
女性専用車両に乗る	986	56.6	19.8	40.6
車内で立つ場所に気をつける	1,311	45.0	19.6	48.6
防犯アプリを使っている	126	57.9	49.2	34.9
防犯ブザーを携帯している	135	54.8	37.8	42.2
周りの人に不審な動きがないか 気にしている	1,051	48.6	21.0	45.2
周りの人が痴漢の被害にあっ ていないか気にしている	318	44.0	30.5	45.6
その他	58	44.0	17.2	48.3
特にしていることはない	3,627	15.3	5.8	81.0

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体	6,315	36.2	19.7	57.9
ラッシュ時間帯を避ける ／乗る時間を変える	1,366	50.4	34.0	42.2
混雑する路線を避ける	810	48.3	36.5	42.1
混雑する車両（急行など） を避ける	999	52.7	32.1	40.7
夜遅い時間の電車利用を 避ける	420	55.7	31.7	38.8
乗る車両を毎回変える	368	64.9	43.8	28.3
ひとりで乗らない （友人や知人	191	58.6	45.5	32.5
女性専用車両に乗る	1,017	62.8	26.0	34.4
車内で立つ場所に気をつける	1,116	56.6	28.0	37.1
防犯アプリを使っている	114	55.3	47.4	36.0
防犯ブザーを携帯している	111	55.0	52.3	33.3
周りの人に不審な動きがないか 気にしている	941	60.9	30.1	33.0
周りの人が痴漢の被害にあっ ていないか気にしている	319	54.2	42.3	34.5
その他	73	49.3	21.9	42.5
特にしていることはない	2,845	17.5	8.4	77.6

関連行動③(電車内・駅構内) SC19. 関連する行動等:全体

■ 関連する行動等で「はい」との回答が多いのは、全体で「心配事や困ったことを相談できる人がいる」(67.3%)、「駅構内ポスター・車内広告を見た」(63.7%)、「最後に卒業したのは大学・大学院」(59.4%)の順。



SC19. 次の質問に、「はい」か「いいえ」でお答えください。

関連行動④(電車内・駅構内) SC19. 関連する行動等:経験別

- 被害・目撃等経験別では、「痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した」(68.3%)、「帰宅時間が22時を回ることが多い」(49.3%)、「転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった」(46.4%)、「痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした」(43.7%)などで、痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した」(65.5%)、「帰宅時間が22時を回ることが多い」(33.0%)、「痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした」(30.0%)、「転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった」(27.3%)などで、目撃・居合わせ経験のある回答者の割合が高い。

※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の関連する行動等との相関をみている点に留意。

経験別R5調査(%)「はい」回答の割合

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体				
現在、一人暮らしをしている	2,540	26.3	12.6	69.8
帰宅時間が22時を回ることが多い	1,855	33.3	17.1	61.9
転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった	1,861	31.6	15.6	63.1
痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした	2,954	34.6	19.2	58.9
痴漢撲滅について、駅構内ポスター・車内広告を見た	3,687	34.0	17.7	59.3
痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した	220	48.6	41.8	45.9
最後に卒業したのは高校である	2,005	26.7	9.2	70.1
最後に卒業したのは大学・大学院である	4,466	28.1	13.2	66.6
ふだんから話をしている人がたくさんいる	4,154	31.2	13.8	64.0
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	5,509	31.0	12.4	64.6

経験別R6調査(%)「はい」回答の割合

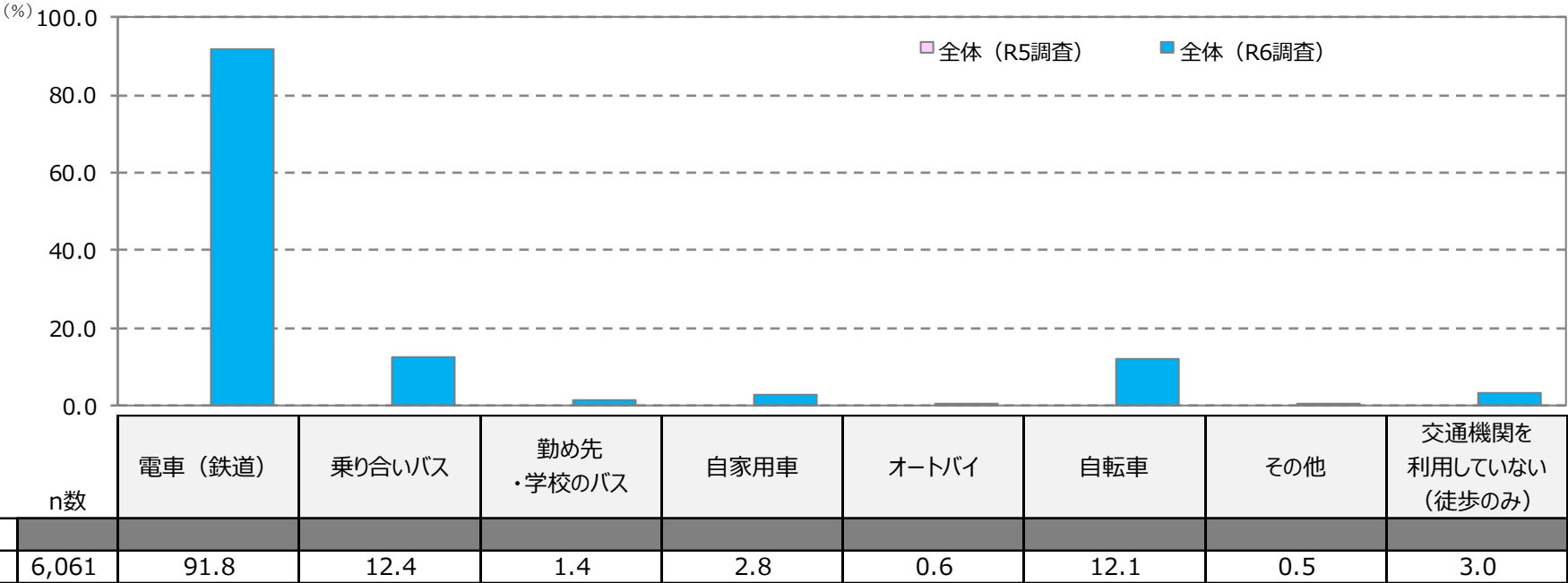
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体				
現在、一人暮らしをしている	2,054	40.0	24.1	54.7
帰宅時間が22時を回ることが多い	1,666	49.3	33.0	44.7
転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった	1,951	46.4	27.3	47.8
痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした	2,795	43.7	30.0	48.3
痴漢撲滅について、駅構内ポスター・車内広告を見た	4,022	40.5	24.5	52.2
痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した	281	68.3	65.5	20.6
最後に卒業したのは高校である	1,274	37.4	19.9	57.1
最後に卒業したのは大学・大学院である	3,748	37.5	21.5	56.5
ふだんから話をしている人がたくさんいる	3,373	43.0	23.9	50.8
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	4,250	40.9	21.6	53.3

R5調査の全体データなし
SC19. 次の質問に、「はい」か「いいえ」でお答えください。

利用交通機関① SC5-1. 利用交通機関：通勤・通学 (MA)

■ 通勤・通学での利用交通機関は、全体で「電車(鉄道)」(91.8%)、「乗り合いバス」(12.4%)、「自転車」(12.1%)の順が多い。

n数はSC4で「通勤・通学先」で「6決まった通勤・通学先はない」と回答した方以外のみ

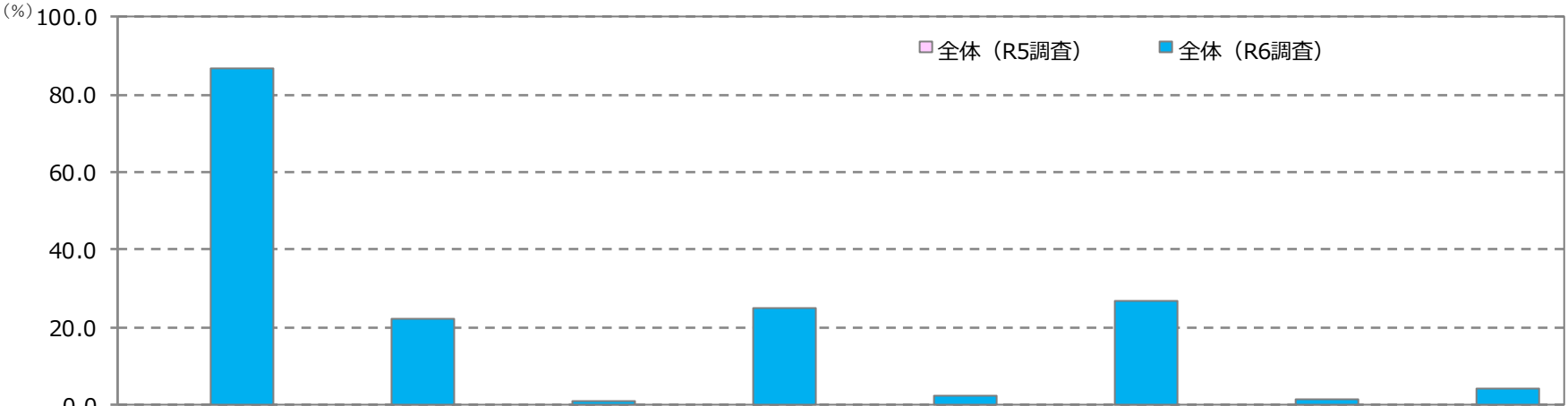


R5調査の全体データなし

SC5. あなたは、次の場面で以下の交通機関を使っていますか。(通勤・通学)

利用交通機関② SC5-2. 利用交通機関：通勤・通学以外 (MA)

■ 通勤・通学以外での利用交通機関は、全体で「電車(鉄道)」「自転車」「自家用車」「乗り合いバス」(22.3%)の順が多い。



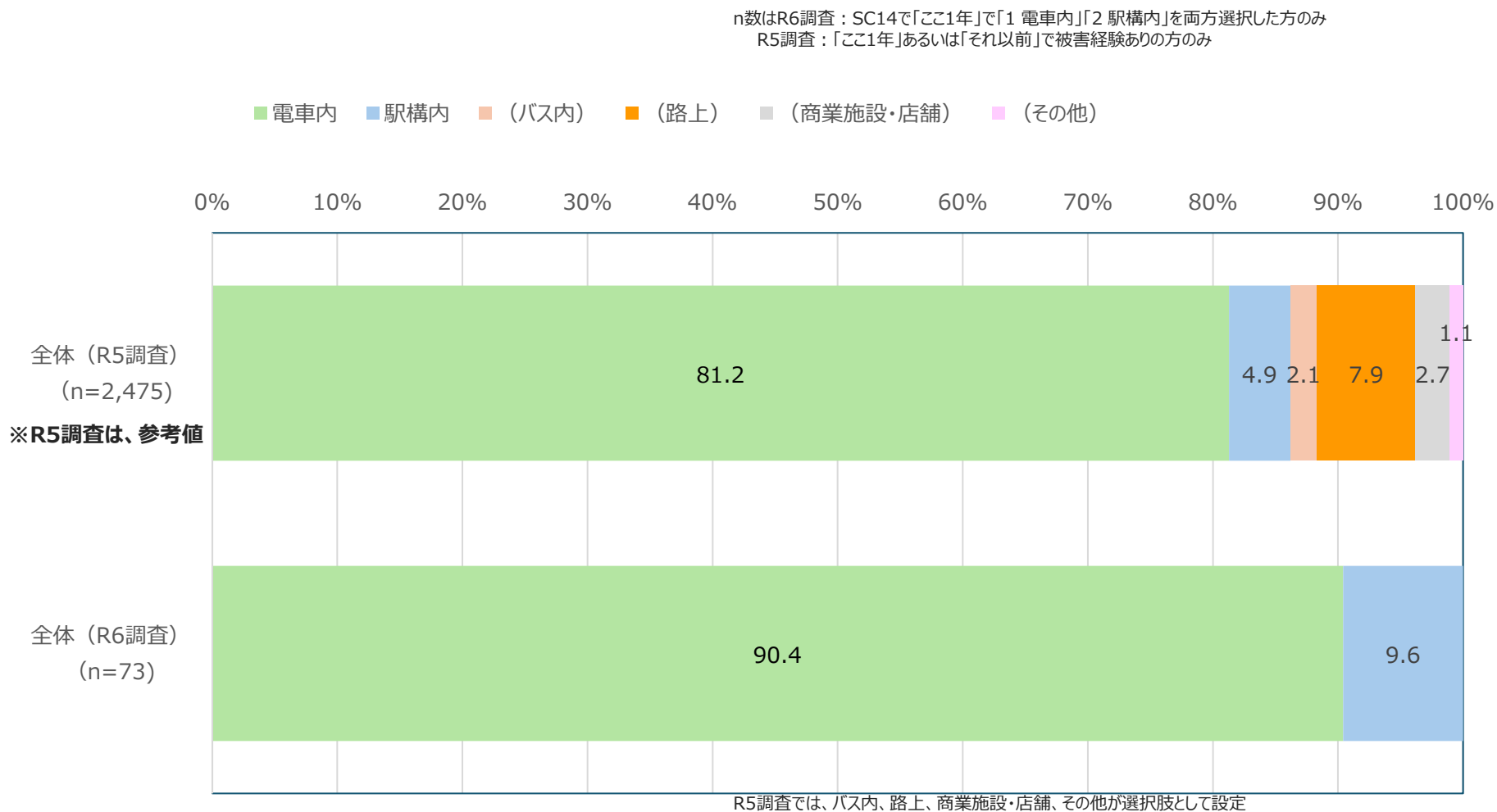
		電車（鉄道）	乗り合いバス	勤め先 ・学校のバス	自家用車	オートバイ	自転車	その他	交通機関を 利用していない （徒歩のみ）
n数									
全体（R5調査）									
全体（R6調査）	6,315	86.8	22.3	0.7	24.7	2.4	26.5	1.3	3.9

R5調査の全体データなし

SC5. あなたは、次の場面で以下の交通機関を使っていますか。(通勤・通学以外)

痴漢被害場所 SC15. 痴漢被害にあった直近の場所

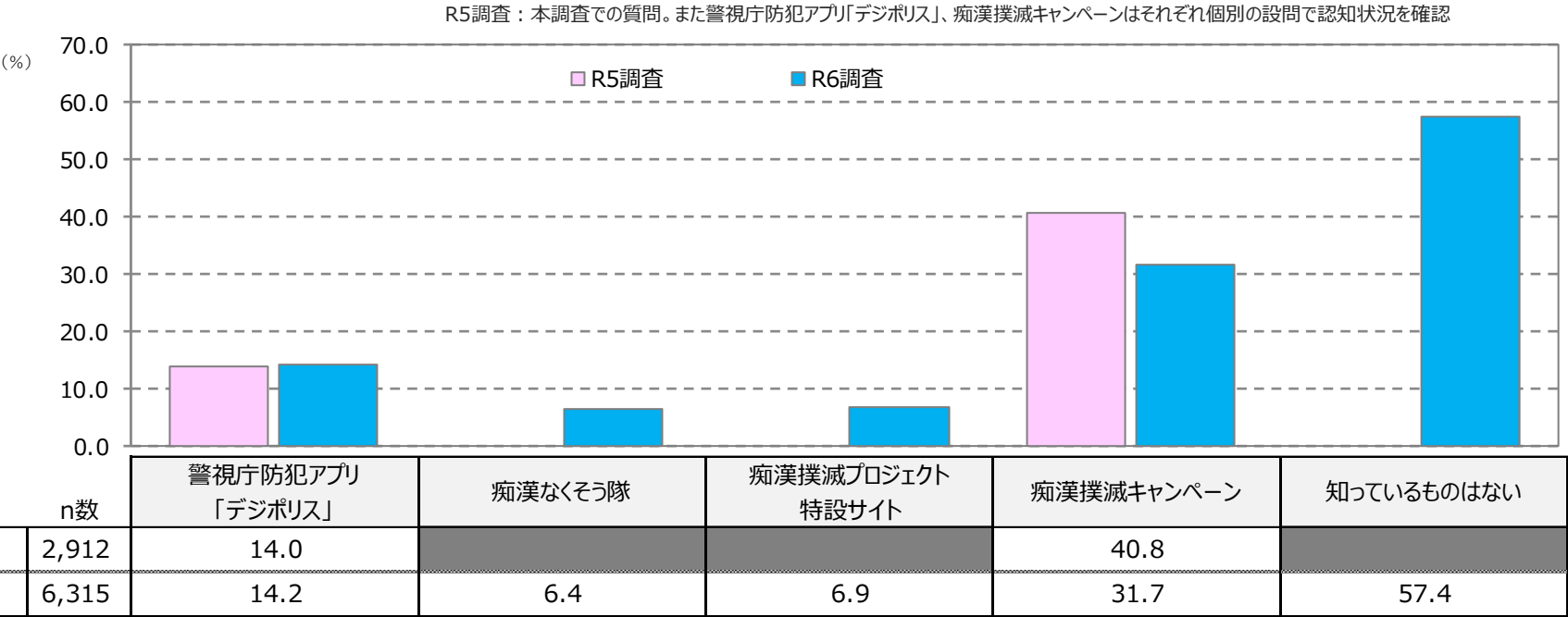
■ ここ1年で「電車内」「駅構内」両方で痴漢被害にあった方の直近の被害場所は、「電車内」が90.4%を占めている。



SC15. 前問で「電車内」「駅構内」両方を選択した方にお伺いします。痴漢被害にあった「直近の場所」をお答えください。

痴漢に関する事業① SC20. 東京都実施の痴漢に関する事業認知状況(MA)

- 東京都実施の痴漢撲滅のために実施している事業の認知状況は、全体で「知っているものはない」(57.4%)、「痴漢撲滅キャンペーン」(31.7%)、「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」(14.2%)の順が多い。

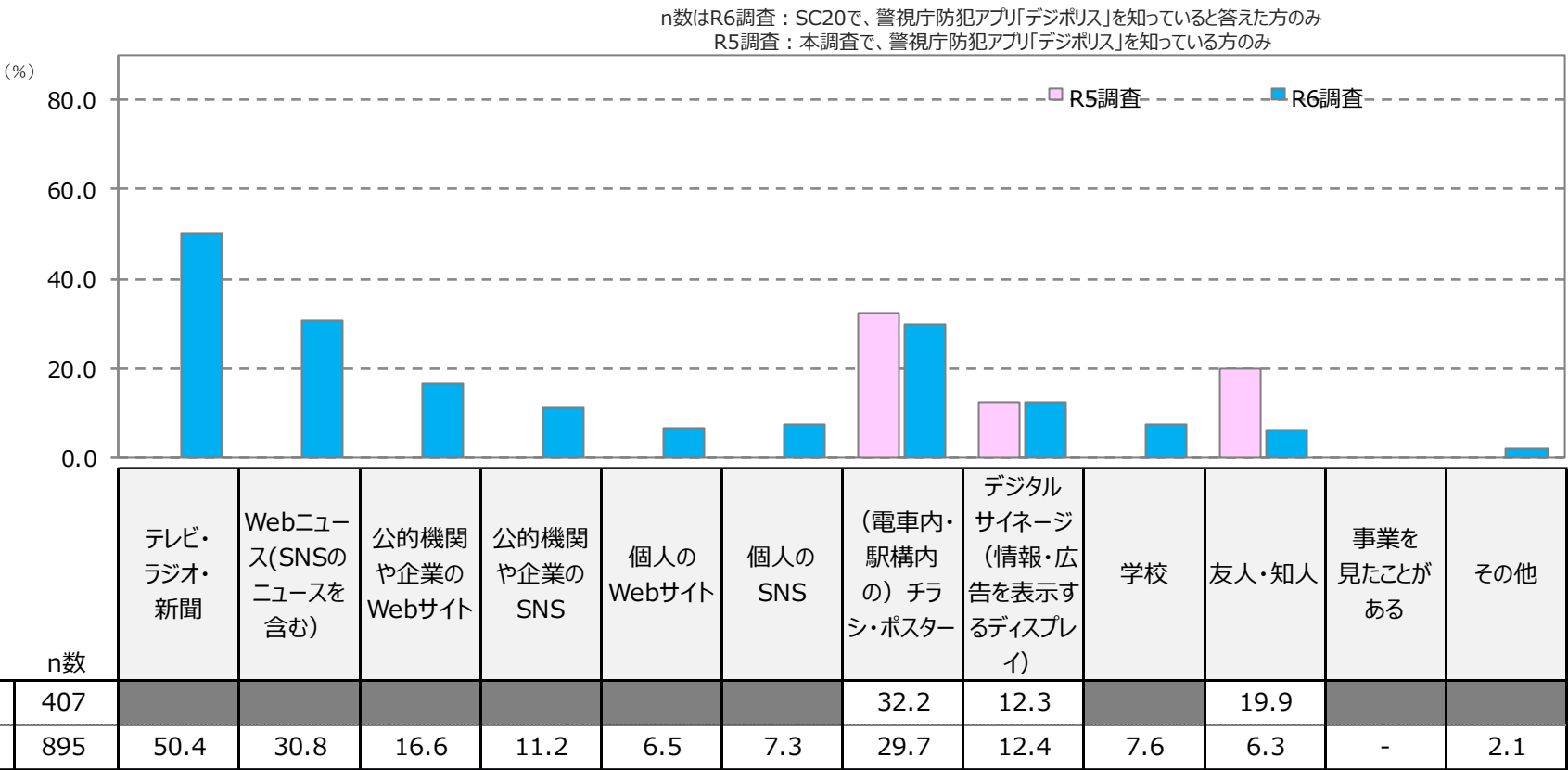


※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）

SC20. 東京都が痴漢をなくすために実施している以下の事業のうち、あなたが知っているものをすべて選んでください。

痴漢に関する事業② SC20S-1. 事業認知方法：警視庁防犯アプリ「デジポリス」(MA)

■ 警視庁防犯アプリ「デジポリス」の認知ルートは、全体で「テレビ・ラジオ・新聞」(50.4%)、「Webニュース(SNSのニュースを含む)」(30.8%)、「(電車内・駅構内の)チラシ・ポスター」(29.7%)の順が多い。



※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）

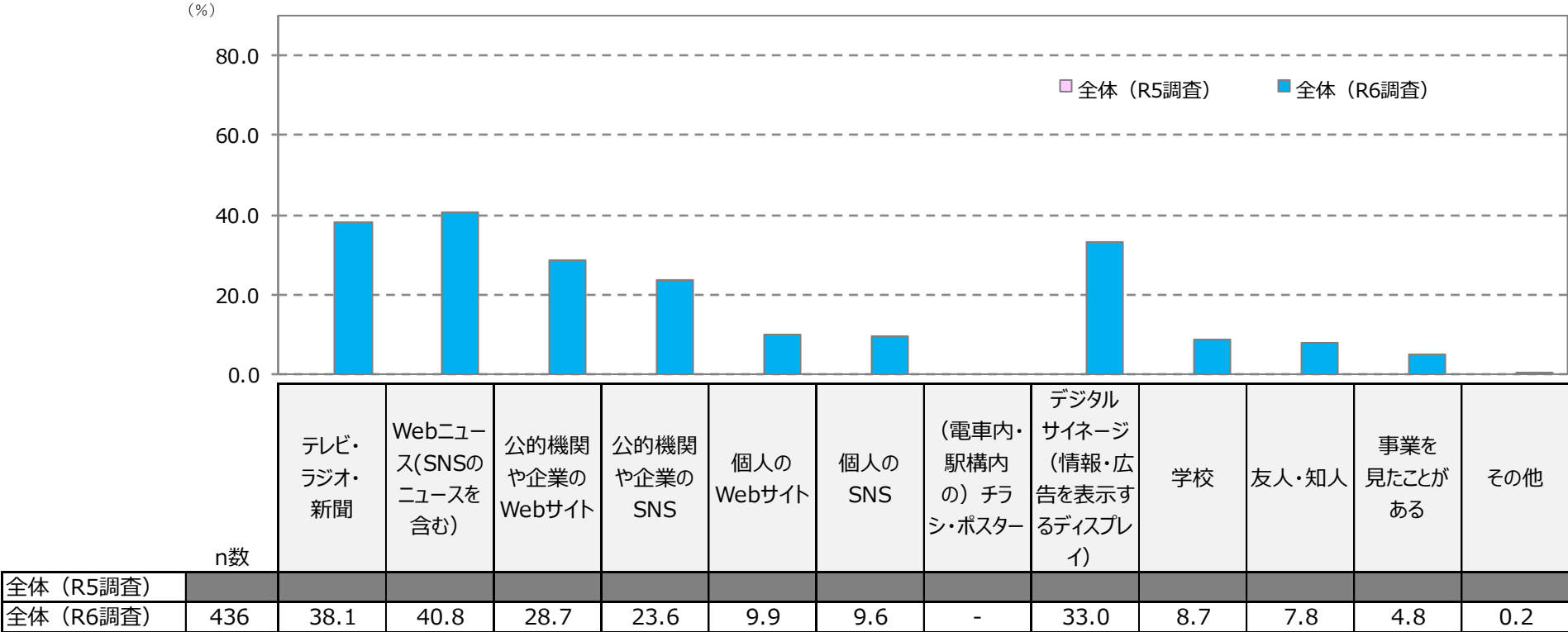
R5調査：選択肢は「SNS」「ホームページ」「チラシ・ポスター」「友人・知人」「デジタルサイネージ」

SC20S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。（警視庁防犯アプリ「デジポリス」）

痴漢に関する事業③ SC20S-2. 事業認知方法：痴漢撲滅プロジェクト特設サイト (MA)

■ 「痴漢撲滅プロジェクト特設サイト」の認知ルートは、全体で「Webニュース(SNSのニュースを含む)」(40.8%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(38.1%)、「デジタルサイネージ(情報・公告を表示するディスプレイ)」(33.0%)の順が多い。

n数はSC20で「痴漢撲滅プロジェクト特設サイト」を知っていると答えた方のみ



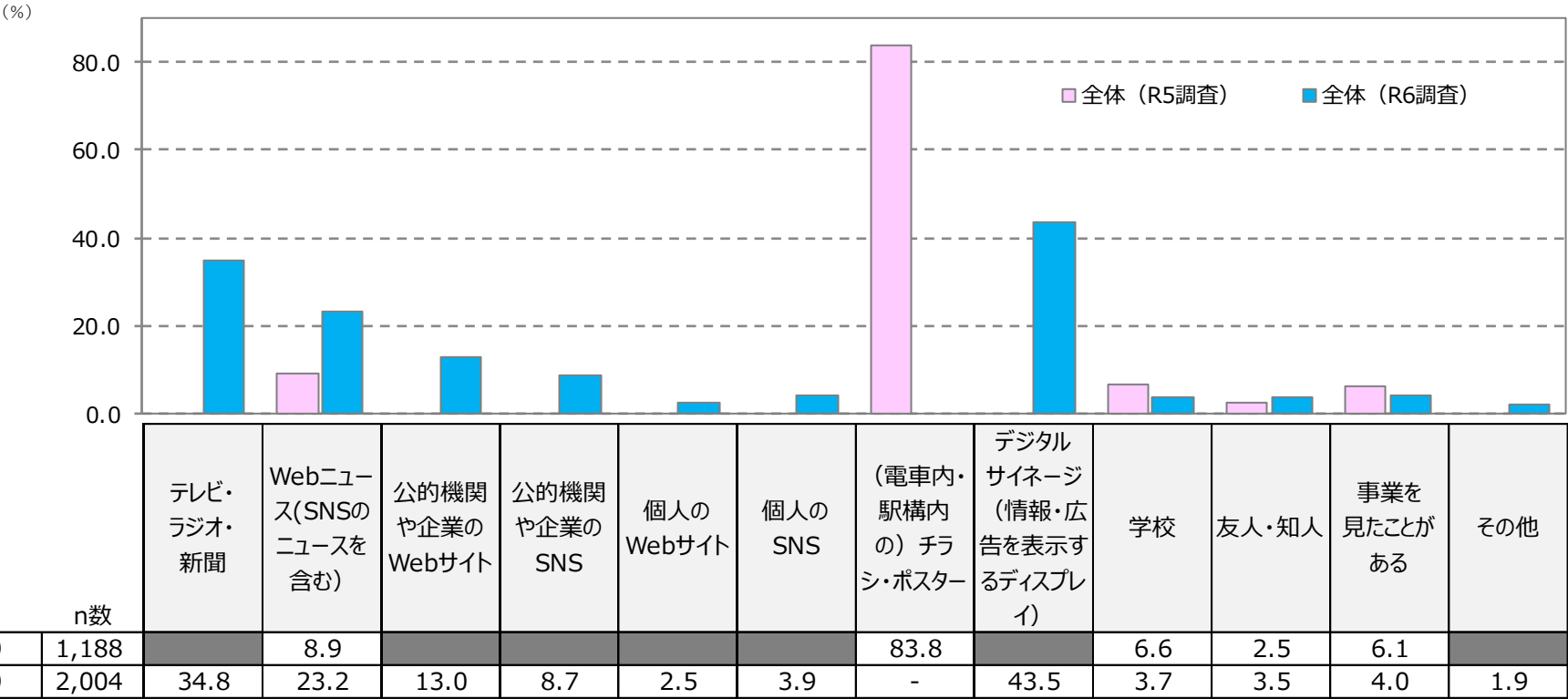
R5調査なし

SC20S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。(痴漢撲滅プロジェクト特設サイト)

痴漢に関する事業④ SC20S-3. 事業認知方法：痴漢撲滅キャンペーン (MA)

■ 「痴漢撲滅キャンペーン」の認知ルートは、全体で「デジタルサイネージ(情報・公告を表示するディスプレイ)」(43.5%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(34.8%)、「Webニュース(SNSのニュースを含む)」(23.2%)の順が多い。

n数はR6調査：SC20で「痴漢撲滅キャンペーン」を知っていると答えた方のみ
R5調査：本調査で、「痴漢撲滅キャンペーン」を知っている方のみ



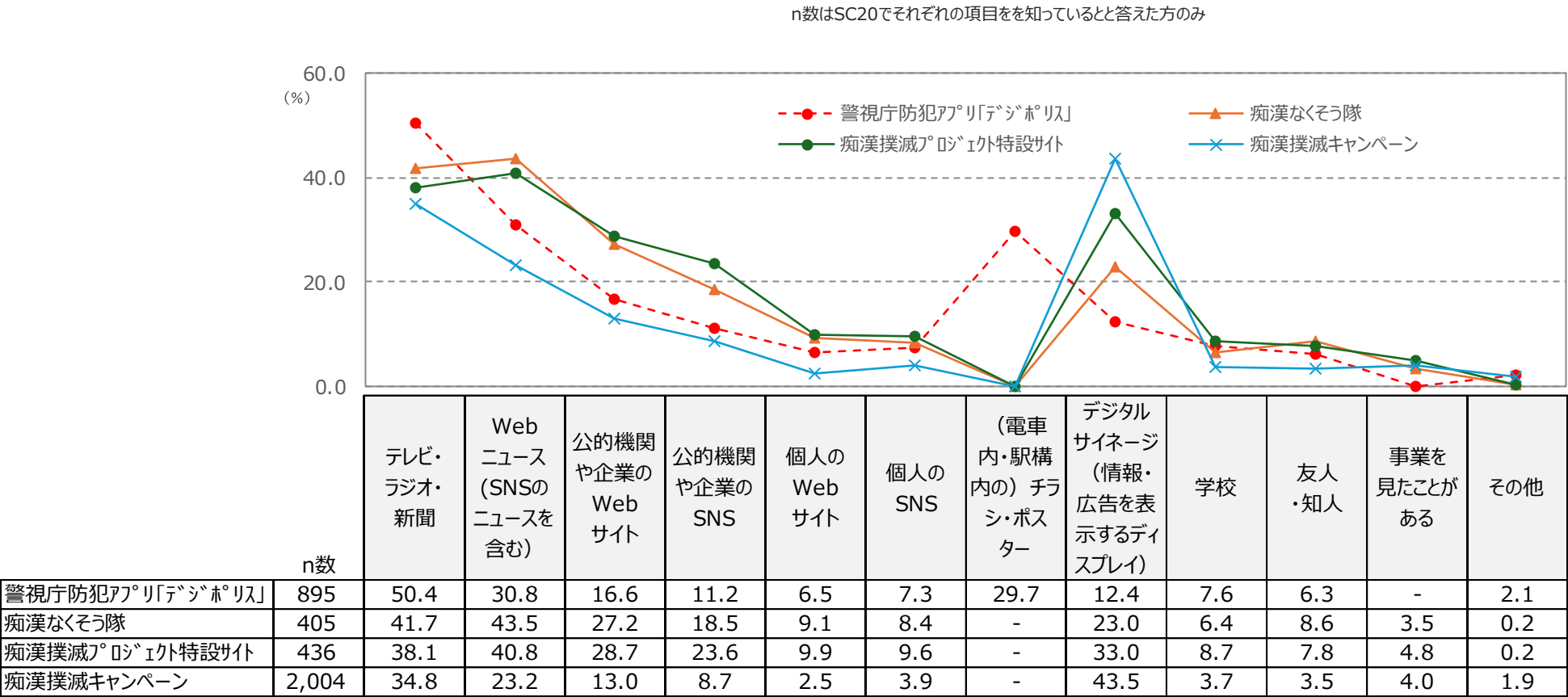
※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）

R5調査：選択肢は「駅構内/電車内のポスターなど」「学校」「ホームページ」「TV」「Webニュース」「SNS」「友人・知人」「キャンペーンを見たことがある」

SC20S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。（痴漢撲滅キャンペーン）

痴漢に関する事業⑤ SC20S. 事業認知方法比較 (MA)

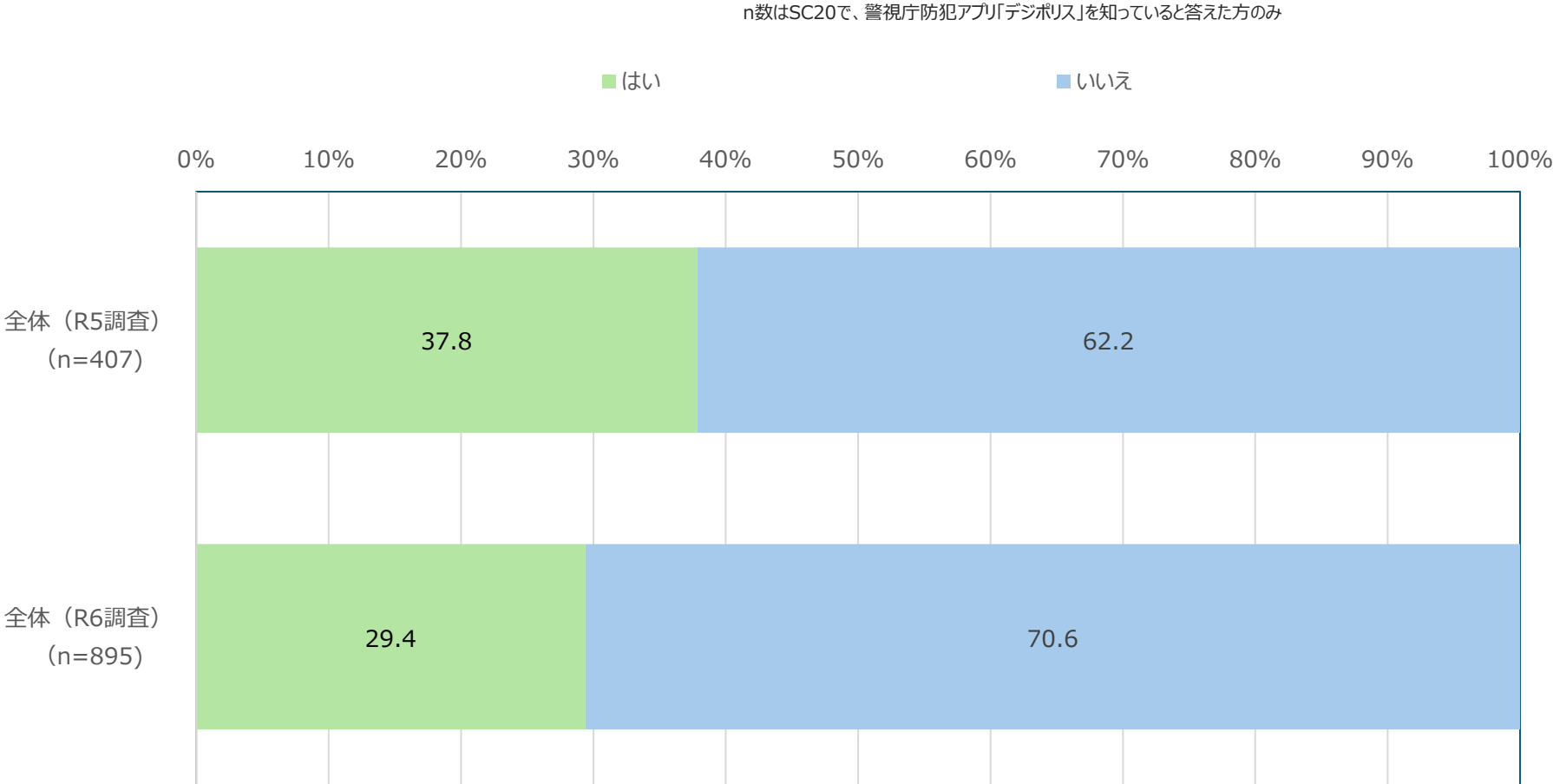
東京都実施の痴漢撲滅のために実施している事業の認知については、「テレビ・ラジオ・新聞」、「Webニュース（SNSのニュースを含む）」、「デジタルサイネージ(情報・公告を表示するディスプレイ)」などでの認知が高い。



SC20S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてをお答えください。

警視庁防犯アプリ「デジポリス」① SC21. 警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしているか

■ 「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」のダウンロード率は、全体で29.4%となっている。

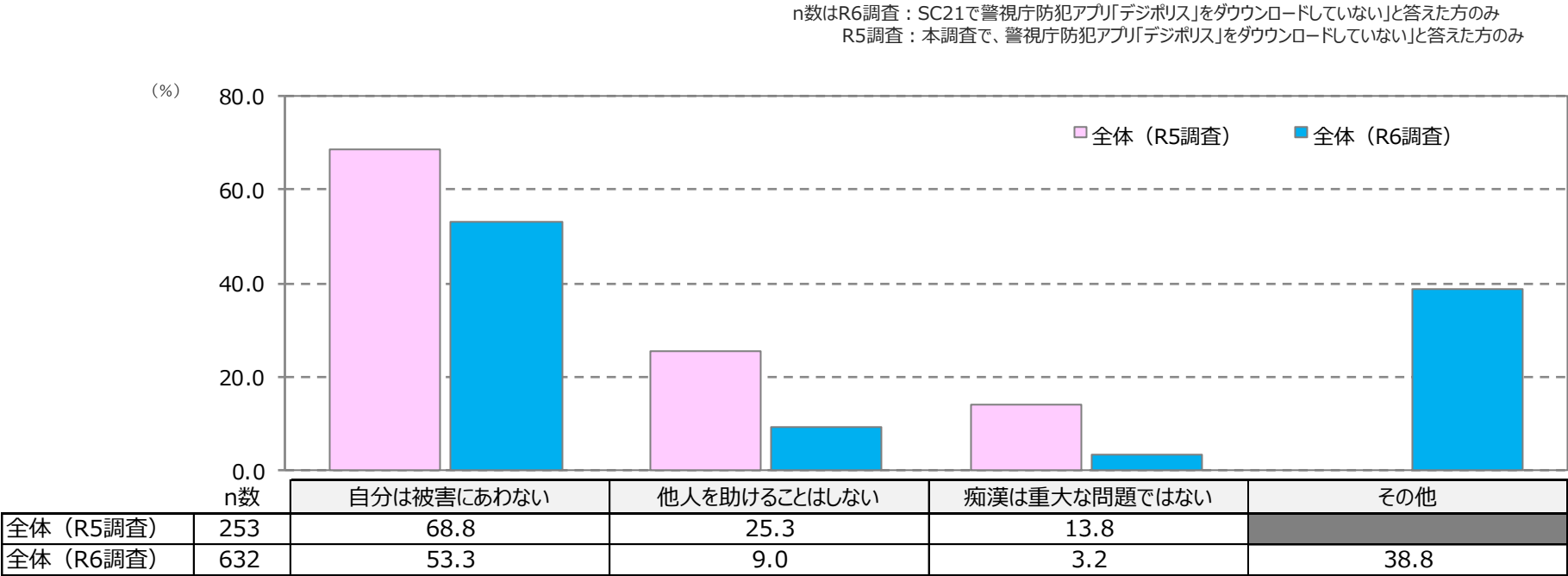


※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）

SC21. あなたは警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしていますか。

警視庁防犯アプリ「デジポリス」② SC22. 警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしていない理由 (MA)

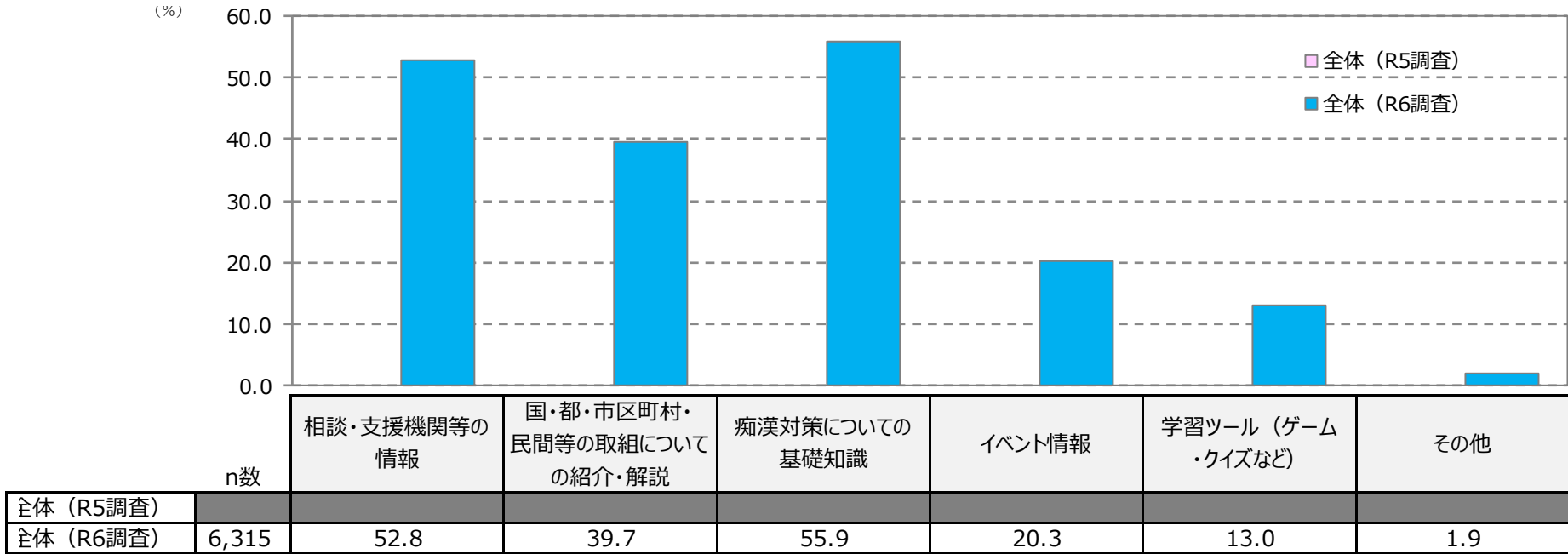
- 「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」をダウンロードしていない理由は、全体で「自分は被害にあわない」(53.3%)、「他人を助けることはしない」(9.0%)等となっている。
- 「その他」の内容では、「スマホの容量が気になる」、「ダウンロードの手間」、「効果があるのかわからない」、「電車にあまり乗らない」などといった意見が挙げられている。



※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）R5調査：「その他」は選択肢になし

痴漢撲滅プロジェクト① SC25. 痴漢撲滅プロジェクトの特設サイトに載っていることが望ましい情報 (MA)

■ 痴漢撲滅プロジェクトの特設サイトに載っていることが望ましい情報は、全体で「痴漢対策についての基礎知識」(55.9%)、「相談・支援機関の情報」(52.8%)、「国・都・市区町村・民間等の取組についての紹介・解説」(39.7%)の順で多くなっている。

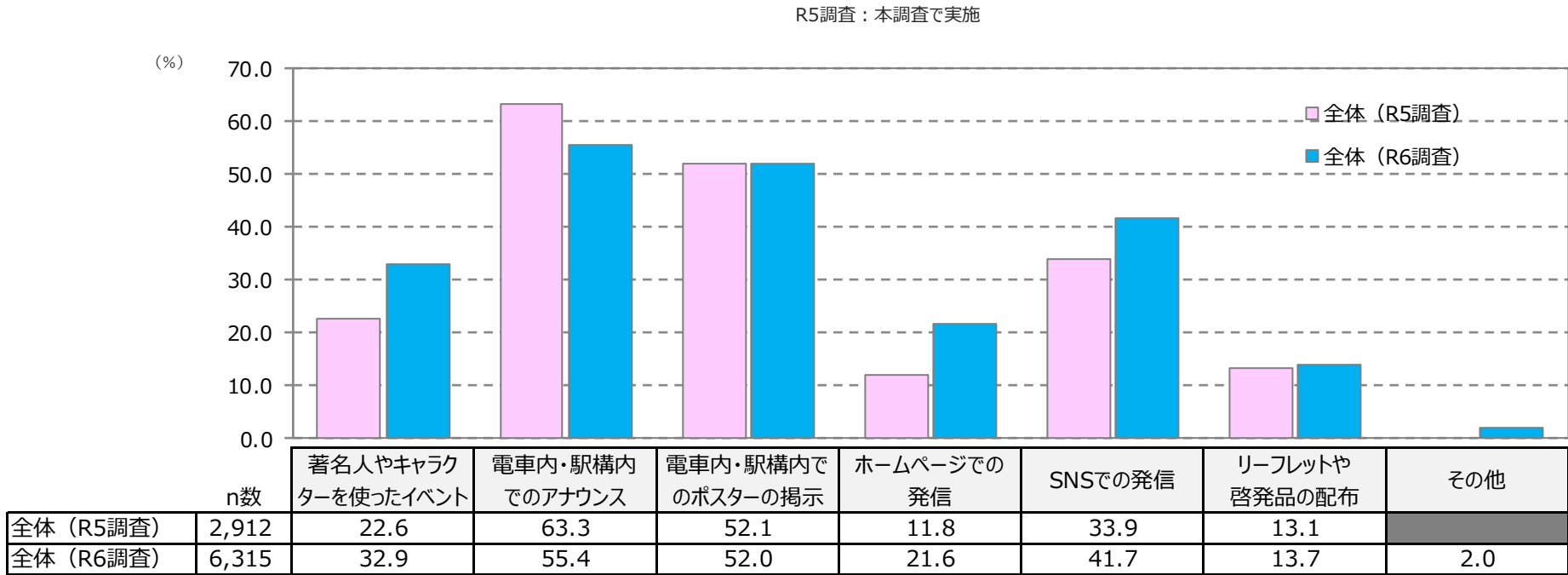


R5調査なし

SC25. 痴漢撲滅プロジェクトの特設サイトにはどのような情報が載っていることが望ましいと思いますか。（いくつでも）

痴漢撲滅プロジェクト② SC26. 痴漢撲滅キャンペーンを実施する際に効果的だと思われること (MA)

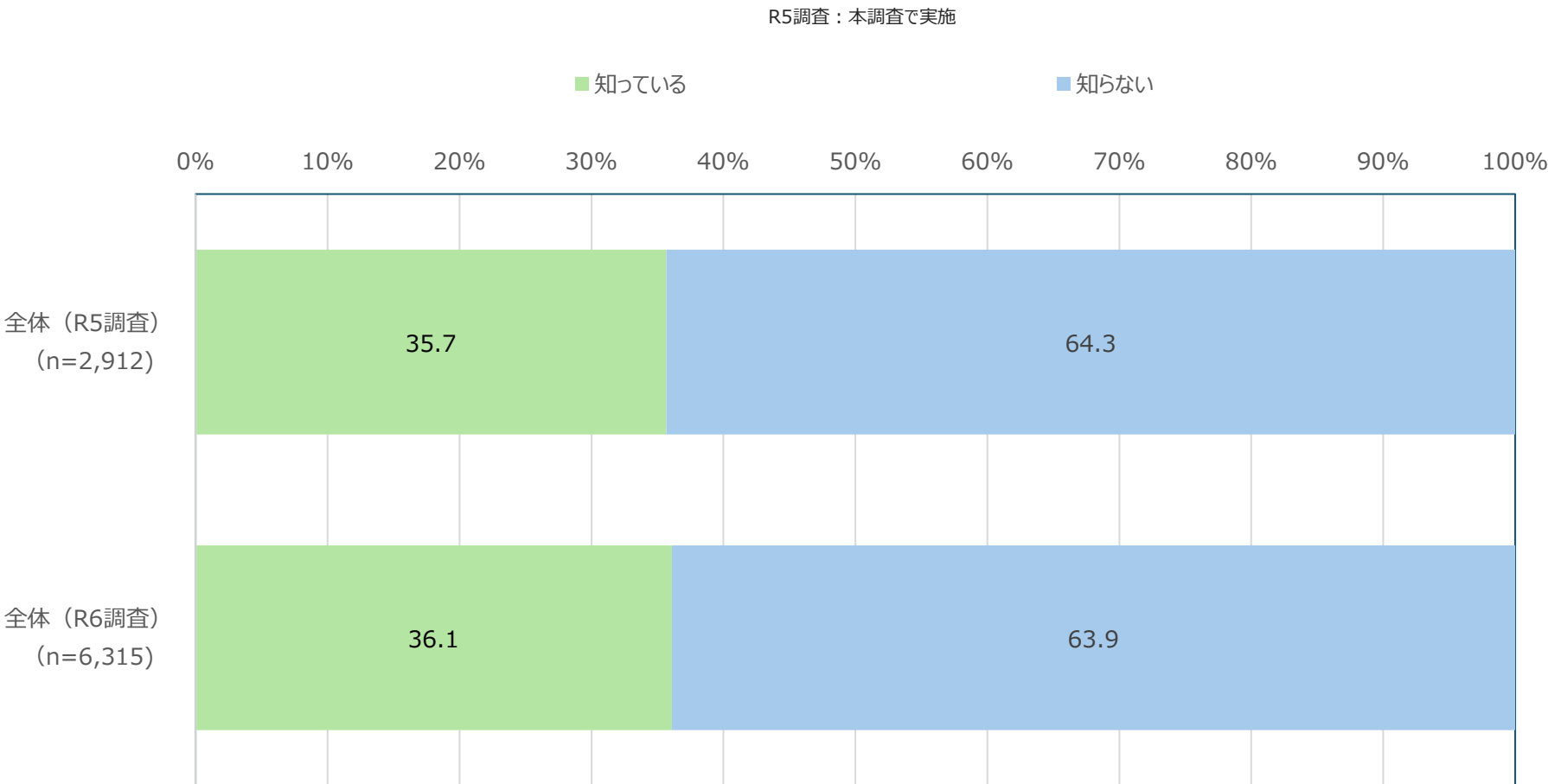
- 痴漢撲滅キャンペーンを実施する際に効果的だと思われることは、全体で「電車内・駅構内でのアナウンス」(55.4%)、「電車内・駅構内でのポスターの掲示」(52.0%)、「SNSでの発信」(41.7%)の順で多くなっている。



※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方① SC27. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方 認知度

■ 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知度は、全体で36.1%となっている。

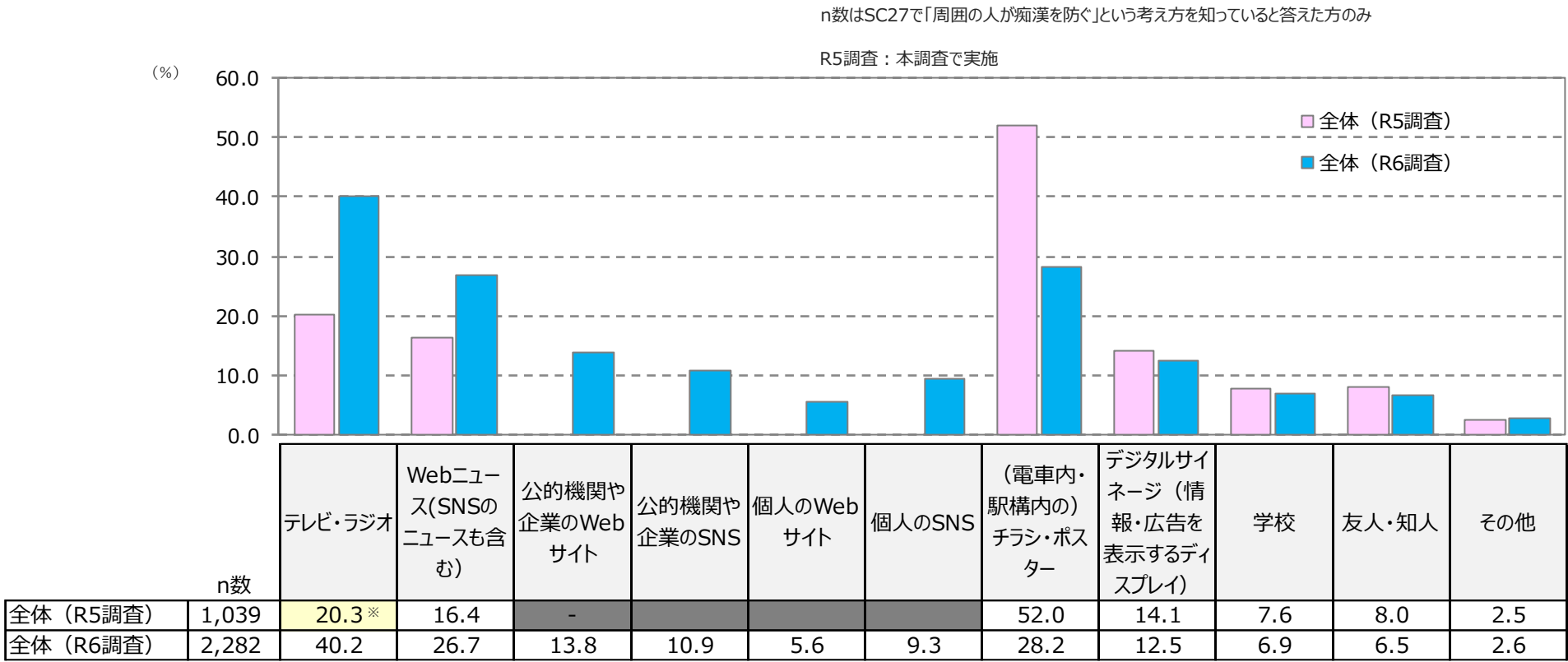


※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）

SC27. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方を知っていますか。

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方② SC27S. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知経路 (MA)

■ 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知経路は、全体で「テレビ・ラジオ」(40.2%)、「(電車内・駅構内の)チラシ・ポスター」(28.2%)、「Webニュース(SNSのニュースも含む)」(26.7%)の順で多くなっている。



※R5調査は、参考値（本調査共通設問部で聞いている）
※R6調査の「テレビ・ラジオ」はR5調査では「TV・ラジオ・新聞」

R5調査：選択肢は「電車内・駅構内のポスターなど」「デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）」
「ホームページ」「TV・ラジオ・新聞」「Webニュース」「SNS」「学校」「友人・知人・家族」「その他（FA）」

SC27S. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方をどこで知ったのかについてお答えください。（いくつでも）

Ⅲ 被害者調査（電車内・駅構内）

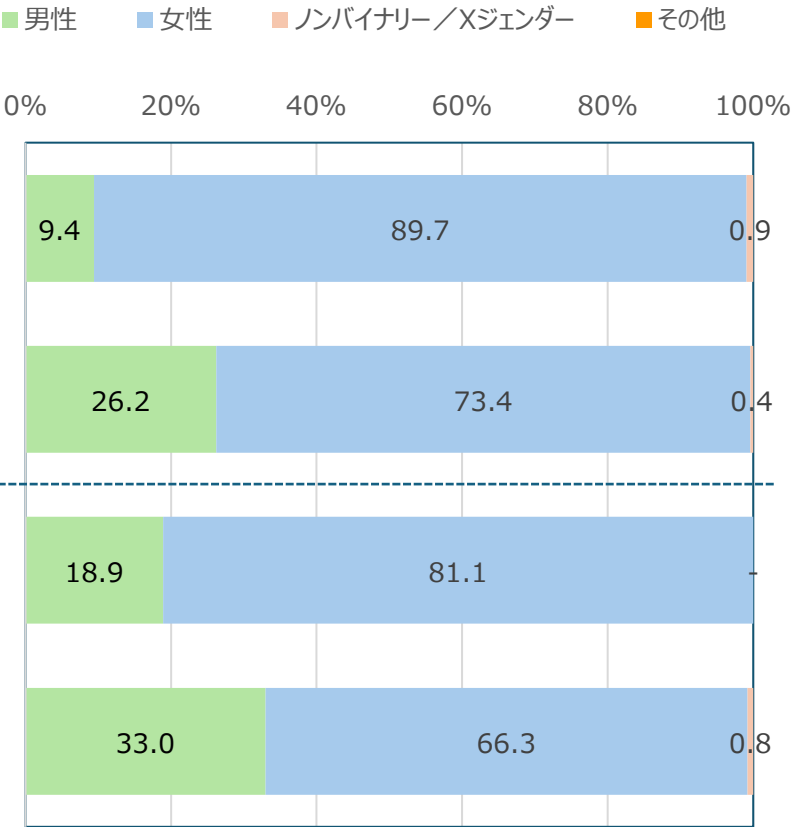
【回答者要件】

- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方
- 通勤・通学に電車を使っている方
- ここ1年間で電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方
（R5調査はここ1年での被害に絞っていないので比較の際は注意が必要）
- 16～39歳の方

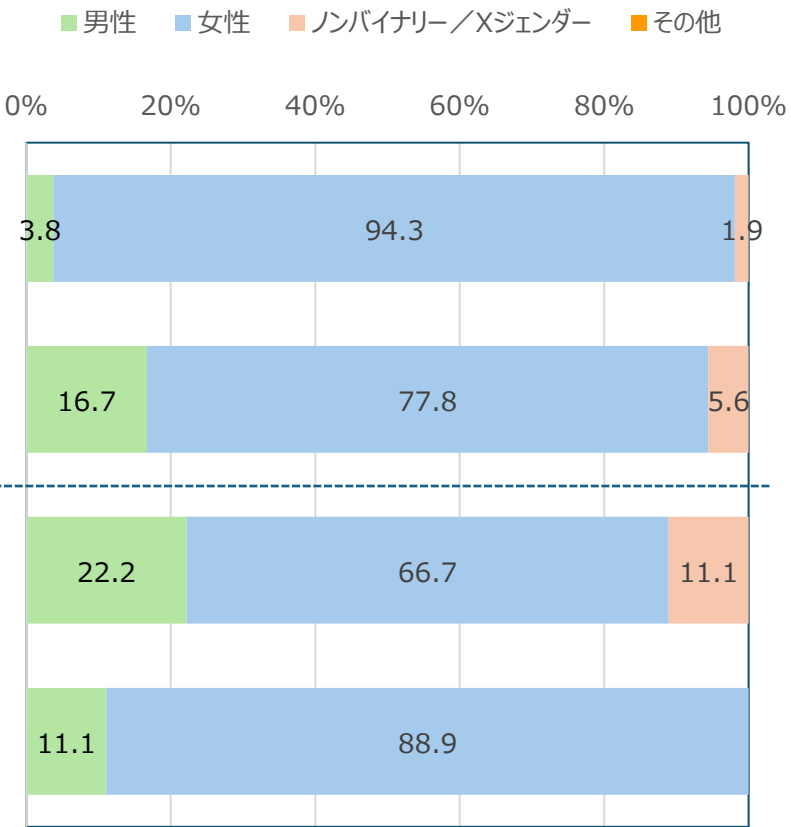
回答者属性① SC1.性別/性自認

- 電車内の被害(以下、「電車内」):「女性」(73.4%)、「男性」(26.2%)、「ノンバイナリー/Xジェンダー」(0.4%)と、「女性」が多いが、「男性」被害者が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内の被害(以下、「駅構内」):回答数が少ないことに留意が必要だが、「女性」(77.8%)、「男性」(16.7%)、「ノンバイナリー/Xジェンダー」(5.6%)と、女性が多く、男性被害者が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【電車内】



【駅構内】

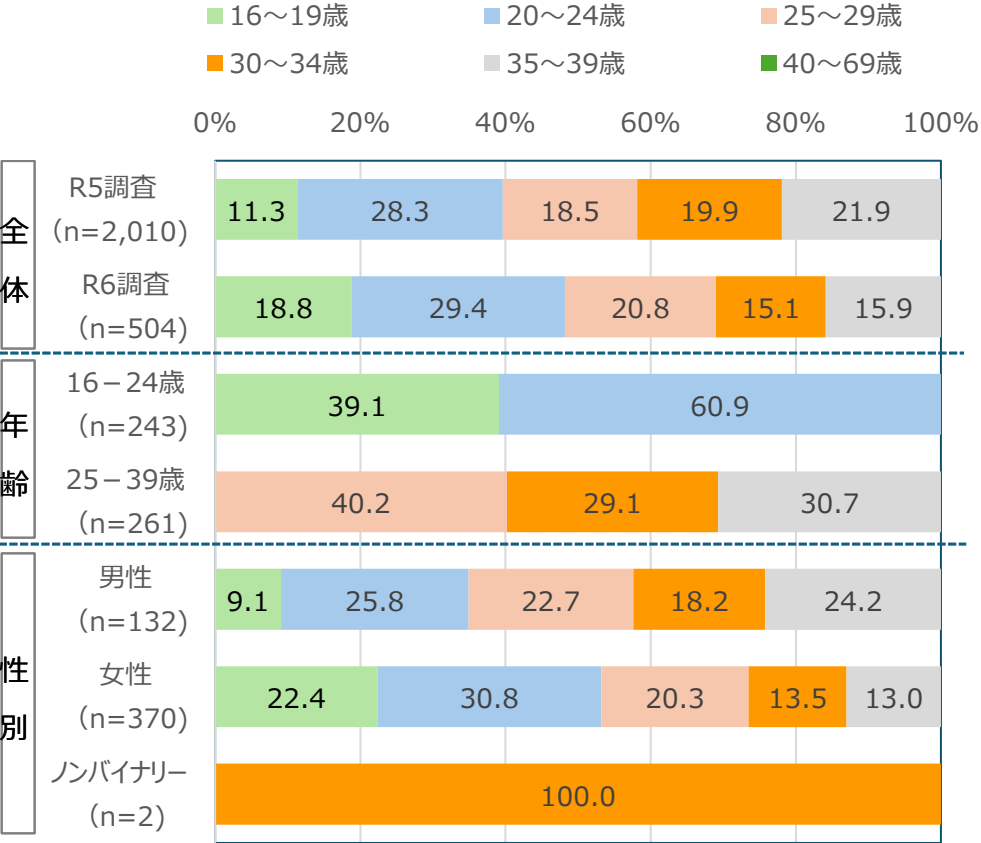


SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

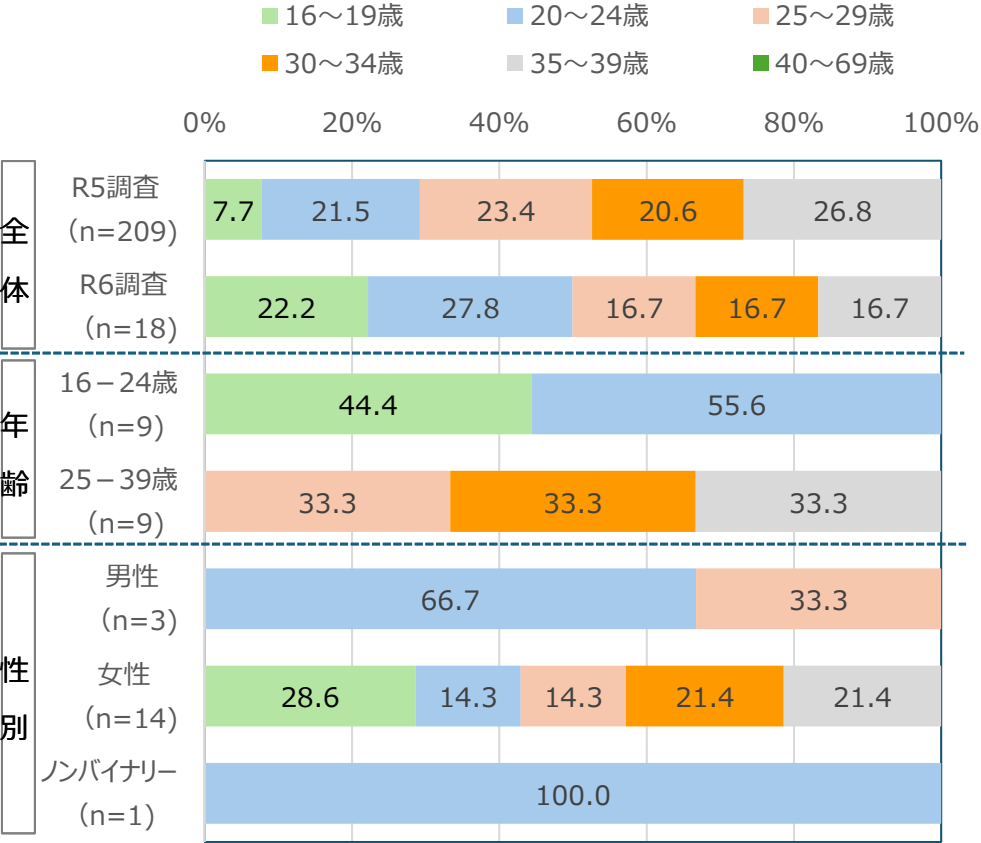
回答者属性② SC2.年齢

- 電車内:「20～24歳」(29.4%)、「25～29歳」(20.8%)、「16～19歳」(18.8%)の順で多く、10代、20代が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「20～24歳」(27.8%)、「16～19歳」(22.2%)の順で多く、10代、20代の増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【電車内】



【駅構内】

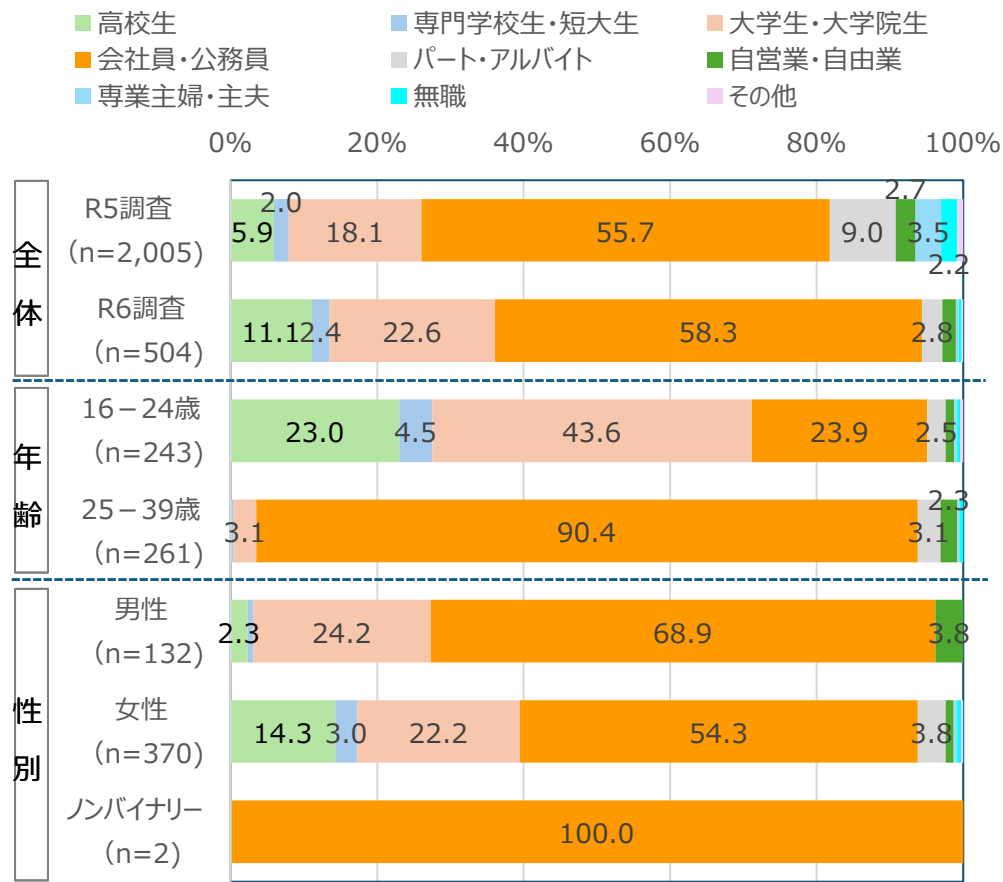


SC2. あなたの年齢をお答えください。

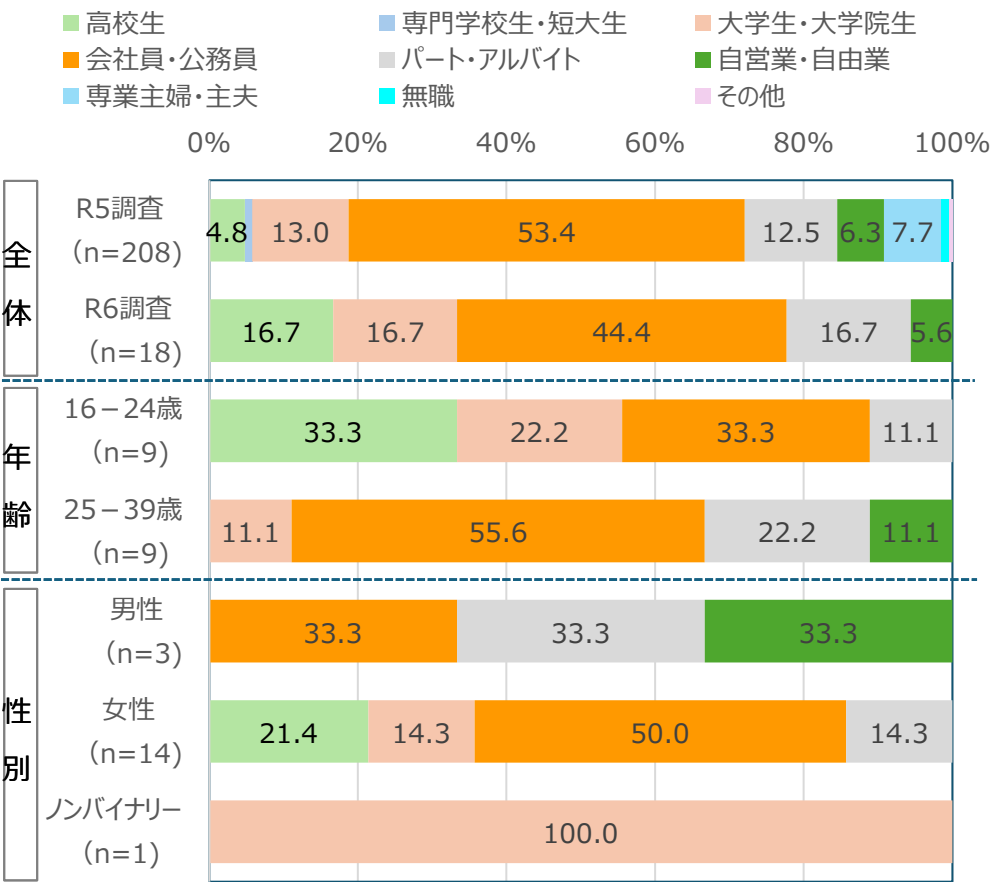
回答者属性③ SC3.職業/学校

- 電車内:「会社員・公務員」(58.3%)、「大学生・大学院生」(22.6%)、「高校生」(11.1%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「会社員・公務員」(44.4%)、「高校生」/「大学生・大学院生」/「パート・アルバイト」(いずれも16.7%)、の順が多い。
- 電車内、女性で高校生が1割強を占めている。

【電車内】



【駅構内】

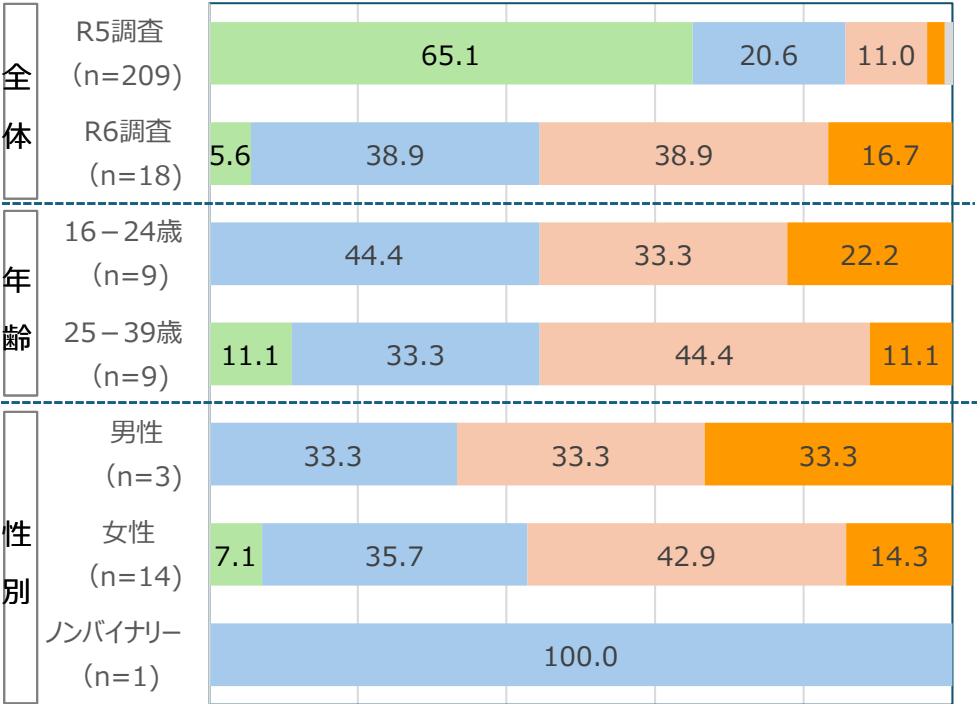
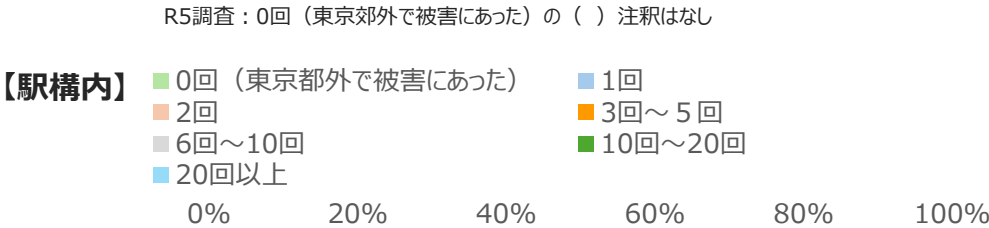
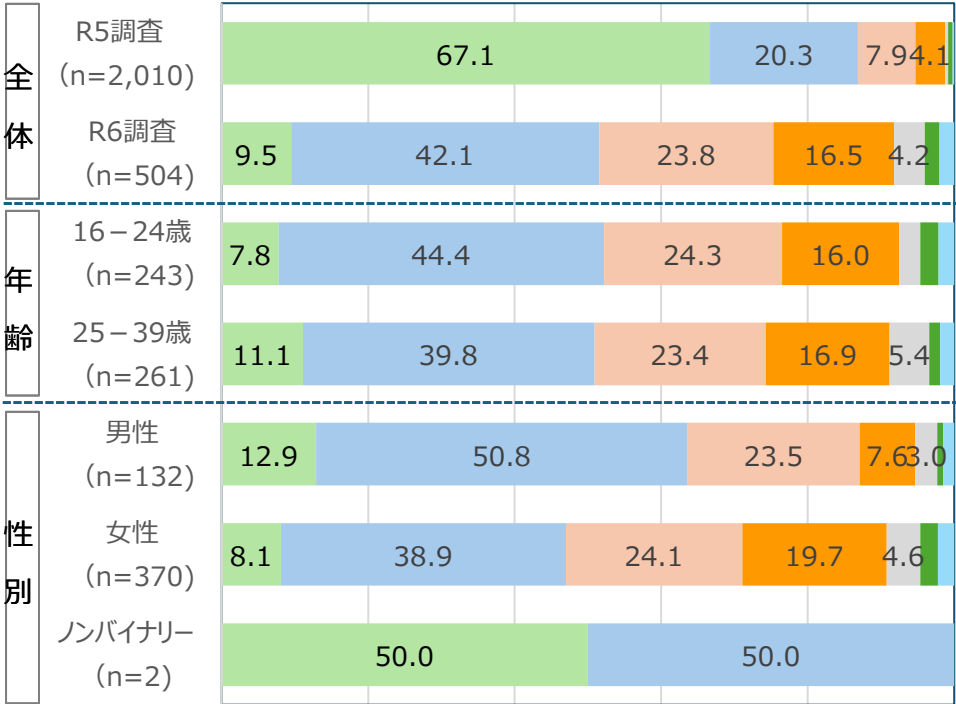
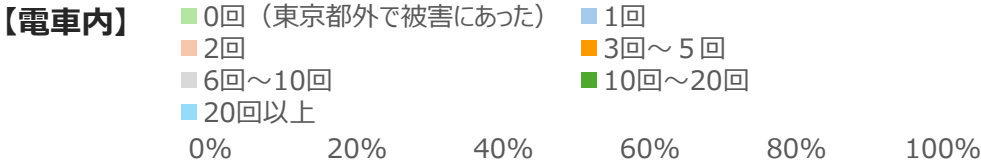


SC3. あなたの現在の職業・学校をお答えください。

※2%未満のデータは非表示

痴漢被害の経験① Q1.直近1年間に東京都内で痴漢被害にあった回数

- 電車内:「1回」(42.1%)、「2回」(23.8%)、「3～5回」(16.5%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「1回」/「2回」(ともに38.9%)、「3～5回」(16.7%)の順が多い。
- 電車内、駅構内ともに、女性で複数回比率が高い。



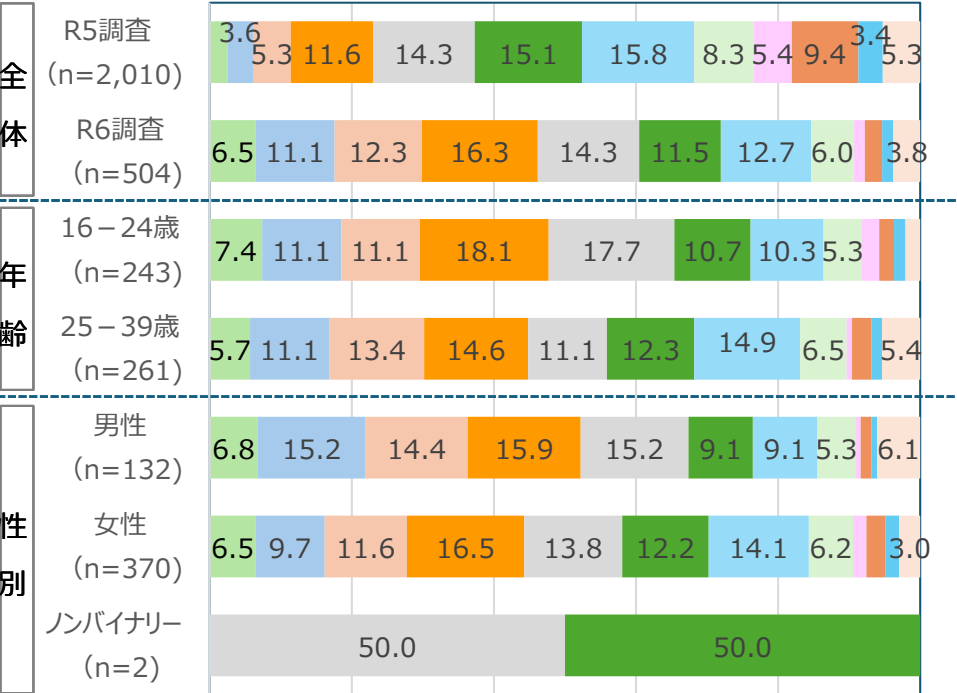
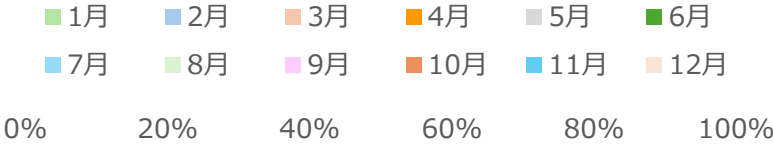
Q1. あなたが直近1年間に東京都内で痴漢被害にあった回数をお答えください。

※3%未満のデータレベルは非表示

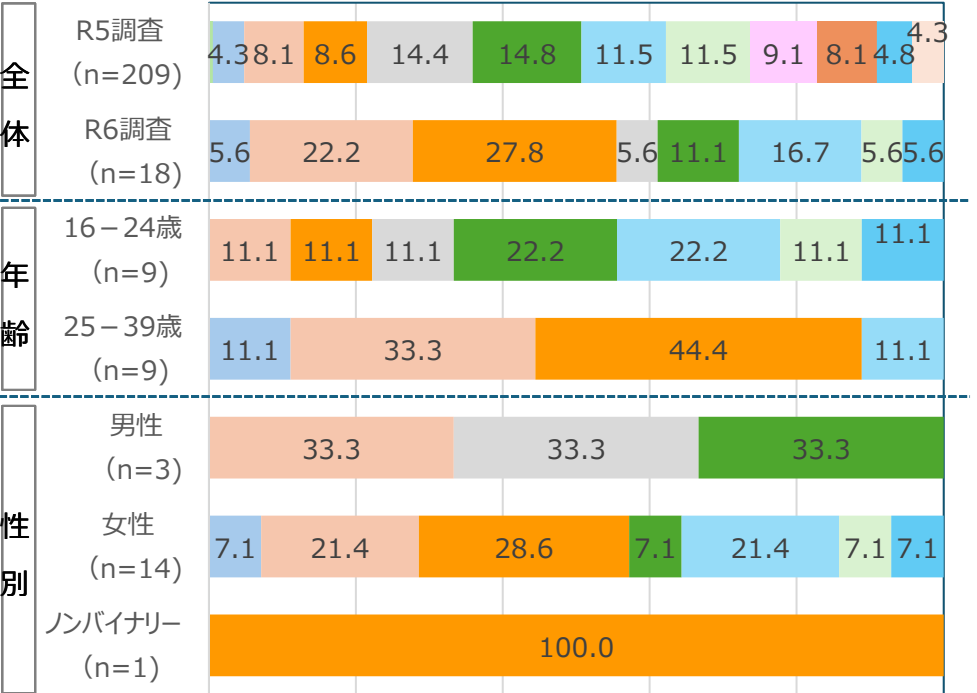
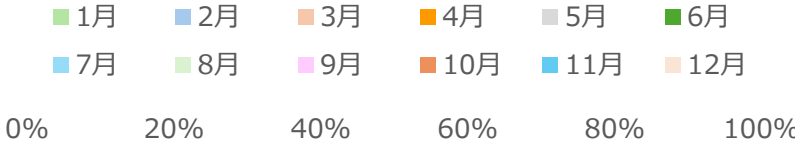
痴漢被害の経験② Q5.直近の被害時期

- 電車内:「4月」(16.3%)、「5月」(14.3%)、「7月」(12.7%)、「3月」(12.3%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「4月」(27.8%)、「3月」(22.2%)、「7月」(16.7%)の順が多い。

【電車内】



【駅構内】



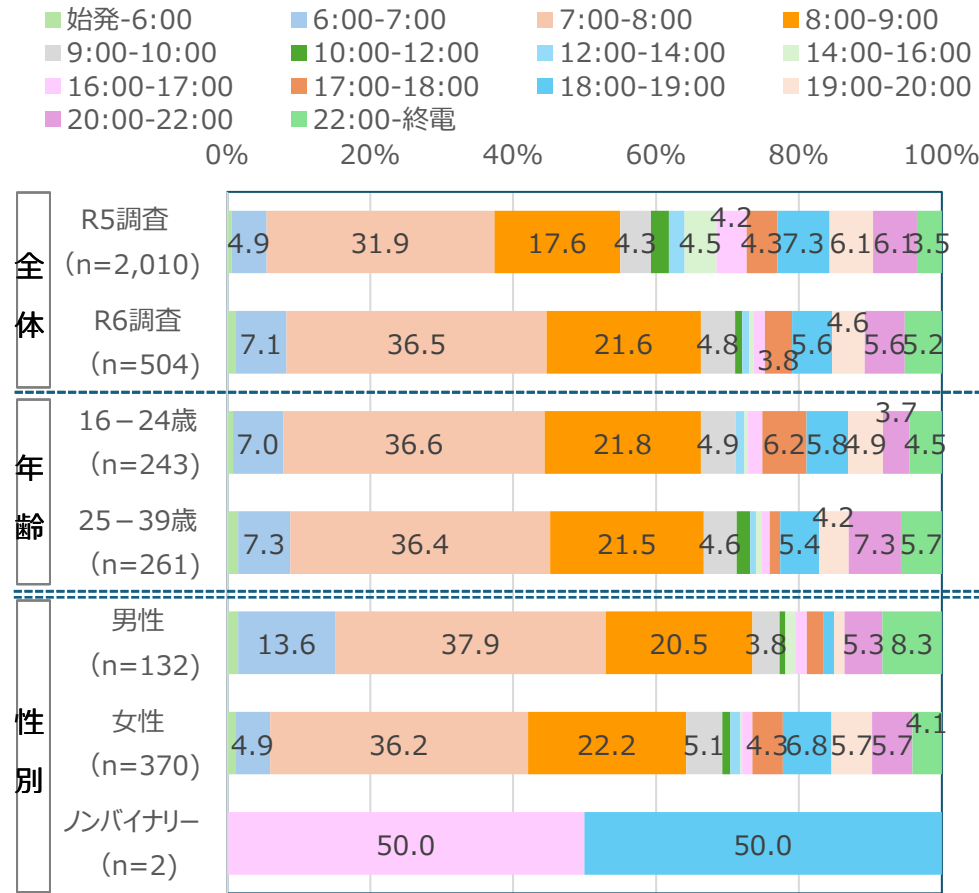
Q5. 被害にあったおおよその時期についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

※3%未満のデータレベルは非表示

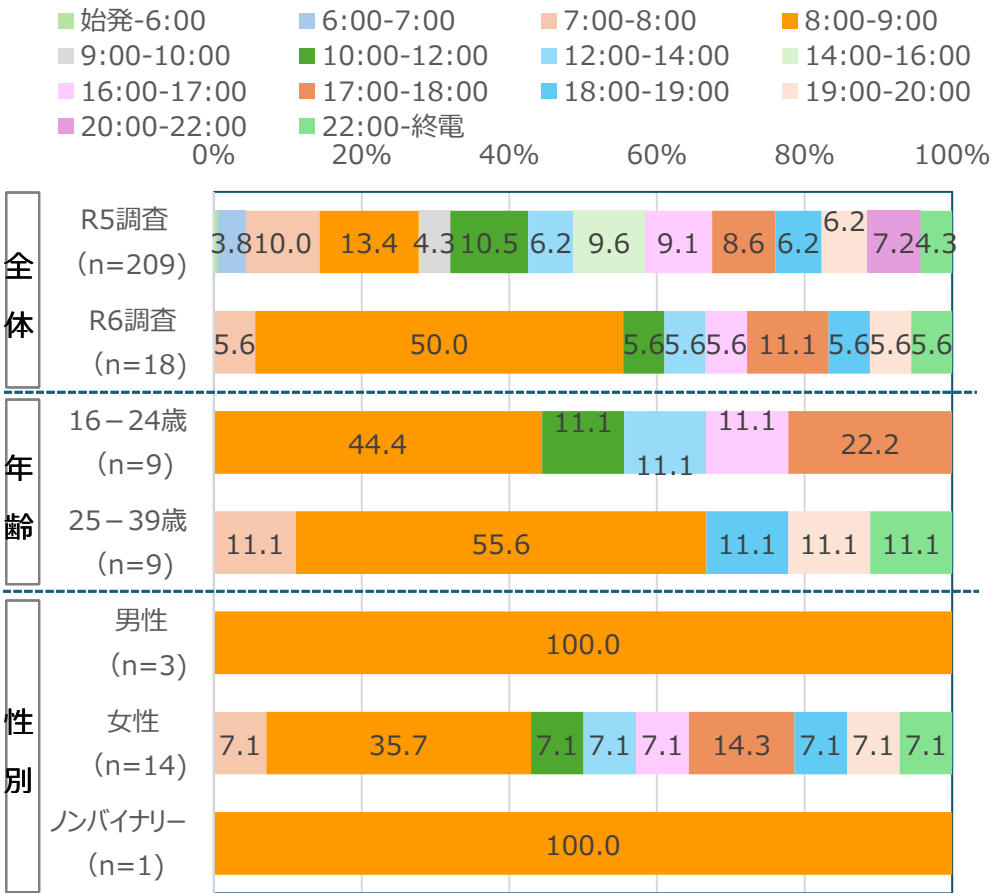
痴漢被害の経験③ Q6.直近の被害時間帯

- 電車内:「7:00～8:00」(36.5%)、「8:00～9:00」(21.6%)の朝のラッシュ時間帯が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「8:00～9:00」(50.0%)、「17:00～18:00」(11.1%)の順で多く、朝のラッシュ時間帯の増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【電車内】



【駅構内】



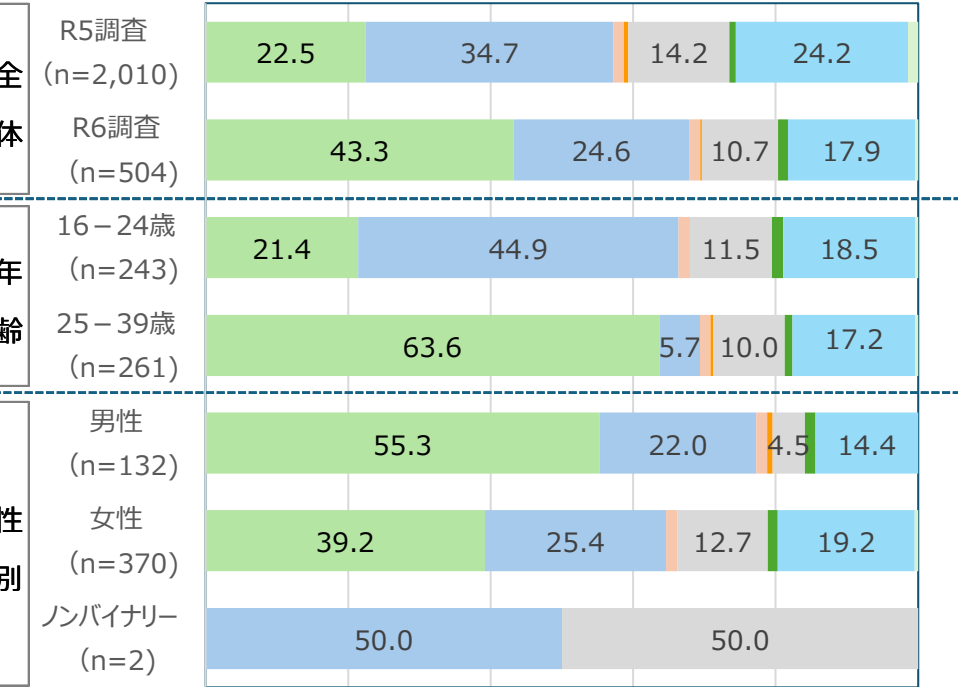
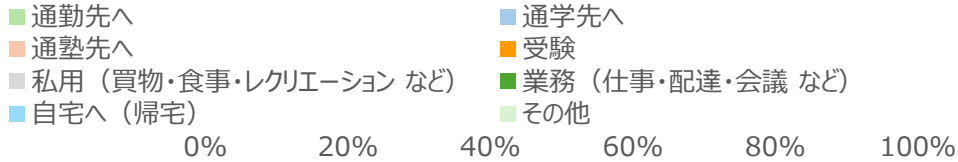
※3%未満のデータレベルは非表示

Q6. 被害にあったおおよその時間帯についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

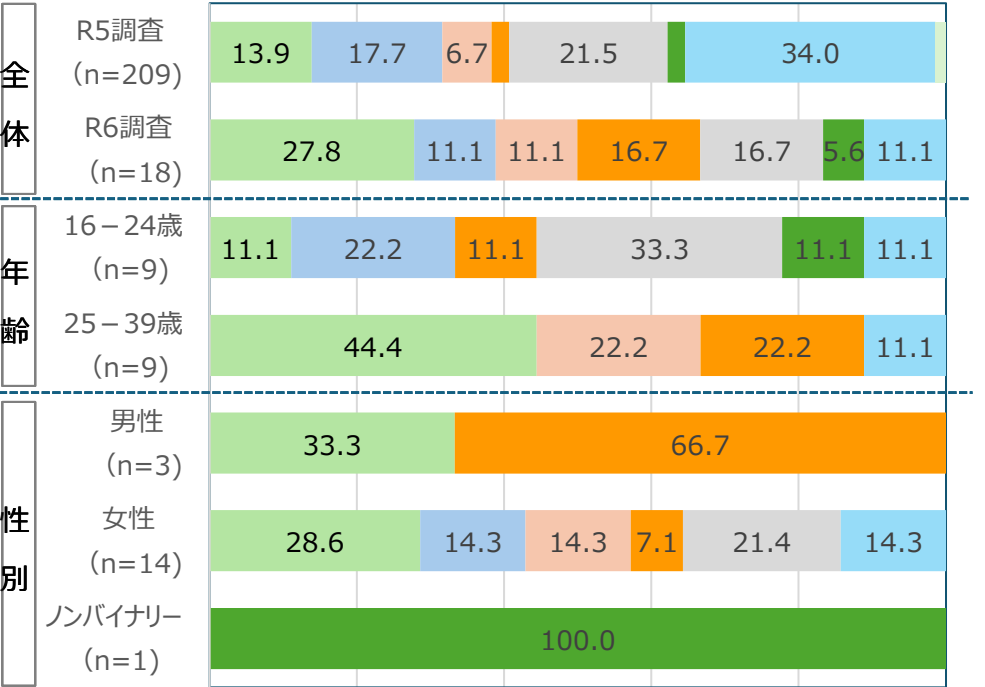
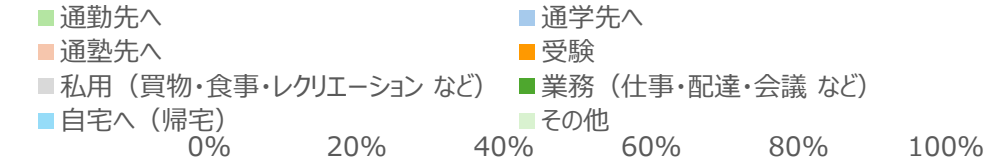
痴漢被害の経験④ Q7.直近の被害時の移動目的

- 電車内:「通勤先へ」(43.3%)、「通学先へ」(24.6%)、「自宅へ」(17.9%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「通勤先へ」(27.8%)、「受験」/「私用(買物・食事・レクリエーションなど)」(ともに16.7%)の順が多い。
- 電車内、駅構内ともに、通勤先への移動時が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【電車内】



【駅構内】



Q7. 被害にあったとき、どのような目的で移動していたのかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

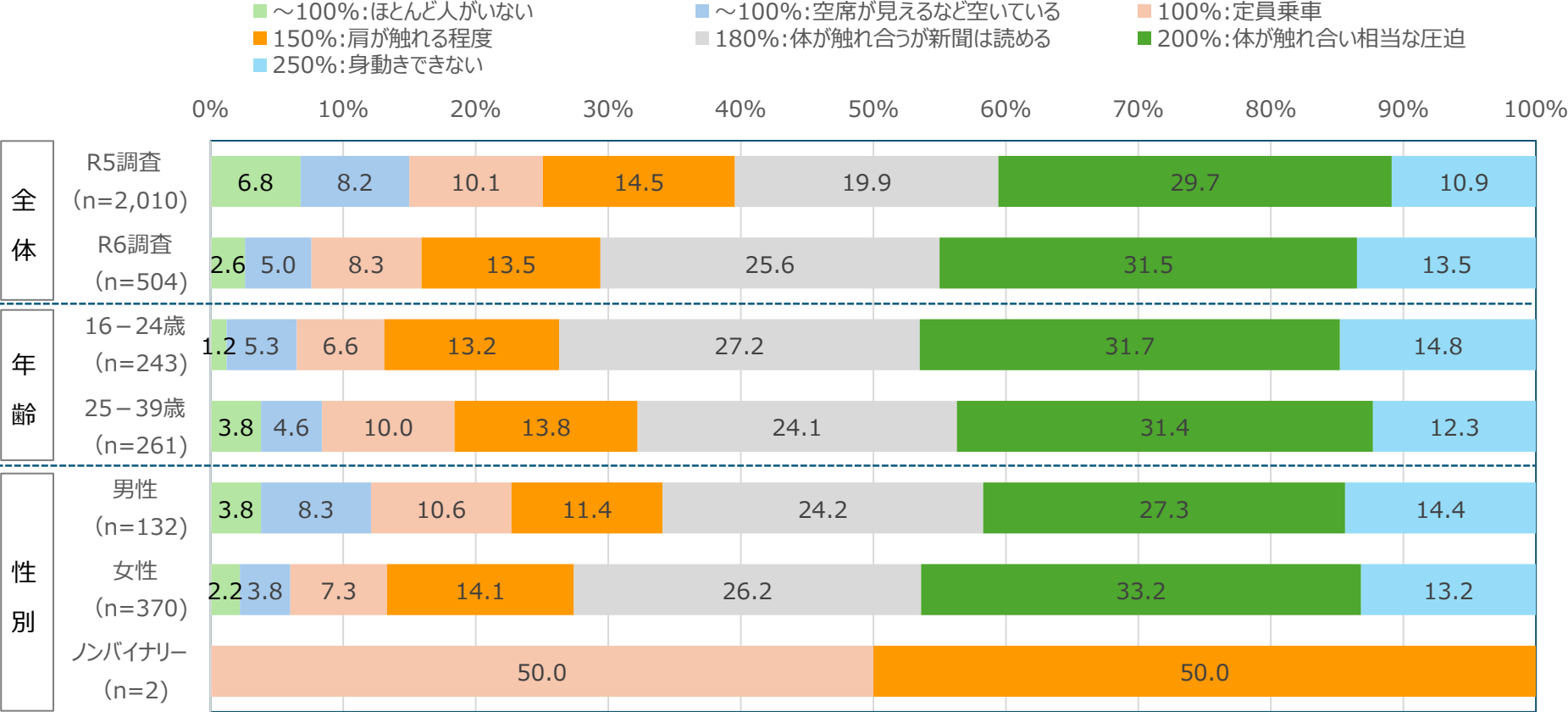
※3%未満のデータラベルは非表示

痴漢被害の経験⑤ Q8.直近の被害時の混雑率

■ 電車内:「200%」(31.5%)、「180%」(25.6%)、「150%」/「250%」(ともに13.5%)の順で多く、混雑率の高い状況での被害が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【電車内】

n数はR6調査：SC15で「1 電車内」と回答した方のみ



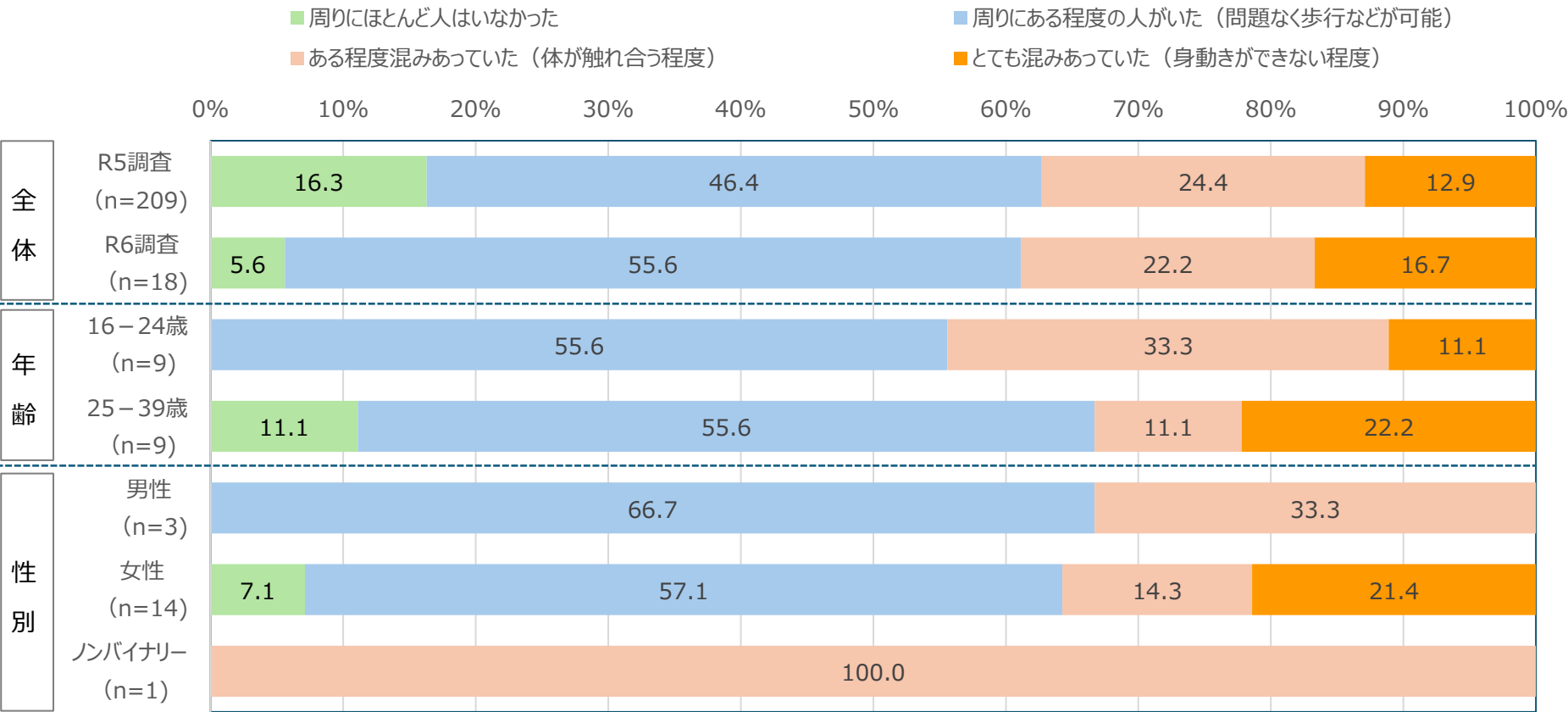
Q8. 被害にあったときの電車の混雑率についてお答えください。

痴漢被害の経験⑥ Q9.直近の被害時の駅構内の混雑状況

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「周りにある程度の人がいた」(55.6%)、「ある程度混みあっていた」(22.2%)の順で多く「周りにほとんど人はいなかった」は減少している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【駅構内】

n数はR6調査：SC15で「2 駅構内」と回答した方のみ



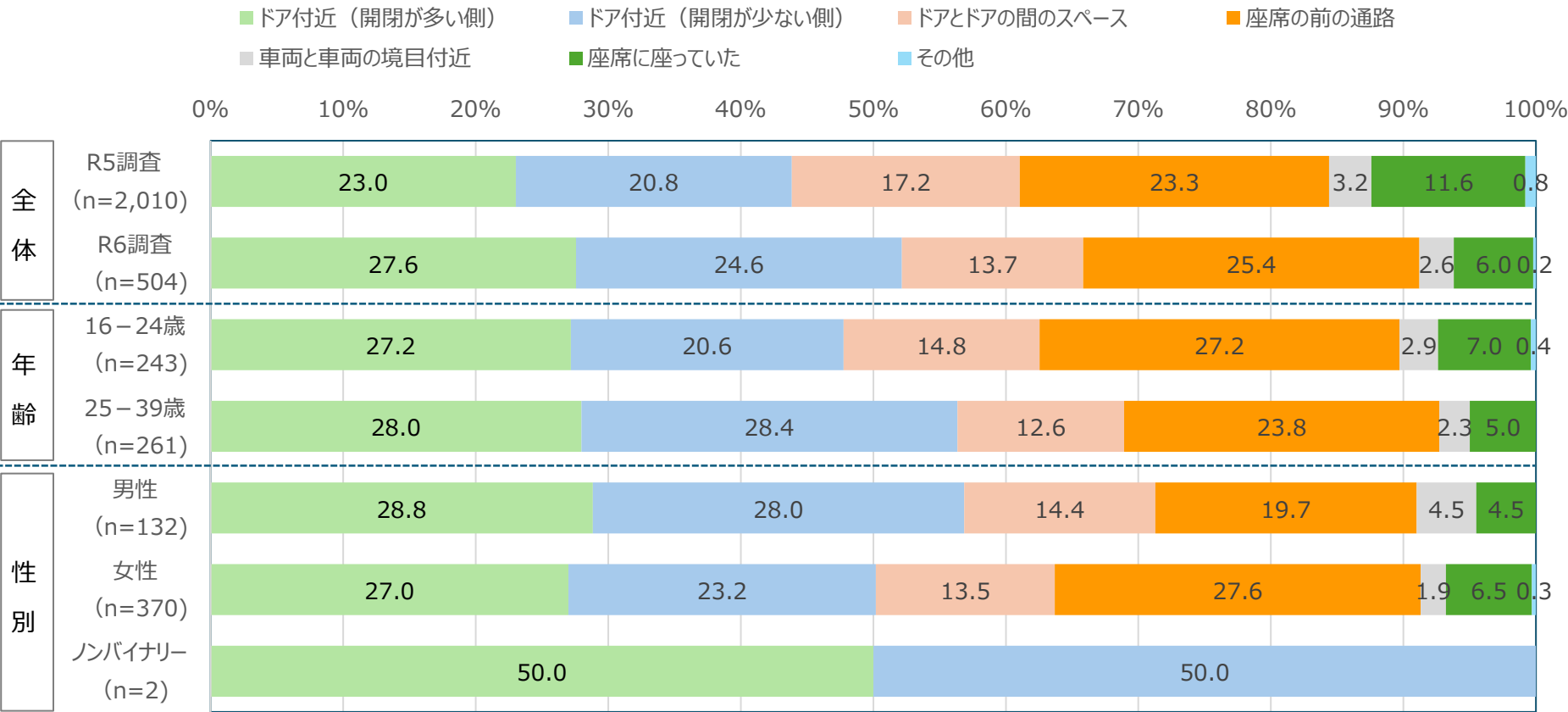
Q9. 被害にあったときの周りの混雑の程度についてお答えください。

痴漢被害の経験⑦ Q10.直近の被害時の電車内の位置

■ 電車内:「ドア付近(開閉が多い側)」(27.6%)、「座席の前の通路」(25.4%)、「ドア付近(開閉が少ない側)」(24.6%)、「ドアとドアの間のスペース」(13.7%)の順で多い。

【電車内】

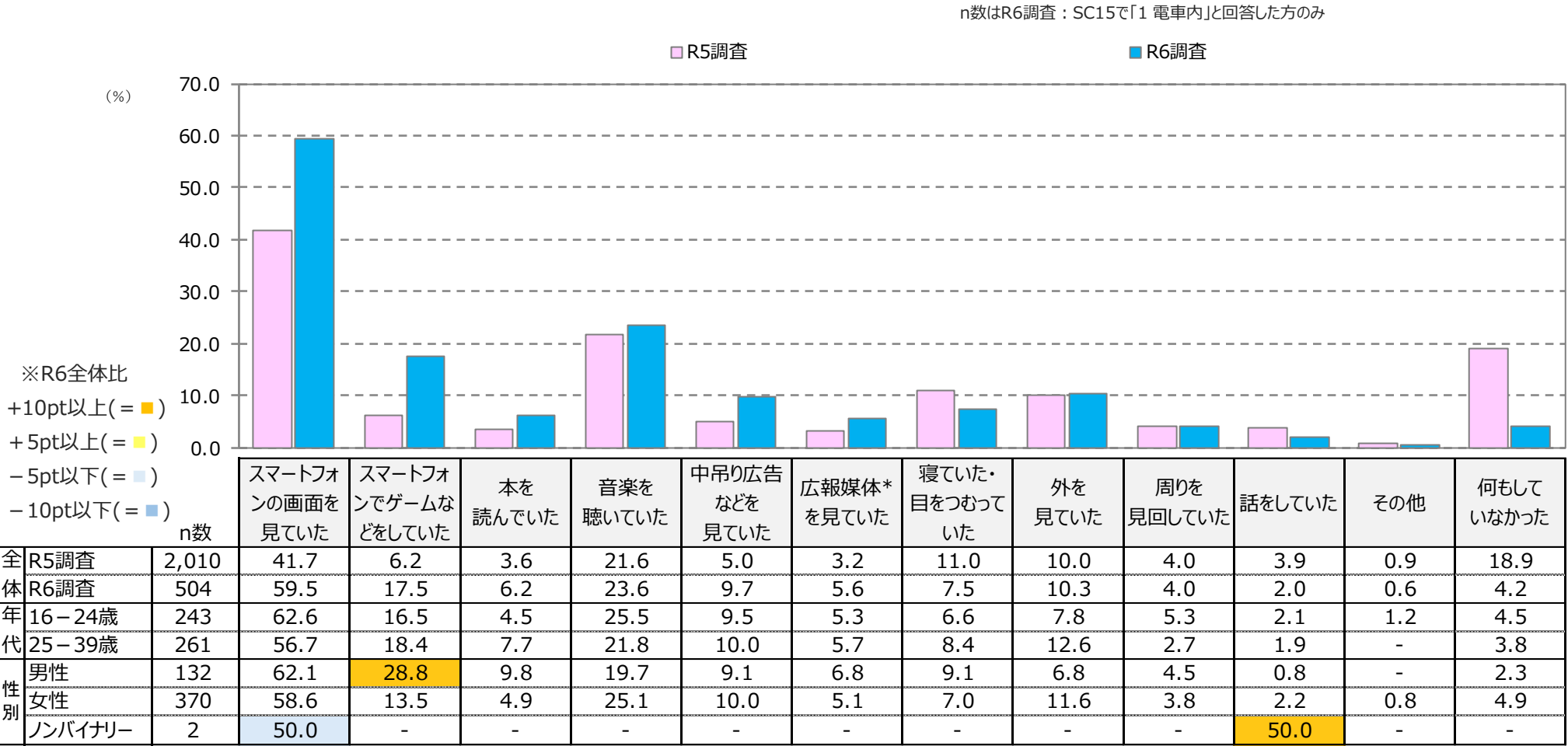
n数はR6調査：SC15で「1 電車内」と回答した方のみ



Q10. 被害にあったときに車両内のどこにいたかお答えください。

痴漢被害の経験⑧ Q11.直近の被害時に車内で行っていたこと (MA)

- 電車内:「スマートフォンの画面を見ていた」(59.5%)、「音楽を聴いていた」(23.6%)、「スマートフォンでゲームなどをしていた」(17.5%)の順で多く、スマートフォン使用時が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 男性で、「スマートフォンでゲームなどをしていた」が多い。



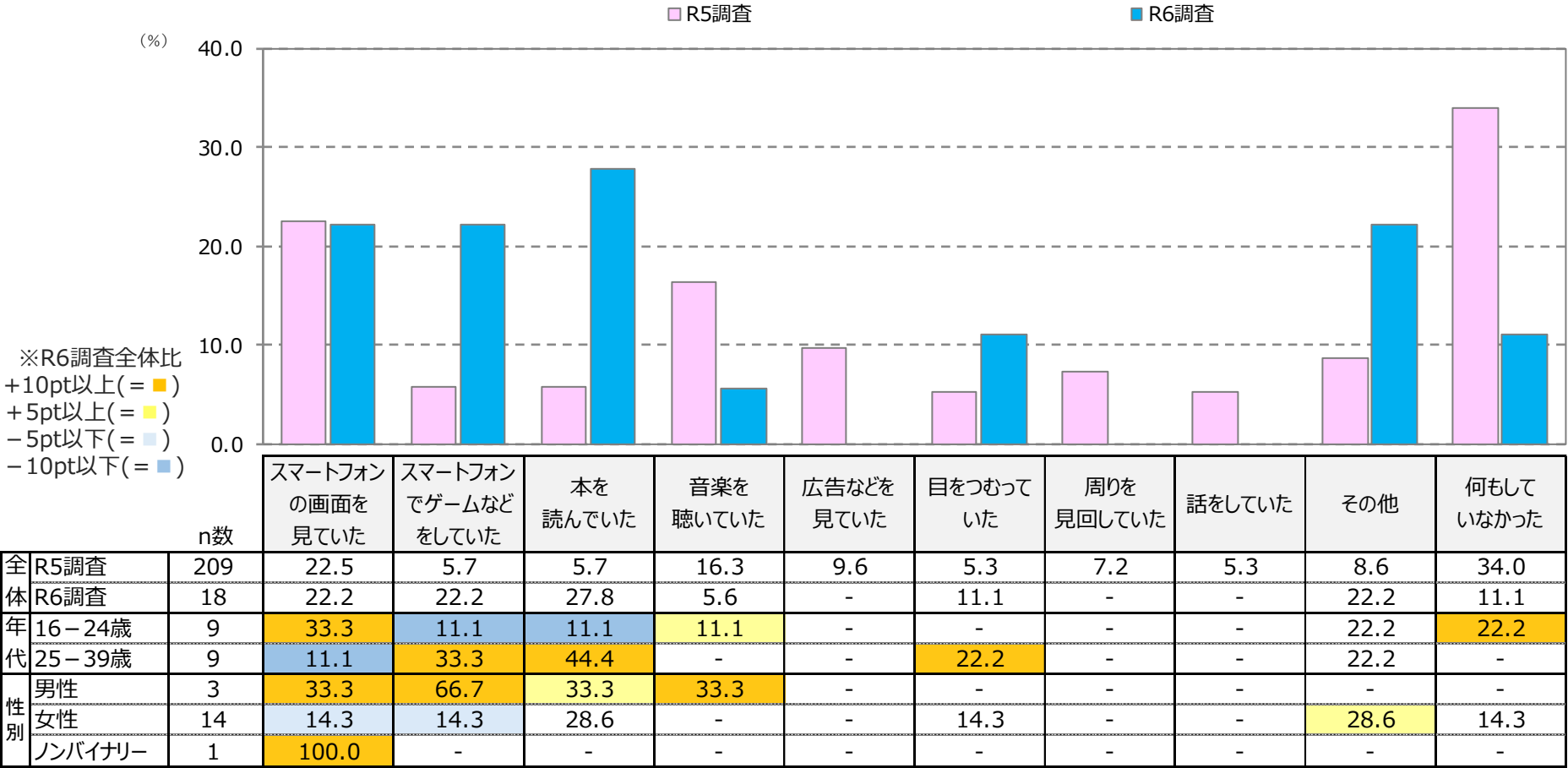
Q11. 被害にあったときにあなたがしていたことをお答えください。(いくつでも)

*電車内のモニター画面

痴漢被害の経験⑨ Q12.直近の被害時に駅構内で行っていたこと (MA)

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「本を読んでいた」(27.8%)、「スマートフォンの画面を見ていた」/「スマートフォンでゲームなどをしていた」/「その他」(いずれも22.2%)の順が多い。

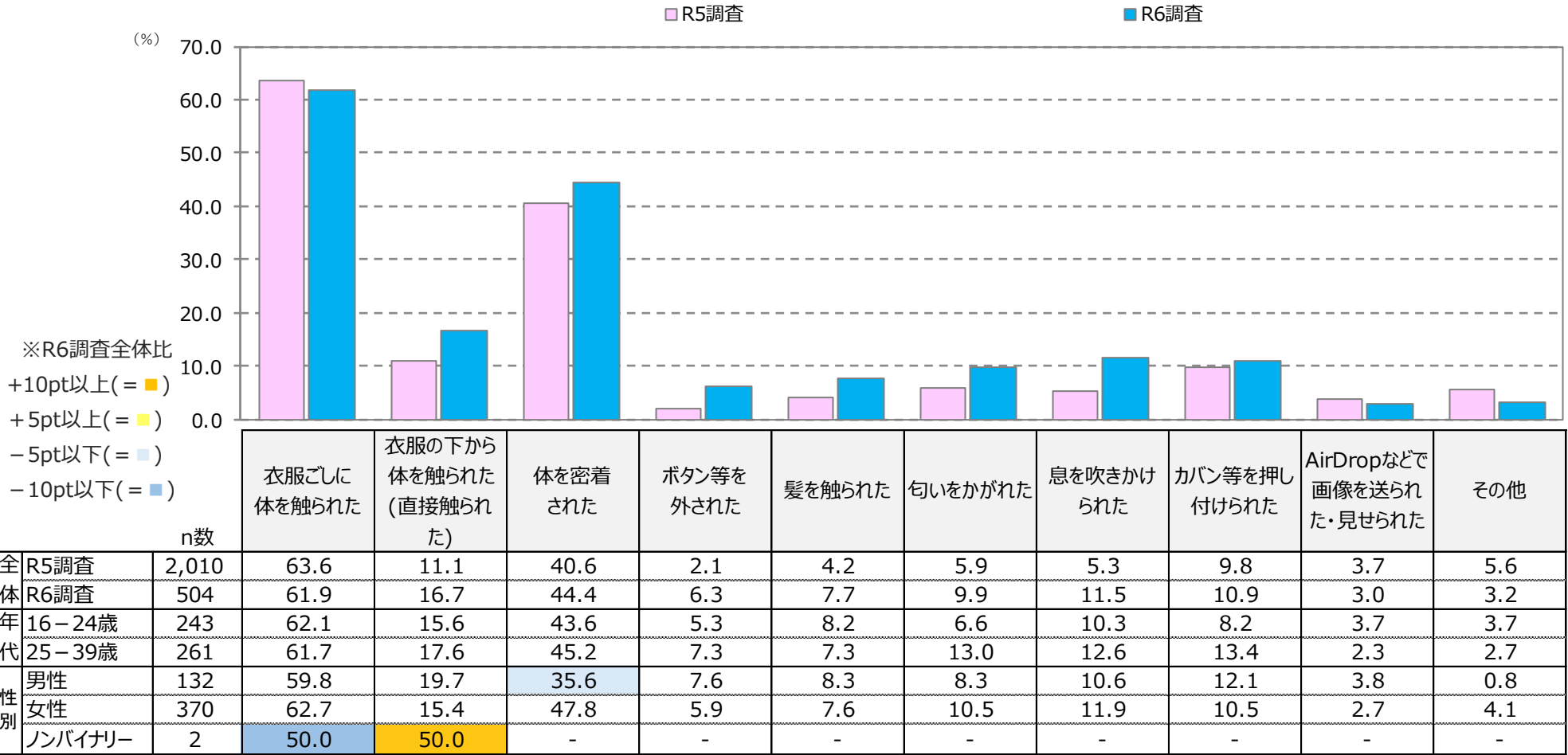
n数はR6調査：SC15で「2 駅構内」と回答した方のみ



Q12. 被害にあったときにあなたがしていたことをお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑩ Q13.直近の被害状況 (MA) : 電車内

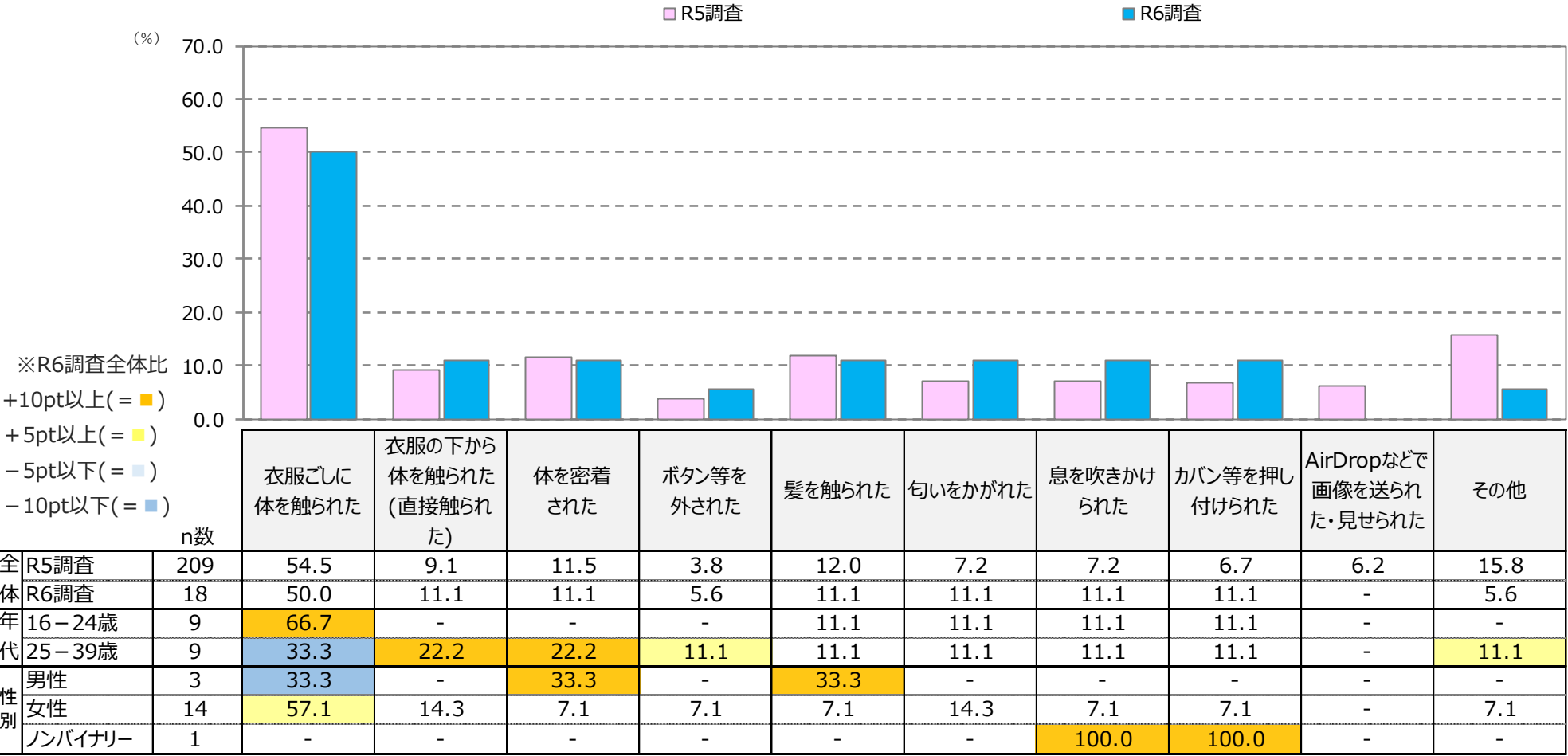
■ 電車内:「衣服ごしに体を触られた」(61.9%)、「体を密着された」(44.4%)、「衣服の下から体を触られた(直接触られた)」(16.7%)の順が多い。



Q13. どのような被害にあったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑪ Q13.直近の被害状況 (MA) : 駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「衣服ごしに体を触られた」(50.0%)などとなっている。

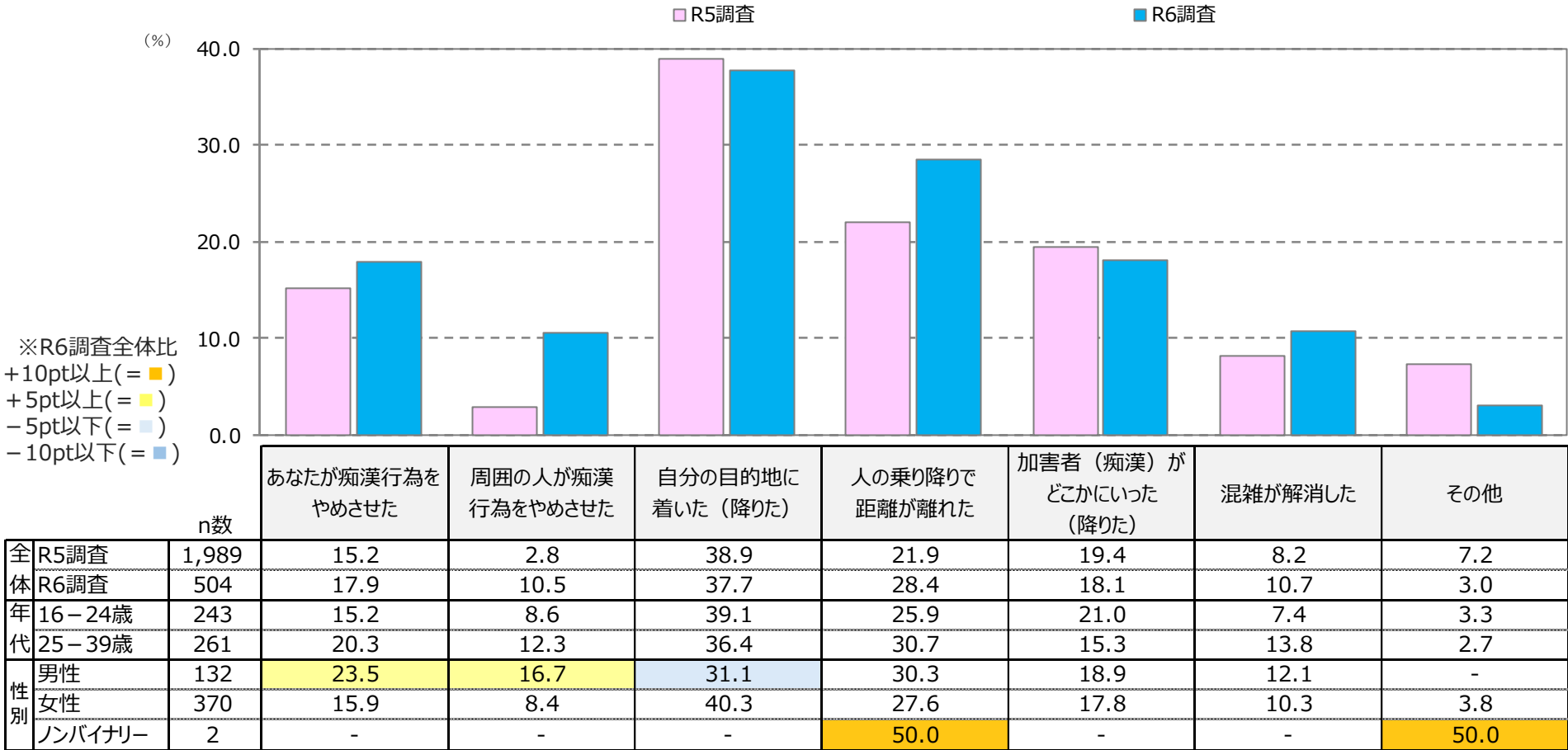


Q13. どのような被害にあったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑫ Q14.直近の電車内での被害が止まった理由 (MA) : 電車内

- 電車内:「自分の目的地に着いた(降りた)」(37.7%)、「人の乗り降りで距離が離れた」(28.4%)、「加害者(痴漢)がどこかにいった(降りた)」(18.1%)、「あなたが痴漢行為をやめさせた」(17.9%)の順が多い。
- 男性で、「あなたが痴漢行為をやめさせた」、「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」がやや多い。

n数はR6調査：SC15で「1 電車内」と回答した方のみ

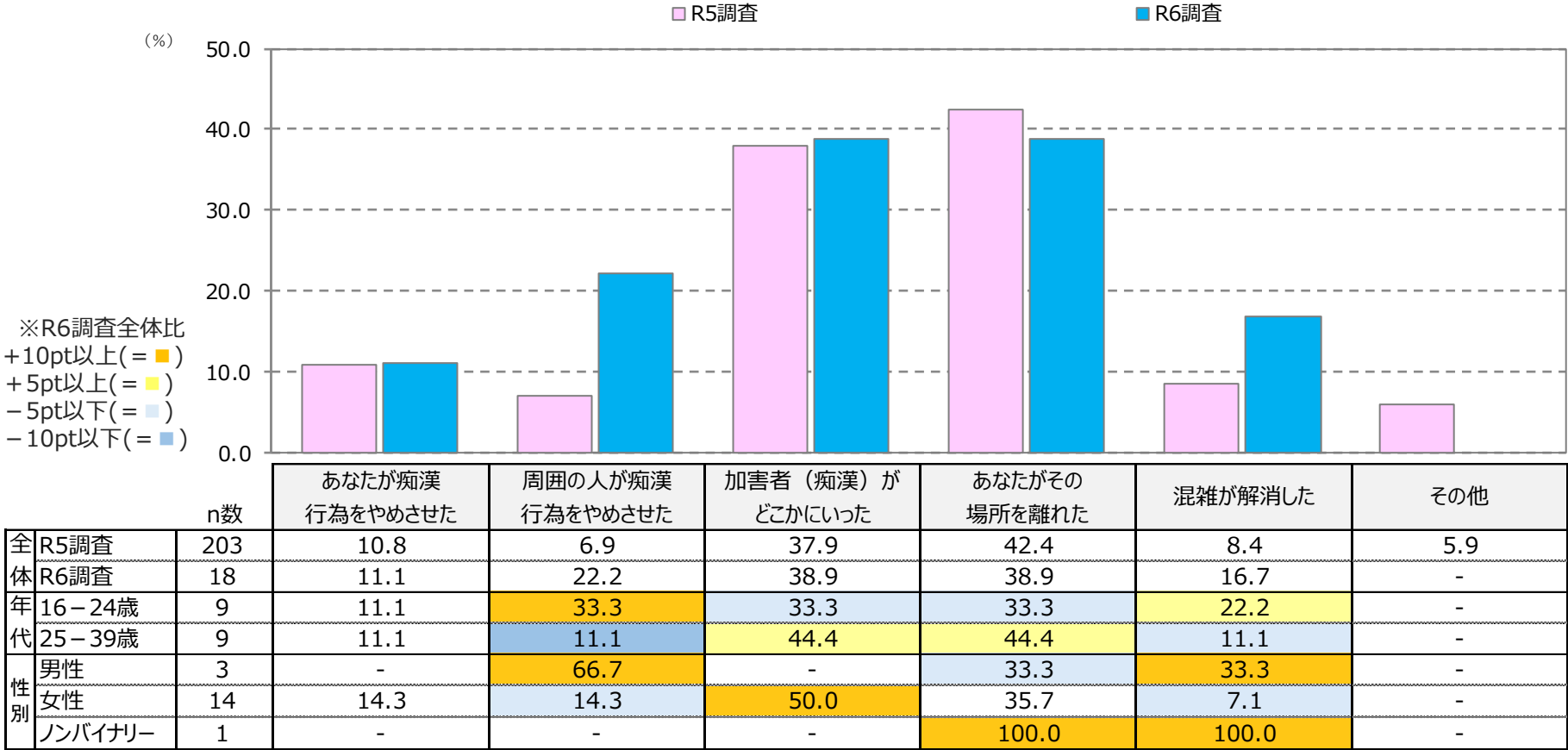


Q14. 被害が止まった理由をお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑬ Q15.直近の駅構内での被害が止まった理由 (MA) : 駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「あなたがその場所を離れた」/「加害者(痴漢)がどこかにいった」(ともに38.9%)、「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」(22.2%)の順が多い。

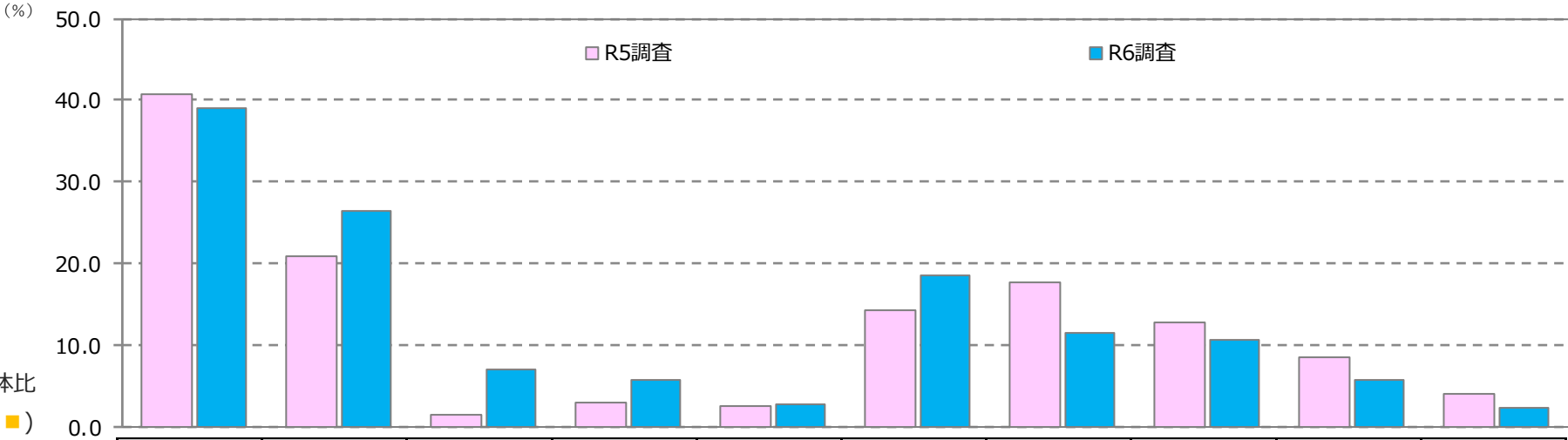
n数はR6調査：SC15で「2 駅構内」と回答した方のみ



Q15. 被害が止まった理由をお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑭ Q16.直近の被害時にとった行動 (MA) : 電車内

- 電車内:「我慢した・何もできなかった」(39.1%)、「逃げた・移動した」(26.4%)、「持ち物でブロックした」(18.5%)、「身体を動かして加害者(痴漢)を止めようとした」(11.5%)の順が多い。
- 16-24歳の若い層で、「我慢した・何もできなかった」がやや多い。
- 男性で、「周囲にアプリを使用して助けを求めた」がやや多い。



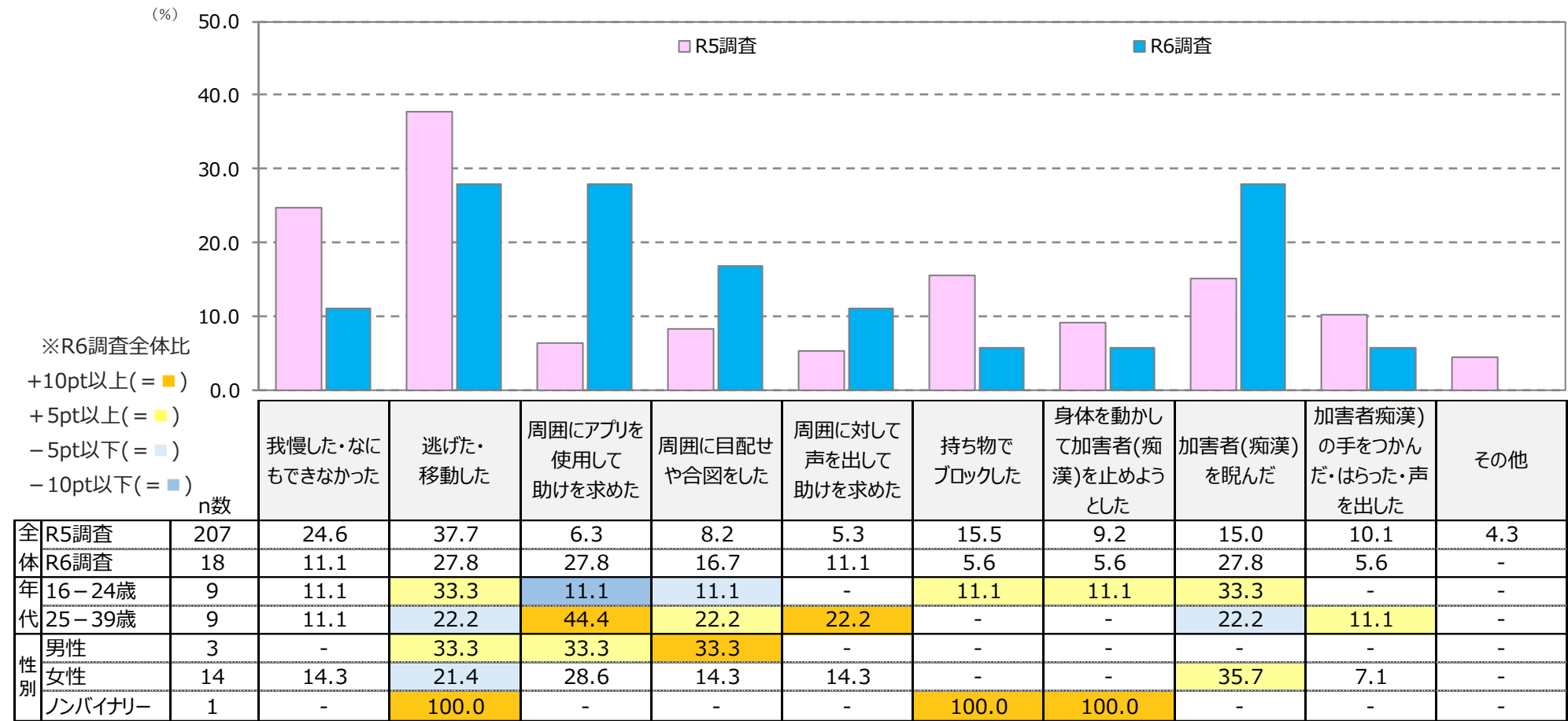
※R6調査全体比
+10pt以上(= ■)
+5pt以上(= ■)
-5pt以下(= ■)
-10pt以下(= ■)

n数			我慢した・なに もできなかった	逃げた・ 移動した	周囲にアプリを 使用して 助けを求めた	周囲に目配せ や合図をした	周囲に対して 声を出して 助けを求めた	持ち物で ブロックした	身体を動かし て加害者(痴 漢)を止めよう とした	加害者(痴漢) を睨んだ	加害者痴漢) の手をつかん だ・はらった・声 を出した	その他
全 体	R5調査	1,995	40.7	20.8	1.4	3.0	2.4	14.3	17.6	12.7	8.4	3.9
	R6調査	504	39.1	26.4	6.9	5.6	2.6	18.5	11.5	10.5	5.6	2.2
年 代	16-24歳	243	45.3	26.7	4.5	5.3	1.6	17.7	8.6	11.1	2.9	2.1
	25-39歳	261	33.3	26.1	9.2	5.7	3.4	19.2	14.2	10.0	8.0	2.3
性 別	男性	132	34.1	28.0	14.4	7.6	3.0	13.6	7.6	9.8	5.3	0.8
	女性	370	41.1	25.7	4.3	4.9	2.4	20.3	12.7	10.5	5.7	2.7
	ノンバイナリー	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-

Q16. 被害にあったときにあなたが行った対応をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑮ Q16.直近の被害時にとった行動(MA):駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「逃げた・移動した」/「周囲にアプリを使用して助けを求めた」/「加害者(痴漢)を睨んだ」(いずれも27.8%)などが多く、「周囲にアプリを使用して助けを求めた」、「加害者(痴漢)を睨んだ」の増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)

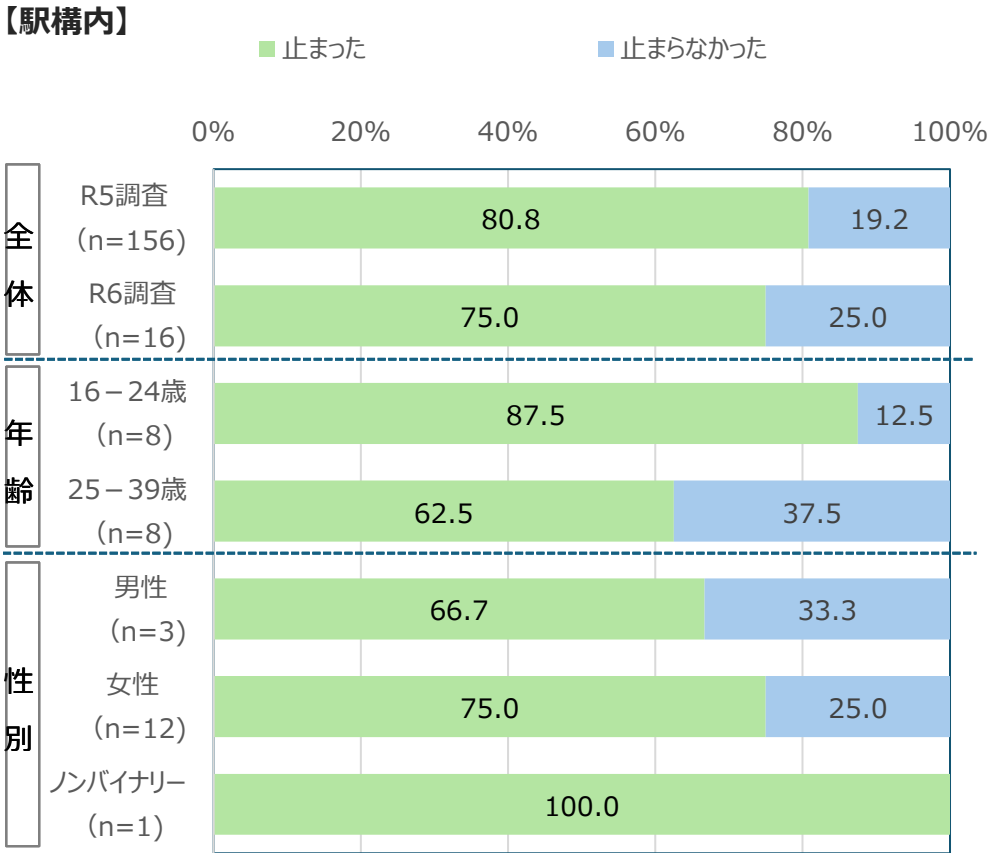
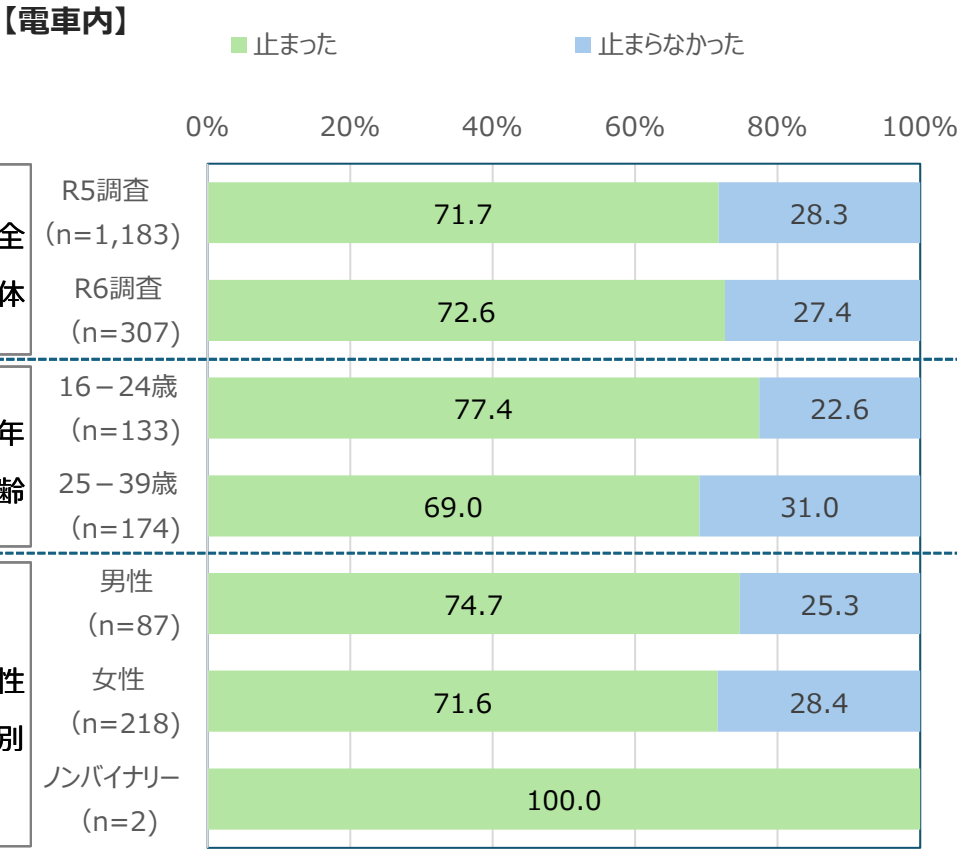


Q16. 被害にあったときにあなたが行った対応をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑩ Q17.直近の被害時の行動で被害は止まったか

- 電車内:「止まった」(72.6%)、「止まらなかった」(27.4%)となっている。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」(75.0%)、「止まらなかった」(25.0%)となっている。

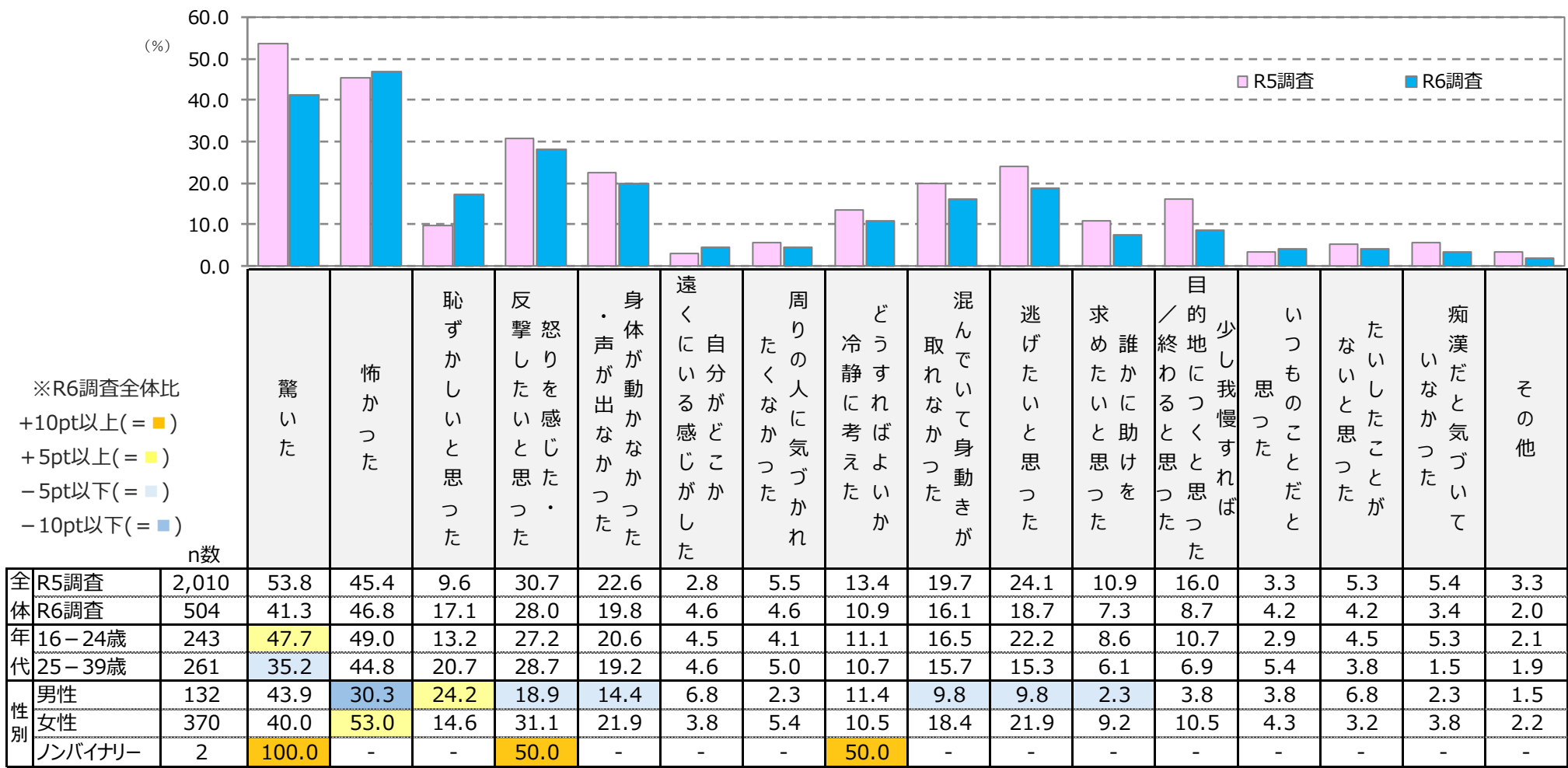
n数はR6調査：Q16で「1 我慢した・なにもできなかった」と回答した方以外のみ



Q17. あなたが行った対応によって被害が止まったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

痴漢被害の経験⑪ Q18.直近の被害時の気持ちや状態 (MA) : 電車内

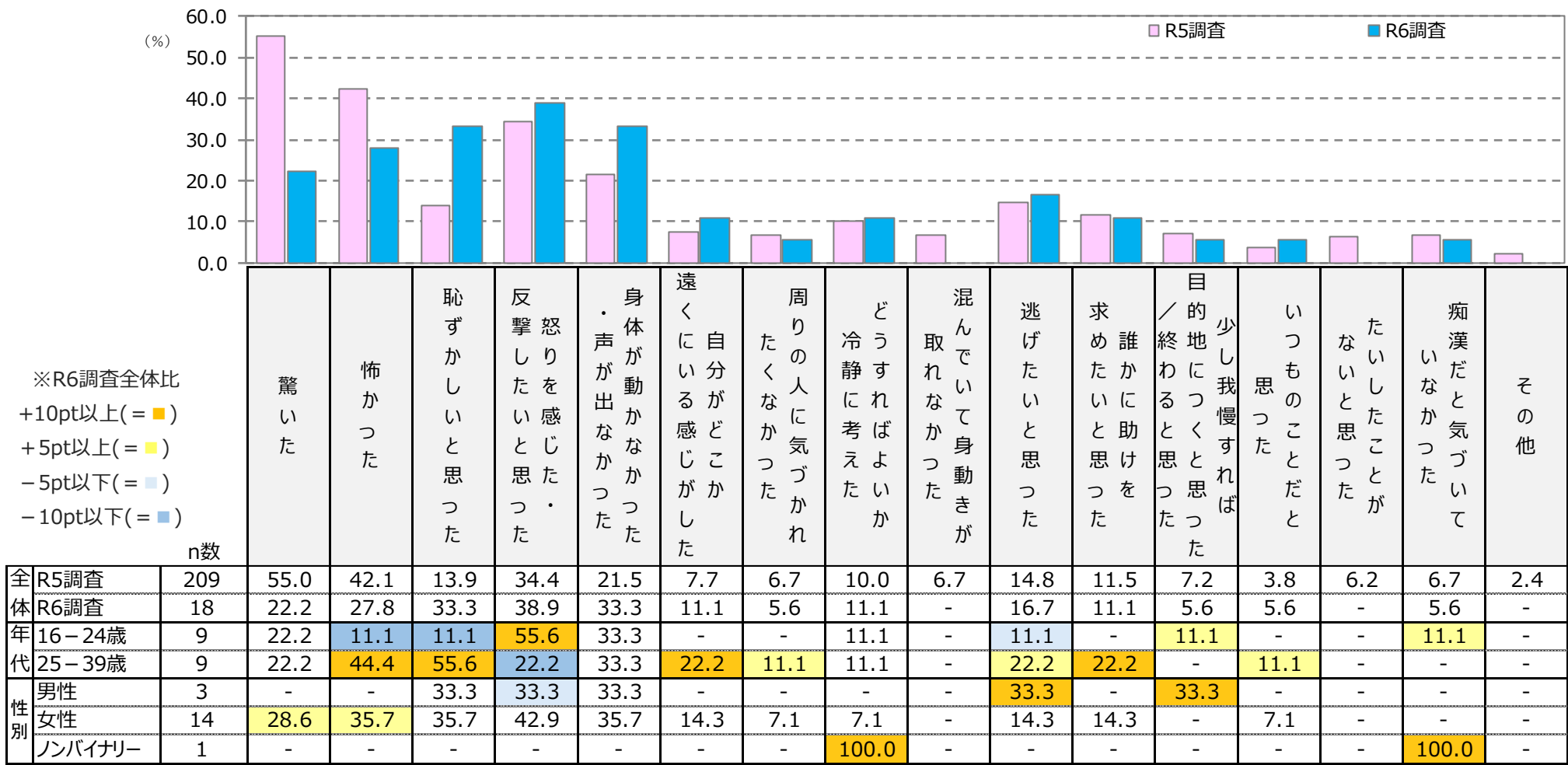
- 電車内:「怖かった」(46.8%)、「驚いた」(41.3%)、「怒りを感じた・反撃したいと思った」(28.0%)、「身体が動かなかった・声が出なかった」(19.8%)、「逃げたいと思った」(18.7%)の順が多い。
- 16-24歳の若い層で、「驚いた」がやや多い。
- 女性で、「怖かった」が、男性で、「恥ずかしいと思った」がやや多い。



Q18. 痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑱ Q18.直近の被害時の気持ちや状態 (MA) : 駅構内

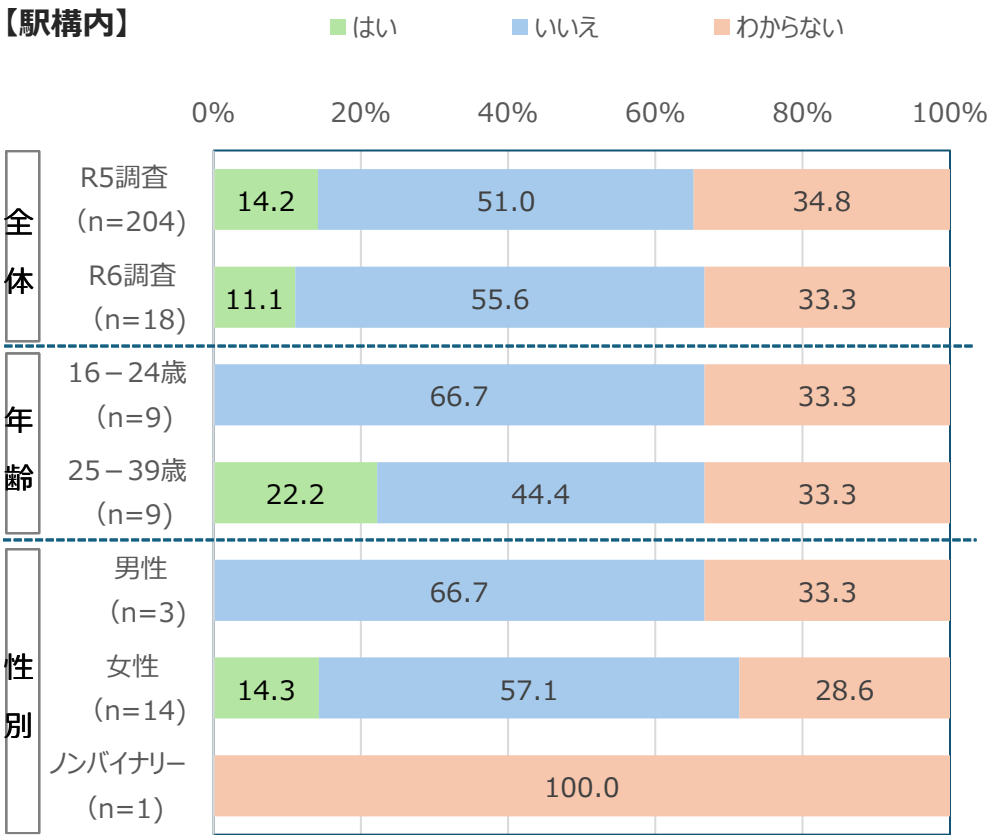
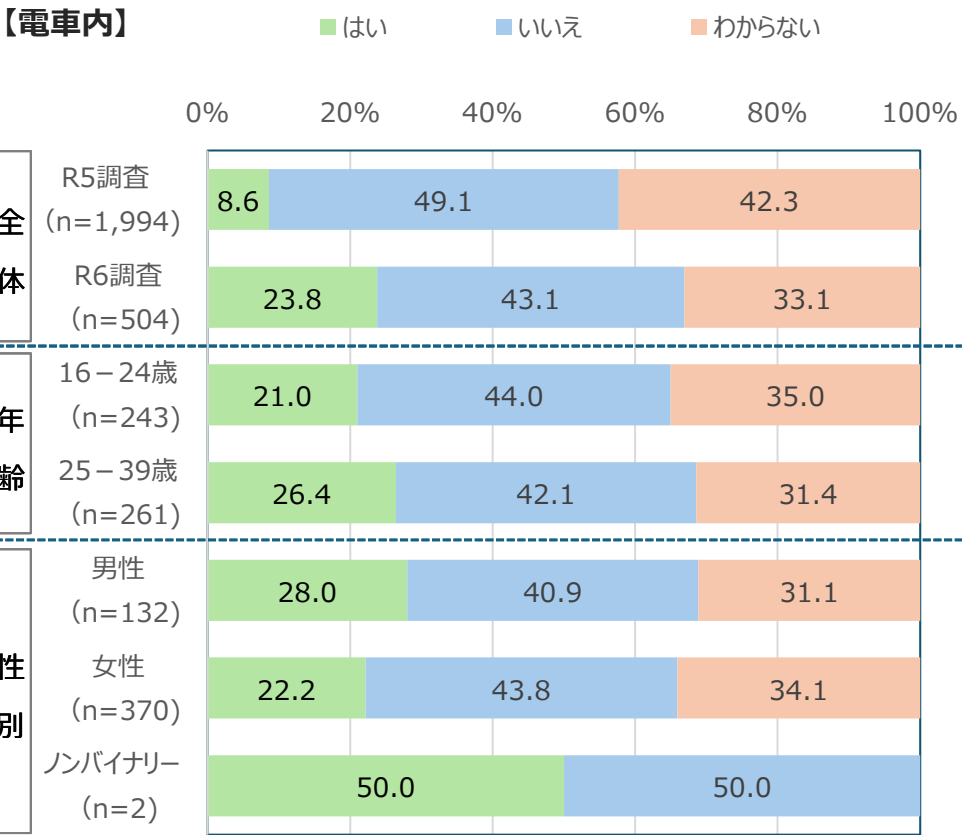
■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「怒りを感じた・反撃したいと思った」(38.9%)、「恥ずかしいと思った」/「身体が動かなかった・声が出なかった」(ともに33.3%)の順が多い。



Q18. 痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

周囲の人の対応① Q19.直近の被害時、周囲の人は気づいたか

- 電車内:「はい」(23.8%)、「いいえ」(43.1%)、「わからない」(33.1%)となっており、「はい」が増加している。
(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「はい」(11.1%)、「いいえ」(55.6%)、「わからない」(33.3%)となっている。

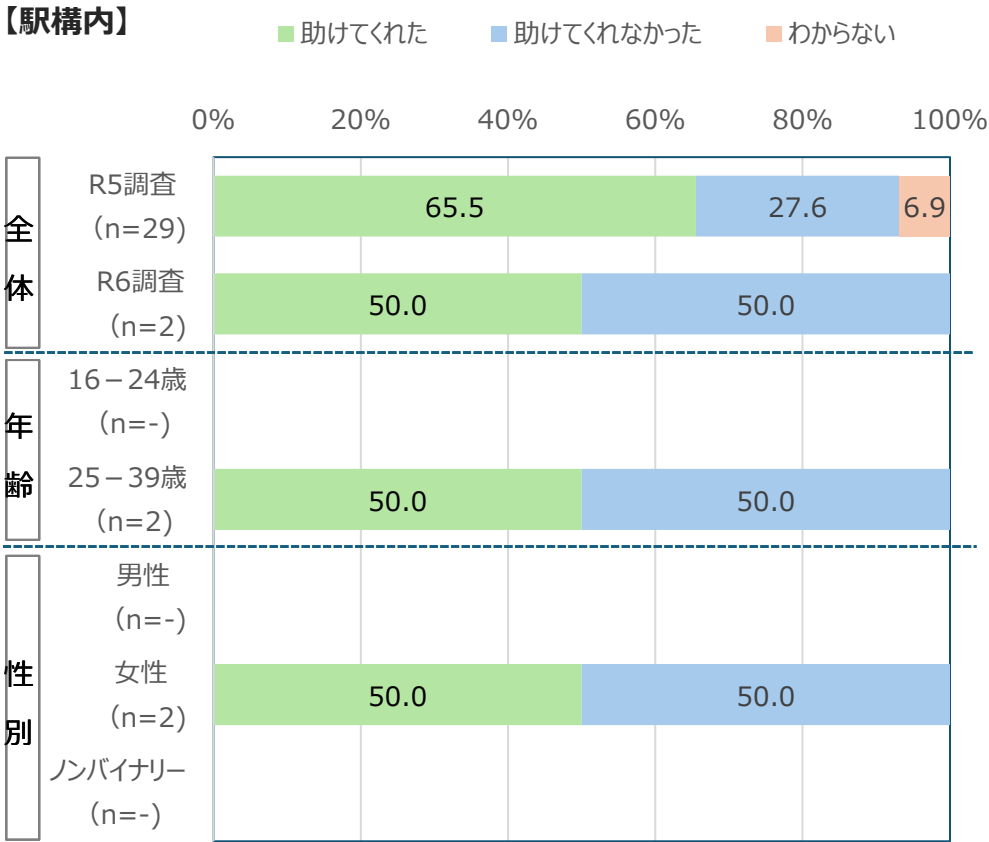
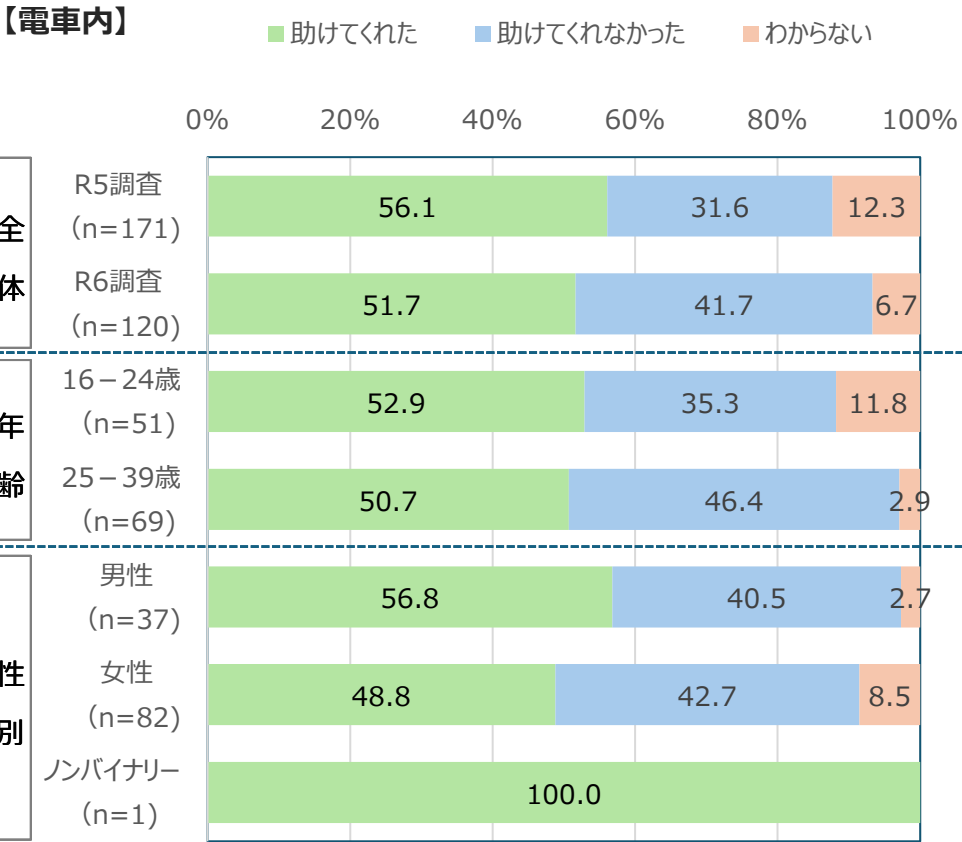


Q19. 周囲にいた人はあなたの被害に気が付きましたか。一番最近の被害についてお答えください。

周囲の人の対応② Q20. 被害に気づいた周囲の人の反応

- 電車内:「助けてくれた」(51.7%)が多く、「助けてくれなかった」が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「助けてくれた」/「助けてくれなかった」(ともに50.0%)となっている。

n数はQ19で「1 はい」と回答した方のみ

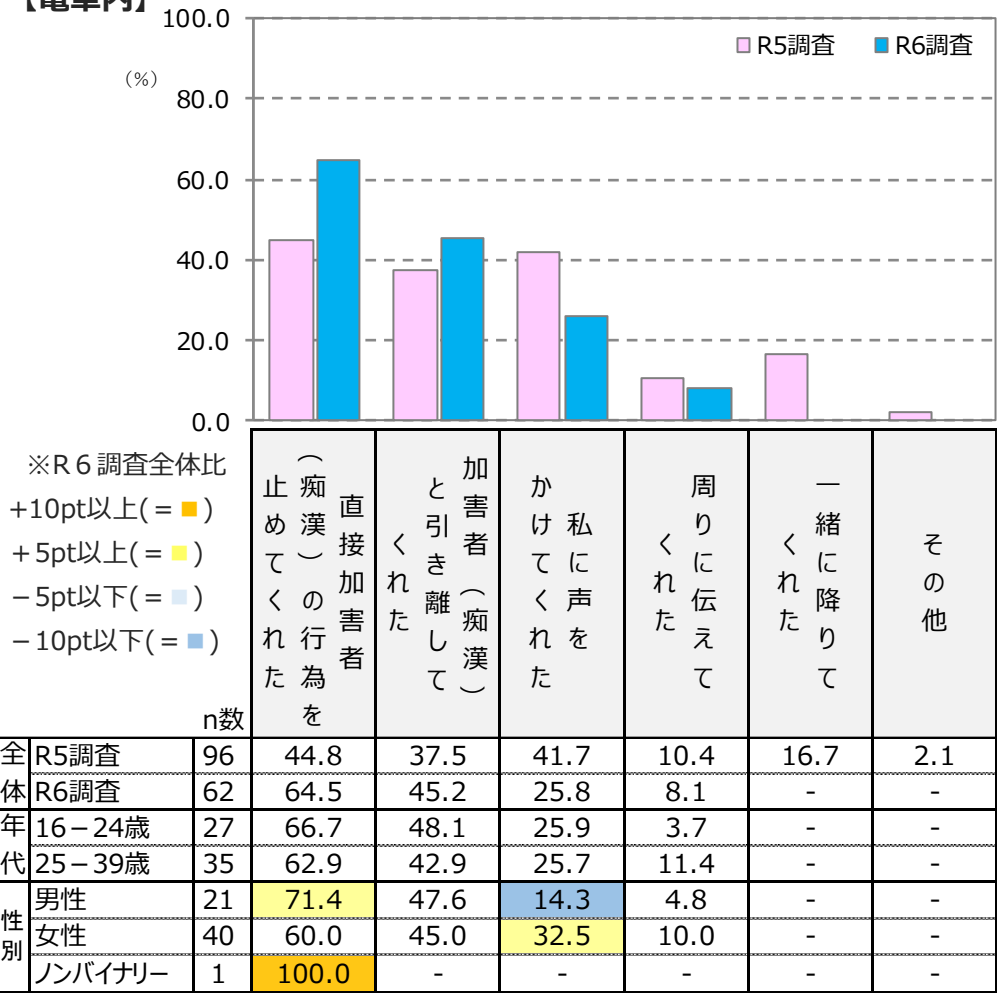


Q20. あなたの被害に気づいた周囲にいた人の反応についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

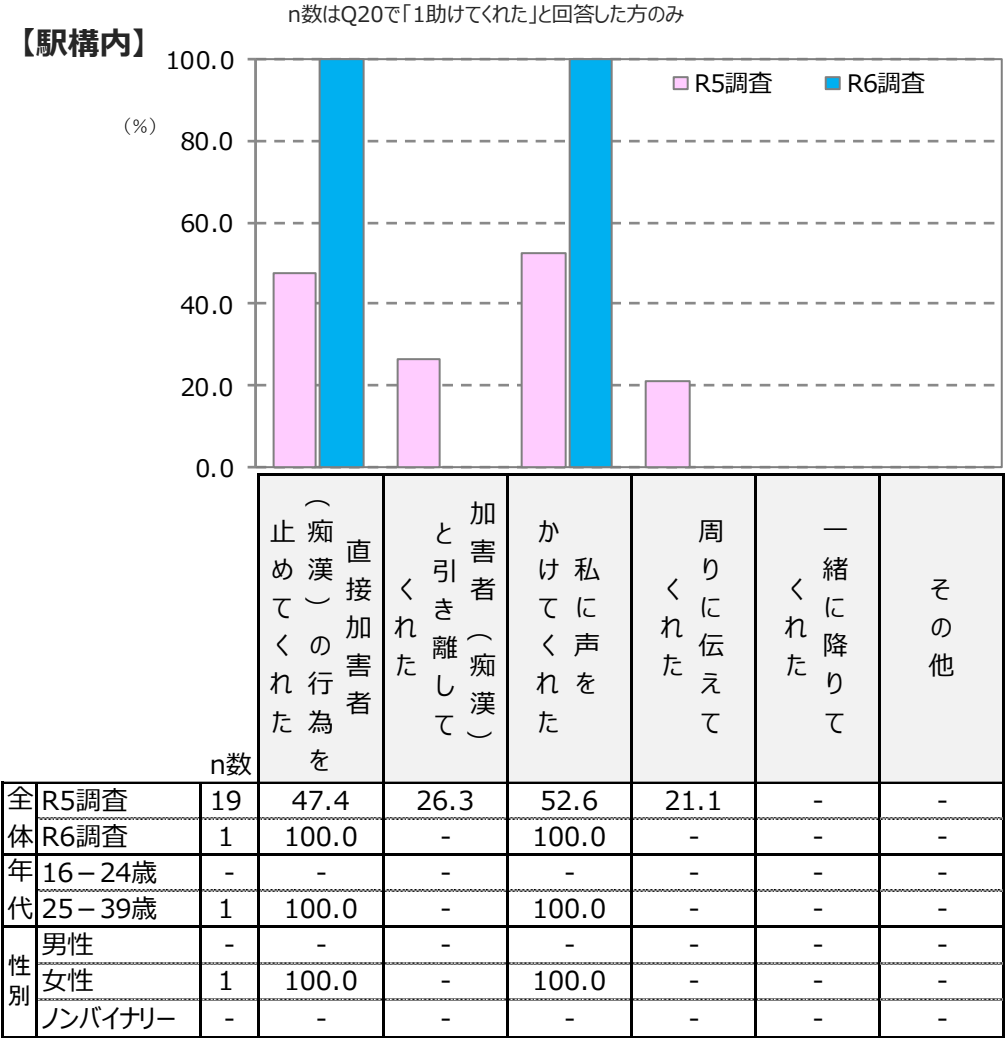
周囲の人の対応③ Q21.被害時に周囲の人が助けてくれた方法(MA)

- 電車内:「直接加害者(痴漢)の行為を止めてくれた」(64.5%)、「加害者(痴漢)と引き離してくれた」(45.2%)、「私に声をかけてくれた(25.8%)」の順で多く、「直接加害者の行為を止めてくれた」の増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「直接加害者(痴漢)の行為を止めてくれた」/「私に声をかけてくれた」(100.0%)などとなっている。

【電車内】



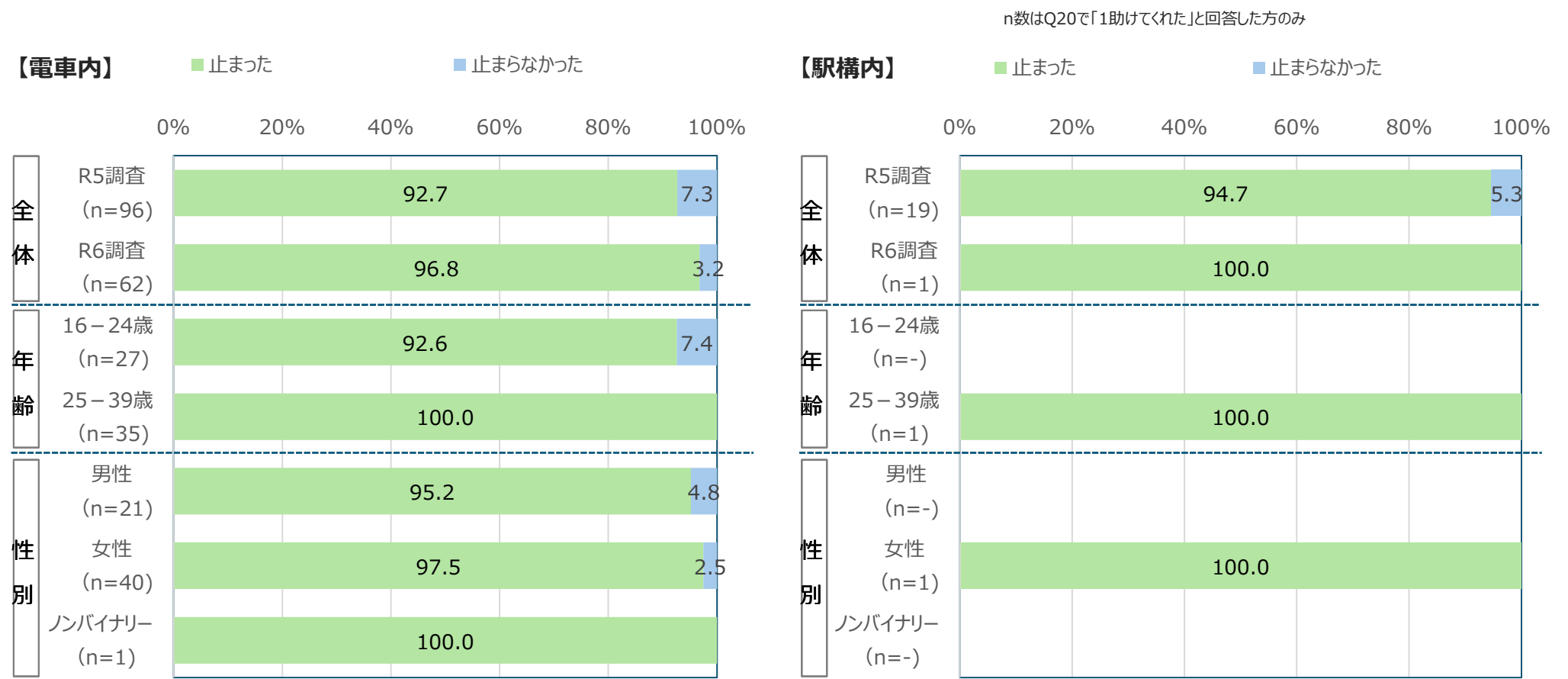
【駅構内】



Q21. 周囲にいた人はあなたをどのような方法で助けてくれましたか。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

周囲の人の対応④ Q22.周囲の人の助けて被害は止まったか

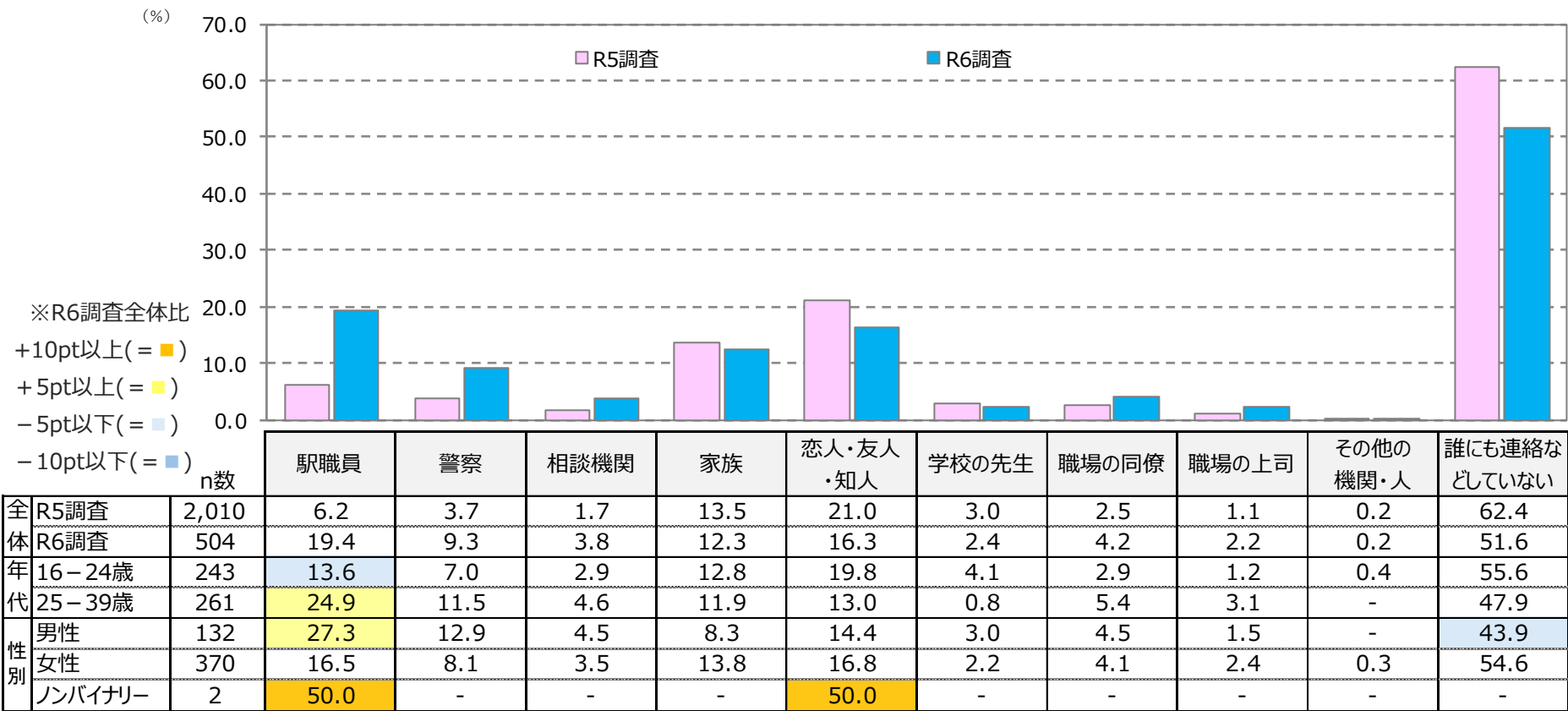
- 電車内:「止まった」(96.8%)、「止まらなかった」(3.2%)となっている。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」が100.0%となっている。



Q22. 周囲にいた人が助けてくれたことによって被害が止まったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況① Q23-1.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか (MA) :被害時かその直後:電車内

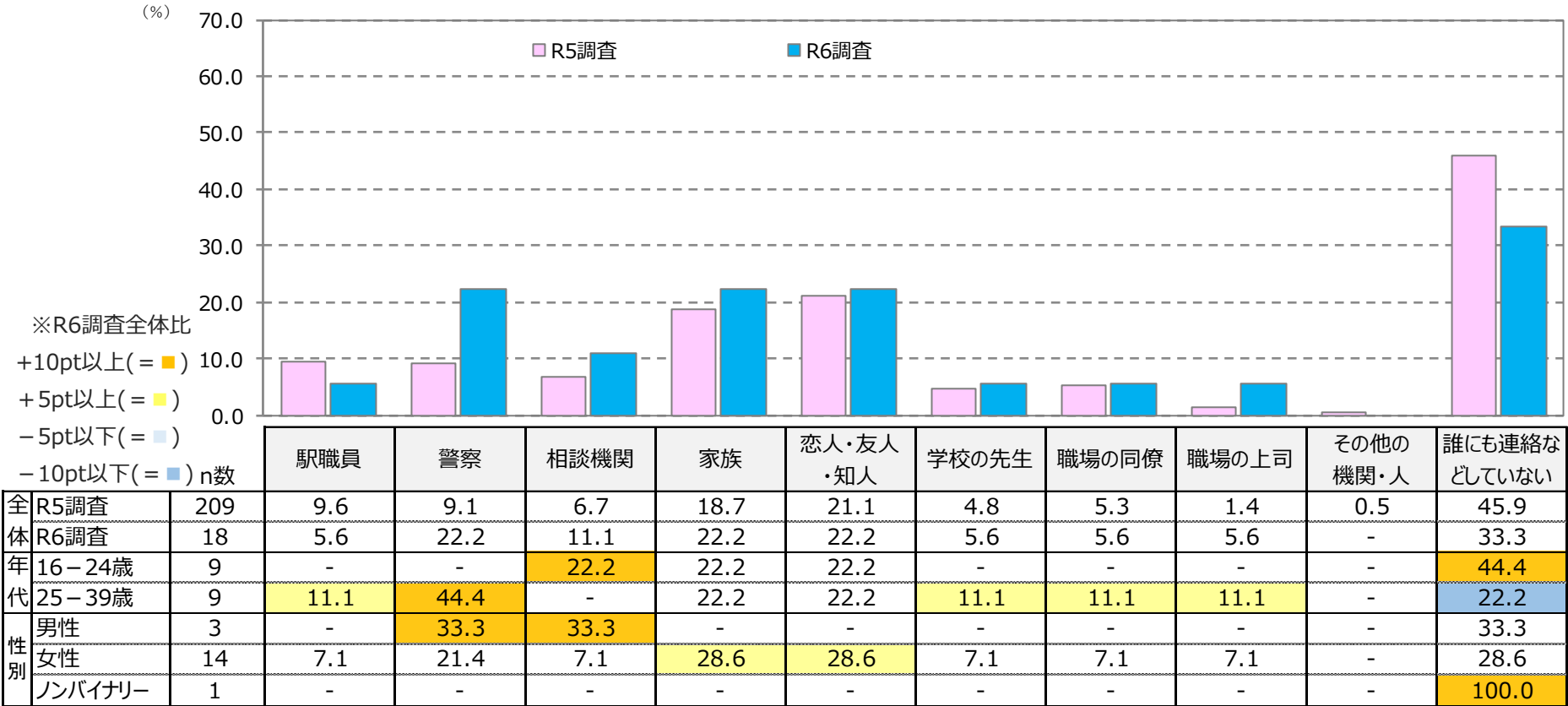
- 電車内:「被害直後は誰にも連絡などしていない」は51.6%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「駅職員」(19.4%)、「恋人・友人・知人」(16.3%)、「家族」(12.3%)の順で多く、「駅職員」が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 特に「駅職員」への届け出・連絡・相談等は、25-39歳や男性でやや多い。



Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況② Q23-1.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか (MA) :被害時かその直後:駅構内

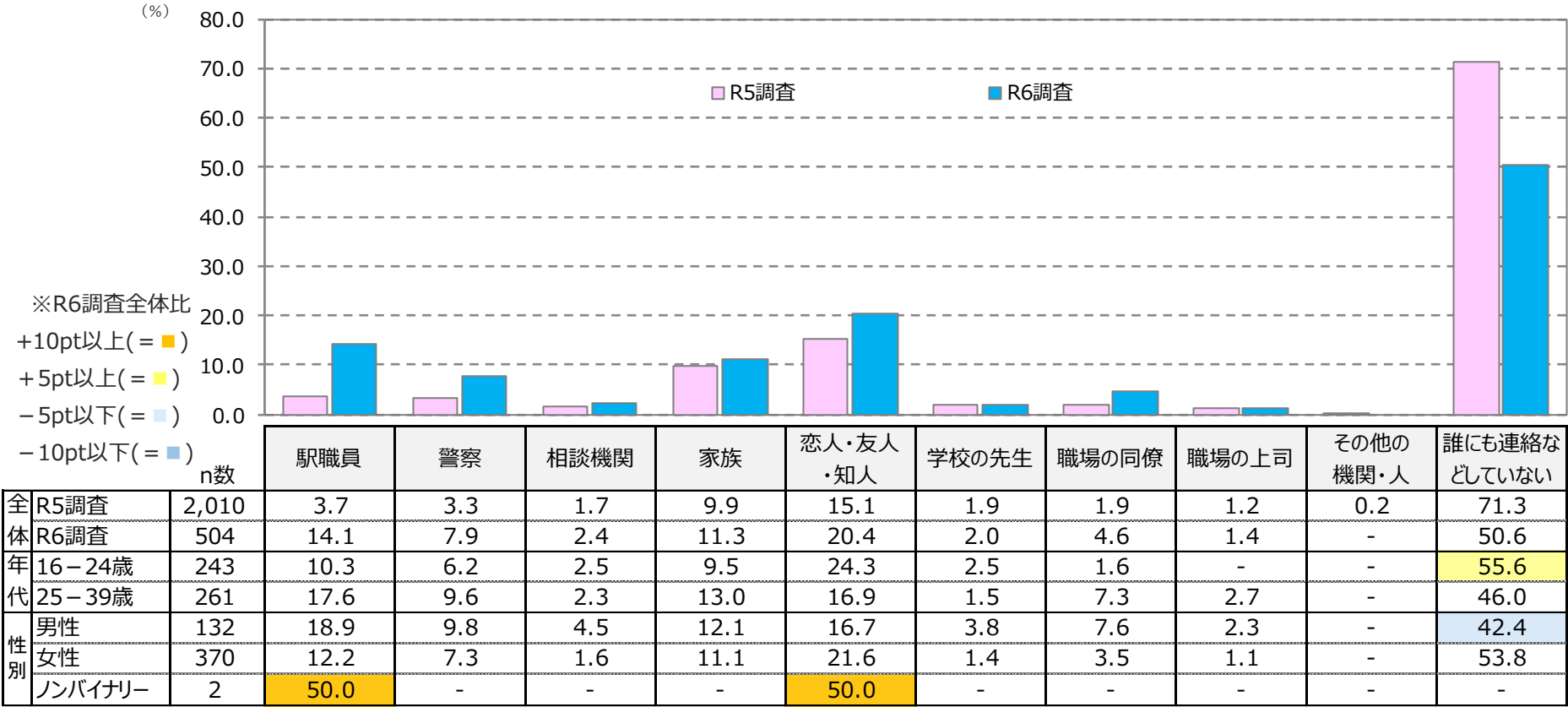
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、被害直後は「誰にも連絡などしていない」は33.3%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「警察」/「家族」/「恋人・友人・知人」(いずれも22.2%)などとなっている。



Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況③ Q23-2.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか (MA) :被害時のしばらく後:電車内

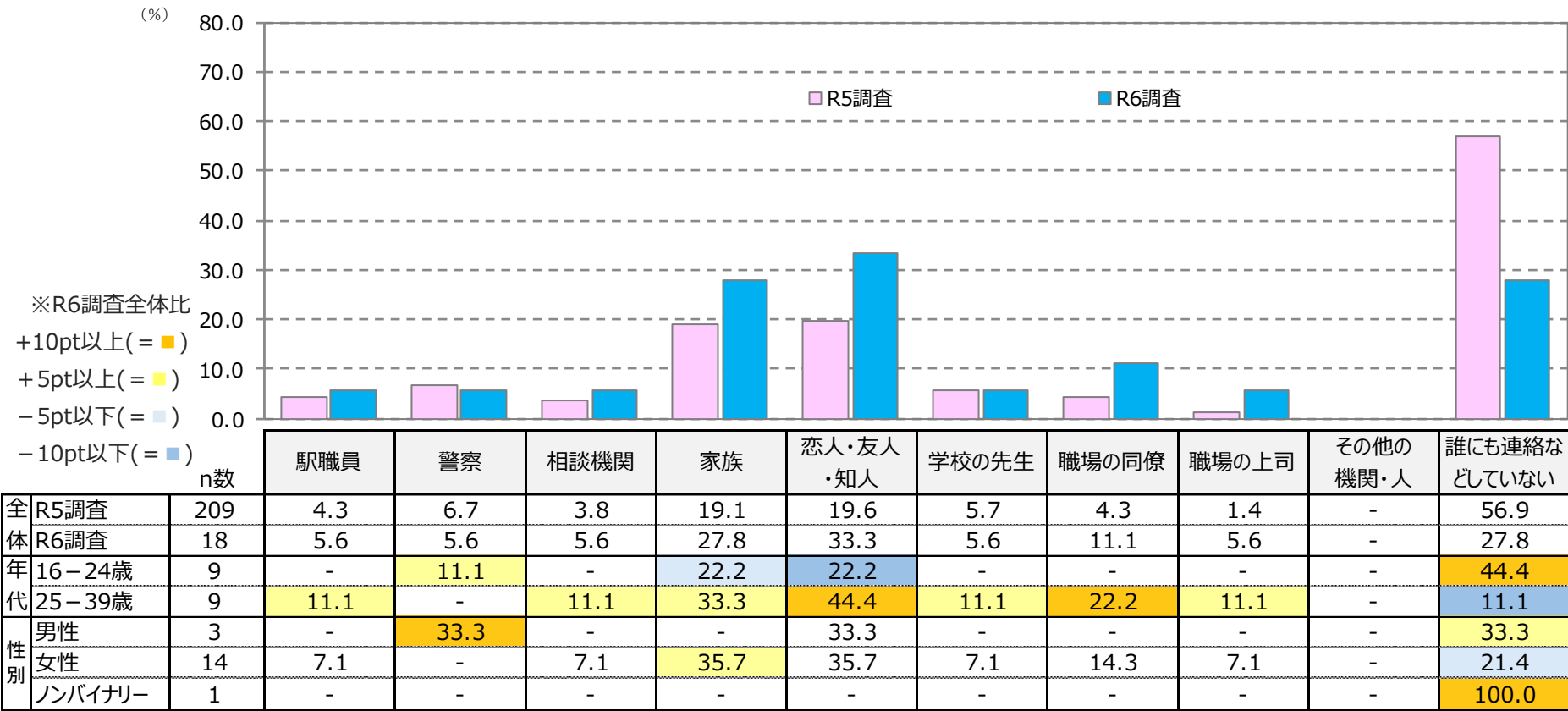
- 電車内:被害のしばらく後は「誰にも連絡などしていない」は50.6%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「恋人・友人・知人」(20.4%)、「駅職員」(14.1%)、「家族」(11.3%)の順で多い。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 16-24歳の若い層で、「誰にも連絡などしていない」がやや多い。



Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況④ Q23-2.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか (MA) :被害時のしばらく後:駅構内

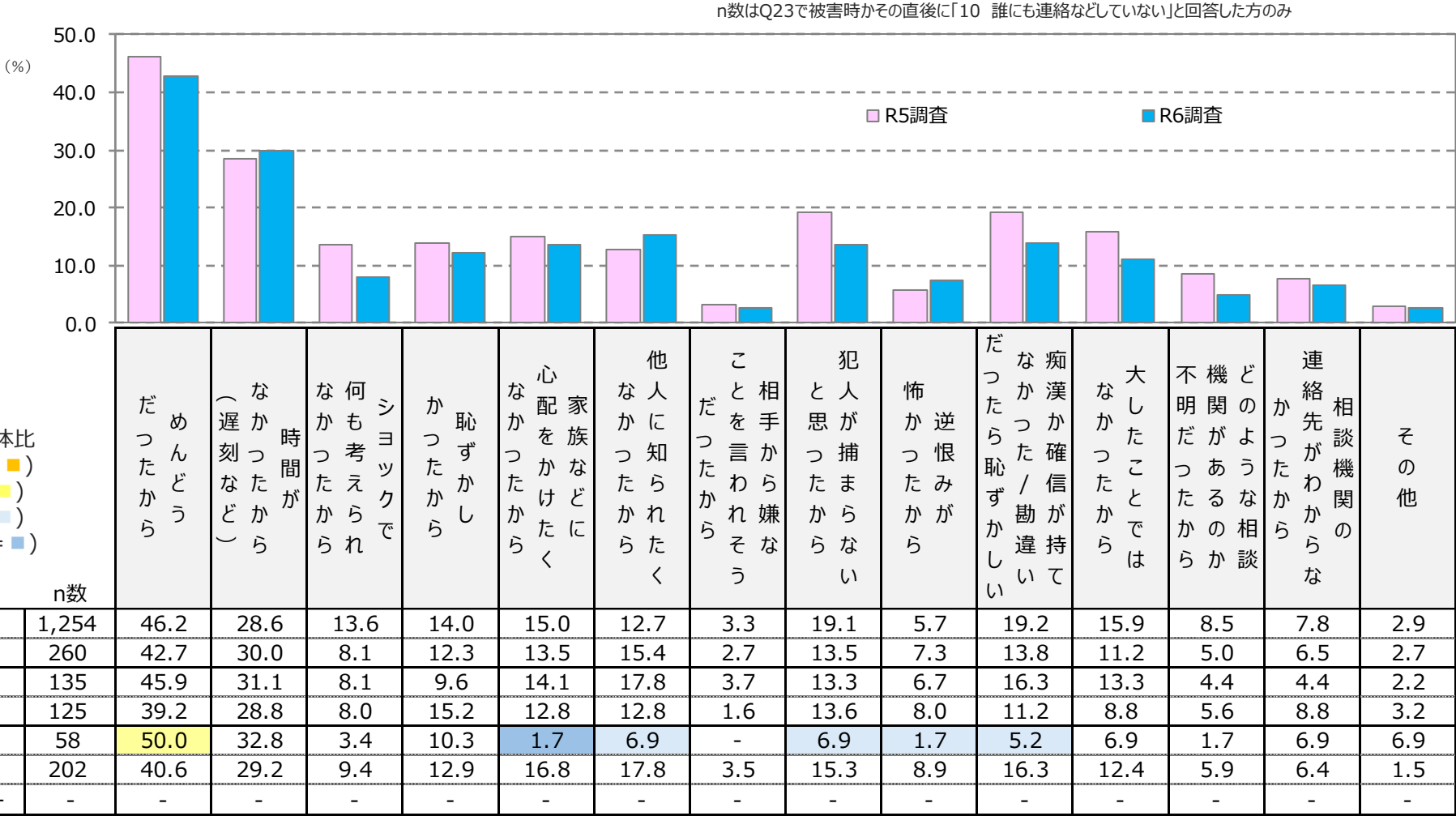
■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、被害のしばらく後は「誰にも連絡などしていない」は27.8%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「恋人・友人・知人」(33.3%)、「家族」(27.8%)の順で多い。



Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑤ Q24-1.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由 (MA) :被害時かその直後:電車内

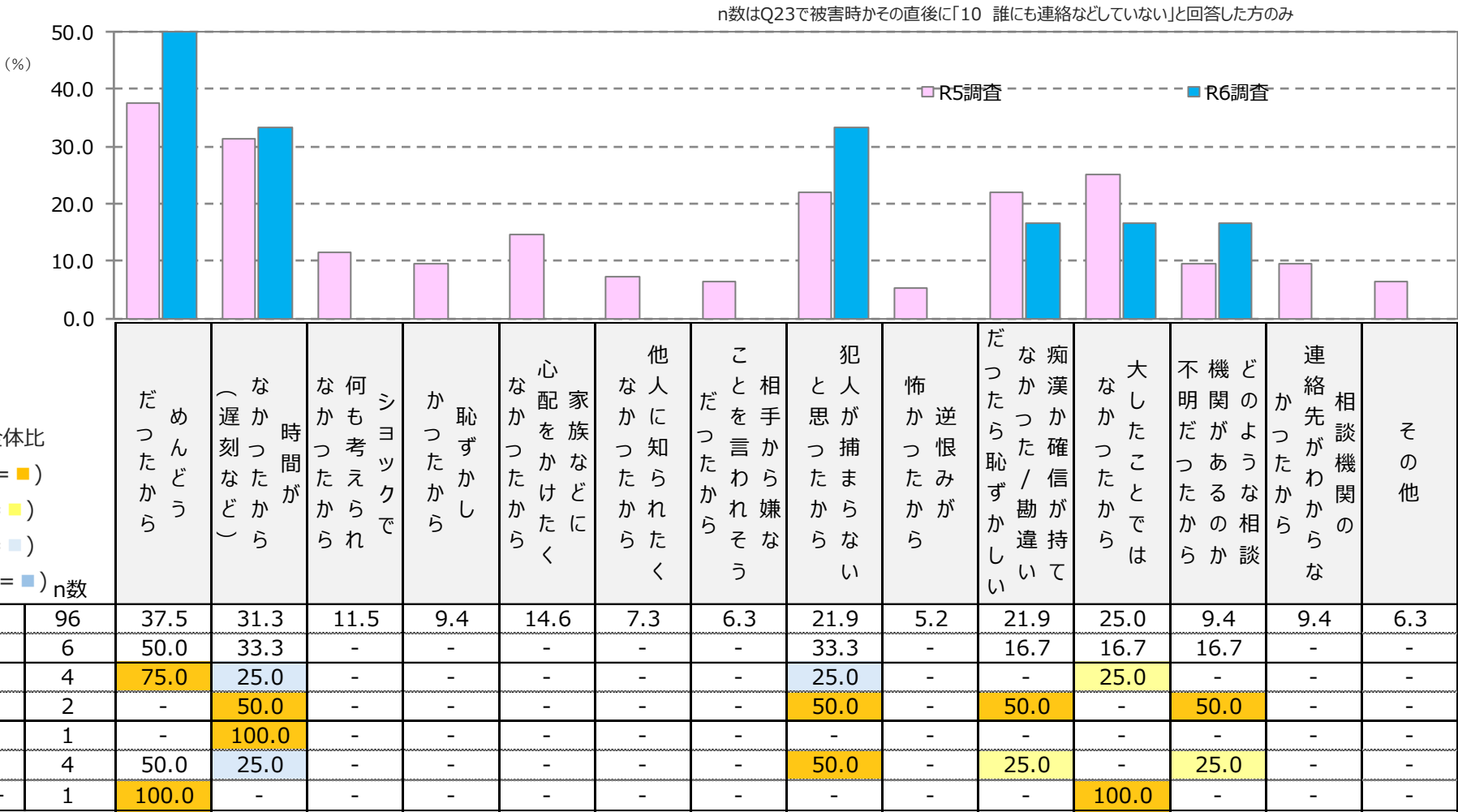
- 電車内:「めんどうだったから」(42.7%)、「時間がなかったから(遅刻など)」(30.0%)、「他人に知られたくなかったから」(15.4%)、「痴漢か確信が持てなかった/勘違いだったら恥ずかしい」(13.8%)の順で多い。
- 男性で、「めんどうだったから」がやや多い。



Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑥ Q24-1.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由 (MA) :被害時かその直後:駅構内

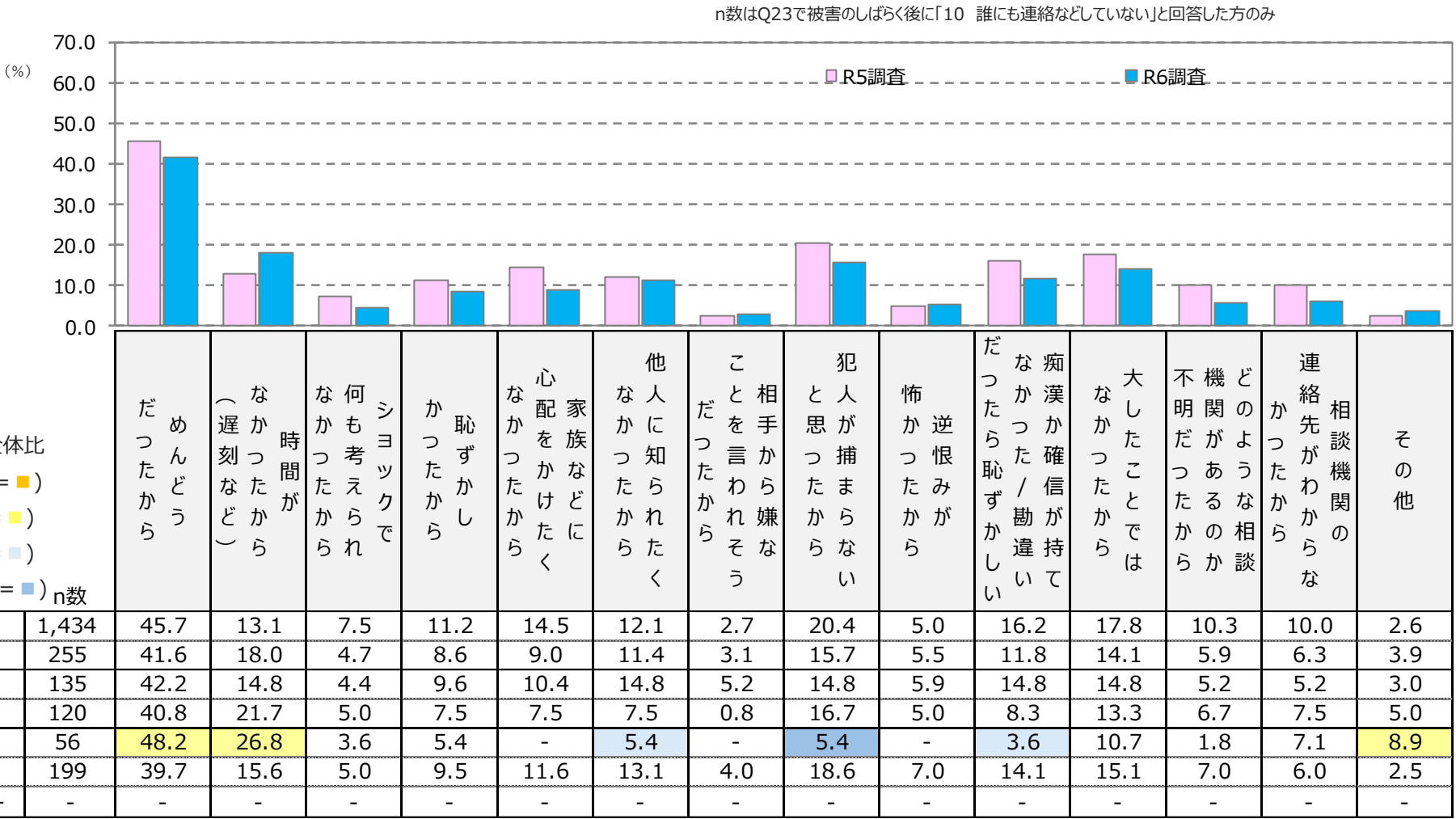
■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「めんどうだったから」(50.0%)、「時間がなかったから(遅刻など)」/「犯人が捕まらないと思ったから」(ともに33.3%)の順が多い。



Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑦ Q24-2.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由 (MA) :被害のしばらく後:電車内

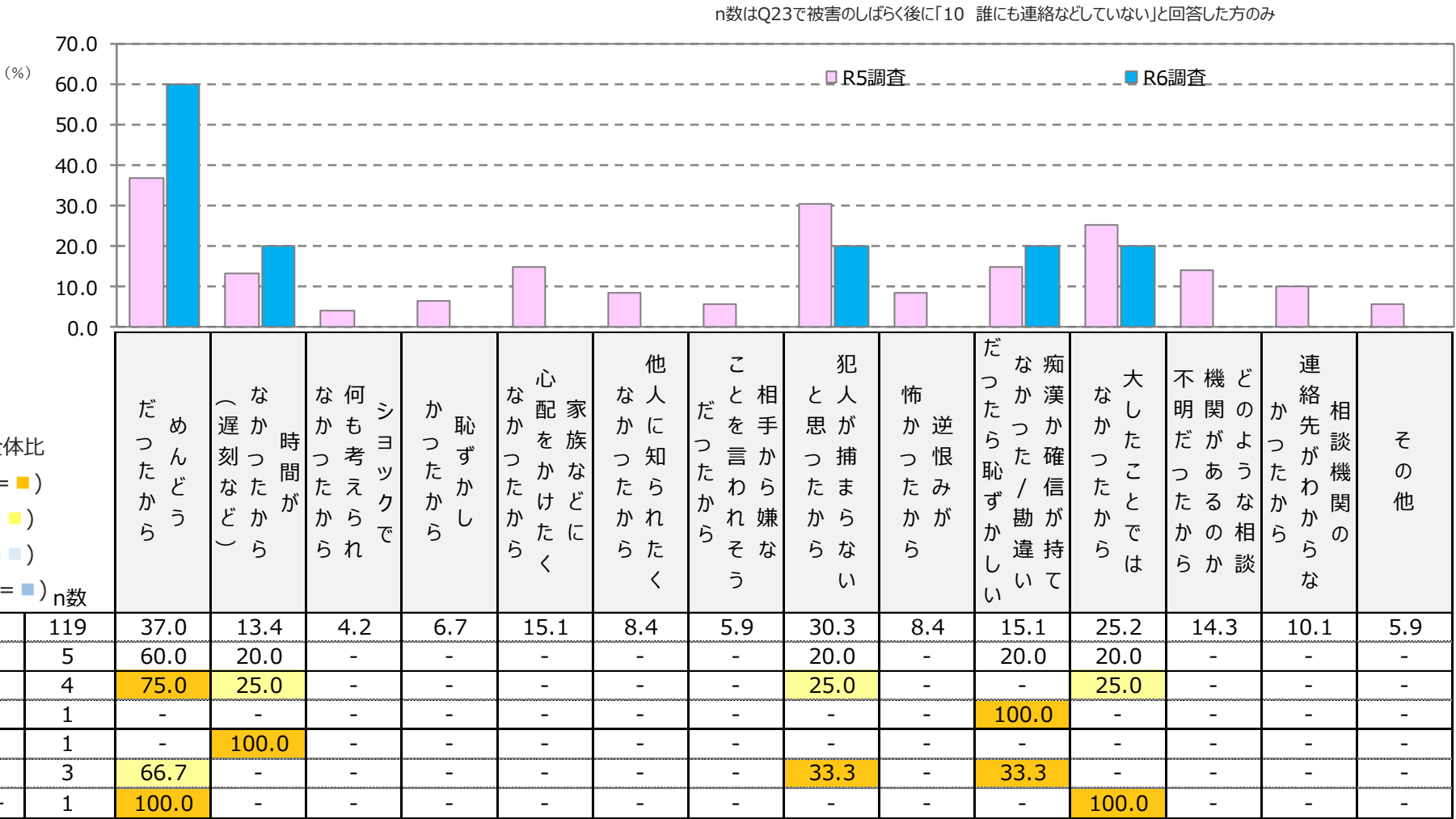
- 電車内:「めんどうだったから」(41.6%)、「時間がなかったから(遅刻など)」(18.0%)、「犯人が捕まらないと思ったから」(15.7%)、「大したことではなかったから」(14.1%)の順が多い。
- 男性で、「めんどうだったから」、「時間がなかったから(遅刻など)」がやや多い。



Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑧ Q24-2.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由 (MA) :被害のしばらく後:駅構内

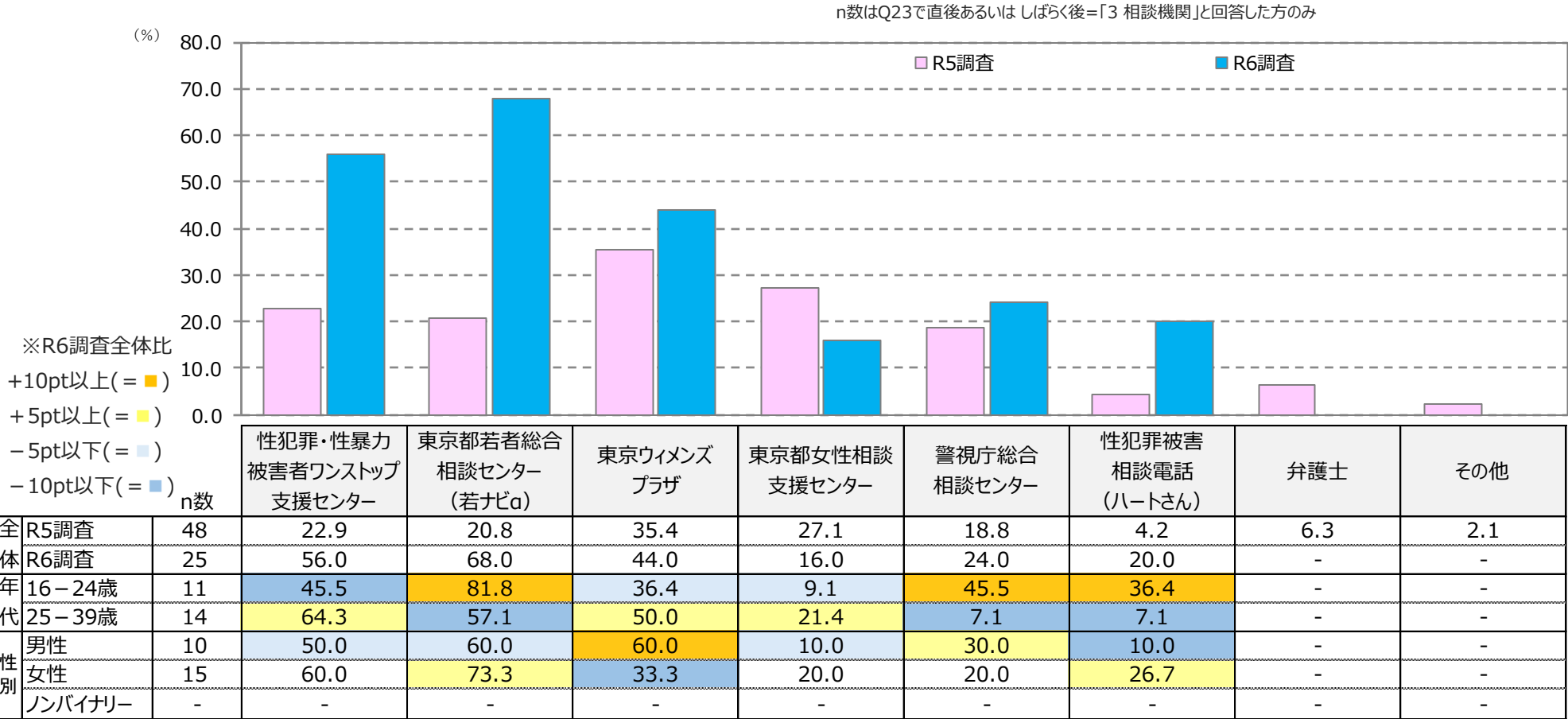
■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「めんどうだったから」が60.0%と最も多い。



Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑨ Q25.被害を連絡した機関名 (MA) : 電車内

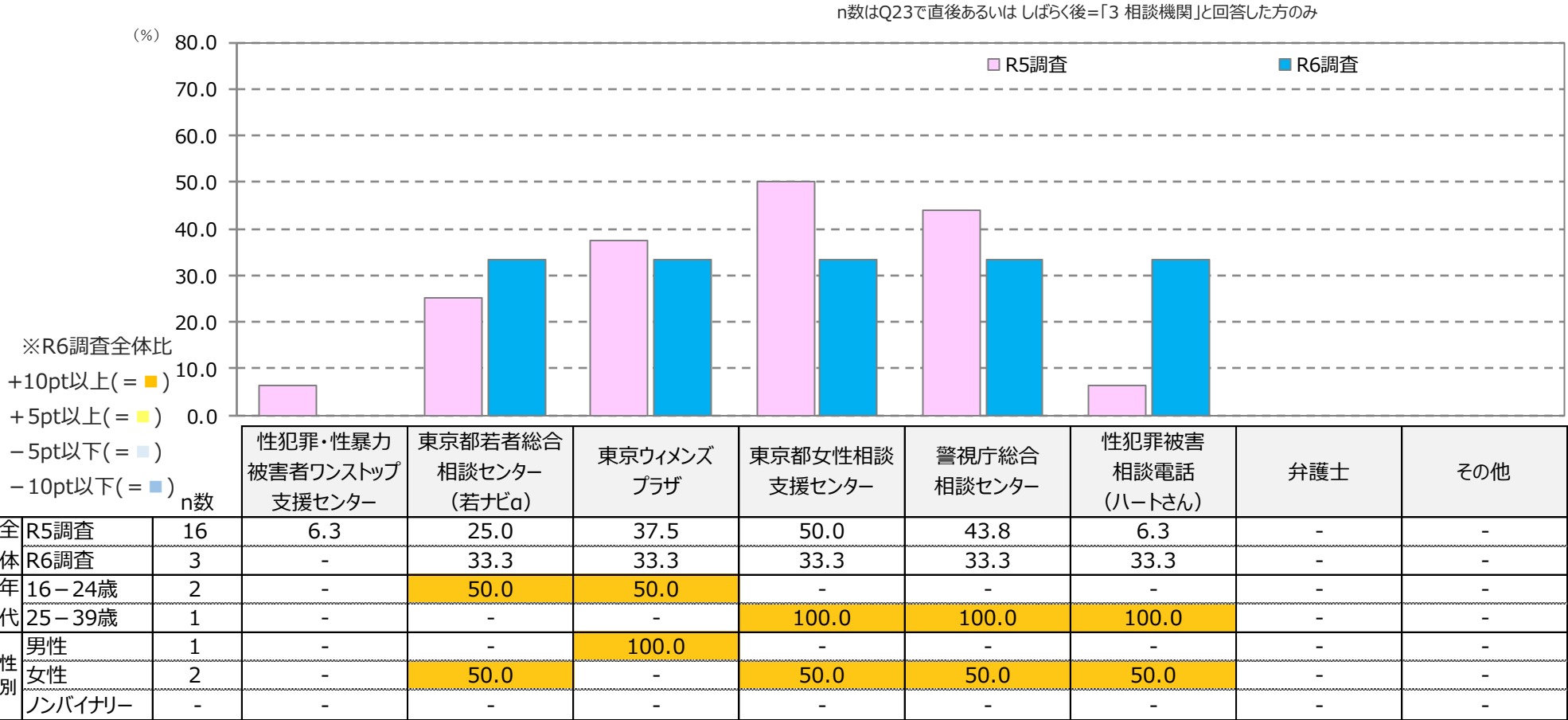
■ 電車内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「東京都若者総合相談センター(若ナビα)」が68.0%、「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」が56.0%などとなっている。



Q25. 連絡した機関名についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡・相談状況⑩ Q25.被害を連絡した機関名(MA):駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「東京都若者総合相談センター(若ナビα)」「東京ウィメンズプラザ」/「東京都女性相談支援センター」/「警視庁総合相談センター」/「性犯罪被害相談電話(ハートさん)」がともに33.3%などとなっている。

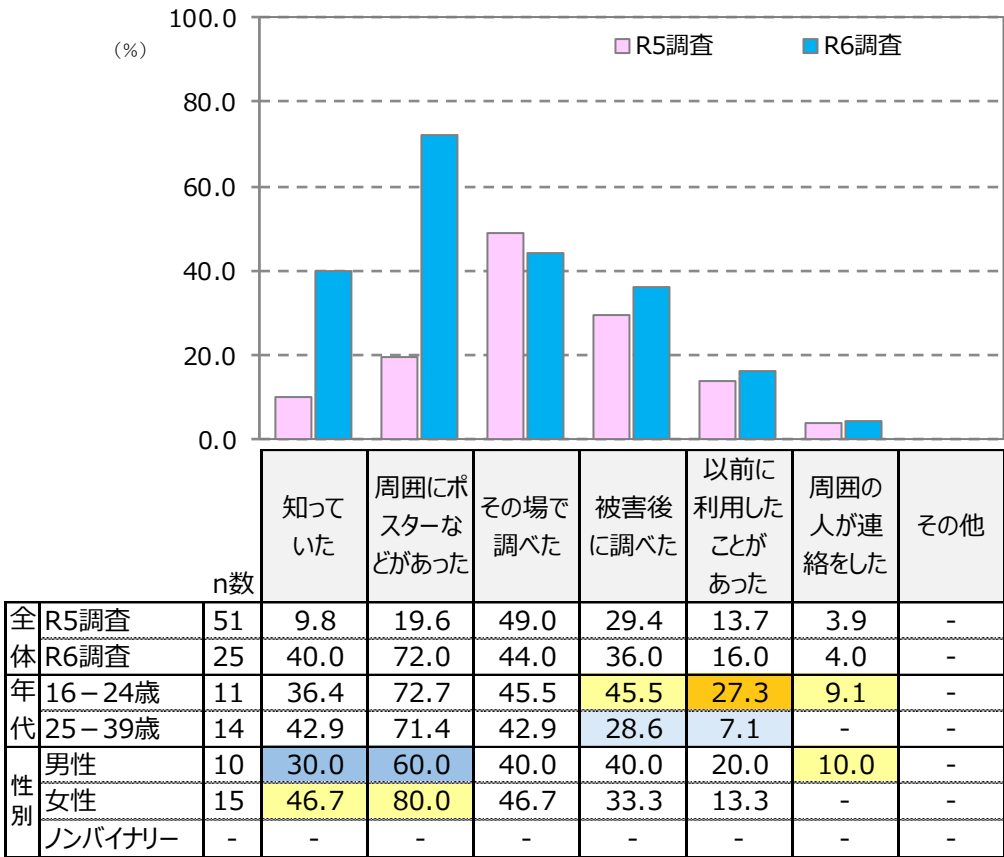


Q25. 連絡した機関名についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡・相談状況⑪ Q26.連絡した機関を知った方法 (MA)

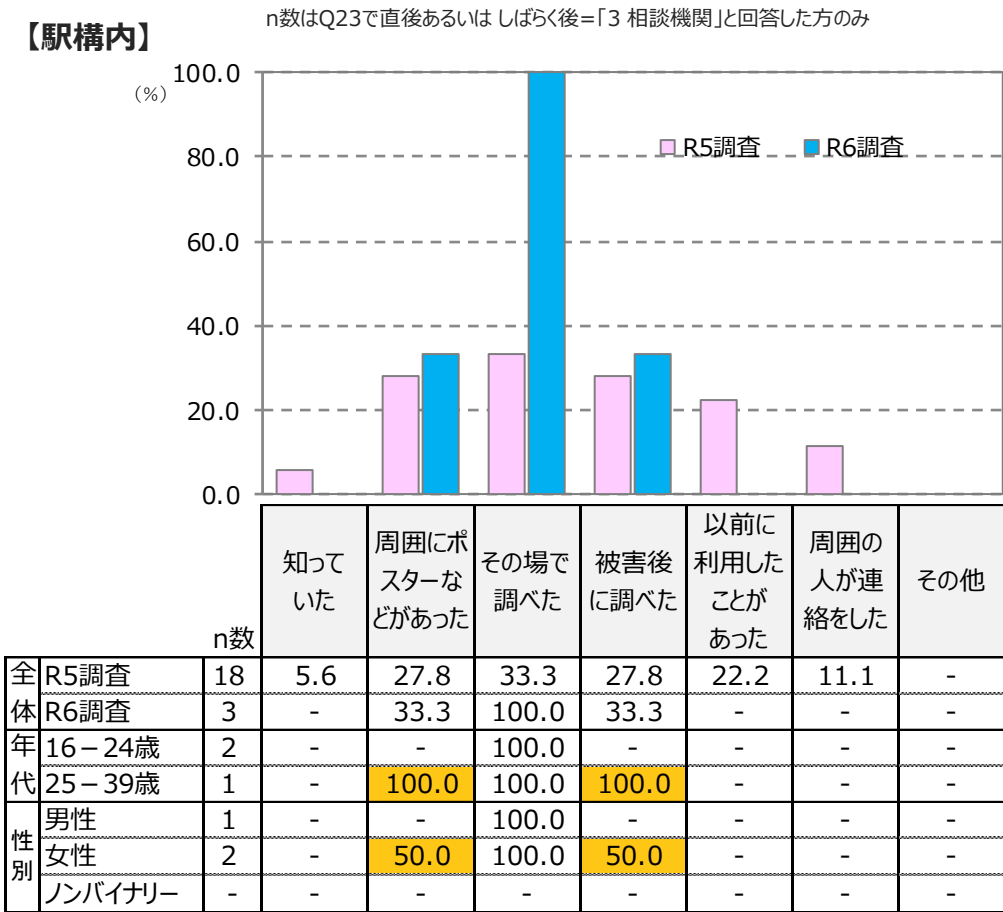
- 電車内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「周囲にポスターなどがあった」(72.0%)、「その場で調べた」(44.0%)などとなっている。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「その場で調べた」(100.0%)、「周囲にポスターなどがあった」被害後に調べた」/(ともに33.3%)などとなっている。

【電車内】



Q26. どのようにその機関を知ったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

【駅構内】



※R6調査全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

IV 痴漢目撃・居合わせ者調査（電車内・駅構内）

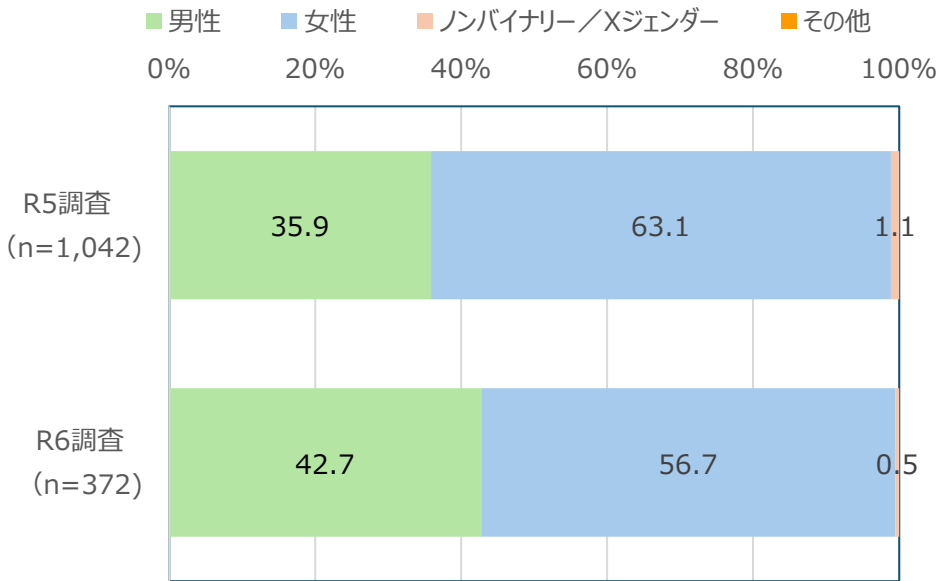
【回答者要件】

- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方
- 通勤・通学に電車を使っている方
- ここ1年で電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方
（R5調査はここ1年での被害に絞っていないので比較の際は注意が必要）
- 16～69歳の方

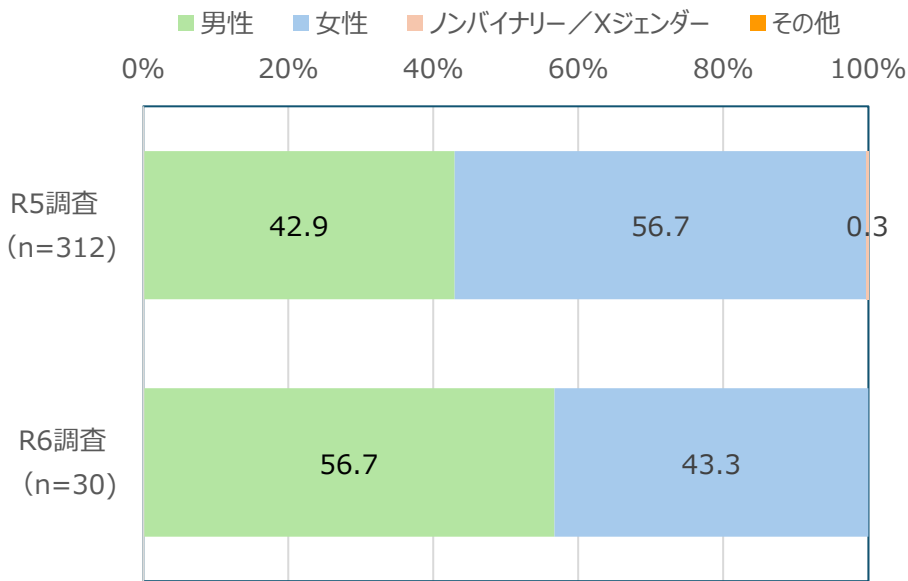
回答者属性① SC1.性別/性自認

- 電車内:「男性」(42.7%)、「女性」(56.7%)、「ノンバイナリー/Xジェンダー」(0.5%)となっている。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「男性」(56.7%)、「女性」(43.3%)となっている。

【電車内】



【駅構内】

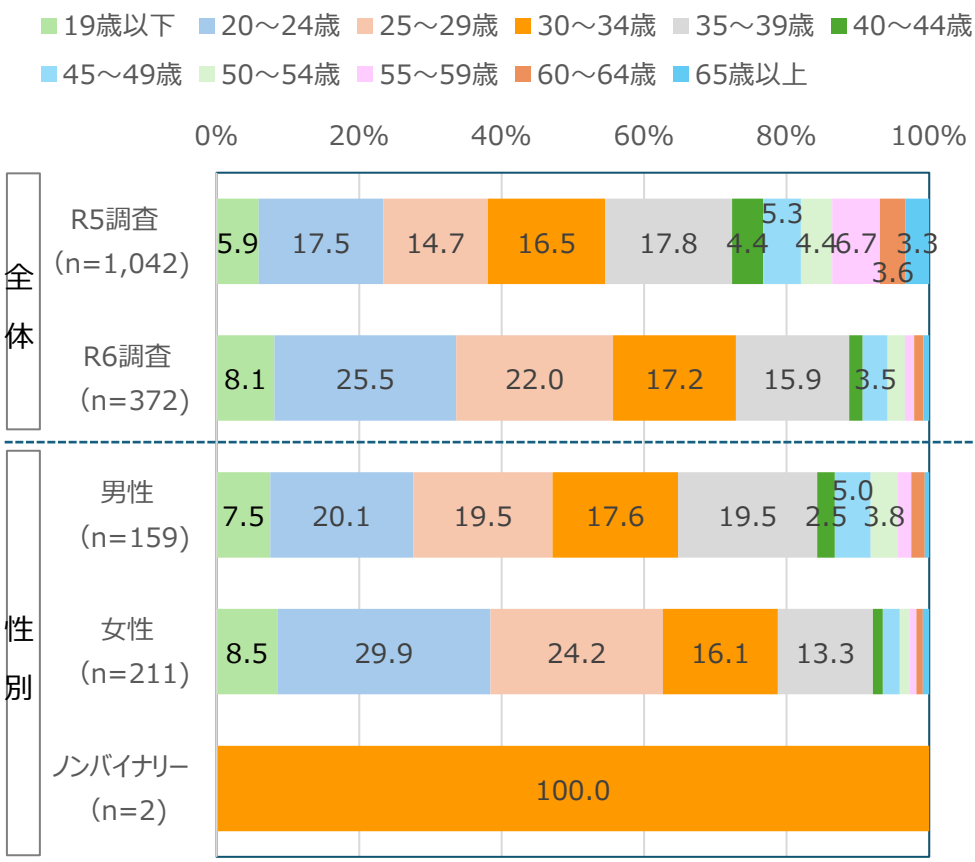


SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

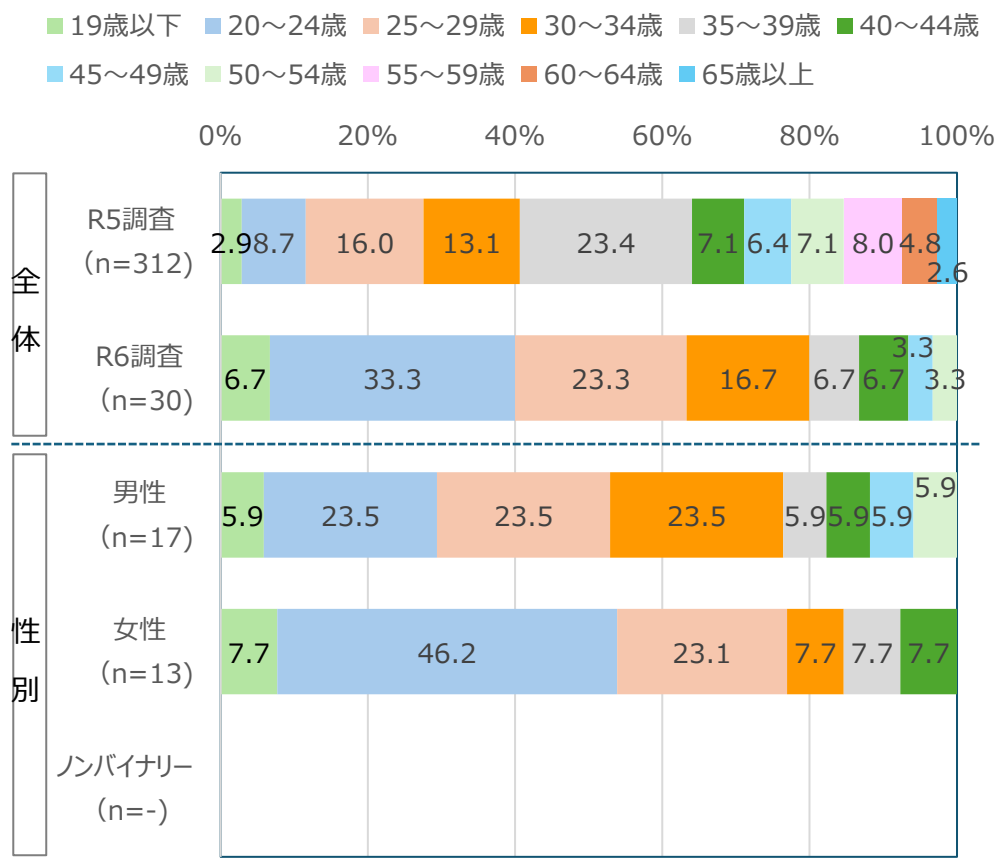
回答者属性② SC2.年齢

- 電車内:「20～24歳」(25.5%)、「25～29歳」(22.0%)、「30～34歳」(17.2%)の順で多く、20代が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「20～24歳」(33.3%)、「25～29歳」(23.3%)、「30～34歳」(16.7%)の順で多く、20代が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

【電車内】



【駅構内】



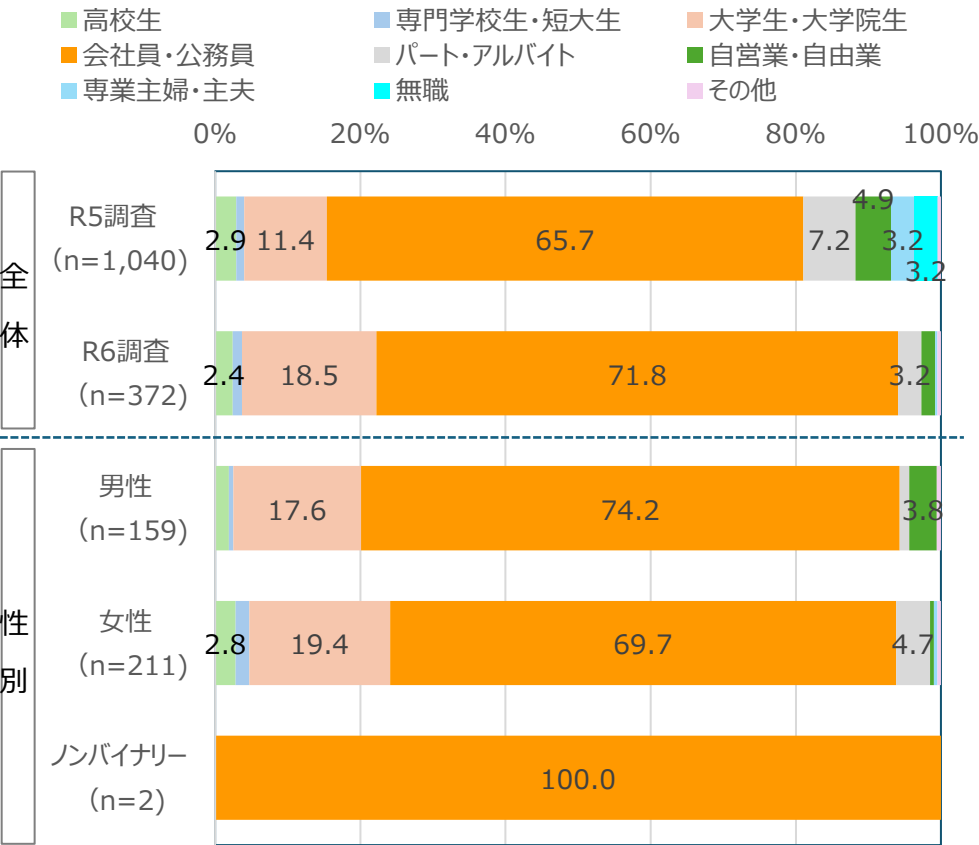
SC2. あなたの年齢をお答えください。

※2%未満のデータラベルは非表示

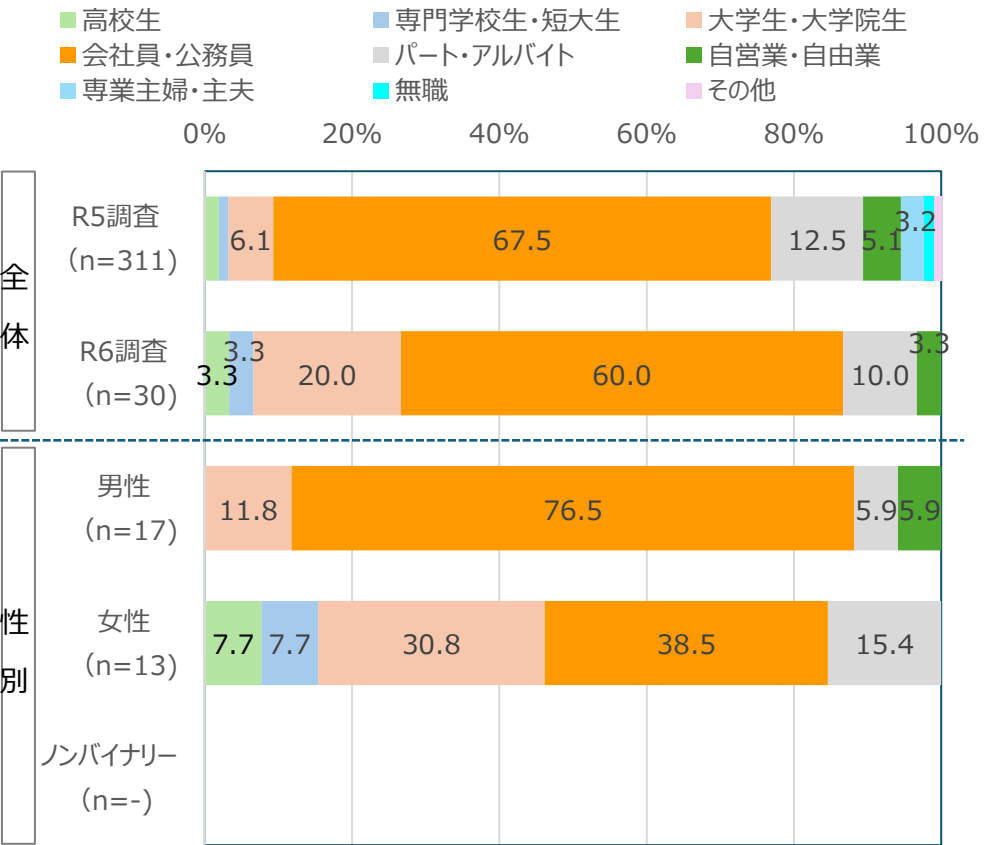
回答者属性③ SC3.職業/学校

- 電車内:「会社員・公務員」(71.8%)、「大学生・大学院生」(18.5%)、「パート・アルバイト」(3.2%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「会社員・公務員」(60.0%)、「大学生・大学院生」(20.0%)、「パート・アルバイト」(10.0%)の順が多い。

【電車内】



【駅構内】



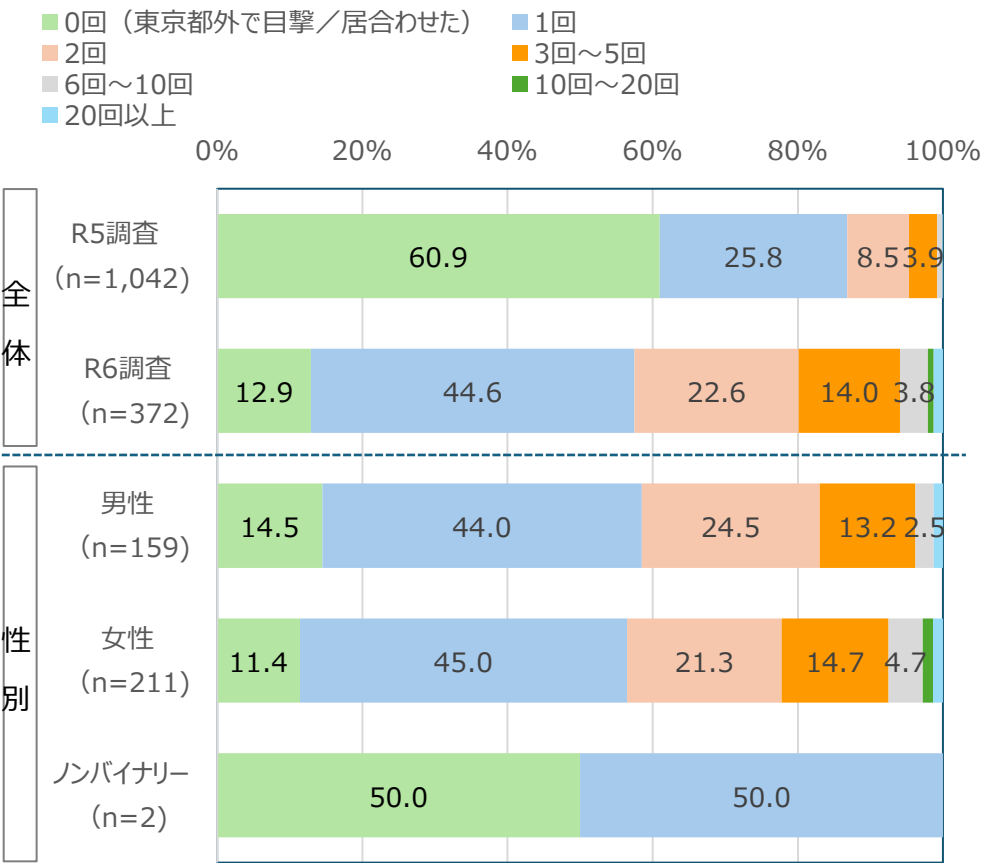
SC3. あなたの現在の職業・学校をお答えください。

※2%未満のデータラベルは非表示

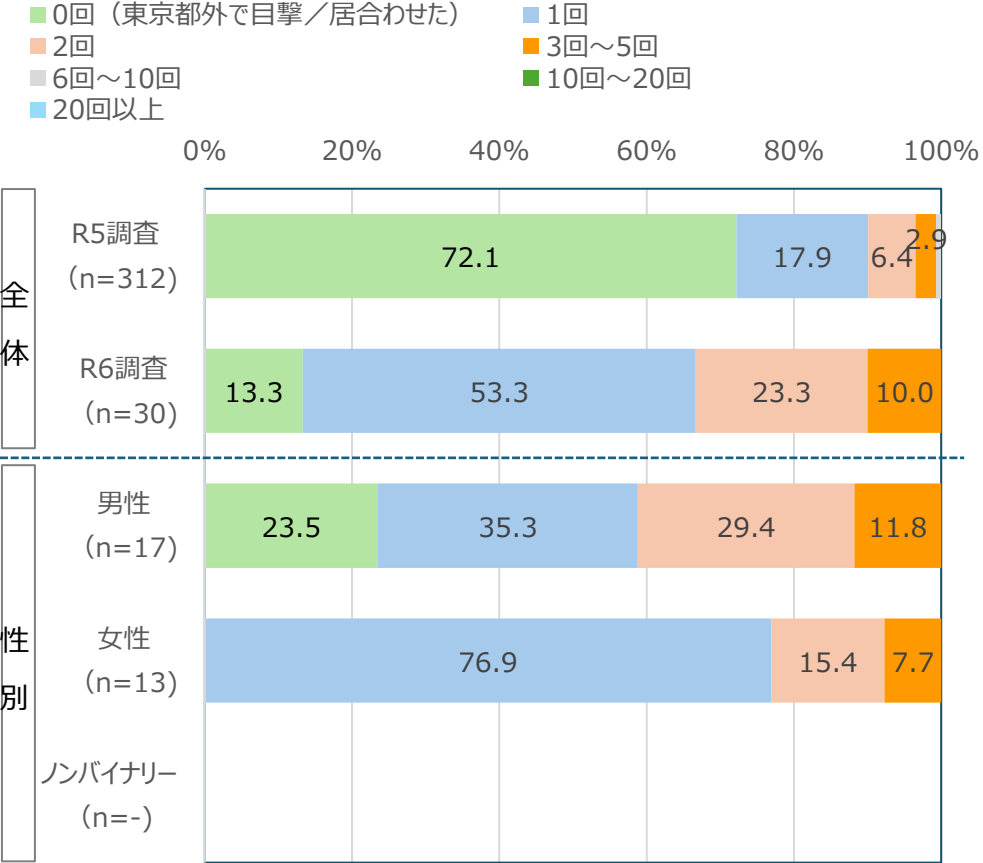
痴漢目撃・居合わせの経験 Q27.直近1年で都内で痴漢を目撃/居合わせた回数

- 電車内:「1回」(44.6%)、「2回」(22.6%)、「3～5回」(14.0%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「1回」(53.3%)、「2回」(23.3%)、「0回」(13.3%)の順が多い。

【電車内】



【駅構内】



Q27. あなたが直近1年で東京都内で痴漢を目撃した/居合わせた回数をお答えください。

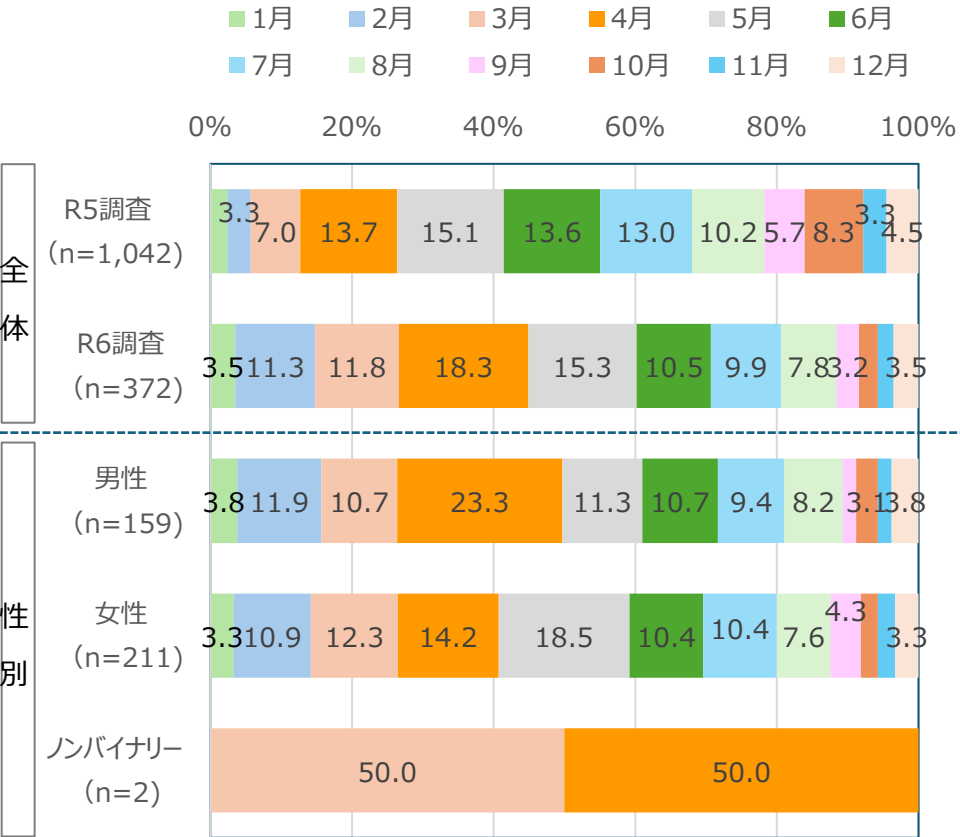
※2%未満のデータは非表示

痴漢目撃・居合わせの状況① Q31.目撃/居合わせた時期

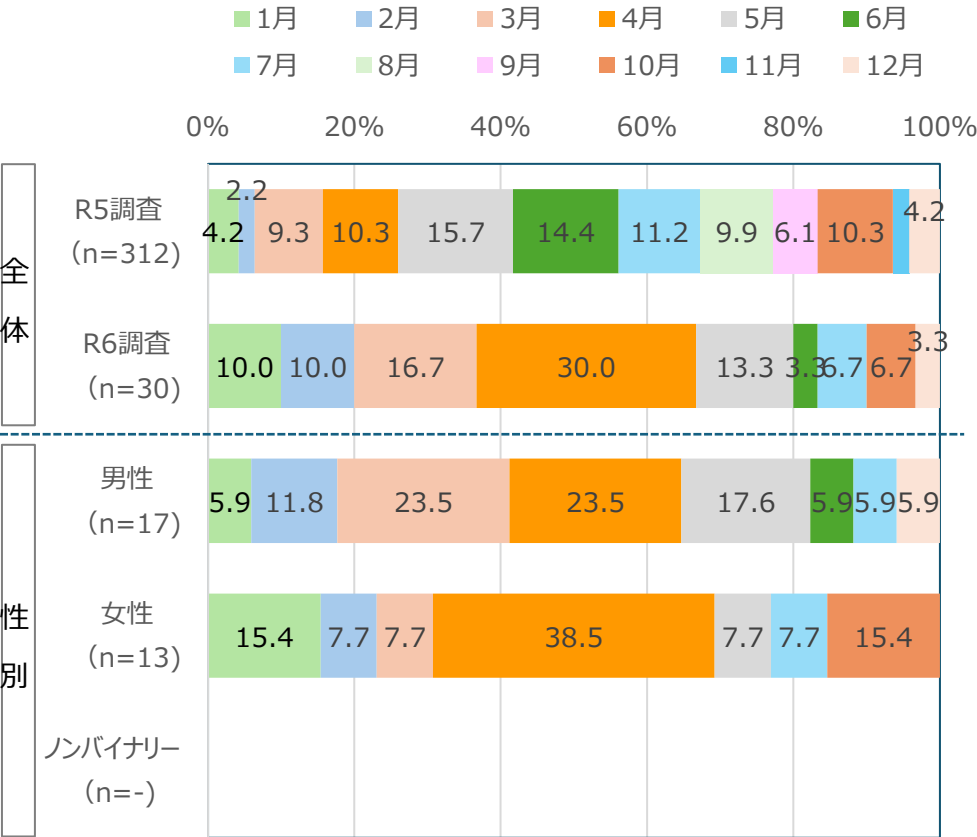
- 電車内:「4月」(18.3%)、「5月」(15.3%)、「3月」(11.8%)、「2月」(11.3%)の順で多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「4月」(30.0%)、「3月」(16.7%)、「5月」(13.3%)の順で多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】



Q31. 目撃した/居合わせたおおよその時期についてお答えください。

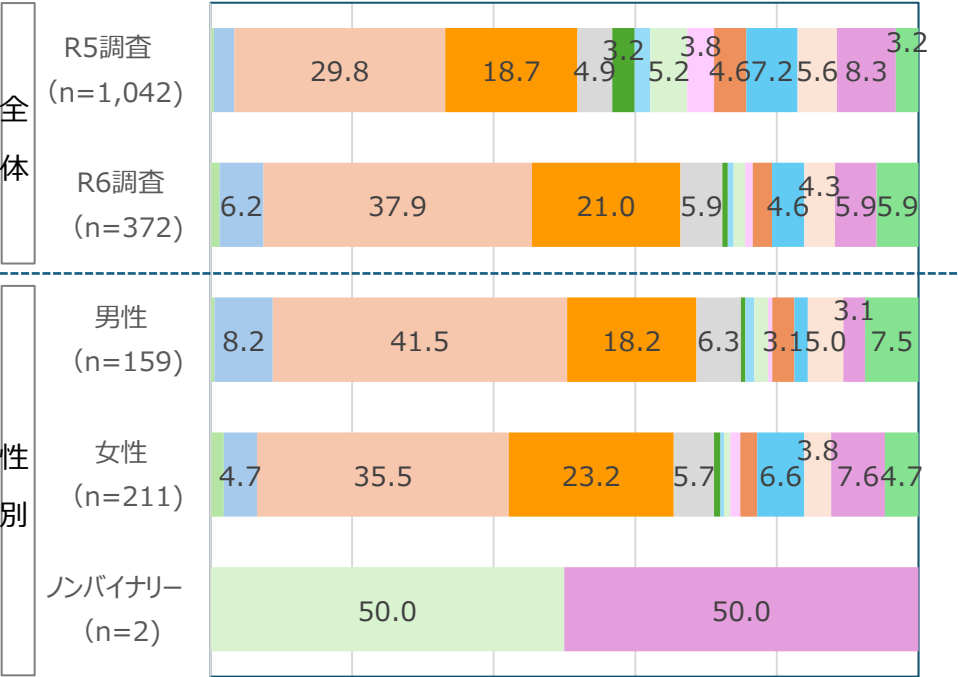
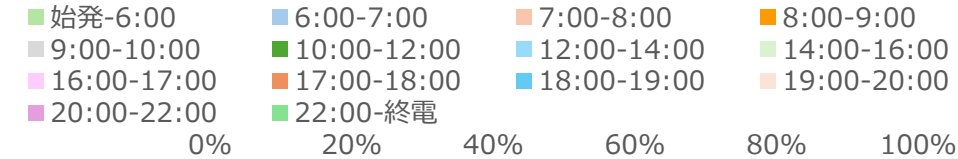
※3%未満のデータラベルは非表示

痴漢目撃・居合わせの状況② Q32.目撃/居合わせた時間帯

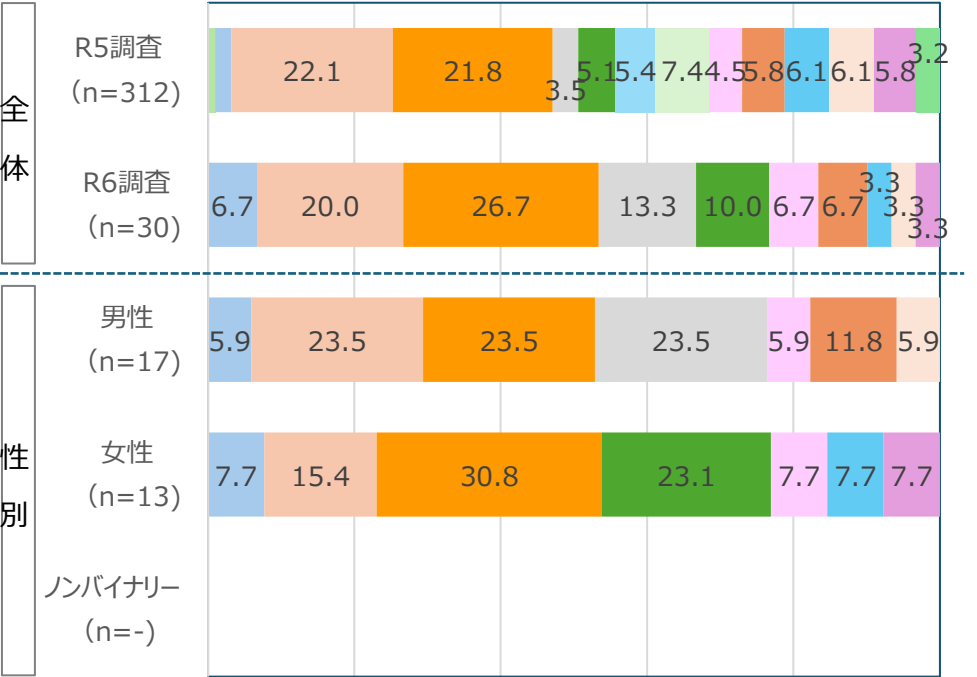
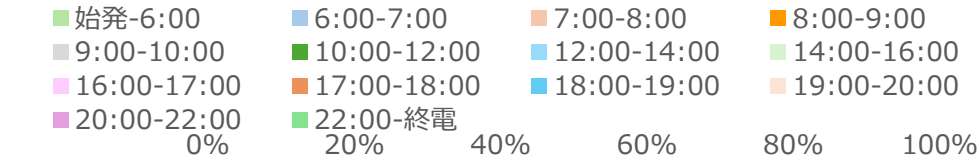
- 電車内:「7:00～8:00」(37.9%)、「8:00～9:00」(21.0%)の朝のラッシュ時間帯で多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「8:00～9:00」(26.7%)、「7:00～8:00」(20.0%)の朝のラッシュ時間帯で多い。
- 電車内、駅構内ともに朝のラッシュ時間帯で増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】



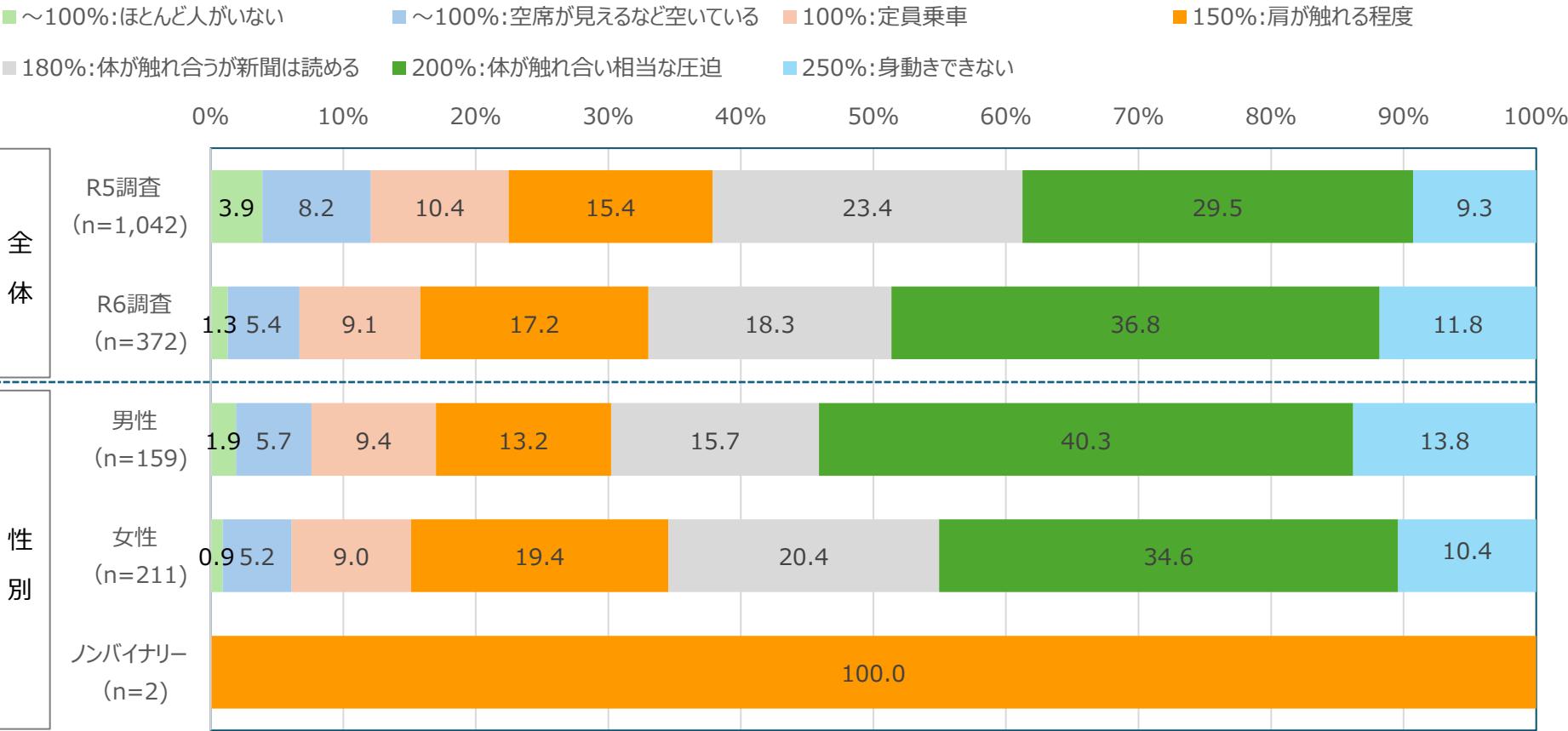
Q32. 目撃した/居合わせたおおよその時間帯についてお答えください。

※3%未満のデータラベルは非表示

痴漢目撃・居合わせの状況③ Q33.電車で目撃/居合わせた時の混雑率

■ 電車で:「200%」(36.8%)、「180%」(18.3%)、「150%」(17.2%)の順で多く、より混雑率の高い状況での目撃/居合わせ経験が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車で」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

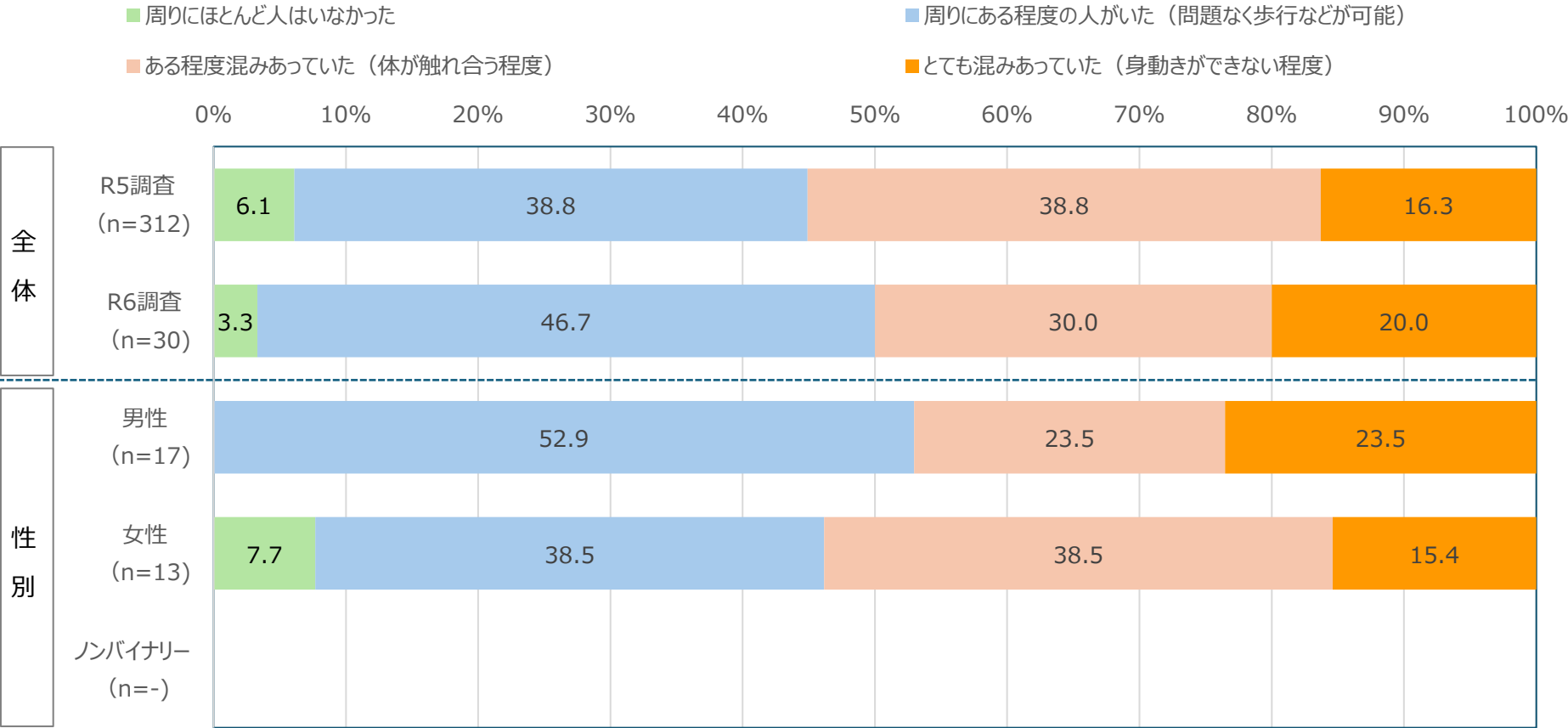


Q33. あなたが「電車で」で目撃した/居合わせた痴漢被害についてお伺いします。目撃した/居合わせたときの電車の混雑率についてお答えください。

痴漢目撃・居合わせの状況④ Q34.駅構内で目撃/居合わせた時の混雑の程度

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「周りにある程度の人がいた」(46.7%)、「ある程度混みあっていた」(30.0%)の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

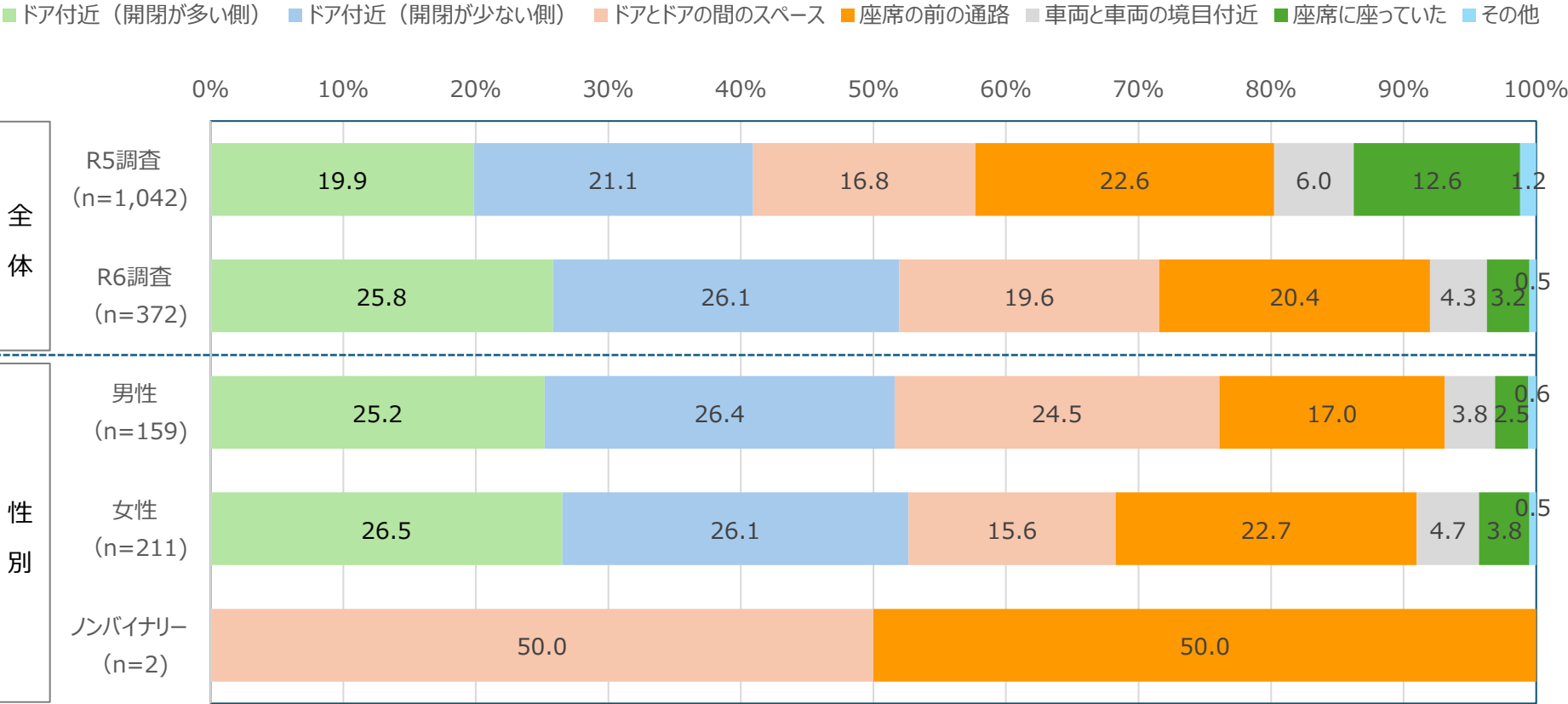


Q34. あなたが「駅構内」で目撃した/居合わせた痴漢被害についてお伺いします。目撃した/居合わせたときの周りの混雑の程度についてお答えください。

痴漢目撃・居合わせの状況⑤ Q35.電車で目撃/居合わせたときの位置

■ 電車内:「ドア付近(開閉が少ない側)」「(26.1%)」、「ドア付近(開閉が多い側)」「(25.8%)」、「座席の前の通路」(20.4%)、「ドアとドアの間のスペース」(19.6%)の順で多く、ドア付近での目撃/居合わせ経験が増加している。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



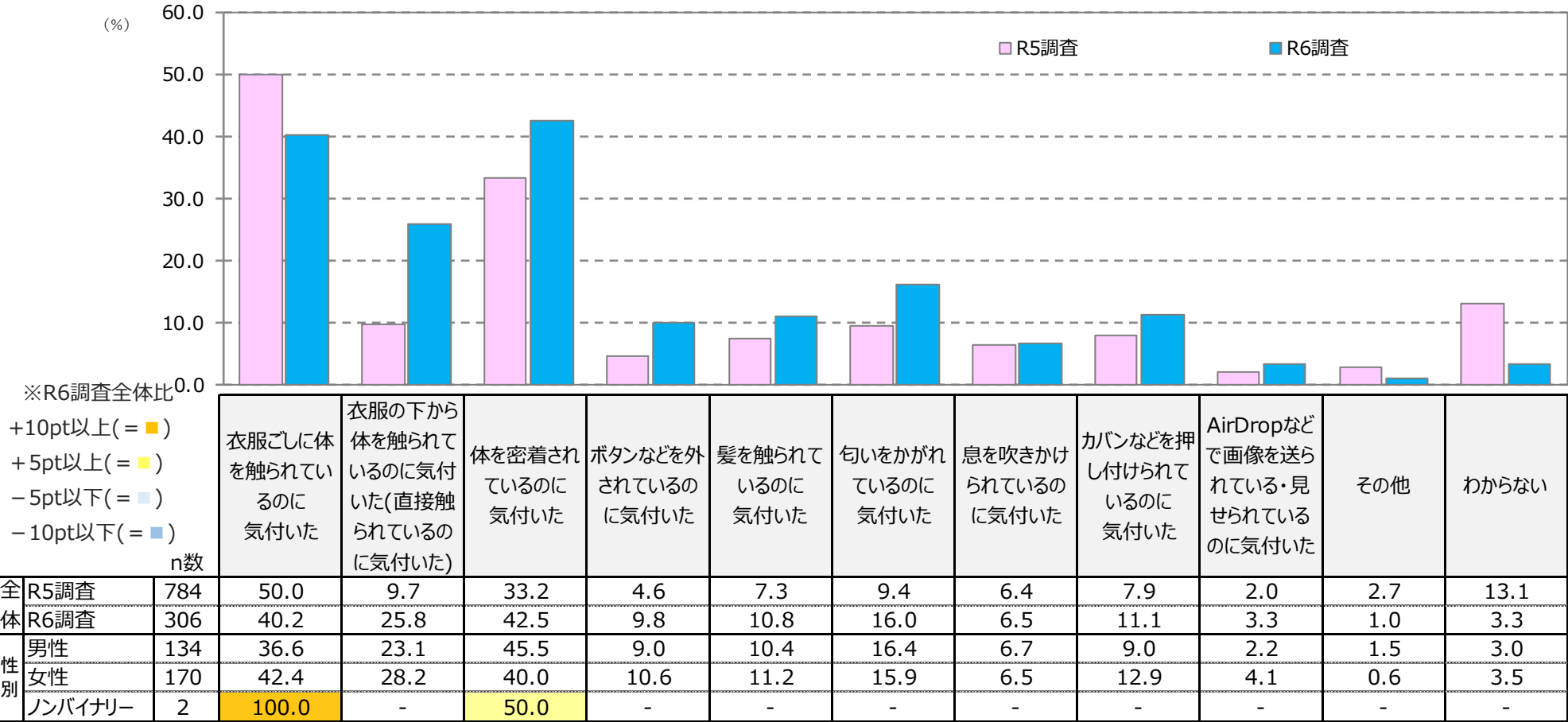
Q35. あなたが「電車内」で目撃した/居合わせた痴漢被害についてお伺いします。目撃した/居合わせたときには車両内のどこにいたかお答えください。

痴漢目撃・居合わせの状況⑥ Q36.目撃した被害内容 (MA) : 電車内

- 電車内:「体を密着されているのに気付いた」(42.5%)、「衣服ごしに体を触られているのに気付いた」(40.2%)、「衣服の下から体を触られているのに気付いた」(25.8%)の順が多い。
- 「衣服の下から体を触られているのに気付いた(直接接触されている)」の増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はSC17「電車内」で「1痴漢行為を直接目撃した」、「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」を選択した方のみ
R5の項目は、R6の「～いるのに気づいた」がついていない。



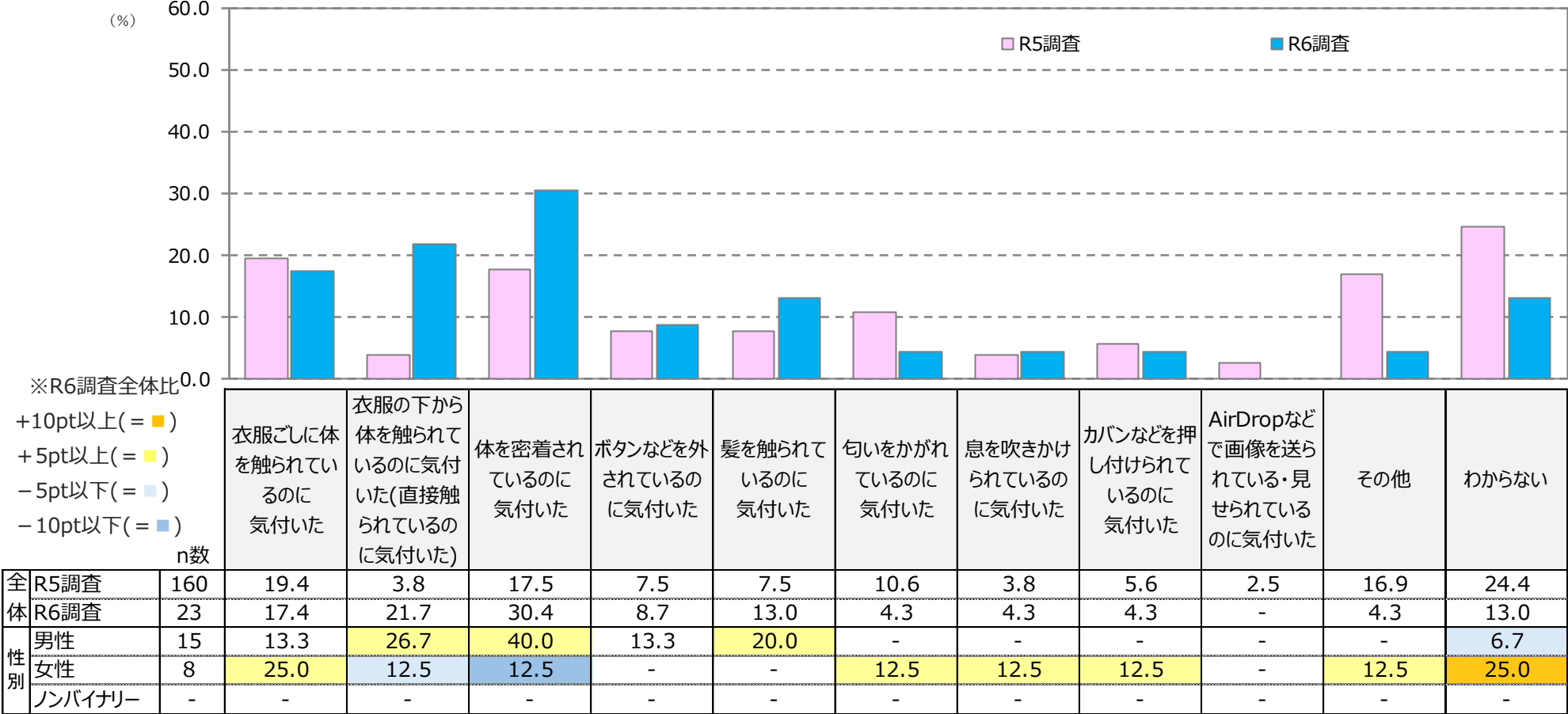
Q36. 目撃した痴漢被害の内容についてお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの状況⑦ Q36.目撃した被害内容 (MA) : 駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「体を密着されているのに気付いた」(30.4%)、「衣服の下から体を触られているのに気付いた」(21.7%)、「衣服ごしに体を触られているのに気付いた」(17.4%)の順で多く、上位項目での増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はSC17「駅構内」で「1痴漢行為を直接目撃した」、「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」を選択した方のみ R5の項目は、R6の「～いるのに気づいた」がついていない。

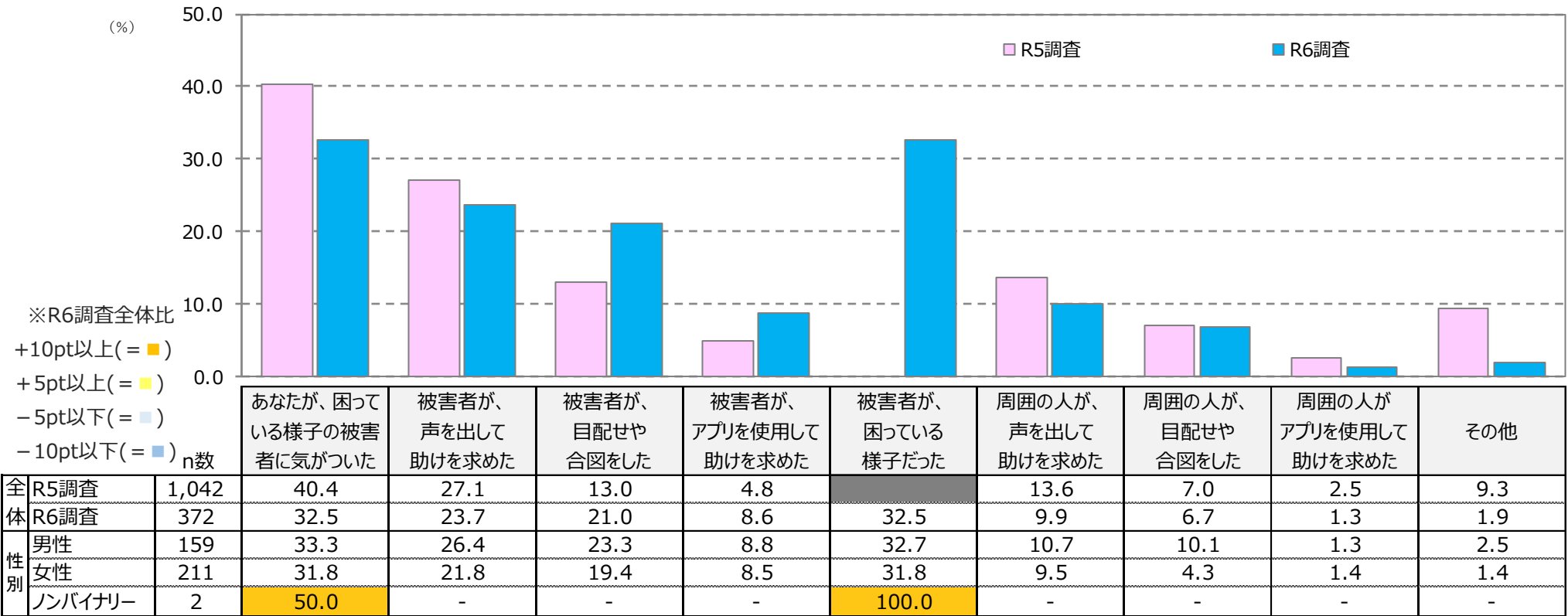


Q36. 目撃した痴漢被害の内容についてお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの状況⑧ Q37.被害に気づいたきっかけ(MA)：電車内

■ 電車内:「あなたが、困っている様子の被害者に気がついた」/「被害者が、困っている様子だった」(ともに32.5%)、「被害者が、声を出して助けを求めた」(23.7%)、「被害者が、目配せや合図をした」(21.0%)の順で多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



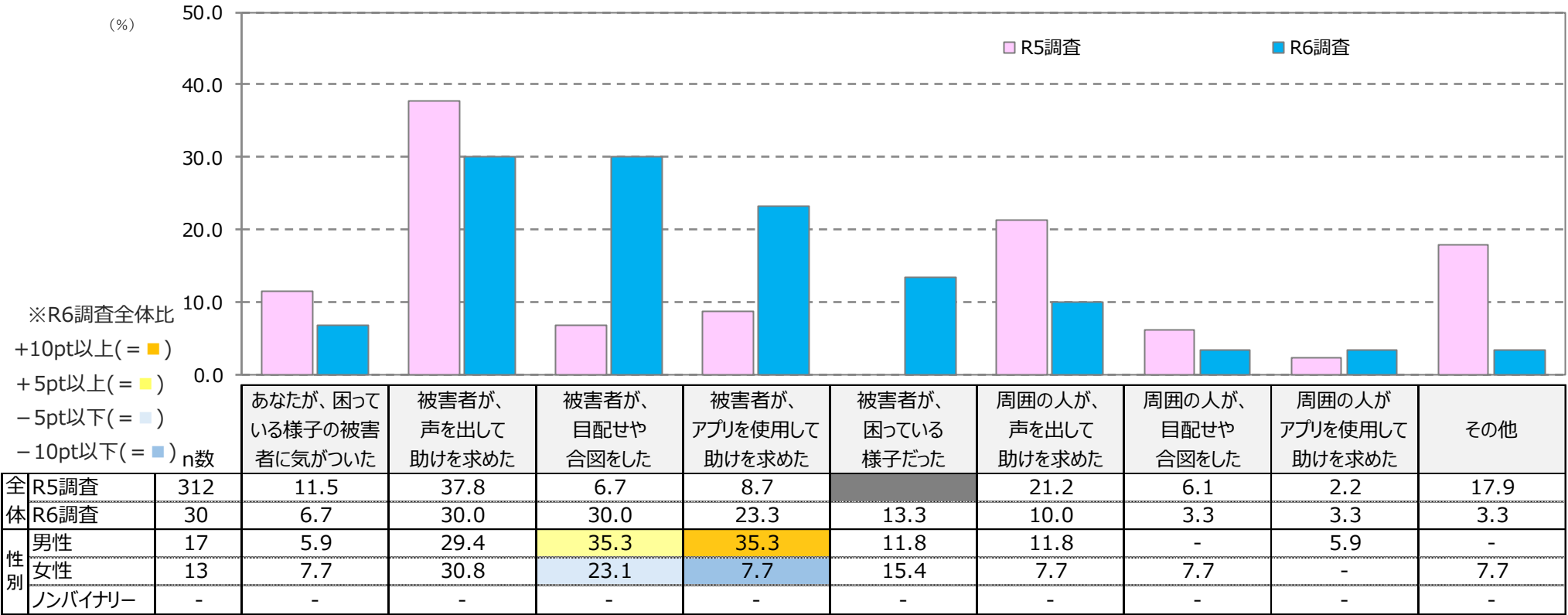
Q37. 痴漢被害に気が付いたきっかけをお答えください。(いくつでも)

R5調査では「被害者が困っている様子だった」の項目はなし

痴漢目撃・居合わせの状況⑨ Q37.被害に気づいたきっかけ(MA)：駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「被害者が、声を出して助けを求めた」/「被害者が目配せや合図をした」(ともに30.0%)、「被害者がアプリを使用して助けを求めた」(23.3%)の順で多く、「被害者が、目配せや合図をした」、「被害者がアプリを使用して助けを求めた」などの増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



Q37. 痴漢被害に気が付いたきっかけをお答えください。(いくつでも)

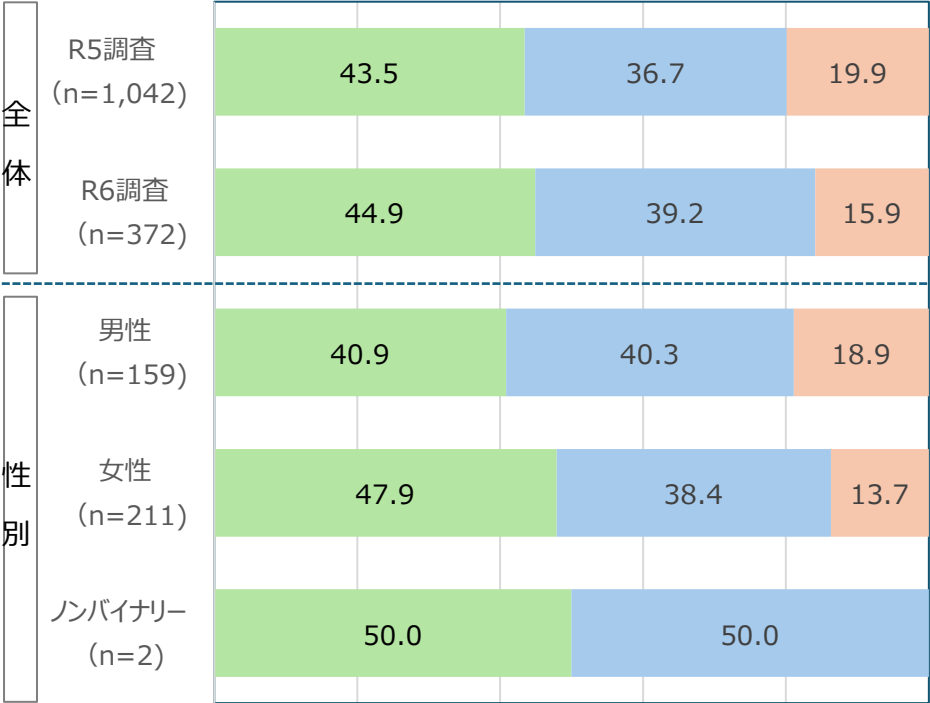
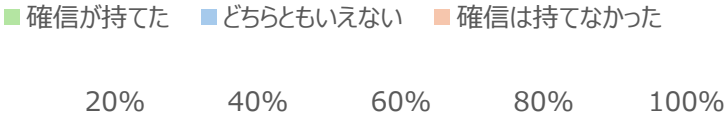
R5調査では「被害者が困っている様子だった」の項目はなし

痴漢目撃・居合わせの状況⑩ Q38.被害に気付いた時、痴漢であることに確信を持てたか

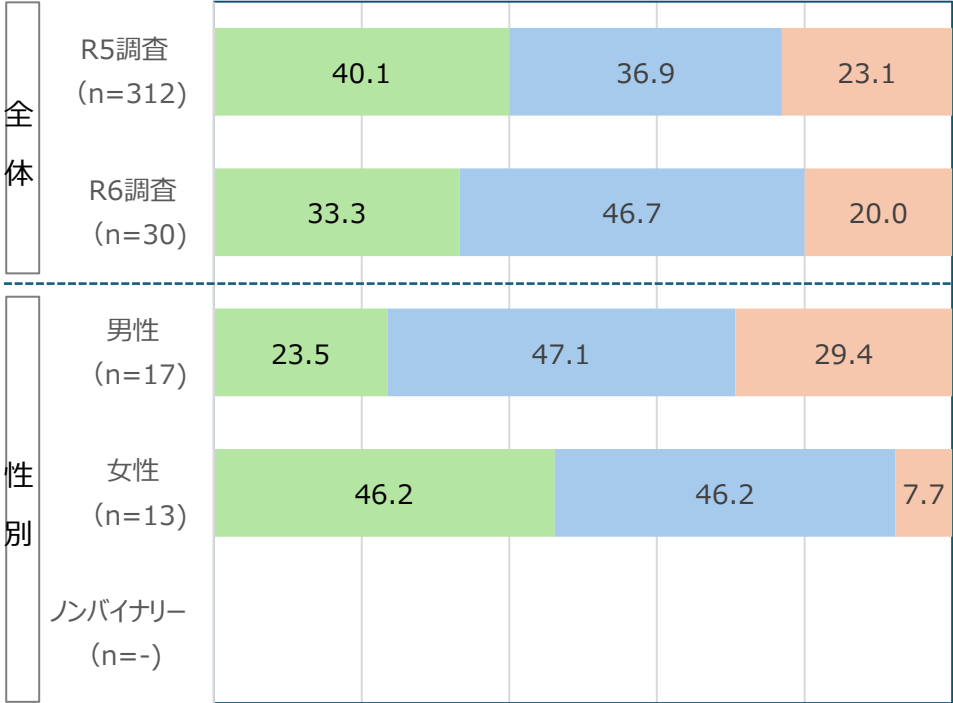
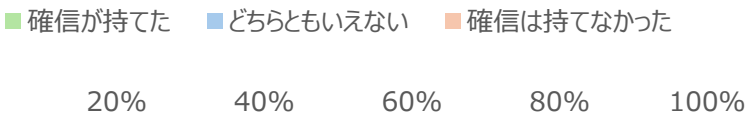
- 電車内:「確信が持てた」(44.9%)、「どちらとも言えない」(39.2%)、「確信は持てなかった」(15.9%)となっている。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「確信が持てた」(33.3%)、「どちらとも言えない」(46.7%)、「確信は持てなかった」(20.0%)となっている。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】

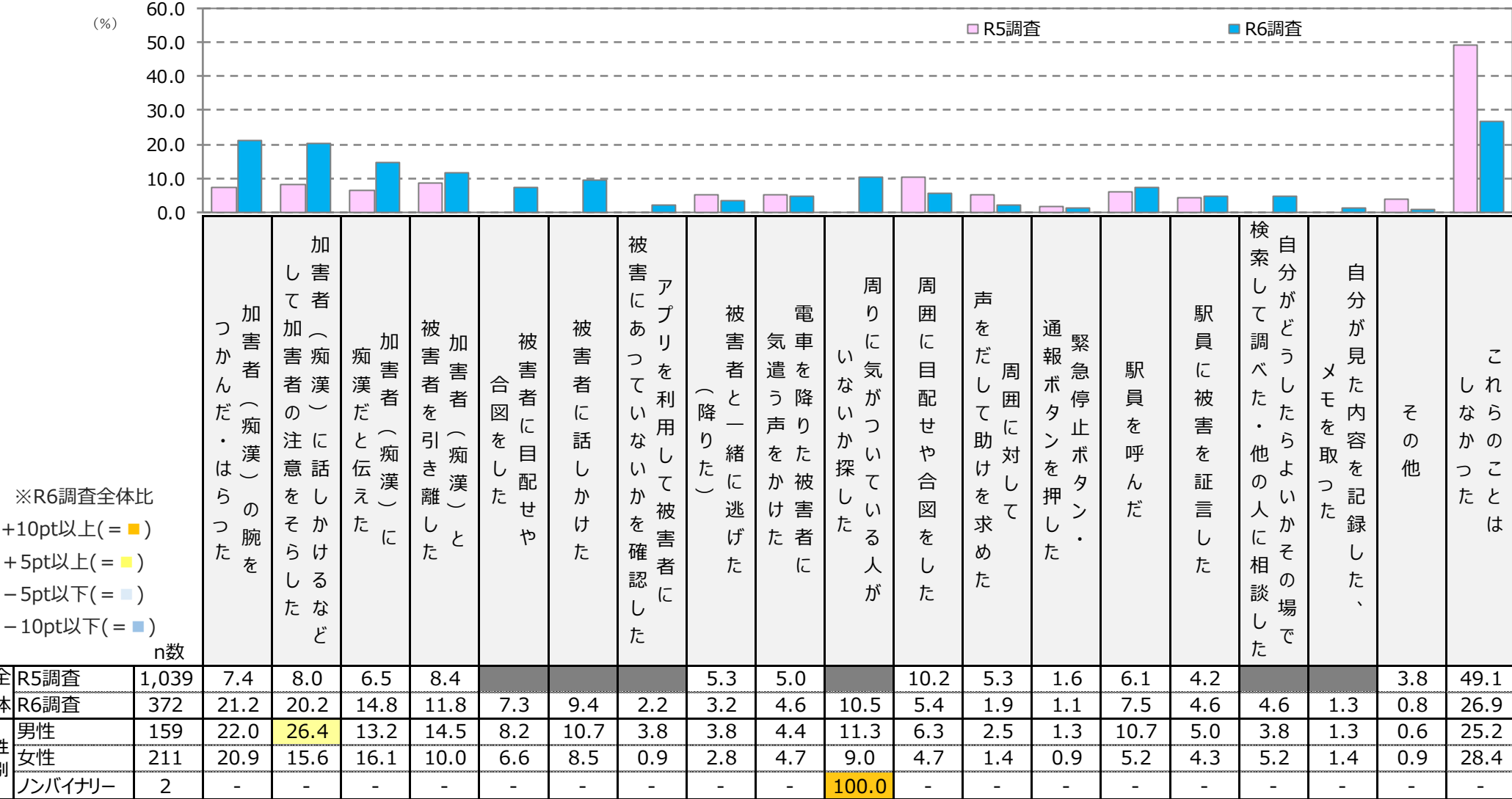


Q38. 痴漢被害に気が付いたとき、それが痴漢であることにどの程度確信を持てたかお答えください。

痴漢目撃・居合わせの対応① Q39.被害を目撃/居合わせたとき取った行動 (MA) : 電車内

■ 電車内:「これらのことはしなかった」(26.9%)が最多。とられた行動では、「加害者(痴漢)の腕をつかんだ・はらった」(21.2%)、「加害者(痴漢)に話しかけるなどして加害者の注意をそらした」(20.2%)、「加害者(痴漢)に痴漢だと伝えた」(14.8%)の順で多く、何らかの行動(特に加害者へ)を取る状況が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

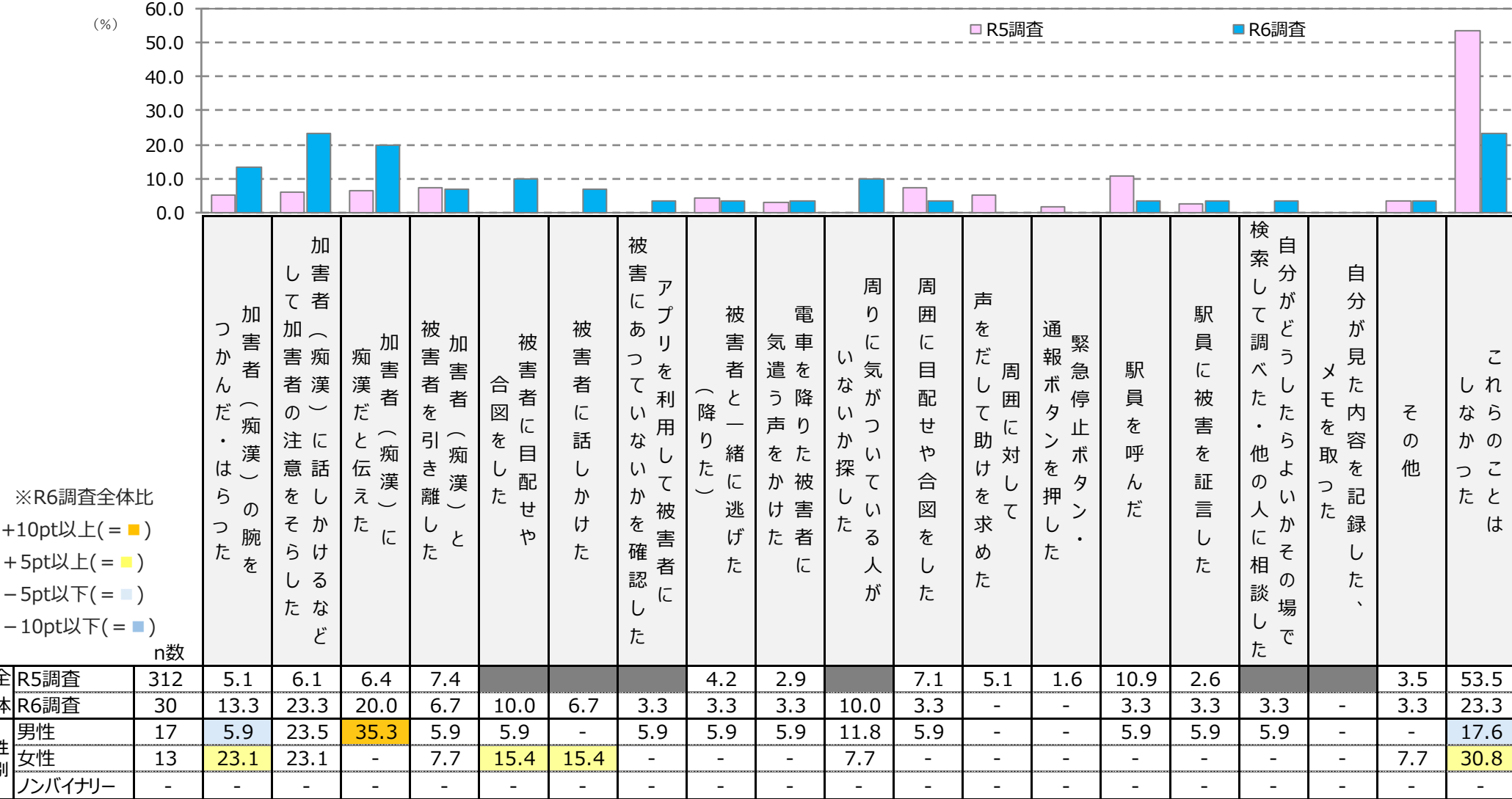
※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



痴漢目撃・居合わせの対応② Q39.被害を目撃/居合わせたとき取った行動 (MA) : 駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「これらのことはしなかった」は23.3%であった。とられた行動では、「加害者(痴漢)に話しかけるなどして加害者の注意をそらした」(23.3%)、「加害者(痴漢)に痴漢だと伝えた」(20.0%)、「加害者(痴漢)の腕をつかんだ・はらった」(13.3%)の順で多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



Q39. 痴漢を目撃した/居合わせた際に、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、あなたは次のようなことをしましたか。(いくつでも)

R5調査のグレーでハッチングしている部分は項目なし

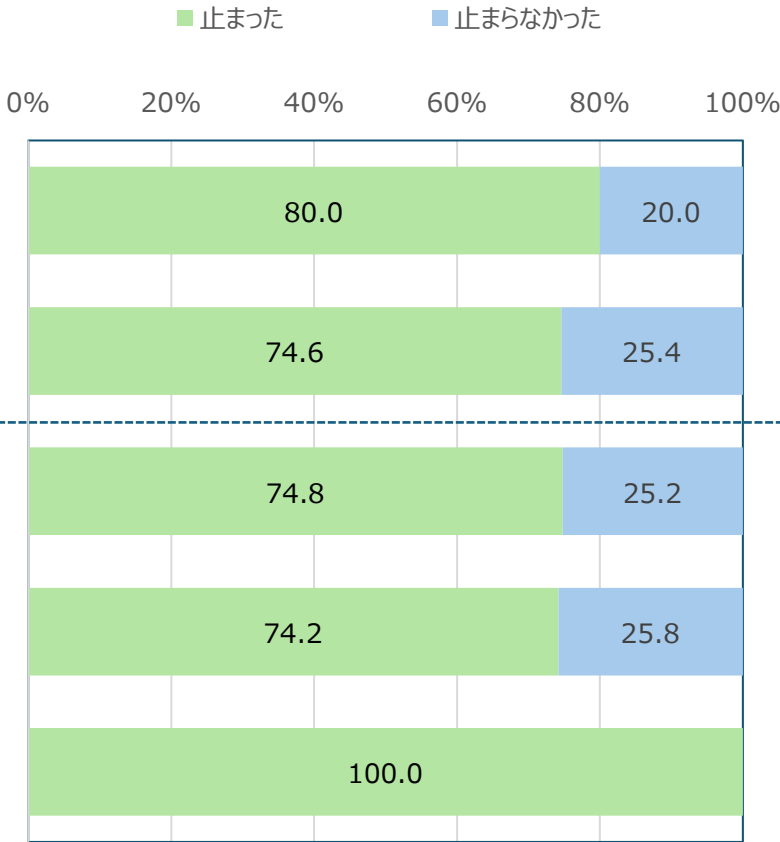
痴漢目撃・居合わせの対応③ Q40.行動により痴漢が止まったか

- 電車内:「止まった」(74.6%)、「止まらなかった」(25.4%)となっている。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」(30.4%)、「止まらなかった」(69.6%)となっており、「止まらなかった」が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

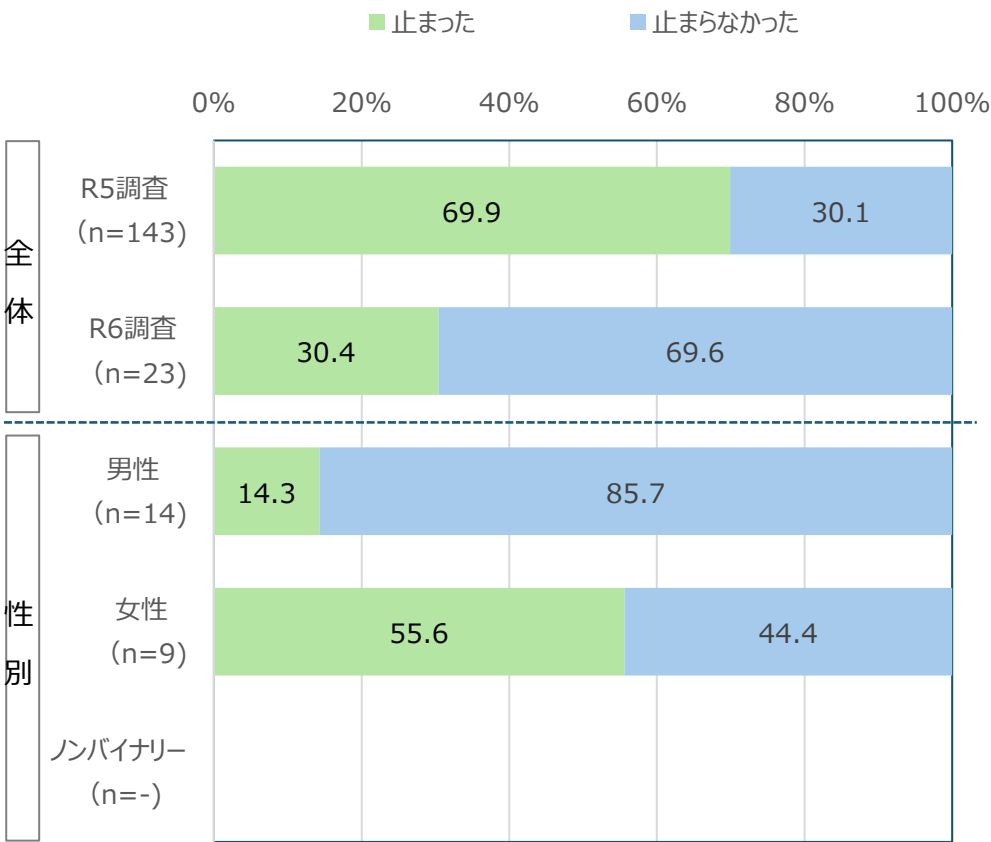
※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ

【電車内】



【駅構内】



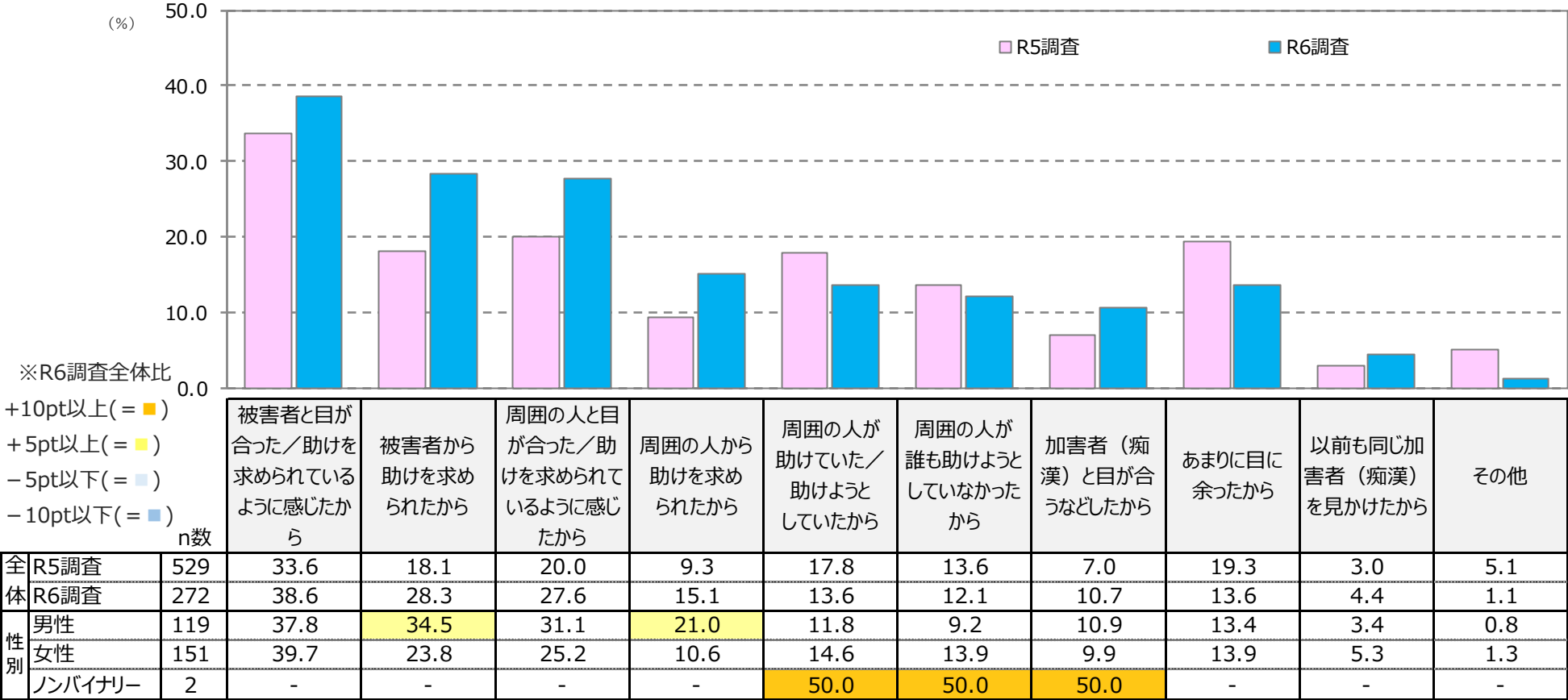
Q40. 何かしらの行動をしたときにその痴漢が止まったかお答えください。

痴漢目撃・居合わせの対応④ Q41.行動をとった理由(MA):電車内

■ 電車内:「被害者と目が合った／助けを求められているように感じたから」(38.6%)、「被害者から助けを求められたから」(28.3%)、「周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから」(27.6%)の順で多く、助けを求められた(求められたように感じた)ことによる行動で増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ



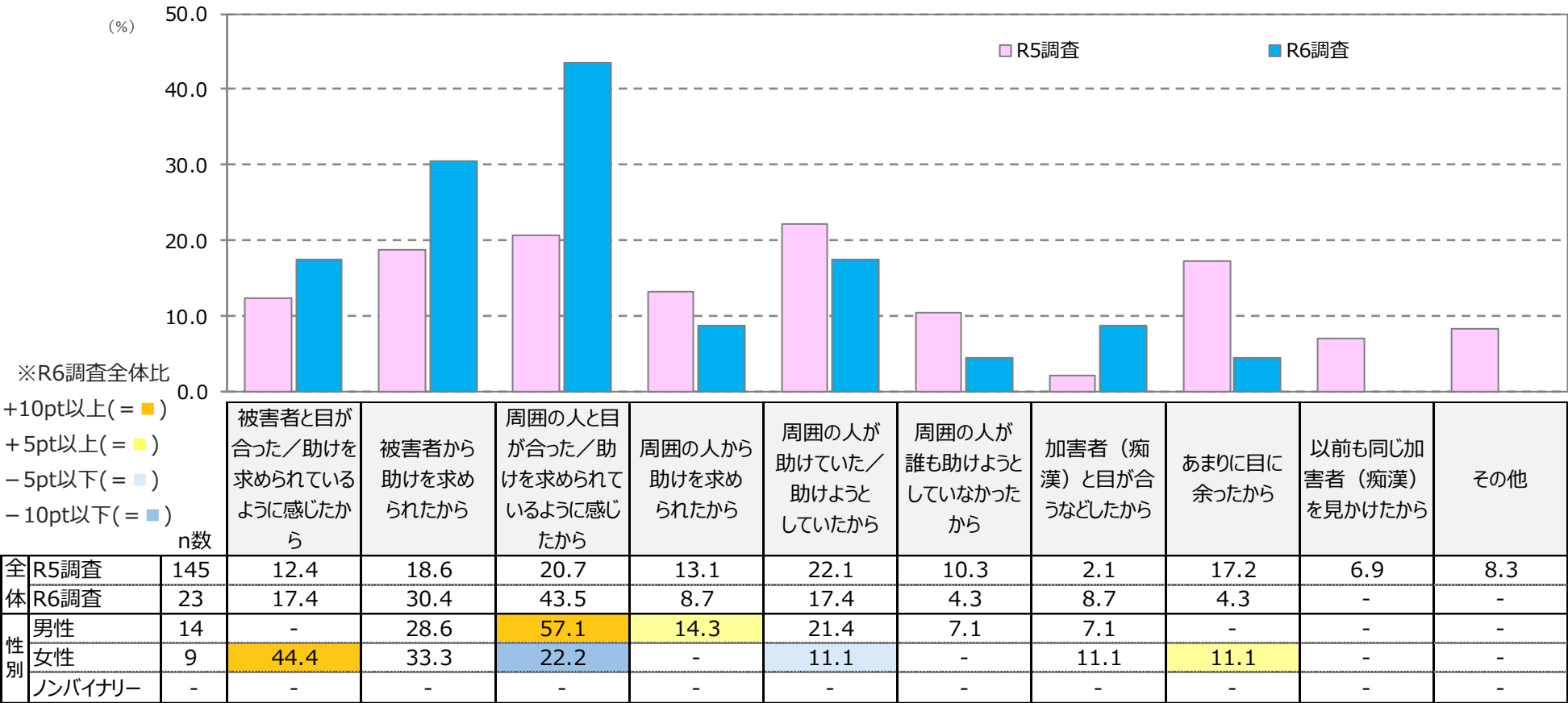
Q41. 何かしらの行動をした理由をお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの対応⑤ Q41.行動をとった理由(MA):駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから」(43.5%)、「被害者から助けを求められたから」(30.4%)、「被害者と目が合った／助けを求められているように感じたから」/「周囲の人が助けていた／助けようとしていたから」(ともに17.4%)、の順で多く、助けを求められた(求められたように感じた)ことによる行動で増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ



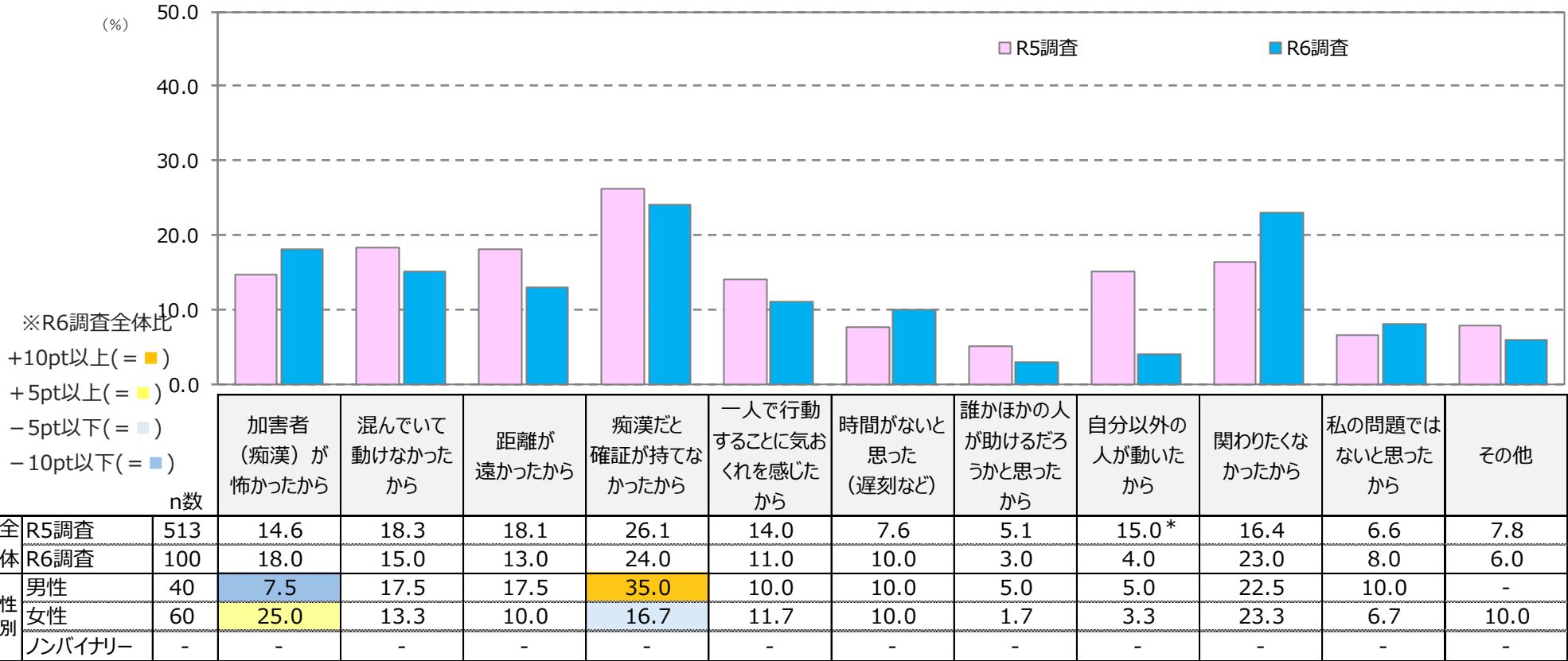
Q41. 何かしらの行動をした理由をお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの対応⑥ Q42.何らかの行動をしなかった/出来なかった理由 (MA) : 電車内

- 電車内:「痴漢だと確証を持てなかったから」(24.0%)、「関わりたくなかったから」(23.0%)、「加害者(痴漢)が怖かったから」(18.0%)、「混んでいて動けなかったから」(15.0%)の順で多く、「関わりたくなかったから」の増加が目立つ。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 女性で、「加害者が怖かったから」がやや多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方のみ



*R5調査では「他の人が実際に助けた/動いたから」

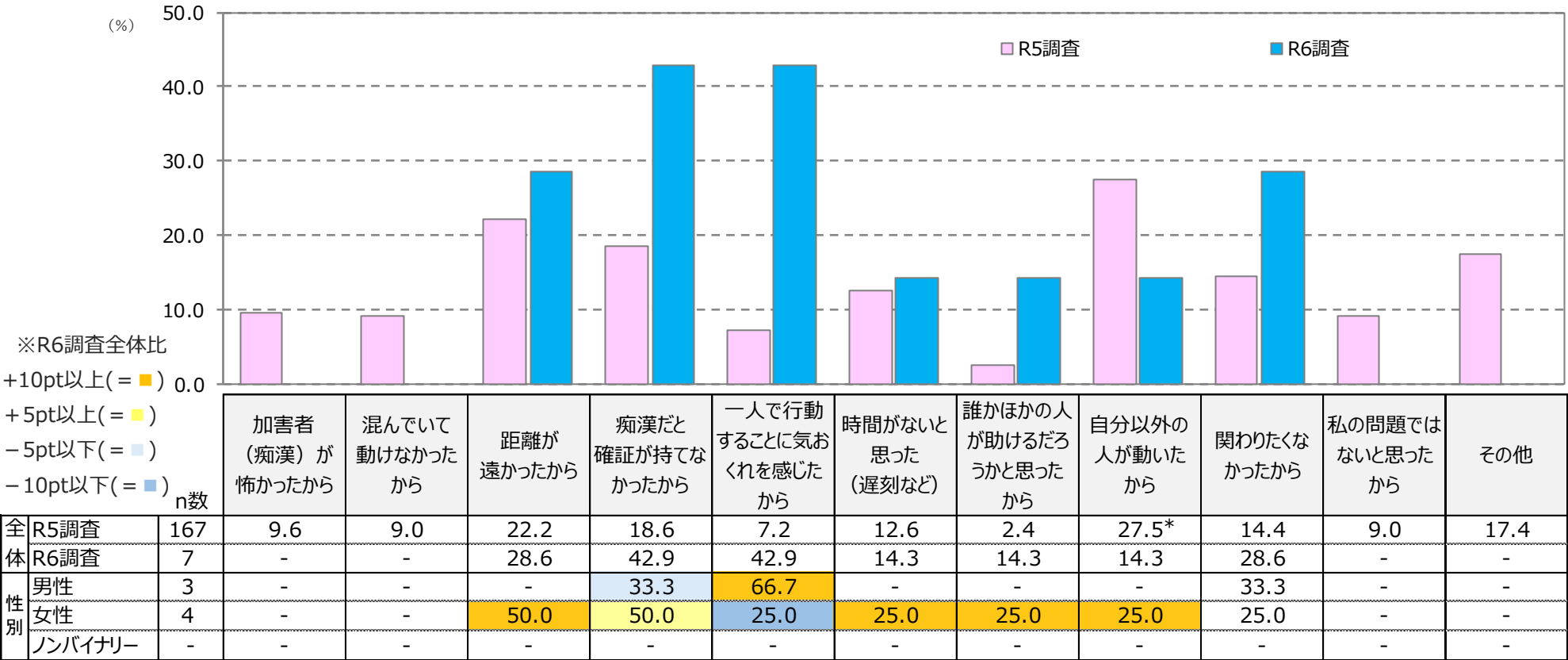
Q42. 痴漢を目撃した/居合わせた際に何かしらの行動をしなかった/できなかった理由をお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの対応⑦ Q42.何らかの行動をしなかった/出来なかった理由 (MA) : 駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「痴漢だと確証が持てなかったから」/「一人で行動することに気おくれを感じたから」(ともに42.9%)、「距離が遠かったから」/「関わりたくなかったから」(ともに28.6%)の順で多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方のみ



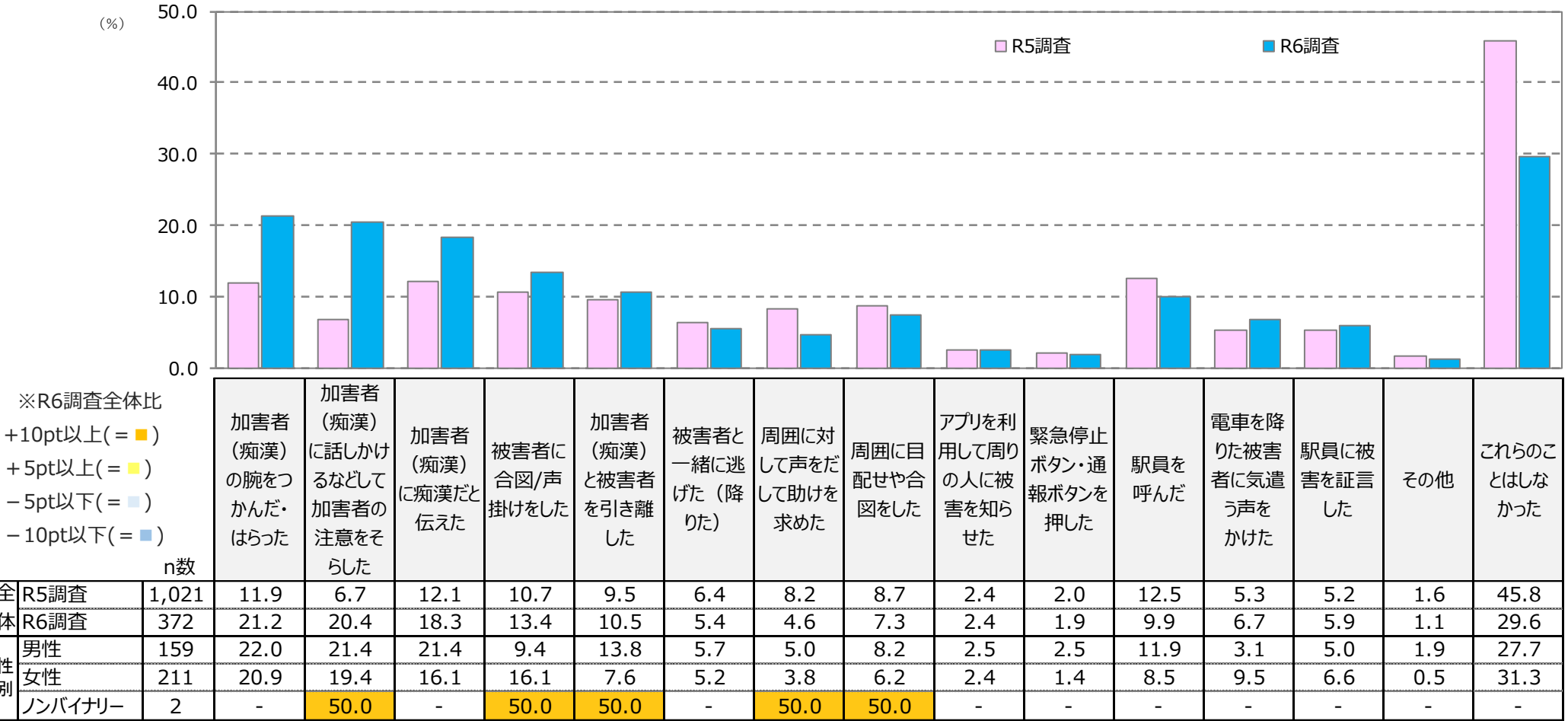
*R5調査では「他の人が実際に助けた/動いたから」

Q42. 痴漢を目撃した/居合わせた際に何かしらの行動をしなかった/できなかった理由をお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの対応⑧ Q43.周囲にいた人がとった行動(MA):電車内

■ 電車内:「これらのことはしなかった」(29.6%)が最多。取られた対応では、「加害者の腕をつかんだ・はらった」(21.2%)、「加害者(痴漢)に話かけるなどして加害者の注意をそらした」(20.4%)、「加害者(痴漢)に痴漢だと伝えた」(18.3%)の順で多く、何らかの行動(特に加害者へ)を取る状況が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

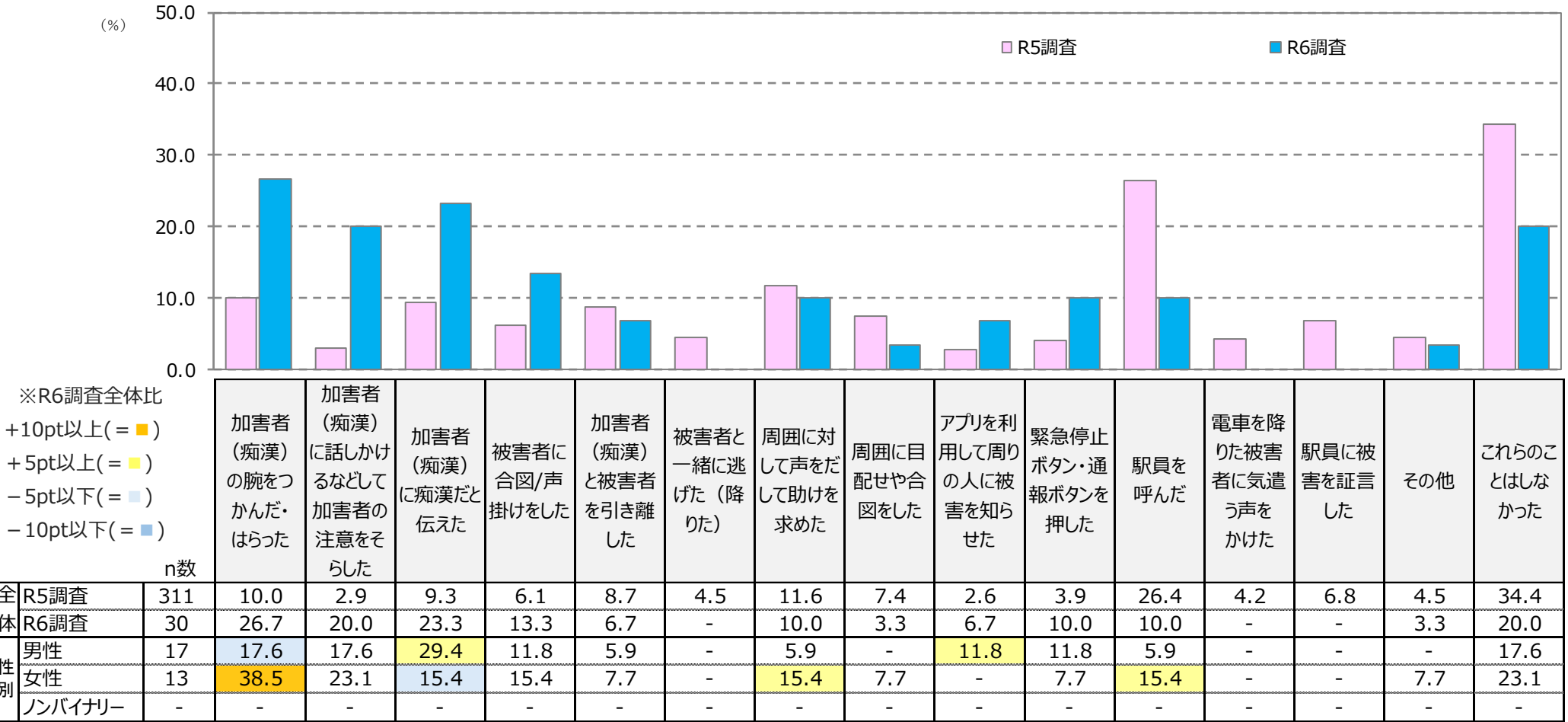


Q43. 目撃した/居合わせたときに周囲にいた人が次のようなことをしましたか。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの対応⑨ Q43.周囲にいた人がとった行動(MA):駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「これらのことはしなかった」は20.0%であった。取られた対応では、「加害者(痴漢)の腕をつかんだ・はらった」(26.7%)、「加害者(痴漢)に痴漢だと伝えた」(23.3%)、「加害者(痴漢)に話かけるなどして加害者の注意をそらした」(20.0%)の順で多く、何らかの行動(特に加害者へ)を取る状況が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



Q43. 目撃した/居合わせたときに周囲にいた人が次のようなことをしましたか。(いくつでも)

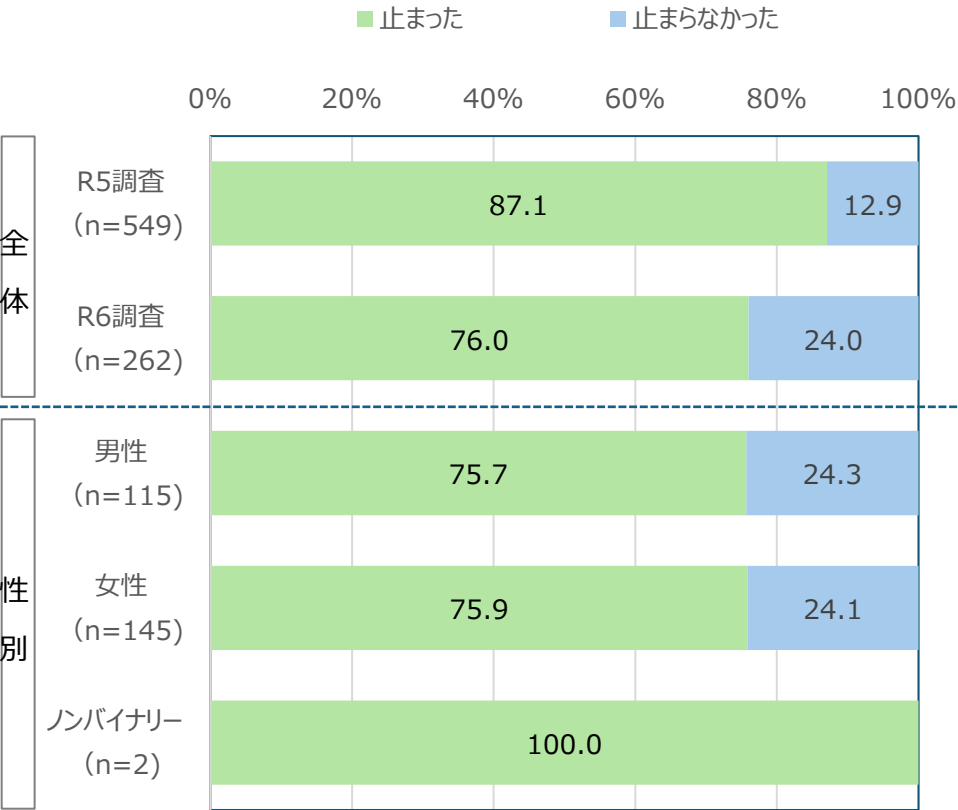
痴漢目撃・居合わせの対応⑩ Q44.周囲の人の行動で痴漢が止まったか

- 電車内:「止まった」(76.0%)、「止まらなかった」(24.0%)となっており、「止まらなかった」が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」/「止まらなかった」(ともに50.0%)となっており、「止まらなかった」が増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

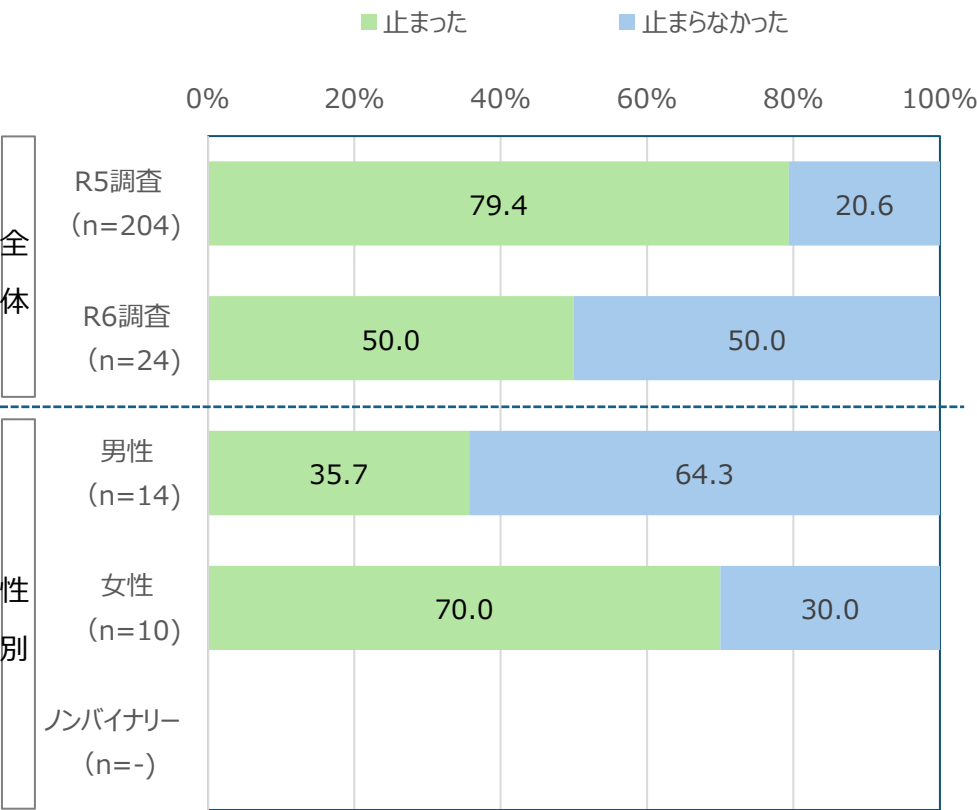
※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ43で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ

【電車内】



【駅構内】



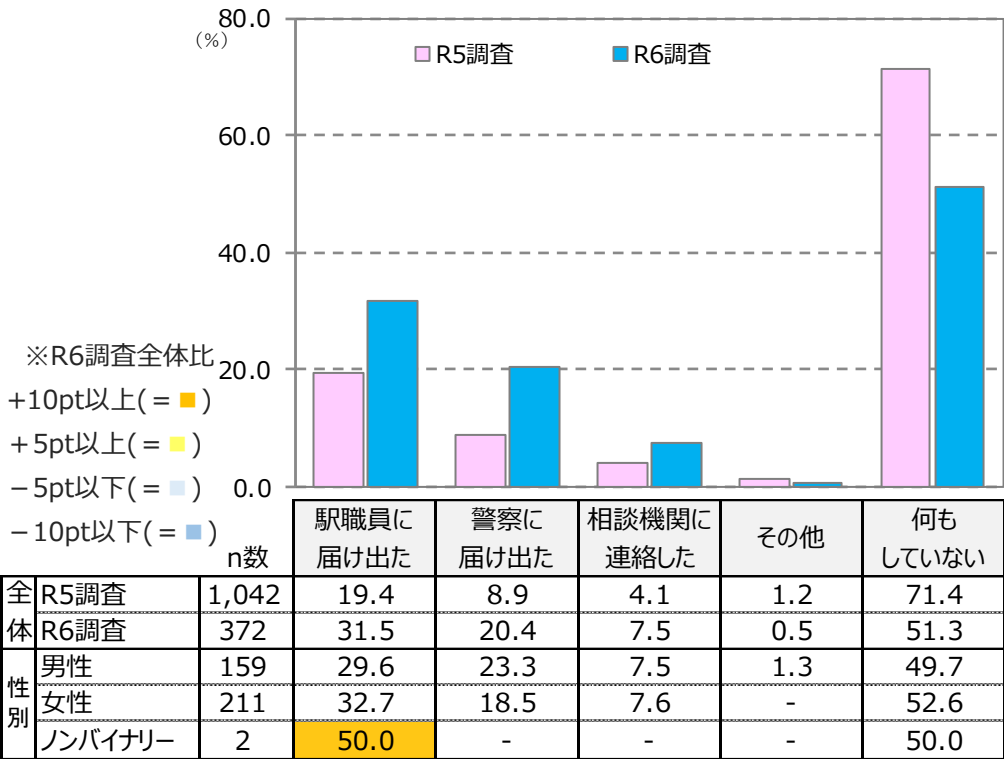
Q44. 周囲にいた人が行動したことによって、痴漢が止まったかお答えください。

届け出・連絡状況① Q45.目撃/居合わせた後の届け出・連絡状況 (MA)

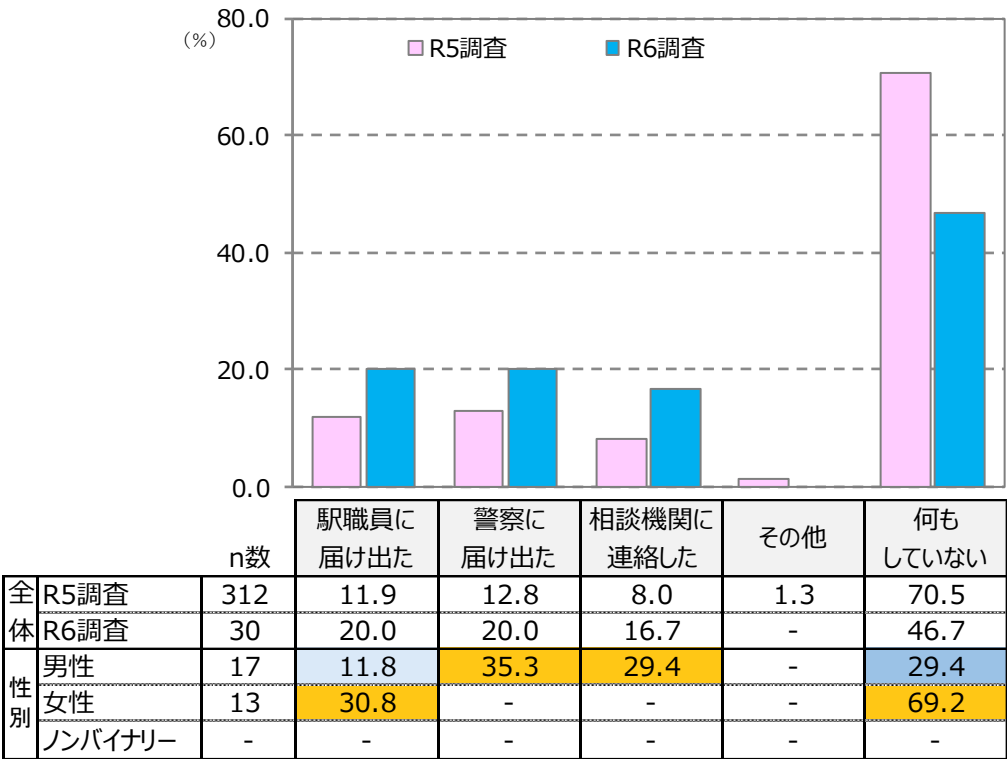
- 電車内:「何もしていない」(51.3%)が最多。届け出・連絡した場合は、「駅職員に届け出た」(31.5%)、「警察に届け出た」(20.4%)の順で多く、何らかの届け出・連絡比率は増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「何もしていない」は46.7%であった。届け出・連絡した場合は、「駅職員に届け出た」「警察に届け出た」(ともに20.0%)などとなっており、何らかの届け出・連絡比率は増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】



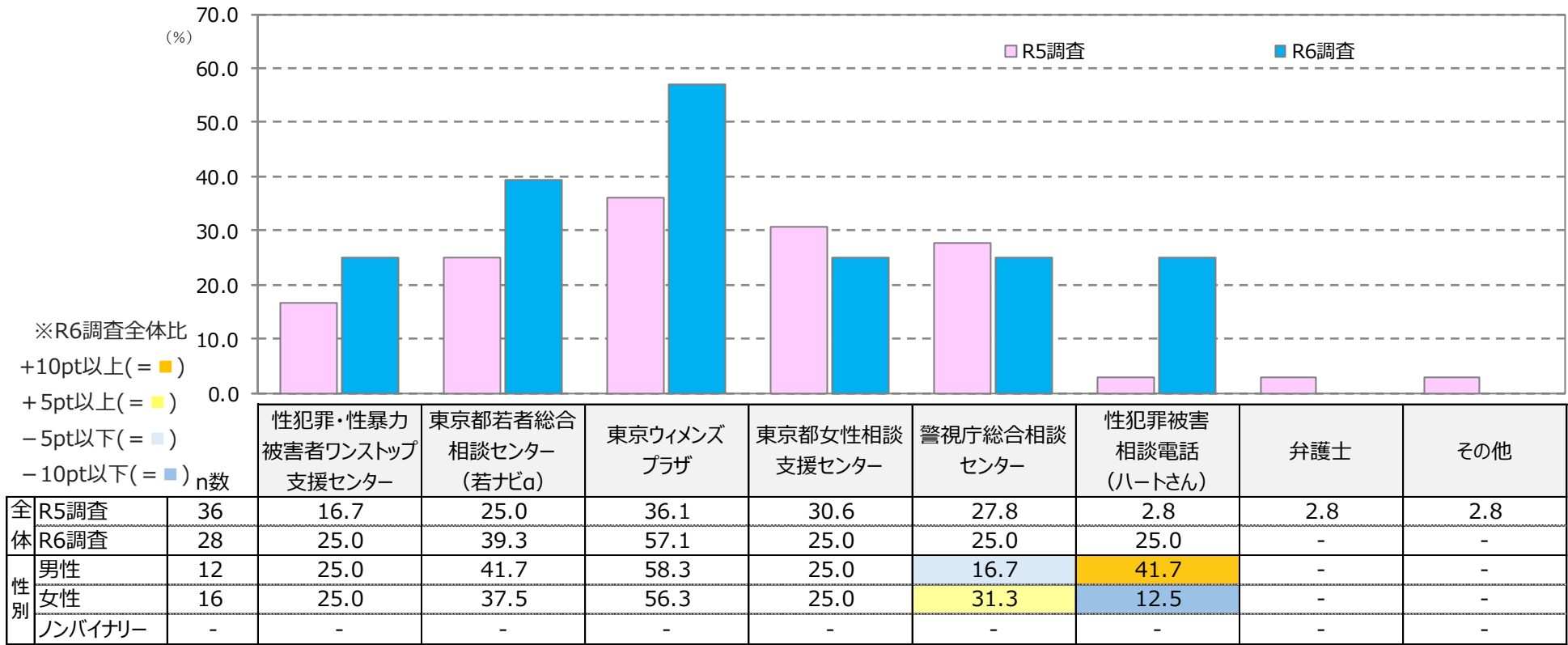
Q45. 目撃した/居合わせた後にあなたが公的機関などに届け出・連絡をしたかお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況② Q46.連絡した機関名 (MA) :電車内

■ 回答数が少ないことに留意が必要だが、「東京ウィメンズプラザ」(57.1%)、「東京都若者総合相談センター(若ナビα)」(39.3%)が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ45で「3 相談機関に連絡した」と回答した方のみ



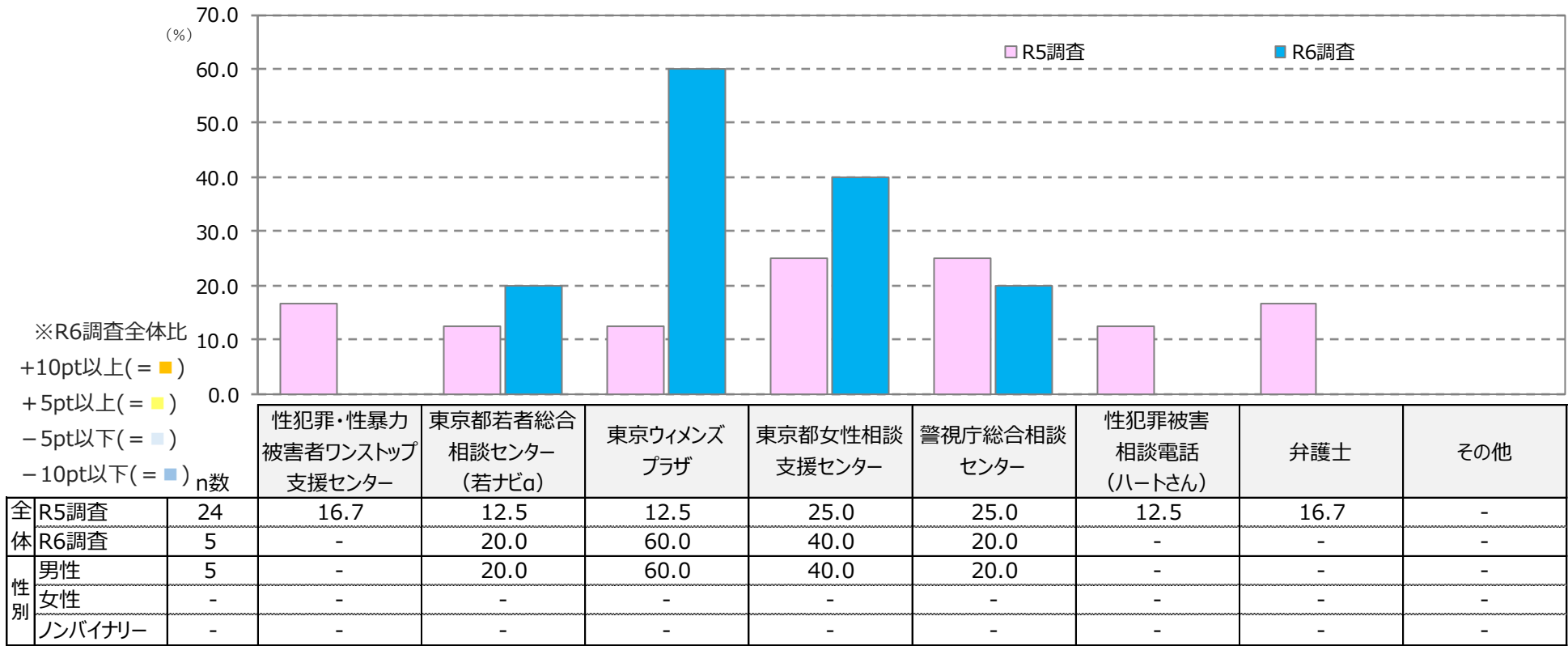
Q46. 連絡した機関名についてお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況③ Q46.連絡した機関名 (MA) : 駅構内

■ 回答数が少ないことに留意が必要だが、「東京ウィメンズプラザ」(60.0%)、「東京都女性相談支援センター」(40.0%)が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

n数はQ45で「3 相談機関に連絡した」と回答した方のみ

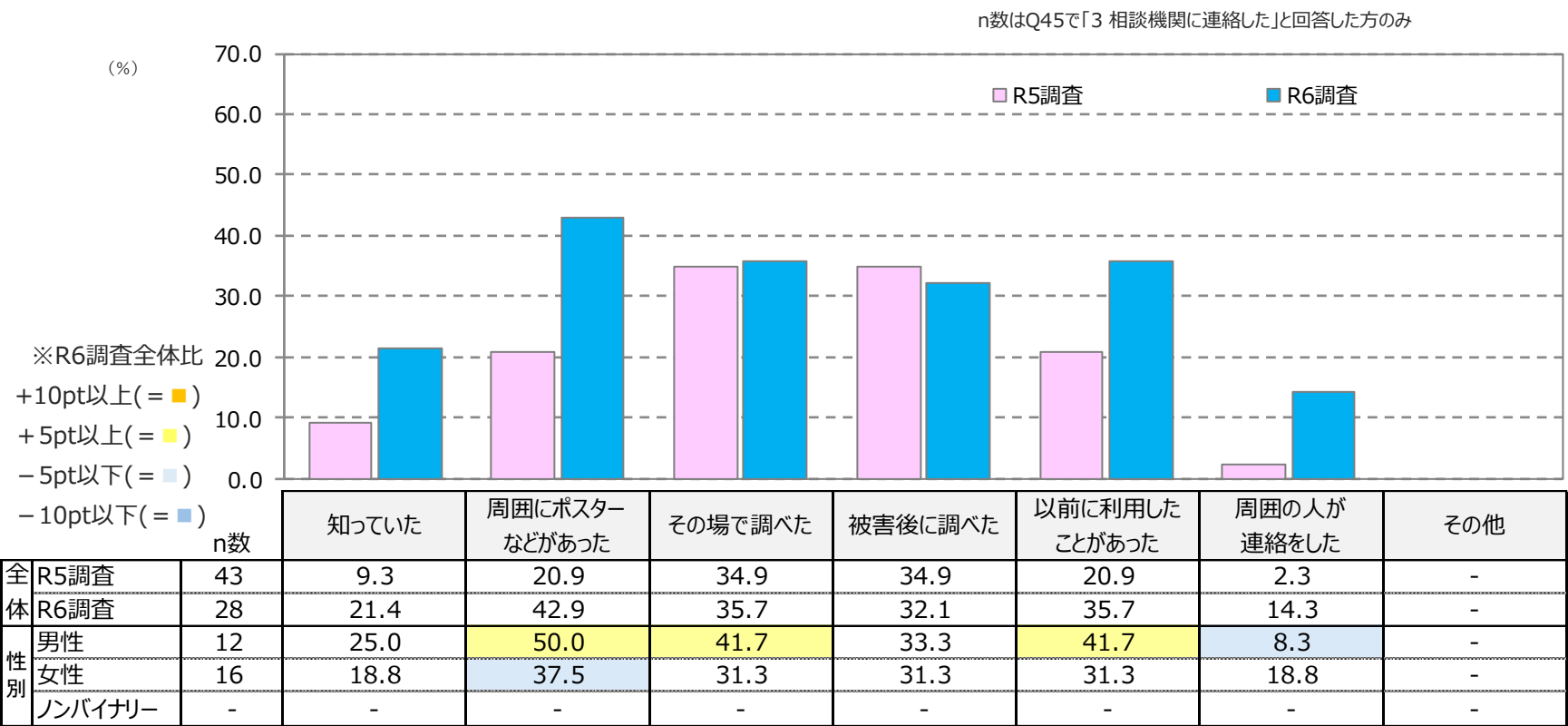


Q46. 連絡した機関名についてお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況④ Q47.その機関に連絡した理由 (MA) : 電車内

■ 電車内: 回答数が少ないことに留意が必要だが、「周囲にポスターなどがあった」(42.9%)、「その場で調べた」/「以前に利用したことがあった」(ともに35.7%)が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

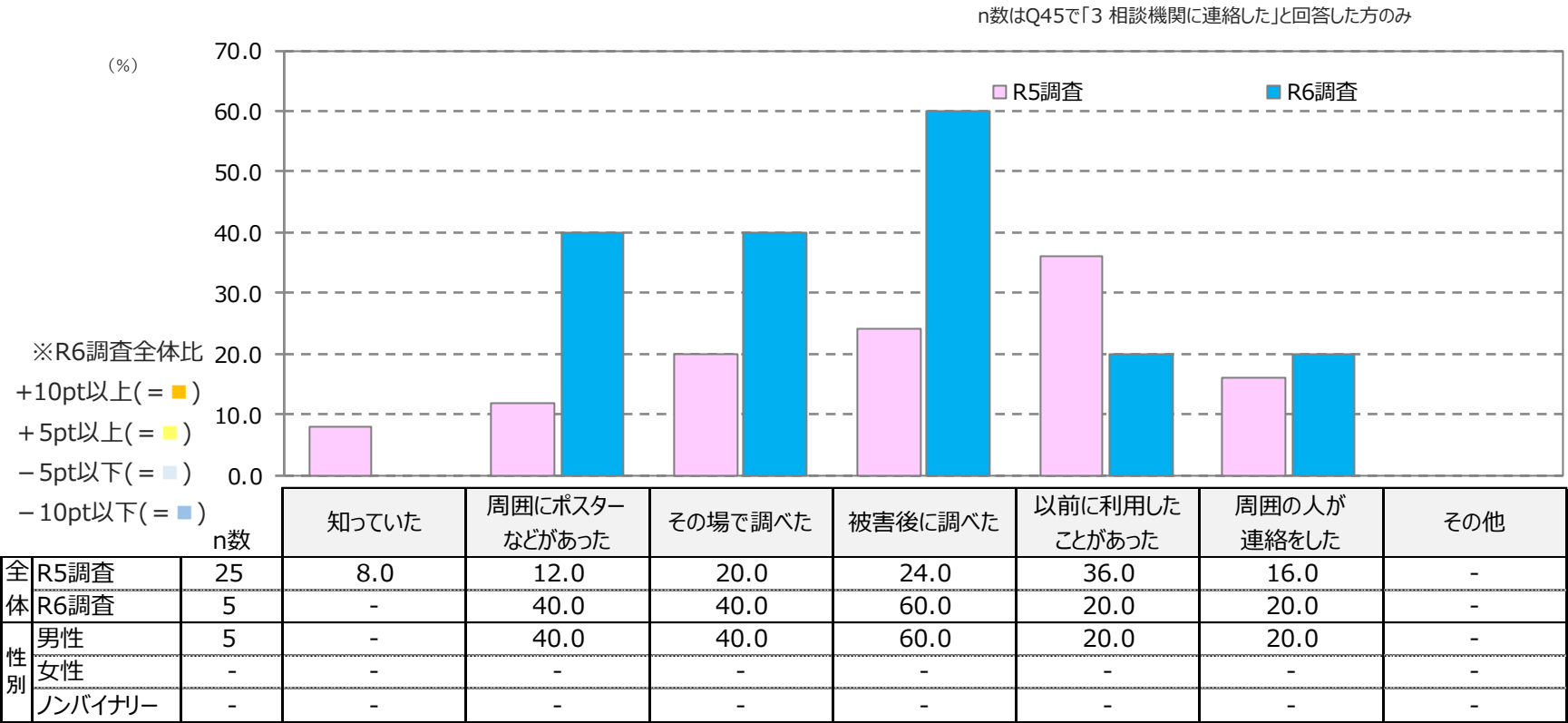


Q47. なぜその機関に連絡したのかお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況⑤ Q47.その機関に連絡した理由 (MA) : 駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「被害後に調べた」(60.0%)、「周囲にポスターなどがあった」/「その場で調べた」(ともに40.0%)が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

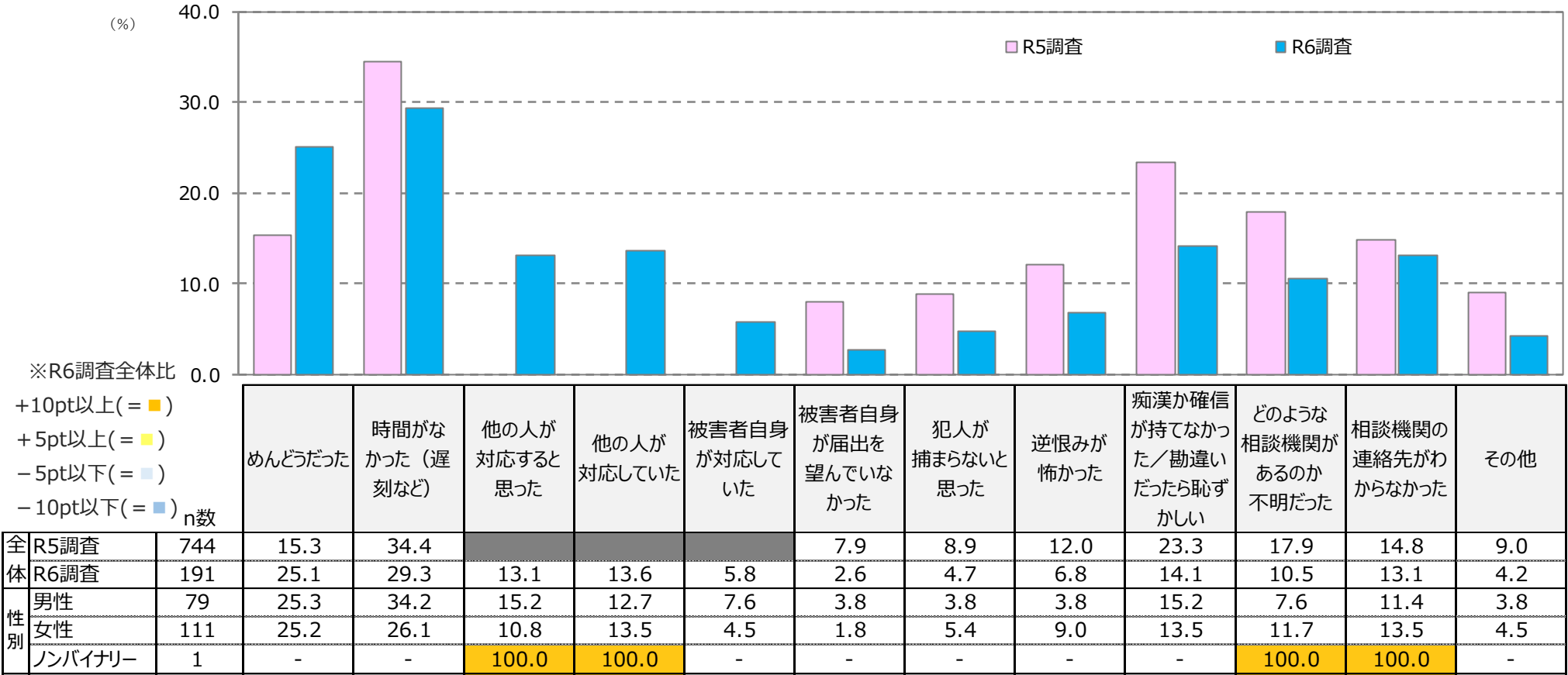


Q47. なぜその機関に連絡したのかお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況⑥ Q48.目撃/居合わせた直後に連絡しなかった理由 (MA) : 電車内

■ 電車内:「時間がなかった」(29.3%)、「めんどうだった」(25.1%)、「痴漢が確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい」(14.1%)、「他の人が対応していた」(13.6%)の順で多く、「めんどうだった」の増加が目立つ。
(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。
n数はQ45で「5 何もしていない」と回答した方のみ



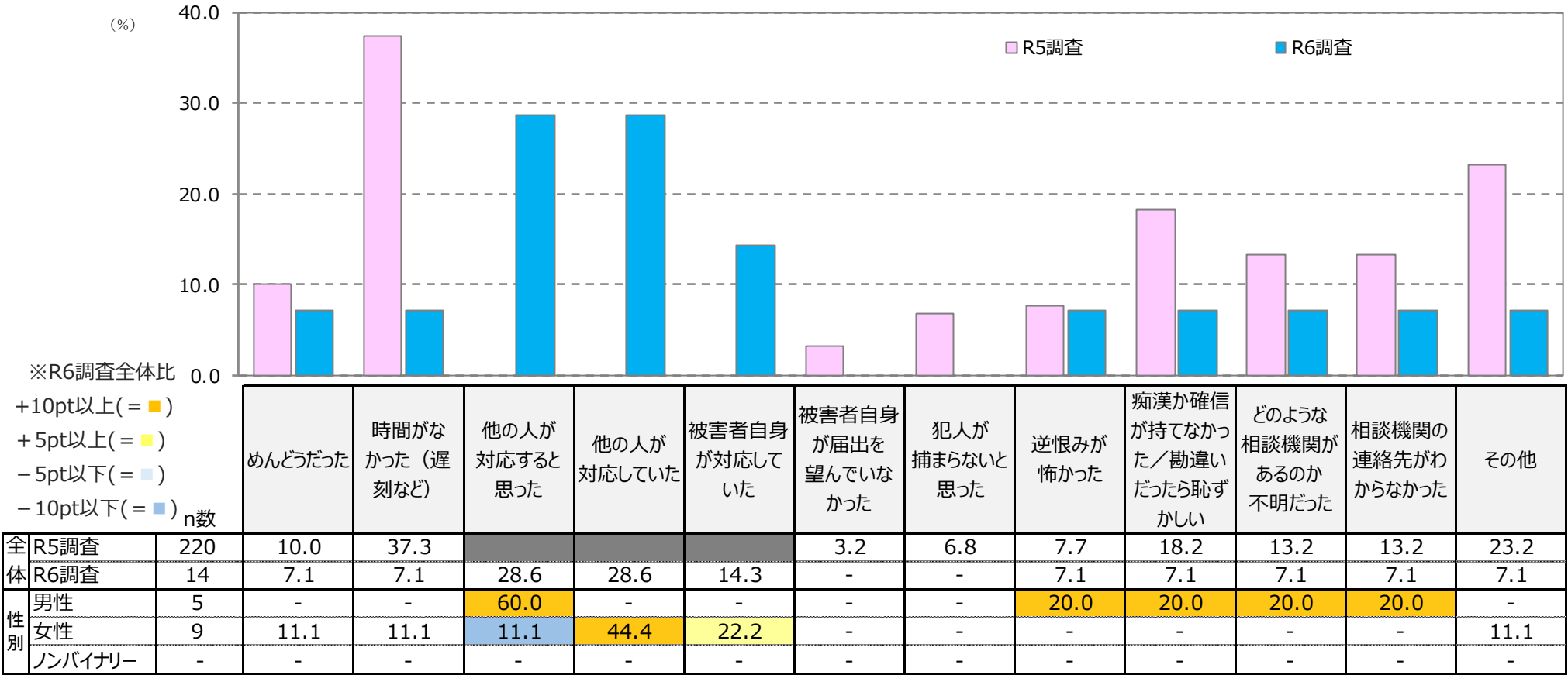
Q48. 目撃した/居合わせた直後に公的機関などに連絡をしなかった理由をお答えください。(いくつでも)

R5調査のグレーでハッチングしている部分は項目なし

届け出・連絡状況⑦ Q48.目撃/居合わせた直後に連絡しなかった理由 (MA)：駅構内

■ 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「他の人が対応すると思った」/「他の人が対応していた」(ともに28.6%)が最多となっている。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。
n数はQ45で「5 何もしていない」と回答した方のみ



Q48. 目撃した/居合わせた直後に公的機関などに連絡をしなかった理由をお答えください。(いくつでも)

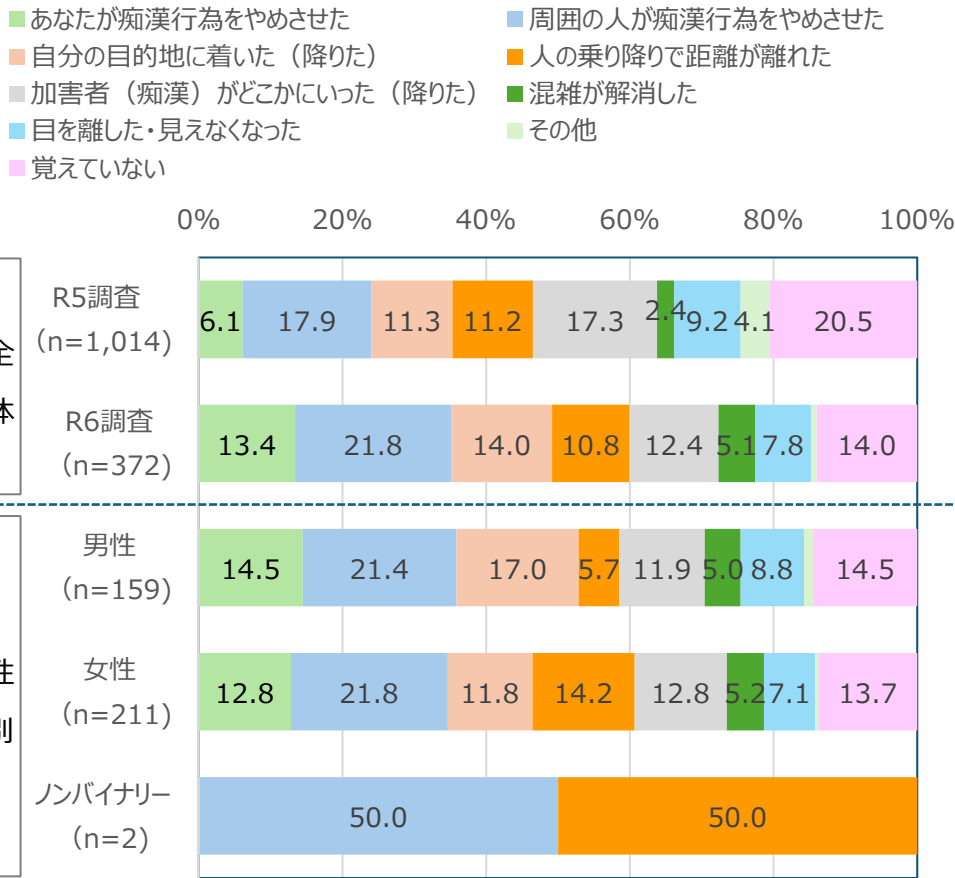
R5調査のグレーでハッチングしている部分は項目なし

目撃/居合わせた痴漢被害の結果 Q49.目撃/居合わせた痴漢被害の結果

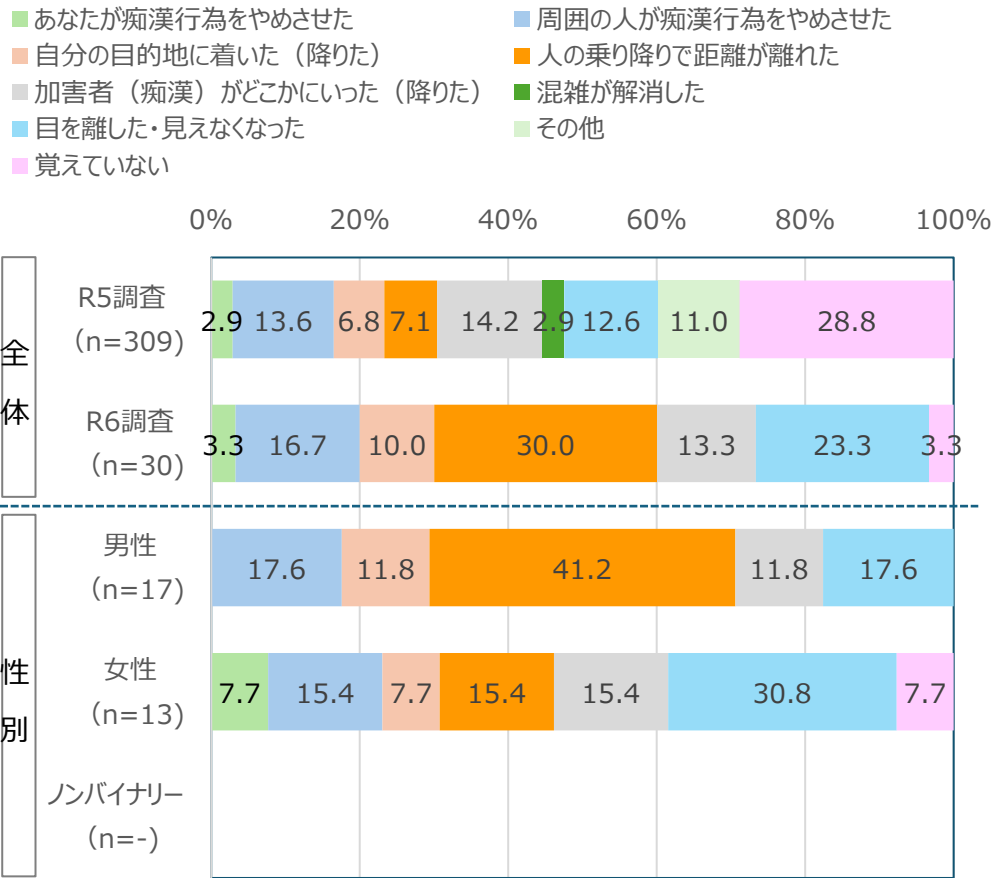
- 電車内:「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」(21.8%)、「自分の目的地に着いた(降りた)」/「覚えていない」(ともに14.0%)、「あなたが痴漢行為をやめさせた」(13.4%)の順が多い。
- 駅構内:回答数が少ないことに留意が必要だが、「人の乗り降りで距離が離れた」(30.0%)、「目を離した・見えなくなった」(23.3%)、「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」(16.7%)、の順が多い。
- 電車内で、あなたや周囲の人が痴漢行為をやめさせたが増加している。(昨年度調査:生涯経験と比較)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】



Q49. あなたが目撃した/居合わせた痴漢被害は最後どのような結果になりましたか。

※2%未満のデータレベルは非表示

V 共通設問

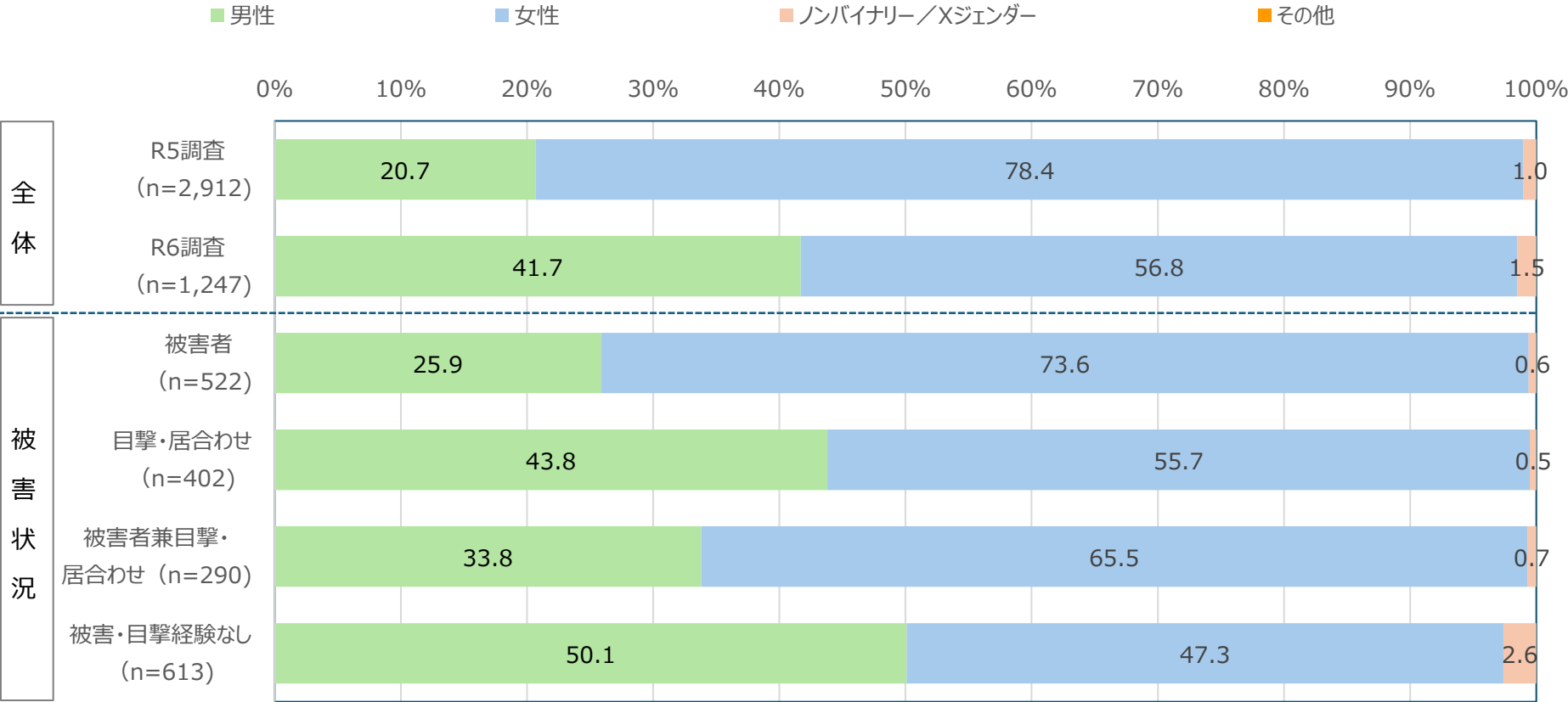
【回答者要件】

- ・ 被害者調査および居合わせ・目撃調査の対象者
- ・ 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し
（生涯で経験なし、16～69歳）

※R5調査では痴漢被害者及び痴漢目撃経験無しは対象外なので比較の際は注意が必要

回答者属性① SC1.性別/性自認

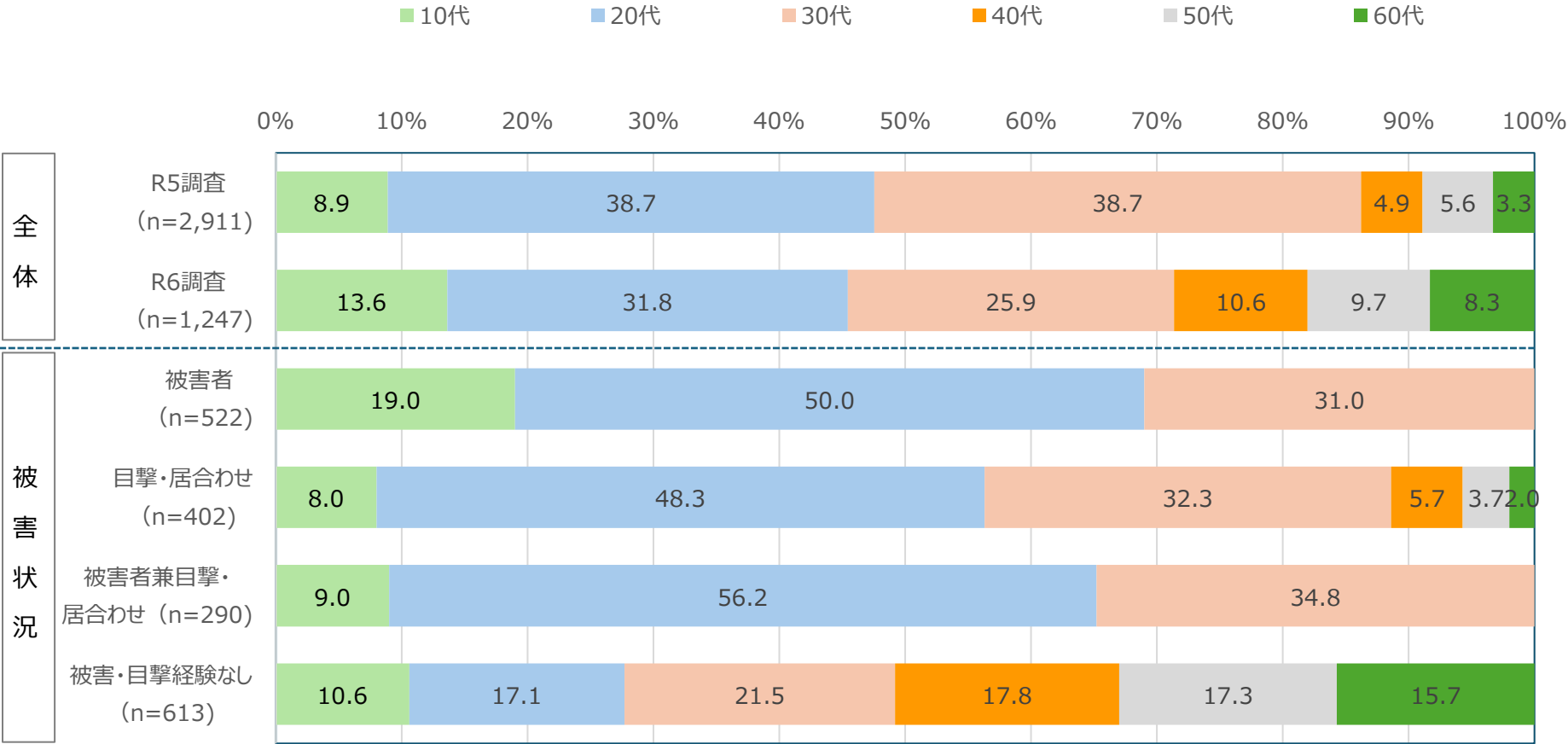
- 本節「Ⅴ 共通設問」では、痴漢被害をなくするために公的機関等が行っている活動等に対する認知度等を調査項目としている。
- そのため、どのような方に施策が認知されている／されていないかを明らかにするため、本調査における回答者区分(被害者／目撃・居合わせ／被害者兼目撃・居合わせ／被害・目撃経験なし)を主軸に、クロス集計を実施した。
- 性別/性自認の構成は以下の通り。



SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

回答者属性② SC2.年代

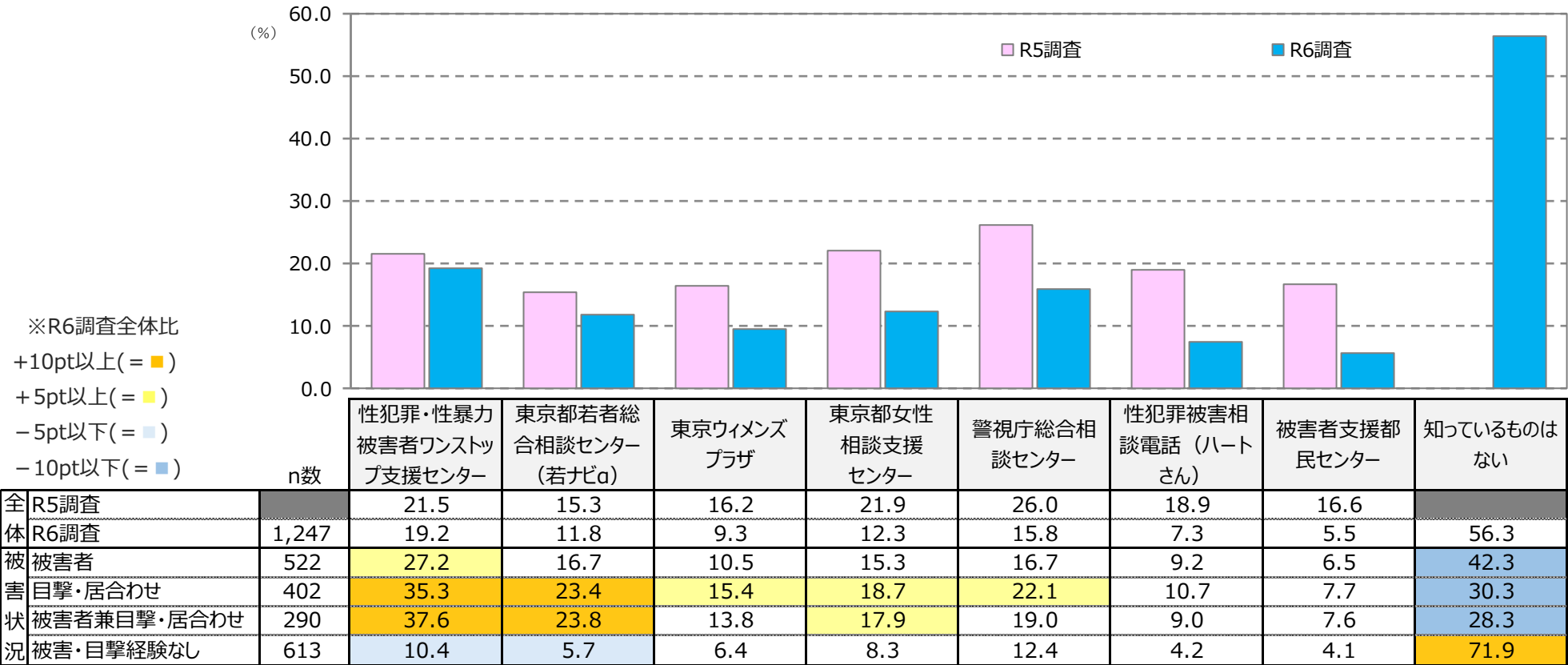
- 年代の構成比は以下の通り。
- 「40歳以上」はすべて目撃・居合わせ／被害・目撃経験なしであることに改めて留意されたい。



SC2. あなたの年齢をお答えください。

痴漢被害の相談機関① Q50.痴漢被害相談機関の認知状況 (MA)

- 認知率は、「知っているものはない」が半数以上を占めており、知っている機関では、「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」(19.2%)、「警視庁総合相談センター」(15.8%)、「東京都女性相談センター」(12.3%)の順に多い。
- 目撃・居合わせや被害者兼目撃・居合わせで「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」や「東京都若者総合相談センター(若ナビα)」が多い。
- 被害・目撃経験なしでは、「知っているものはない」が7割を超える。

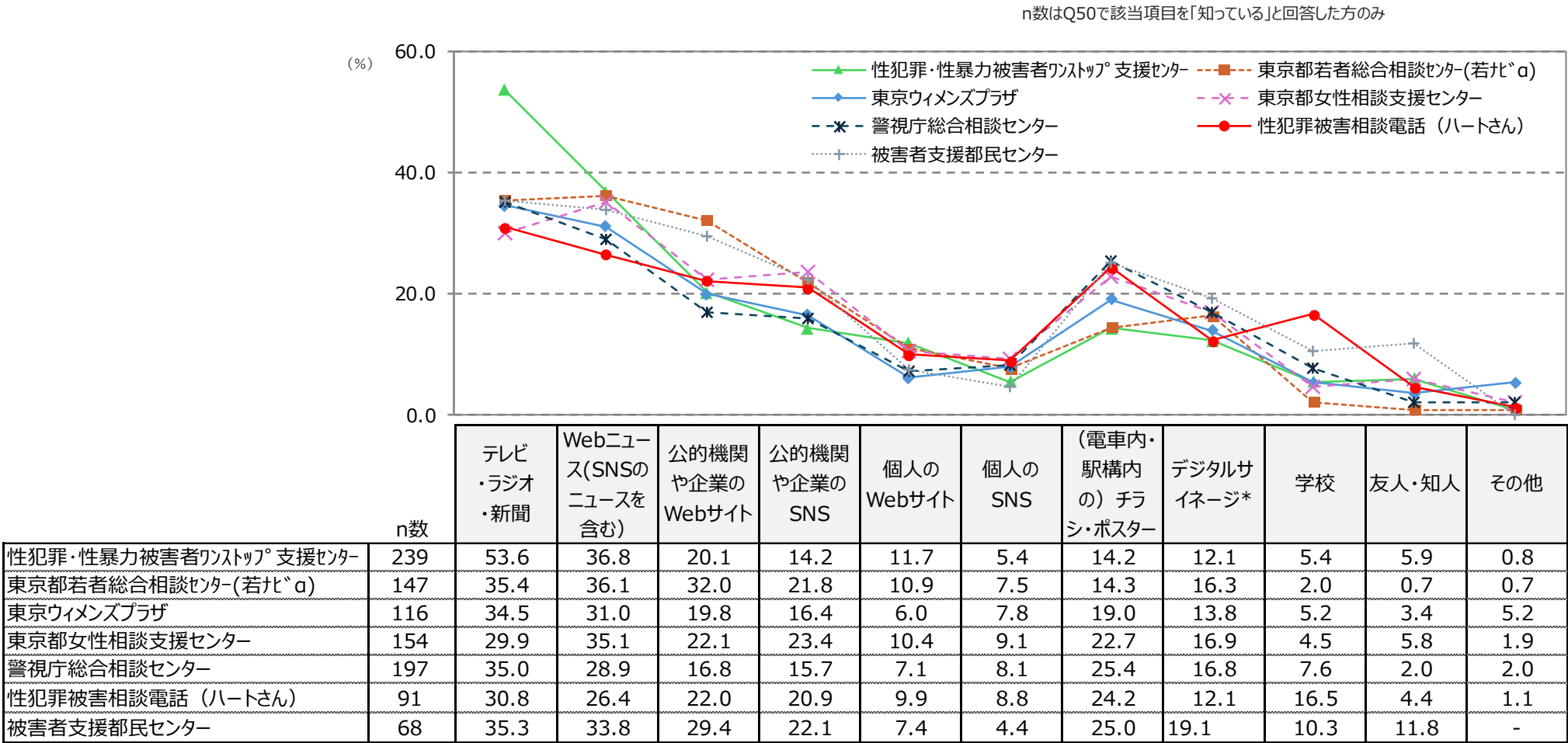


Q50. 以下の痴漢被害の相談機関についてあなたが知っているものをすべて選んでください。

R5調査では「知っているものはない」の項目はなし認知ルートより算出

痴漢被害の相談機関② Q50S.機関を知った方法 (MA) :全体比較

- 認知ルートは、全機関において、「テレビ・ラジオ・新聞」、「Webニュース(SNSのニュースを含む)」、「公的機関や企業のWebサイト」、「(電車内・駅構内の)チラシ・ポスター」などが多くなっている。

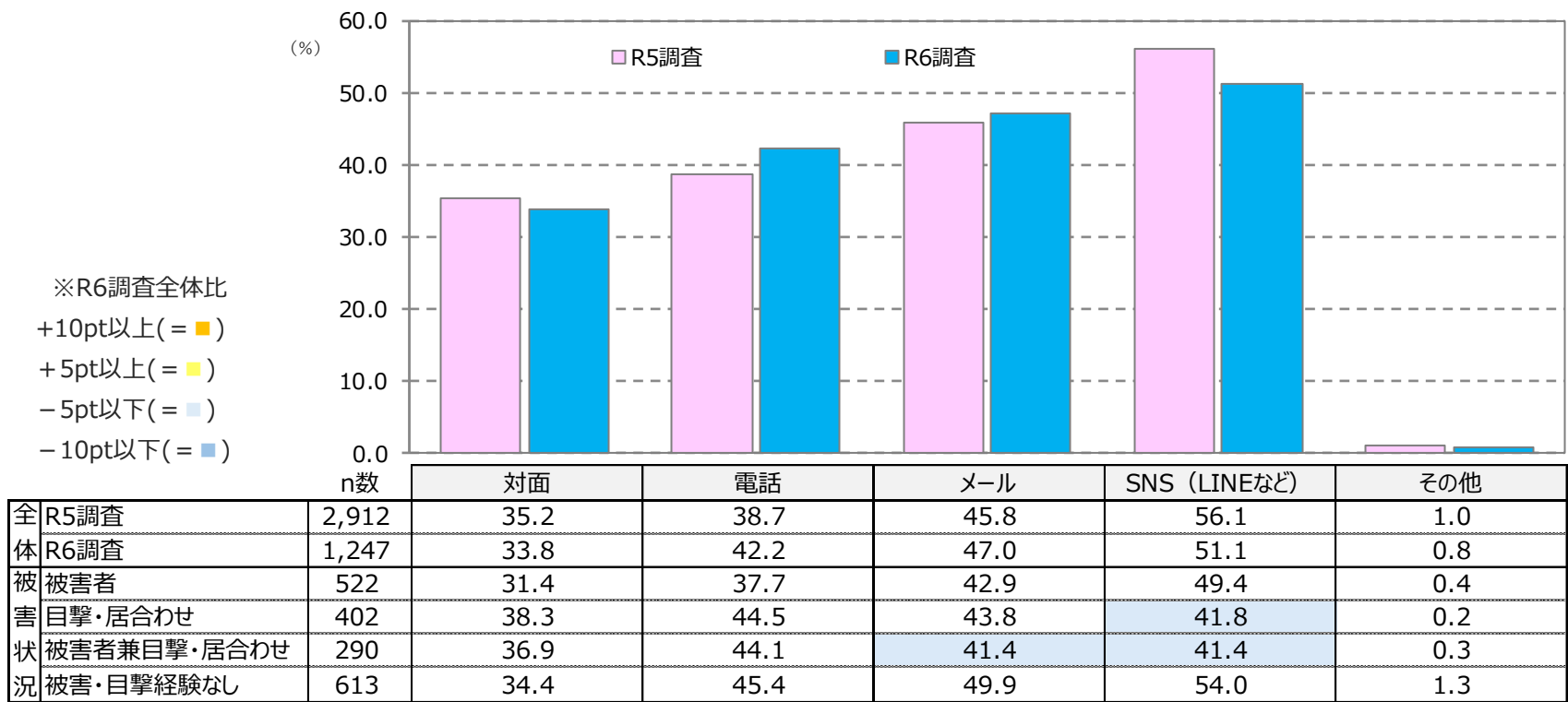


Q50S. 以下の機関をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。

*情報・広告を表示するディスプレイ

痴漢被害の相談機関③ Q51.適していると思う痴漢被害相談方法 (MA)

- 回答者全体:「SNS」(51.1%)、「メール」(47.0%)、「電話」(42.2%)、「対面」(33.8%)の順となっている。
- 被害状況別:目撃・居合わせでは、「SNS」が、被害者兼目撃居合わせでは「メール」及び「SNS」がやや少ない。

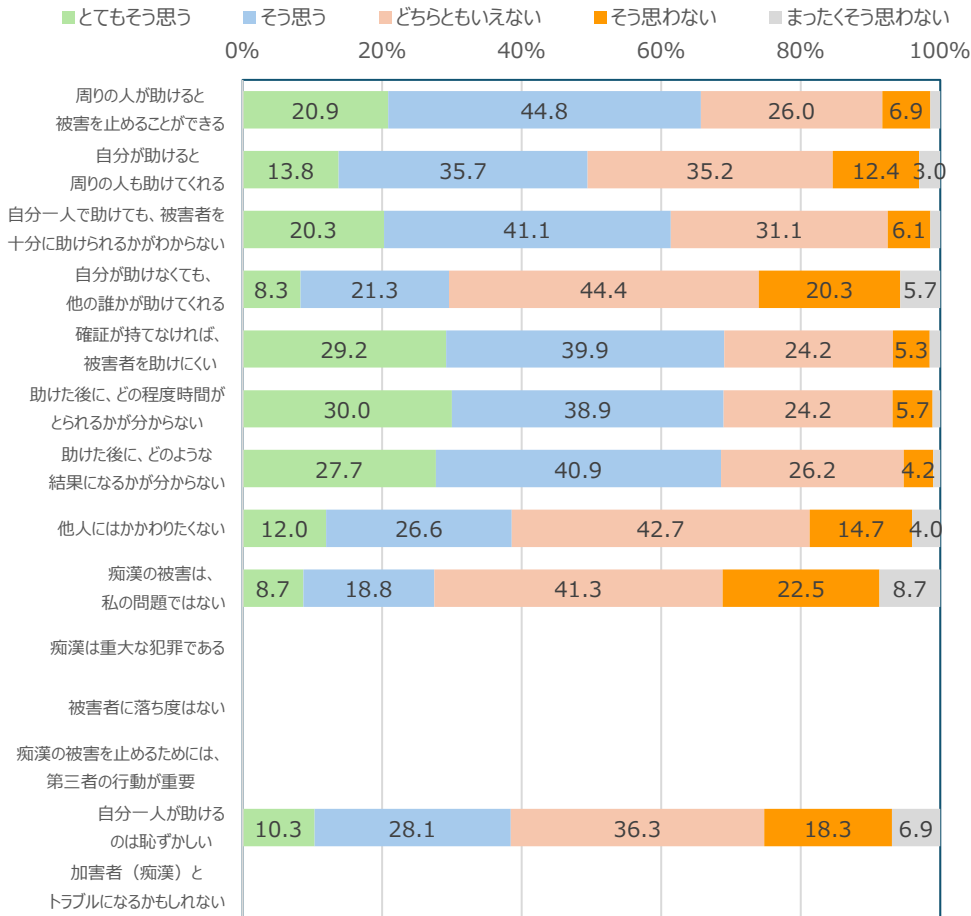


Q51. あなたが適していると思う痴漢被害についての相談方法をお答えください。(いくつでも)

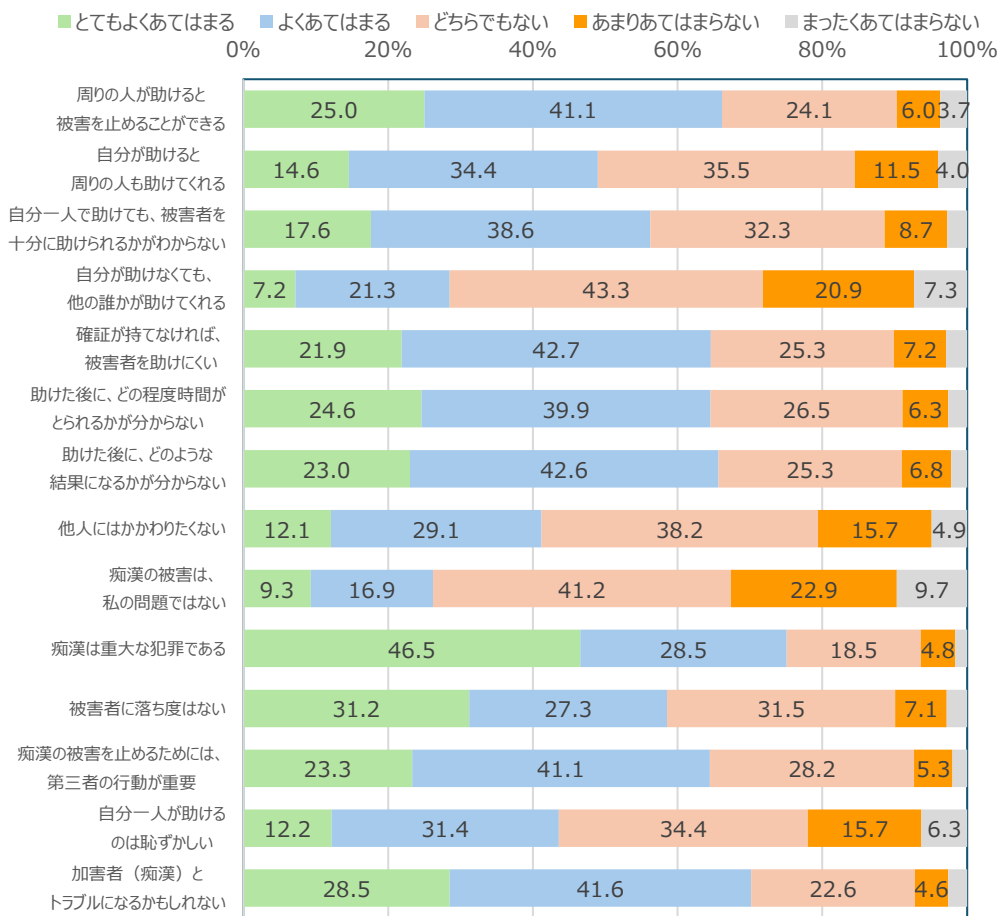
痴漢撲滅に向けた考え・行動① Q52.痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことへの考え方：全体比較

- 「とてもよくあてはまる」、「よくあてはまる」との回答の和が多いのは、「痴漢は重大な犯罪である」(75.1%)、「加害者(痴漢)とトラブルになるかもしれない」(70.2%)、「周りの人が助けると被害を止めることができる」(66.2%)、「助けた後に、どのような結果になるかが分からない」(65.6%)の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「痴漢の被害は、私の問題ではない」(26.2%)、「自分が助けなくても、他の誰かが助けてくれる」(28.5%)となっている。

【R5調査】(n=2.912)



【R6調査】(n=1.247)

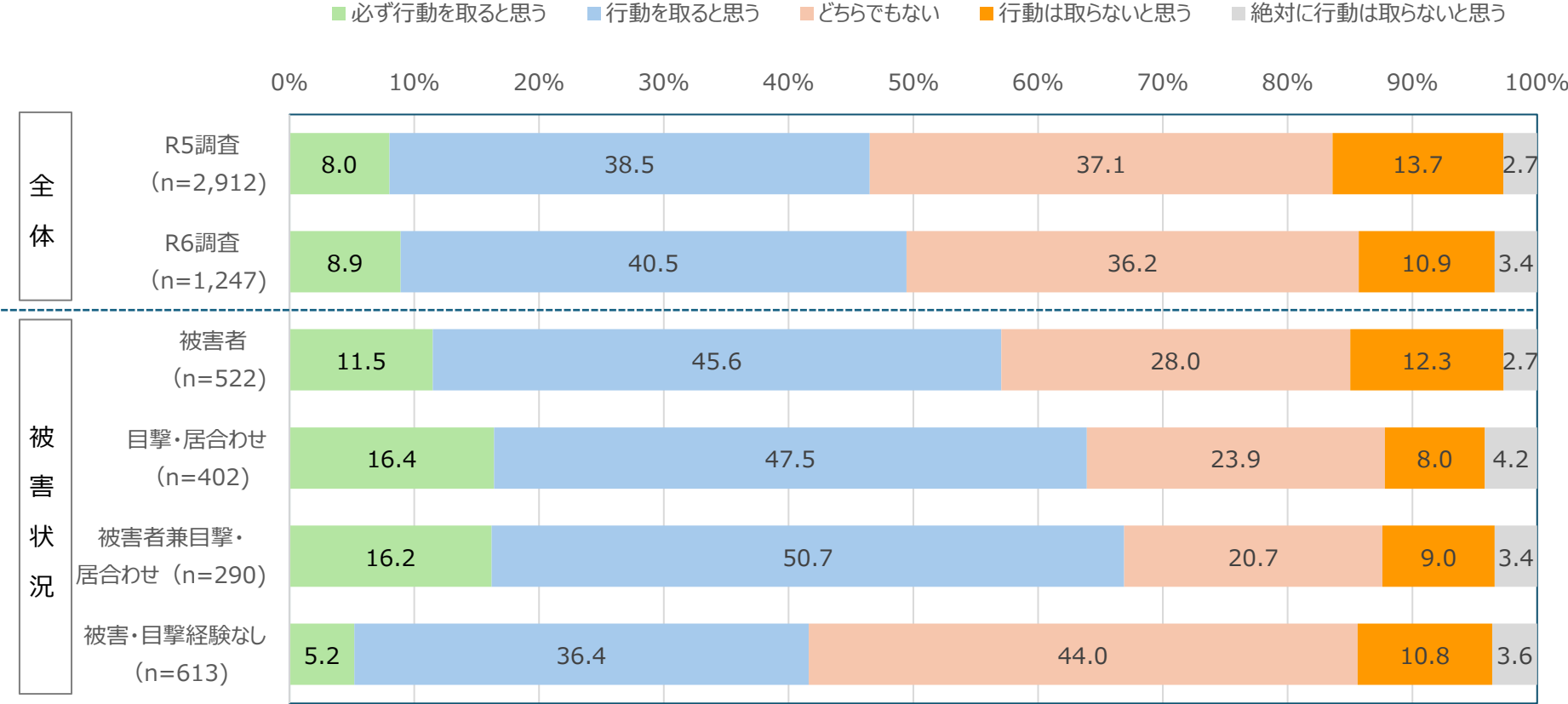


Q52. 痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことについての次の意見について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれ1つずつお答えください。

※3%未満のデータは非表示

痴漢撲滅に向けた考え・行動② Q53.目撃時、痴漢を止めたり被害者を助ける行動を取ると思うか

- 回答者全体:「必ず行動を取ると思う」、「行動を取ると思う」との回答の和は49.4%と約半数となっている。
- 被害状況別:上記回答の和は、被害者兼目撃居合わせで66.9%、目撃・居合わせで63.9%、被害者で57.1%、被害・目撃経験なしで41.6%となっている。

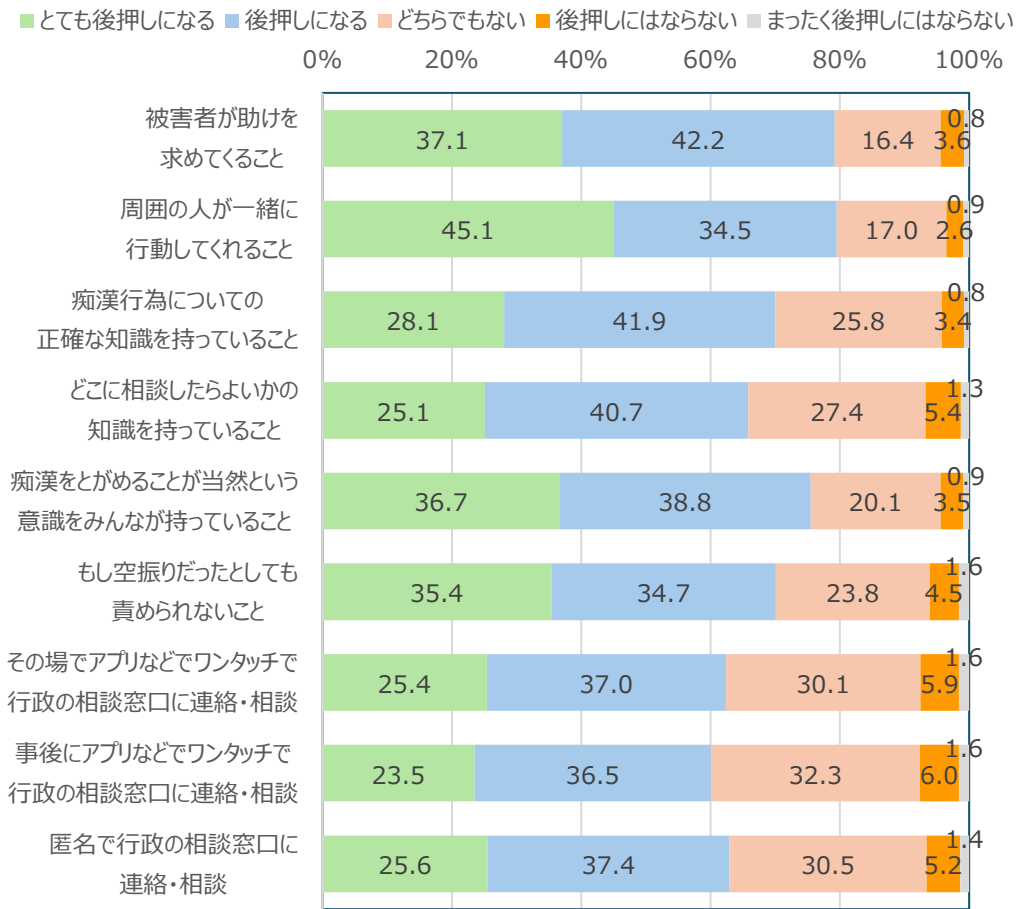


Q53. あなたは痴漢を目撃したら、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、行動を取りますか。

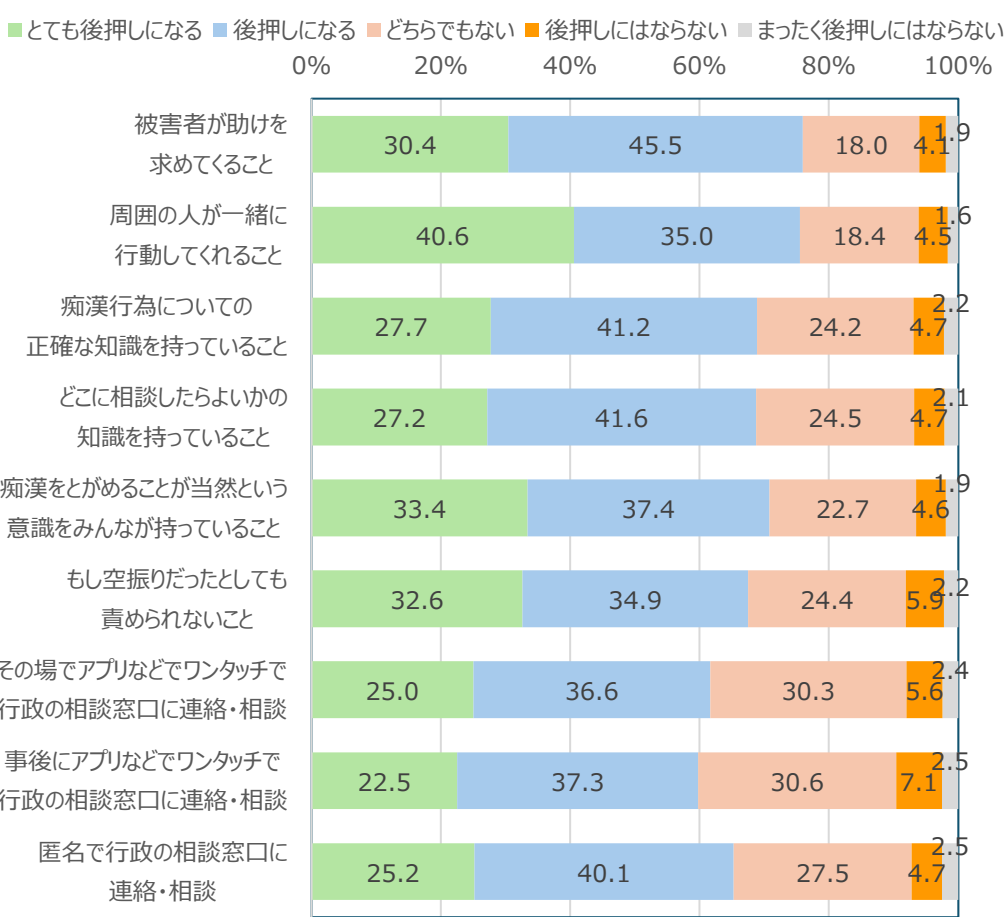
痴漢撲滅に向けた考え・行動③ Q54.痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押し：全体比較

- 「とても後押しになる」、「後押しになる」との回答の和が多いのは、「被害者が助けを求めてくること」(75.9%)、「周囲の人が一緒に行動してくれること」(75.6%)、「痴漢をとがめることが当然という意識をみんなが持っていること」(70.8%)の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「事後にアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談」(59.8%)、「その場でアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談」(61.7%)などとなっている。

【R5調査】(n=2.912)



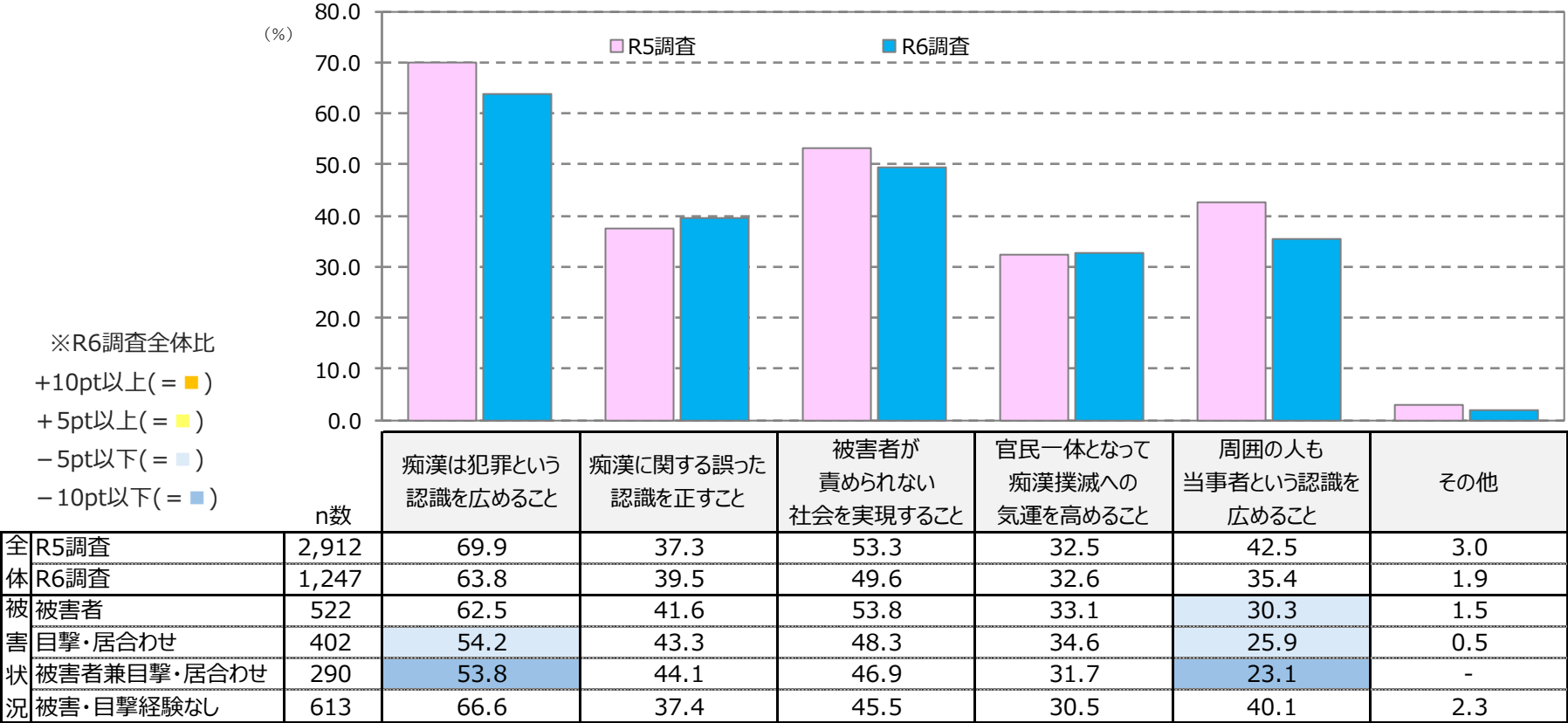
【R6調査】(n=1.247)



Q54. 痴漢を目撃したときに、次のようなことは、痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押しになるといいますか。

痴漢撲滅に向けた考え・行動④ Q55.痴漢撲滅のために重要なこと (MA)

- 回答者全体:「痴漢は犯罪という認識を広めること」(63.8%)、「被害者が責められない社会を実現すること」(49.6%)、「痴漢に関する誤った認識を正すこと」(39.5%)の順で多くなっている。
- 被害状況別:被害者兼目撃・居合わせで、「痴漢は犯罪という認識を広めること」、「周囲の人も当事者という認識を広めること」が少ない。

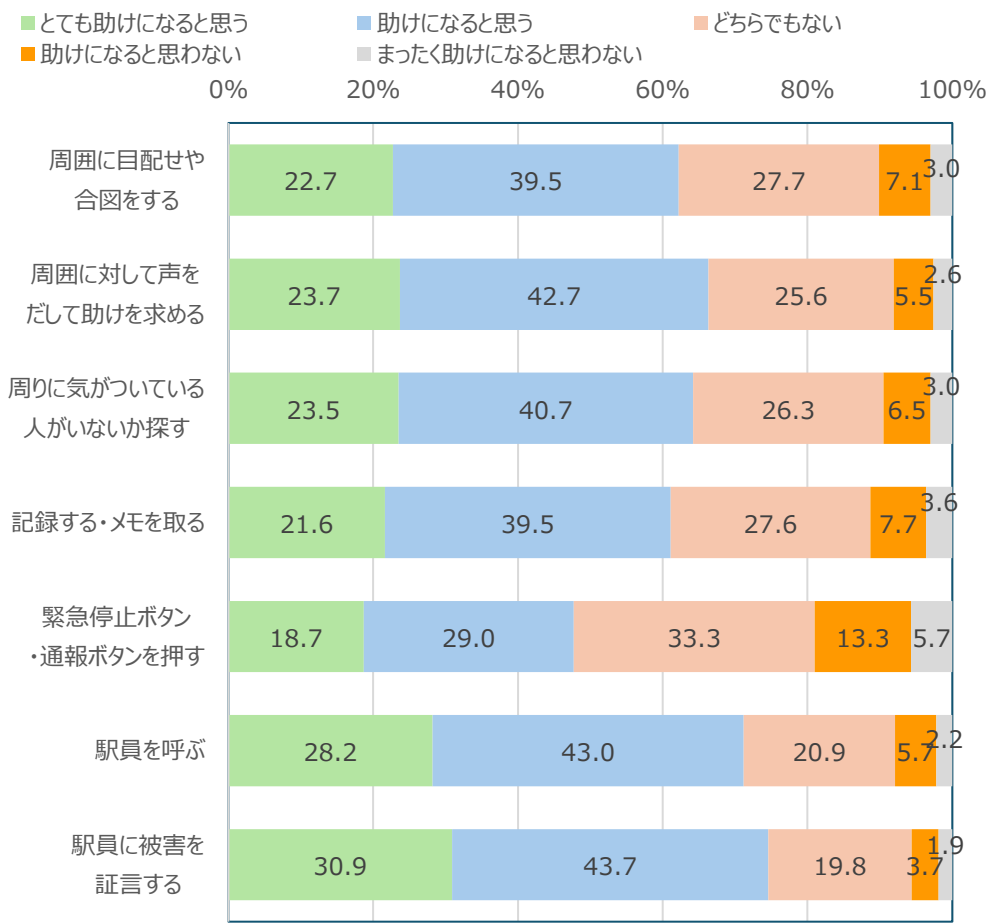
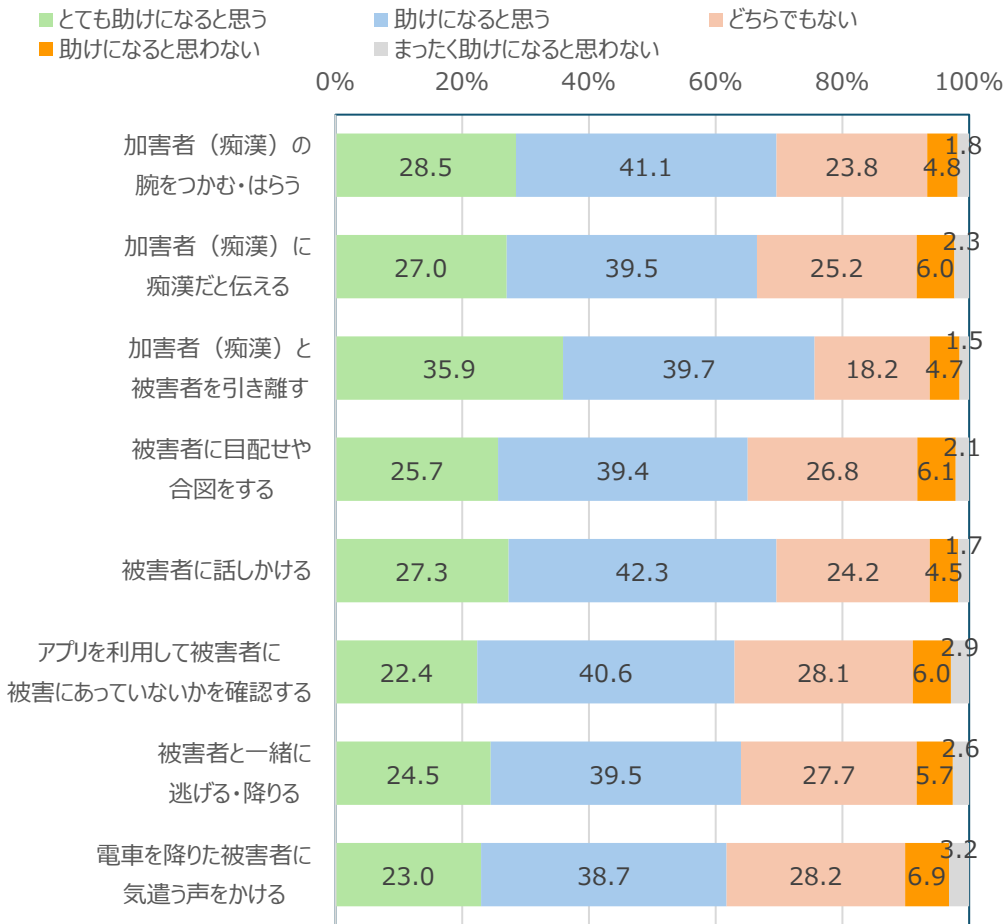


Q55. あなたは、痴漢撲滅のためにどのようなことが重要だと思いますか。(いくつでも)

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑤ Q56.被害者の助けになると思うか：全体比較

- 「とても助けになると思う」、「助けになると思う」との回答の和が多いのは、「加害者(痴漢)と被害者を引き離す」(75.6%)、「駅員に被害を証言する」(74.6%)、「駅員を呼ぶ」(71.2%)の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」(47.7%)、「記録する・メモを取る」(61.1%)、「電車を降りた被害者に気遣う声をかける」(61.7%)等となっている。

【R6調査】(n=1,247)

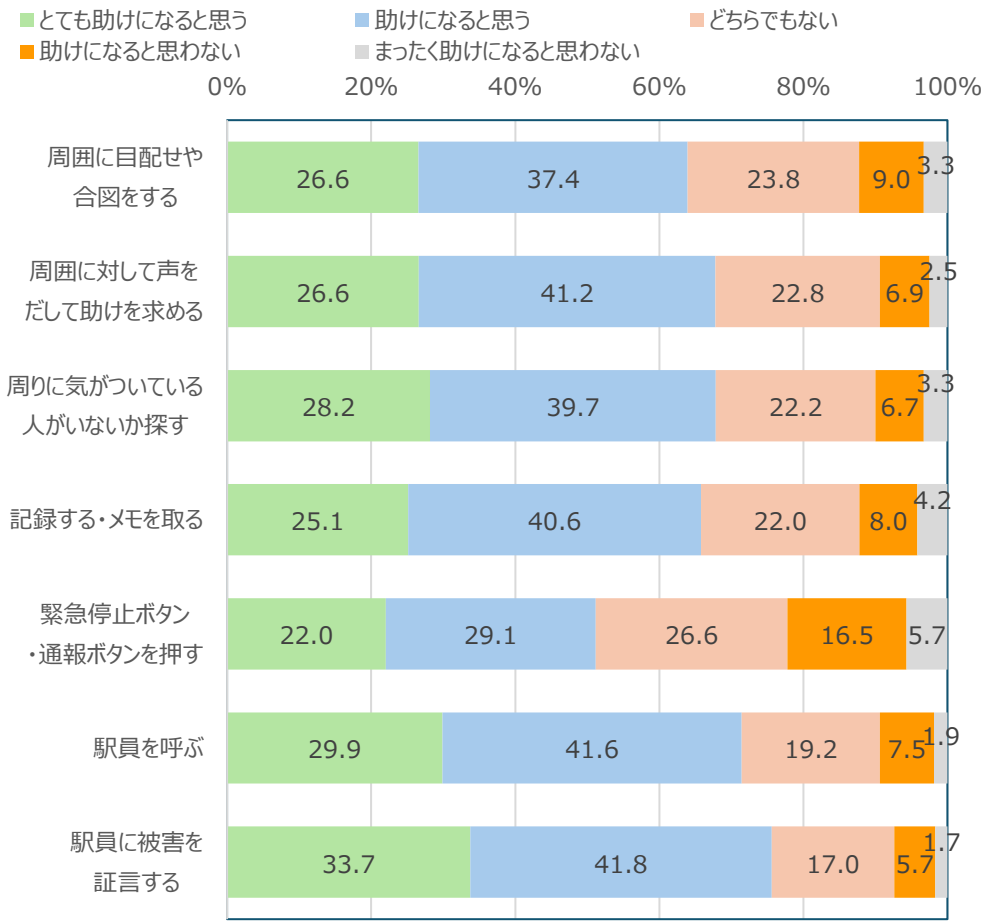
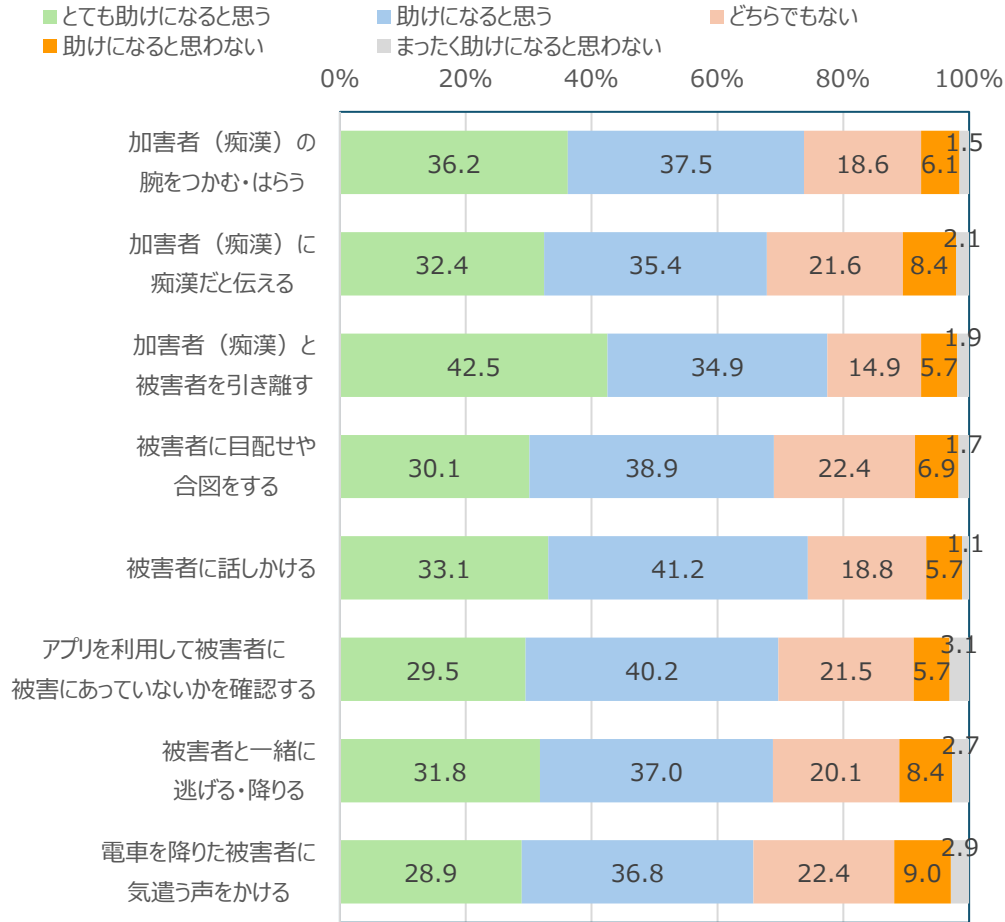


Q56. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑥ Q56.被害者の助けになると思うか：被害者比較

- 被害者に絞ってみると、「とても助けになると思う」、「助けになると思う」との回答の和が多いのは、「加害者(痴漢)と被害者を引き離す」(77.4%)、「駅員に被害を証言する」(75.5%)、「被害者に話しかける」(74.3%)、「加害者(痴漢)の腕をつかむ・はらう」(73.7%)の順となっている。全体と比較して「とても助けになると思う」比率が相対的に高い。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」(51.1%)、「周囲に目配せや合図をする」(64.0%)、「記録する・メモを取る」(65.7%)などとなっている。

【R6調査】(n=522)

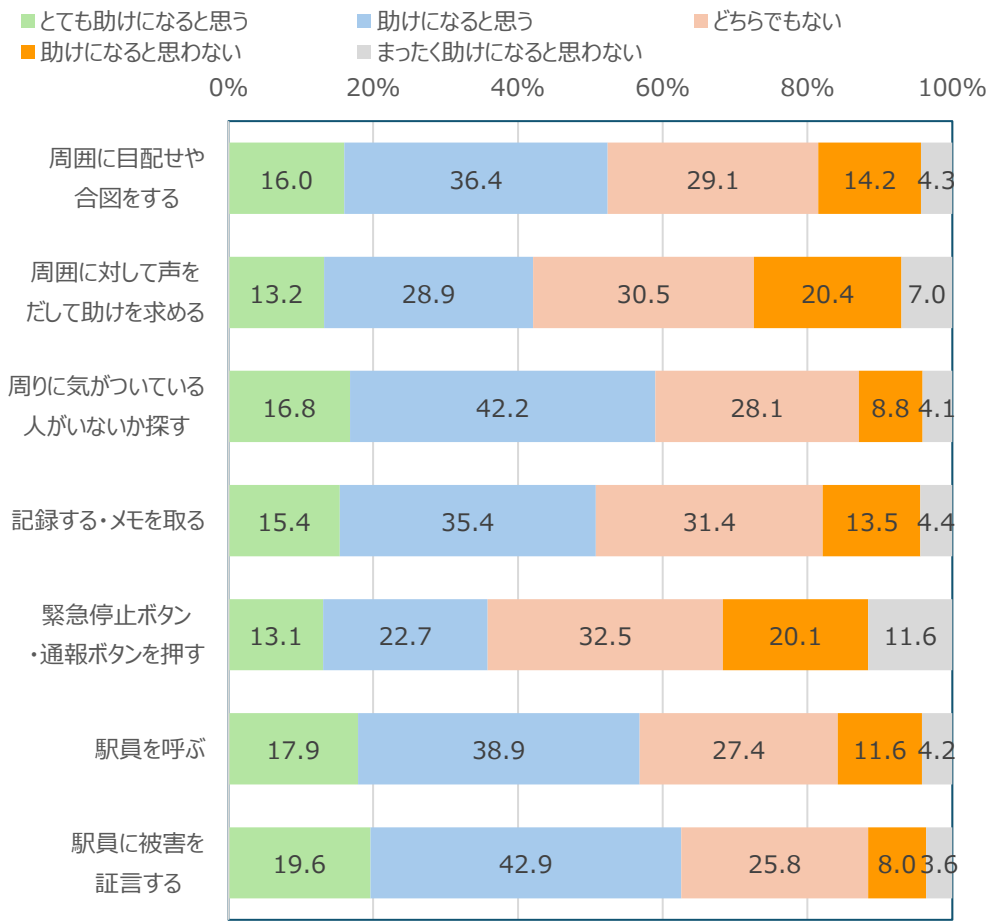
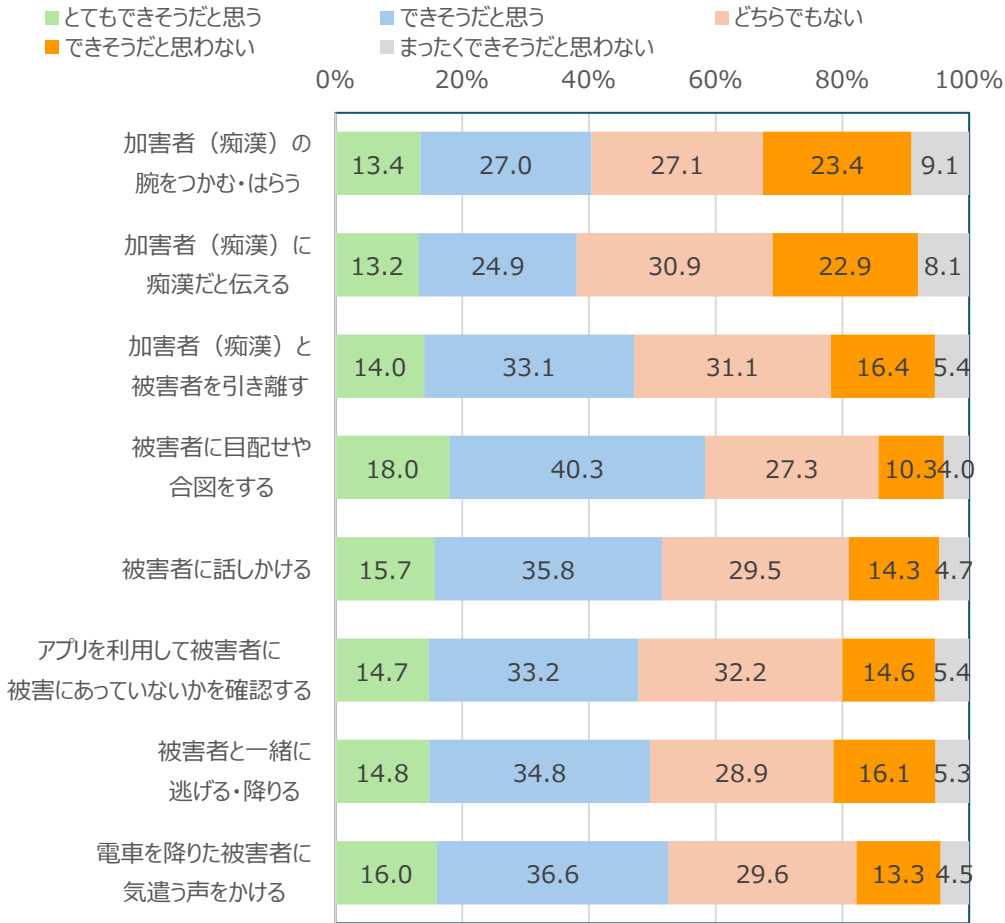


Q56. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑦ Q57.自分ができそうか：全体比較

- 「とてもできそうだと思う」、「できそうだと思う」との回答の和が多いのは、「駅員に被害を証言する」(62.6%)、「周りに気がついていない人がいないか探す」(59.0%)、「被害者に目配せや合図をする」(58.4%)の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」(35.8%)、「加害者(痴漢)に痴漢だと伝える」(38.1%)、「加害者(痴漢)の腕をつかむ・はらう」(40.4%)などとなっている。

【R6調査】(n=1,247)

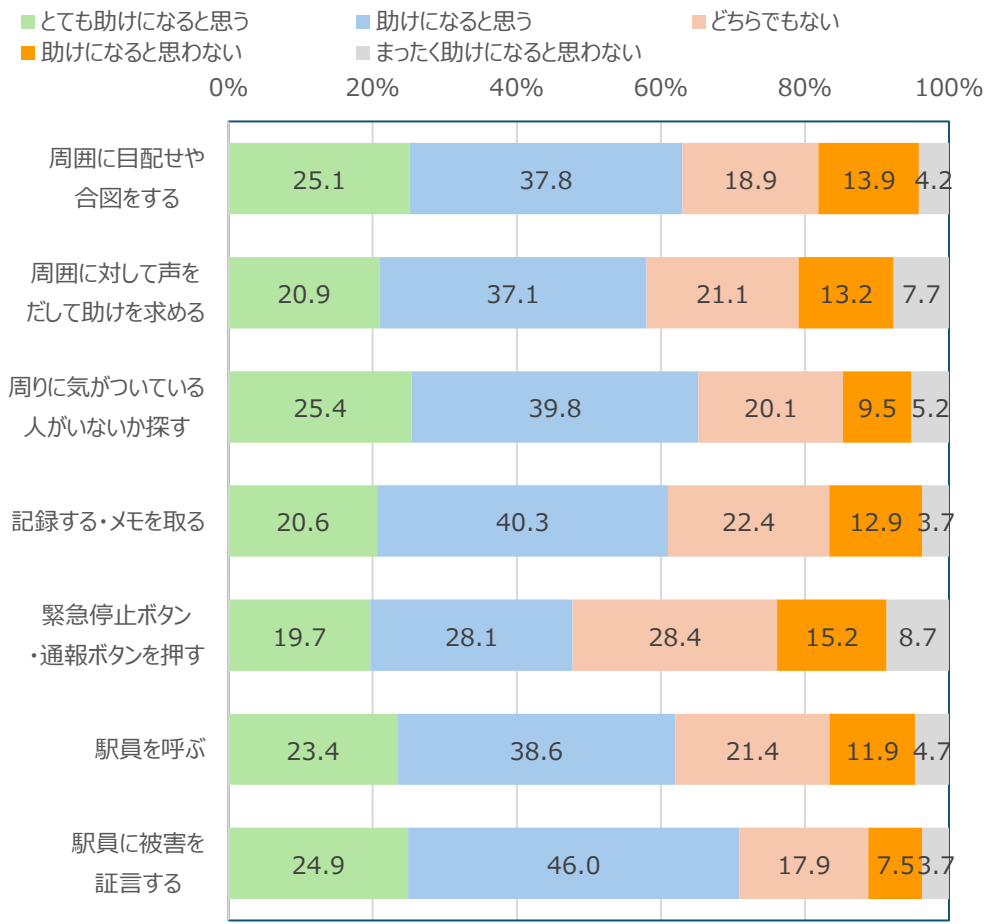
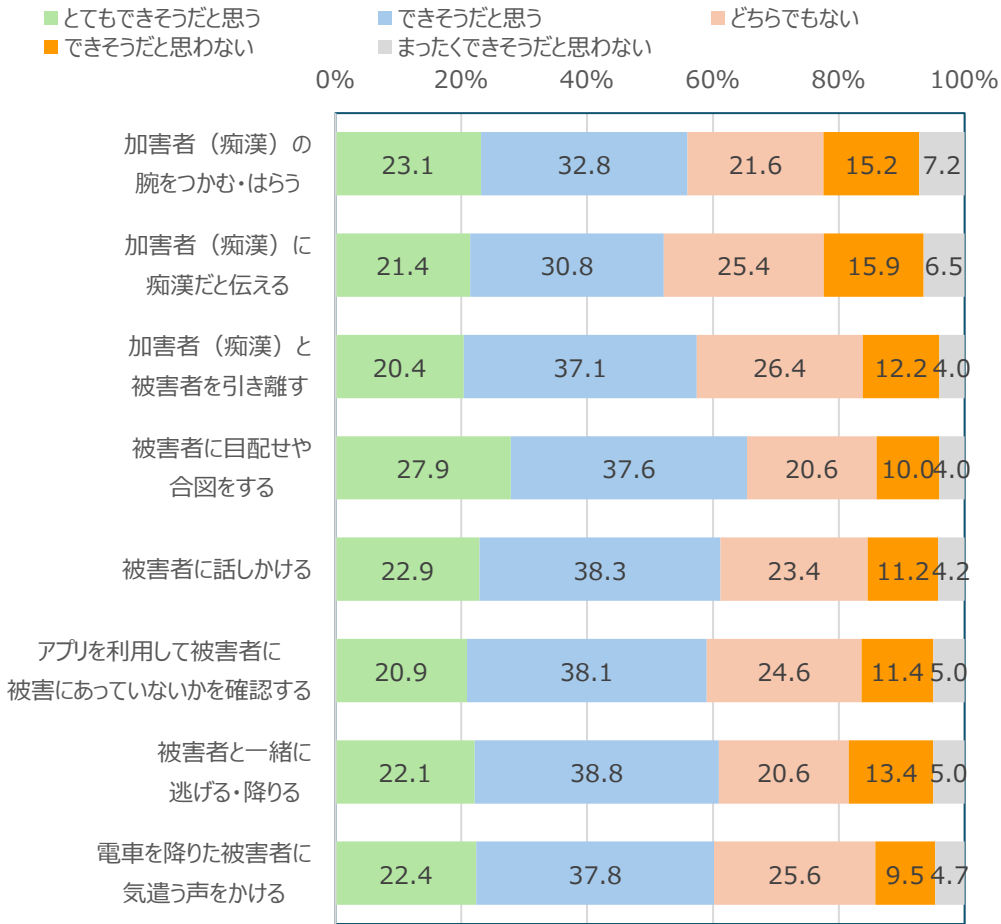


Q57. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑧ Q57.自分ができそうか：目撃・居合わせ比較

- 目撃・居合わせ者に絞った場合、「とてもできそうだと思う」、「できそうだと思う」との回答の和が多いのは、「駅員に被害を証言する」(70.9%)、「被害者に目配せや合図をする」(65.5%)、「周りに気がついていないか探す」(65.2%)の順となっており、全項目で全体と比較して多くなっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」(47.8%)、「加害者(痴漢)に痴漢だと伝える」(52.2%)、「加害者(痴漢)の腕をつかむ・はらう」(56.0%)などとなっている。

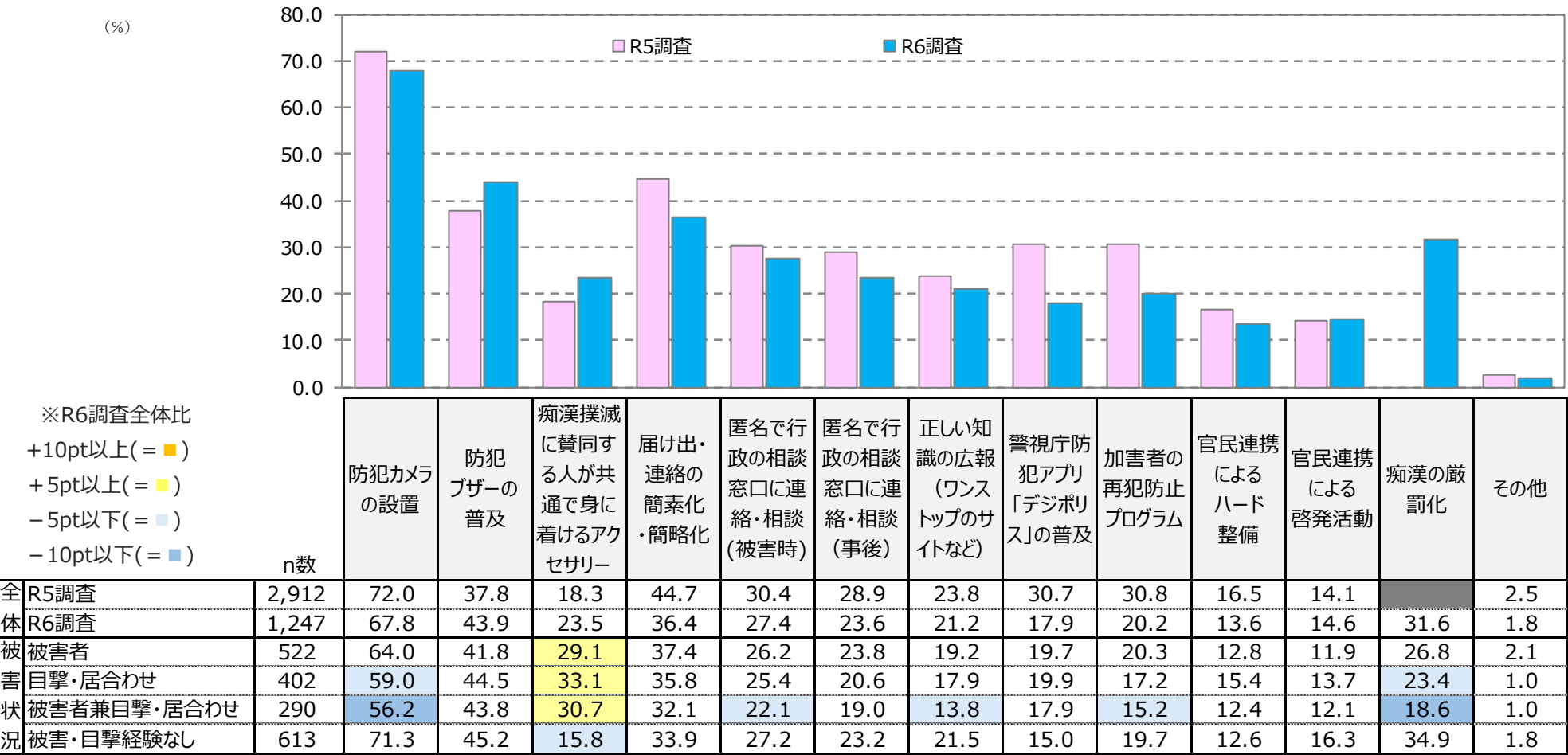
【R6調査】(n=402)



Q57. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑨ Q58.痴漢撲滅に向けた効果がありそうな取り組み (MA) : 全体比較

- 回答者全体:「防犯カメラの設置」(67.8%)、「防犯ブザーの普及」(43.9%)、「届け出・連絡の簡素化・簡略化」(36.4%)、「痴漢の厳罰化」(31.6%)、「匿名で行政の相談窓口に連絡・相談(被害時)」(27.4%)の順で多くなっている。
- 被害状況別:被害者、目撃・居合わせ、被害者兼目撃・居合わせで、「痴漢撲滅に賛同する人が共通で身に着けるアクセサリ」がやや多い。



Q. 58 痴漢撲滅に向けて効果がありそうだと思う取り組みをお答えください。(いくつでも) R5調査のグレーでハッチングしている部分は項目なし

意見・要望① Q59. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
広報・周知	広報・啓発不足の解消	・被害者を見つけたときにどうすべきか、というのは広く発信すべき。 ・学校で授業とかしにきて欲しい。 ・今回のアンケートをするまで、東京の痴漢対策を知らなかった。もっと、啓蒙活動が必要だと思う。 ・痴漢をする犯罪者を作らないための教育を子どもの頃から徹底すべき。痴漢被害者や周りの人に求められる事が多すぎる。 ・とてもいいことだと思う いろんなところでコマーシャルして 周知していけばいいと思う。 ・どのような対策を取っているのかが分からない。 ・街頭キャンペーンなどを大々的にした方が良いと思います。
	SNSでの周知	・もっとSNSなどを活用して痴漢撲滅をアピールして抑止力にして欲しい。 ・SNSが一番効果的だと思う。 ・SNSや動画配信を普及させる。 ・痴漢対策をしていることは知っているものの、相談機関等の詳細をわかっていなく、同世代も知らない人が多いと思いますが、丁度痴漢されやすい年齢のため、SNSで広報を広めることで、認知度が上がり撲滅に繋がっていくことが可能になるのではないかと思います。
	ポスターでの周知	・痴漢防止のポスターに痴漢は犯罪で禁錮何年とかいくらの罰金みたいな過去の事例を書いてほしい 犯罪感が伝わってない。 ・どんな手口で痴漢があるのかパターン化したもの別に対応方法を描いたポスターを、作って欲しい。 ・ポスターによる対策が効果的だった。 ・毎日電車を利用していますが、痴漢対策のポスターを日常的に目にしているかと言われたらそんなに目にしていないので、今より対策に力を入れるならもっと人の目に入るようにした方がよいと思います。
	痴漢行為についての周知	・痴漢はどんな手口を使うのか、それもどこかに上げてほしい。 ・満員で身動き等取れない場合は冤罪を起こしてしまうのではないかと恐怖がある。確信が持てないことがある。その時の確実な対処法が広まればよいと思う。 ・ケースバイケースなので、パターン別の対策が必要。 ・痴漢の基礎知識を広げるべき。
	防犯アプリ・防犯グッズの周知・普及促進	・アプリができて効果があったか結果が知りたい。 ・アプリをもっと広めてほしい。

意見・要望② Q59. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
被害者・加害者等への対策	被害者への対策・被害者ケアの強化	・ 具体的気痴漢にあってもどうしたら良いかわからない。相談したところで親身じゃないので時間の無駄という話もよく聞く。 ・ セカンドレイプの被害をよく耳にするので、勇気をだして被害を訴えた被害者を守るためのシステムを充実させるべき。
	男性被害者への対策	・ 女性だけでなく男性も被害にあうことがあるので、お互いに意識が必要。 ・ 男性が受ける痴漢被害が周りにも多く、男性の方が周りに変な目で見られそうで声をあげづらい。
	加害者に対する厳罰化等	・ 条例などでもっと厳罰化するべきだと思う。これからの時代は性自認の問題も関わってくるので、よりちかんや性被害に対して機敏に動く姿勢が求められると思う。 ・ 性犯罪は全体的に量刑が軽いのが問題だと思います。 ・ 痴漢は犯罪だということを、厳罰化することによって加害者に知らしめていくべき。
	痴漢未然防止への対策	・ 共通の痴漢防止アプリを使っている人に、連携するキーホルダーやバッジからのSOS発信でアラーム音や画面表示。発信されている位置情報も表示するとなお良さそう。 ・ 通勤通学で急いでいる時に時間を取られるのが厳しいし、女性である自分では力で協力するのは難しい。 ・ 朝の時間帯を中心とした警戒強化。 ・ なるべく周りが、痴漢かどうかを判断して被害者を助けてあげられると良い。 ・ 私服の警察官を多めにいてほしい。
	性犯罪者としての対応	・ 性犯罪者には足にGPSつけて欲しいです。 ・ もっと厳しく罰してほしいし、再犯しないよう教育が必要だと思う。 ・ 性犯罪者等のブラックリストを作って官民ともに有効活用できるシステムを構築してほしい。

意見・要望③ Q59. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
環境整備	痴漢行為をしづらい環境の整備	• もっと防犯カメラを設置して取り締まって欲しい。 • 自分ではどうしても勇気が出ず、間違っていたらどうしよう、という気持ちから「この人が痴漢の犯人だ」、「この人が痴漢しているのを見た」ということが言えないので確信が持てる証拠（上、横など色々な角度から見る事が出来るでも防犯カメラ）などがあると心強いです。
	混雑緩和対策	• 混雑した環境が一番の問題だと思います。 • そのような環境を減らす為にも、まずは電車の混雑を減らす事も重要だと思います。 • そもそも満員電車を解消するように努めてほしい。
	味方がわかる仕組みづくり	• 痴漢は本当に怖い なにか行動したいと思っても体が動かない 助けてと声もあげられない 周りに気づいてほしい。
	近隣県との連携、 全国レベルでの対策	• 東京都だけでなく、日本全体で性犯罪・痴漢に対し、厳罰化していくことが大切だと思う。
	官民一体となつての取組	• 鉄道会社だけの努力ではどうにもならないと思いますので国や自治体が協力して、混雑しないための都市計画を作り実行してもらいたい。移動を伴わないネットを活用した取り組みも進めてもらいたい。 • 官民一体で対策してほしい。
	現状の対策に満足	• 思ったより対策されている事に驚いた。

意見・要望④ Q59. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
相談等	相談窓口の充実	・デリケートな問題なので、親身に対応してくれる窓口の設置が必要だと思っています。 ・もっともっと相談しやすい環境作りをよろしくお願いします。
	相談窓口および相談方法等の周知	・より簡単に被害届をだせるようになってほしい。
	相談者の負担軽減	・痴漢をされその場で突き出しても、逮捕に至るまでに時間と労力がかかり過ぎて被害者側が泣き寝入りするケースが多すぎます。(私自身も含め)そこが痴漢が減らない理由の上位に入ると思い、改善することを切に願います。
	相談者が救済される仕組みづくり	・されてしまったらそれを訴えたとしてもなんのメリットもないように感じる。捕まらないし。
	被害者の安全が守られる仕組み	・痴漢された時に正しい対処の仕方とかを知っているといいなと思います 私が初めてされた時は加害者が前を向いた状態で手だけをこっちに向けていたので肘の所を押したら諦めていました この時は初めてだったのでどうすればいいか分かりませんでしたが このような対処法を他の人にも知ってもらいたいです。 ・被害者の方に、犯人に知られない方法で、痴漢にあっていないか確認できる方法があったら良いと思います。 ・逆恨みが怖くて何もできない。
意識変革	社会全体の意識変革	・ 結局アプリだのグッズ、相談窓口を設けたところで中の人の意識が変わらない限り結局世の中にも変わらないことを思い知らされる。 ・ SNS上では男性の痴漢を擁護する意見が多くみられます。改善した方がよい。
	被害者、周囲の人の意識変革	・ スマホを見ている人が多いので、痴漢の被害にあっている人に気づきにくいし、気づいたとしても知らぬふりの人も多いと思う。乗り合わせた人がもっと注意するように呼び掛けてほしい。 ・ 結局は巻き込まれたくないから見て見ぬ振りをするままだと思う。 ・ 周囲が気付いて、ざわつき出すと、案外止まったり加害者は車両を変えたりする。無関心は良くない。 ・ 痴漢を見つけた時には1人でも仲間を増やすことが大事だと思った。 ・ 電車内でのトラブルのひとつとしても、勇気を持った行動がとれるか不安があります。 ・ 被害者も目撃者も声を挙げやすいように、痴漢に対する共通意識をもったり、そういった環境づくりが大切なんだろうなと思った。
	痴漢被害者への周囲の理解	・ 身近に感じた事が無かったので、行動を起こせるか難しいところですが、一人でも理解して輪を広げていくことが出来れば良いと思います。 ・ 痴漢にあっても実際声を上げることは難しいと思うので、声を出しやすい環境、知識を広められると良い

意見・要望⑤ Q59. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
その他、意見・要望		- 強化すると共に冤罪だけは起こさないでほしい。 - 男性は通報されると100%有罪になるような制度が酷すぎる。しっかり冤罪を救う制度も取り入れないと女性が得するだけだからそのうち助けてくれる男性がいなくなると思う。 - 被害防止も大切だが、唯一冤罪が当たり前に行われていることに男性として日々恐怖している。間違った告発が責められないことも必要だが、疑わしきは罰せず、が当たり前にならないと片手落ちである。 - もっと通報しやすい環境にしてほしい。

令和6年度 痴漢被害実態把握調査 報告書

2024年12月

調査企画：東京都 生活文化スポーツ局 都民安全推進部 治安対策課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎北側34階

連絡先 電話：03-5388-2279

調査実施：株式会社イード

〒164-0012 東京都中野区本町一丁目32番2号 ハーモニータワー17階

連絡先 電話：03-6635-1962